



トール収納

開き扉タイプ[°]

MNTN - 45(60)TNL(R)
MNTN - 90(120)TN

開き扉+引き出しタイプ[°]

MNT(M)1DT-45(60)BH2TNR(L)
MNT(M)5DT-45(60)BH2TNR(L)
MNT(M)N - 45(60)BH2TNL(R)
MNT(M)N - 90(120)BH2TN

ウイングチップ+家電引き出しタイプ[°]

MNTN - 45(60·90·120)BH2WC

1段オーブンタイプ[°]

MNMN - 60BF2AOR1CTNL(R)
NNMN - 60BF2AOR1ATNL(R)
MNMN - 60BF2BOR1ATNL(R)

2段オーブンタイプ[°]

MNMN - 60BF1AOR2ATNL(R)

取扱説明書

取付・設置説明書

このたびは、お買い上げいただき
ありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みになって、
正しく又永くお使いください。

■取扱説明書は、いつでも見られる場所に
必ず保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

取扱説明書

・安全上のご注意	1
・各部の名称	4
・ご使用に際して	8
・お手入れ方法	12
・ご相談窓口における	13
お客様の個人情報のお取扱いについて／ アフターサービスについて／ ホルムアルデヒド発散区分／ VOC放散性能	
取付・設置説明書	
・安全上のご注意	14
・取付・設置前の確認	16
・取付・設置上のご注意	17
・製品寸法図	21
・取付・設置方法	
開き扉+引き出しタイプ i k i t c h e n C U B E の場合	30
開き扉／開き扉+引き出しタイプ C O R E の場合	47
I N O A F S (C) タイプの場合	70
ウイングチップ+家電引き出しタイプ I N O A F S (C) の場合	100
1段オーブンタイプ I N O A F S (C) タイプの場合	125
2段オーブンタイプ I N O A F S (C) タイプの場合	154
・ウイングチップ取付用下地桟の取付け	181
・扉の調整／扉の取り外し、取付け	183
・扉用ブルモーションの調整	184
・引き出し前板の調整	185
・取付・設置後の点検・清掃／ ホルムアルデヒド発散区分／VOC放散性能	186

取扱説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
⚠ 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠ 警告

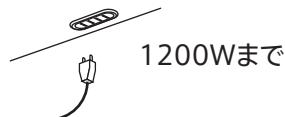
分解・修理・改造は絶対にしないでください。



分解・修理・改造禁止

感電、発火、ケガ、異常動作の原因になります。
故障と思われたときは、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社にご連絡ください。

スライドコンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わないでください。



発熱により、火災の原因になることがあります。

スライドコンセントに水をかけないでください。



感電や火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

扉や引き出しにぶら下がらないでください。



扉や引き出しが外れて、ケガをする恐れがあります。

扉が傾いたり、ガタついているときは、丁番のネジを締め直してください。



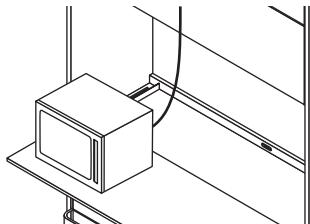
扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。

棚板、引き出し、スライドトップには、指定の荷重以上のせないでください。



のせているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

家電製品を使用する時は、必ずスライドトップを一杯まで引き出して、安定した状態で使用してください。



家電製品を使用した後で収納庫内に収納する場合は、家電製品が室温レベルに下がるまで待ってから、収納してください。オーブンレンジ、炊飯器、電気ポット、オーブントースター等の水蒸気や高温の熱がユニット内にこもり、ユニットの変形及び破損の原因になります。また、水蒸気が家電製品のコンセントに付着して、感電や故障の恐れがあります。

なお、オーブンレンジ等を収納する場合は、壁に接する事がない様に配置してください。過熱、火災の原因になります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店・電気工事店に交換をご依頼ください。

扉を大きく開け過ぎないでください。



扉が外れて、ケガをする恐れがあります。

棚受け（ダボ）は、確実に奥まで差し込んでください。

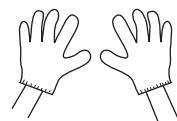


棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

お手入れの際は、必ず手袋を着用してください。



手袋着用



鋼板の切り口や角で手を切る恐れがあります。

スライドトップの出し入れはゆっくりと行ってください。



のせているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

交流100V以外では使用しないでください。



火災・感電の原因となります。

長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。



万一故障したとき、火災の原因になることがあります。

濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。



感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また重いものをのせたり、挟み込んだりしないでください。



電源コードが破損して、感電・火災の原因になります。

電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。



発熱によって火災の原因となります。

雷時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



雷による一時的な過電流で電子部品が損傷する恐れがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たないでください。



電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグを持って引き抜いてください。

電源プラグの刃および刃の取付け面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。



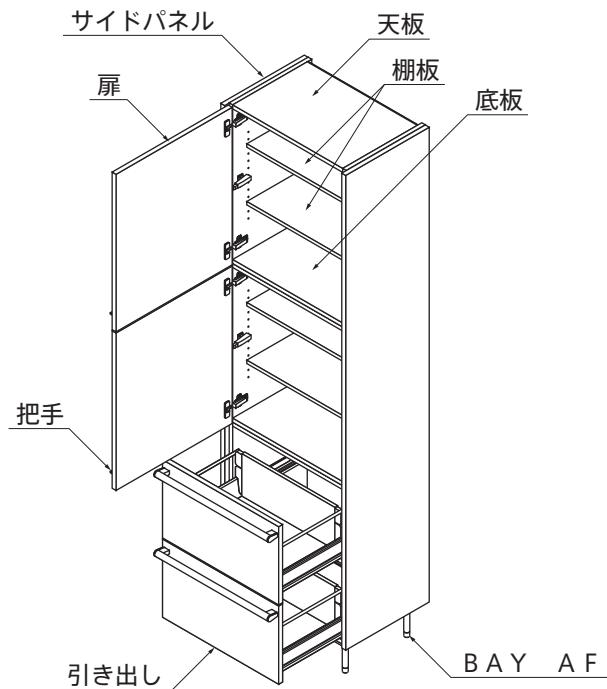
火災の原因になります。

各部の名称

【kitchen CUBEの場合】

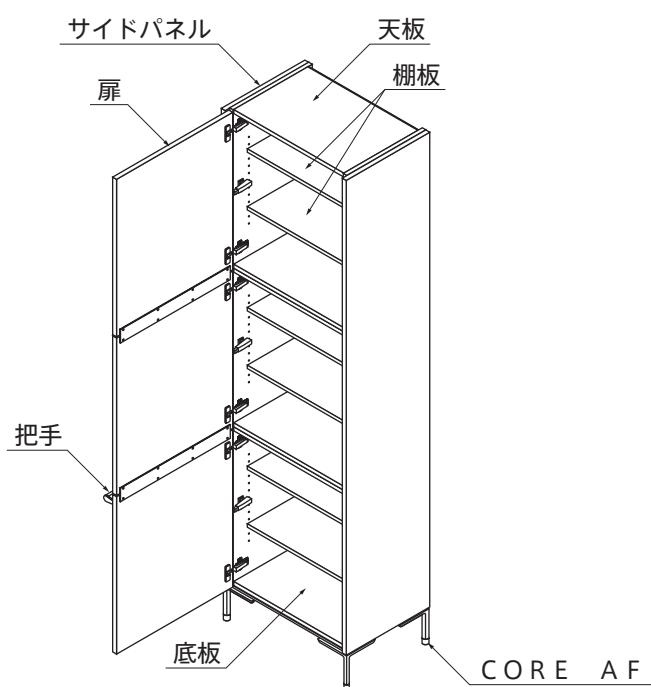
MNT(M)1DT-45(60)BH2TNR(L)

MNT(M)5DT-45(60)BH2TNR(L)

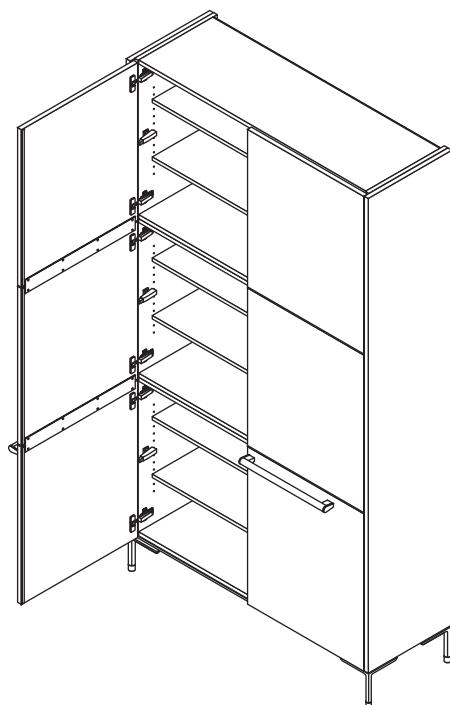


【COREの場合】

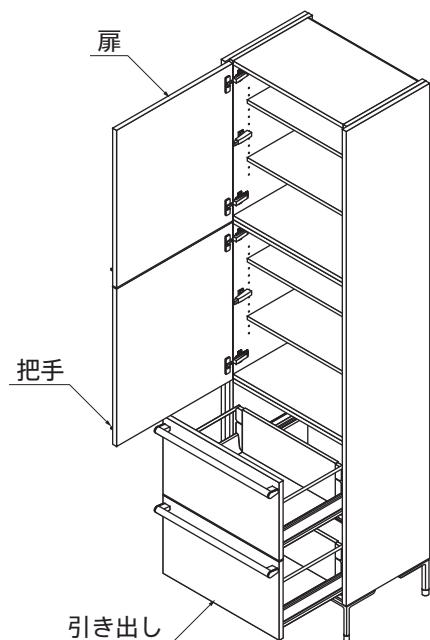
MNTN - 45(60)TNL(R)



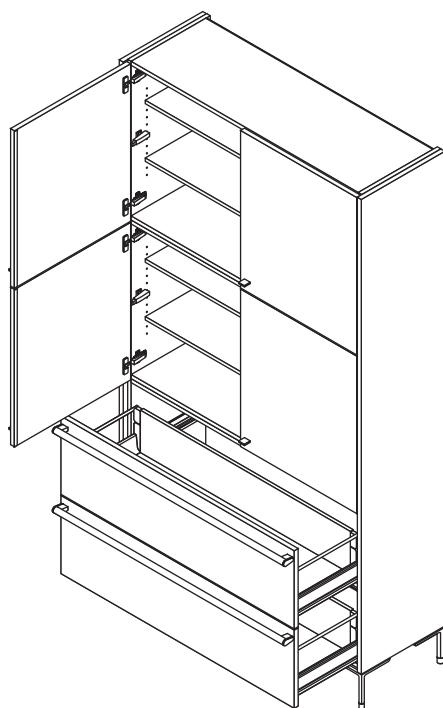
MNTN - 90(120)TN



MNT(M)N - 45(60)BH2TNL(R)

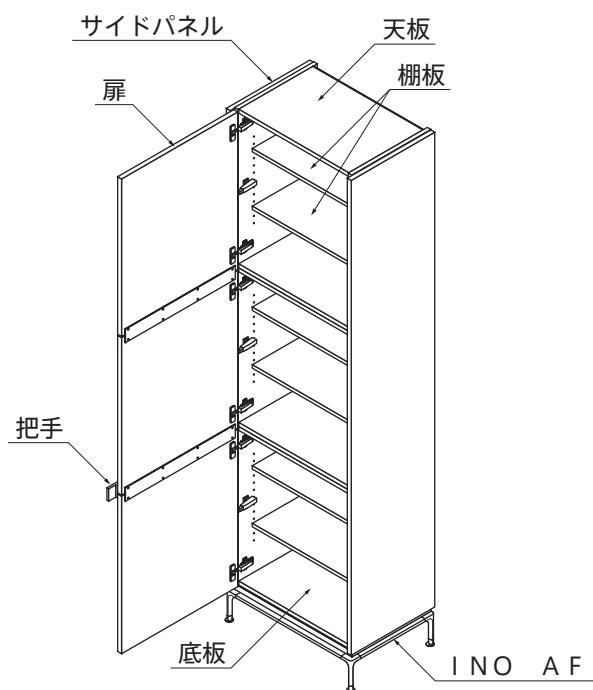


MNT(M)N - 90(120)BH2TN

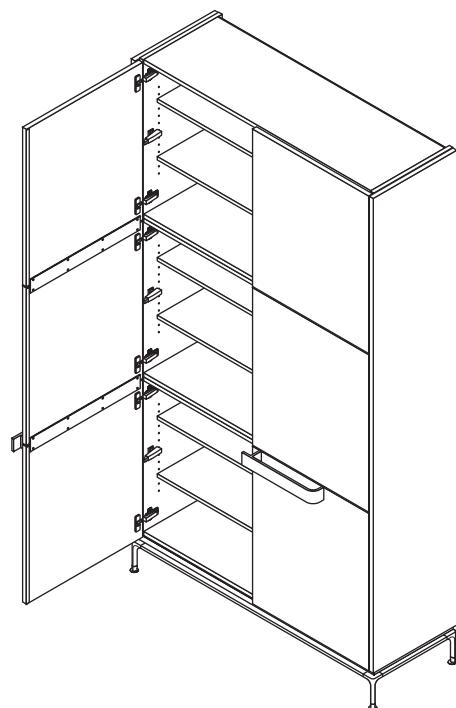


【INO AF Sタイプ/Cタイプの場合】

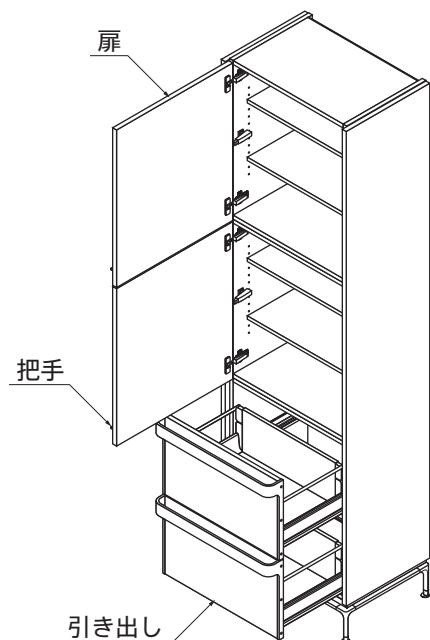
MNTN - 45(60)TNL(R)



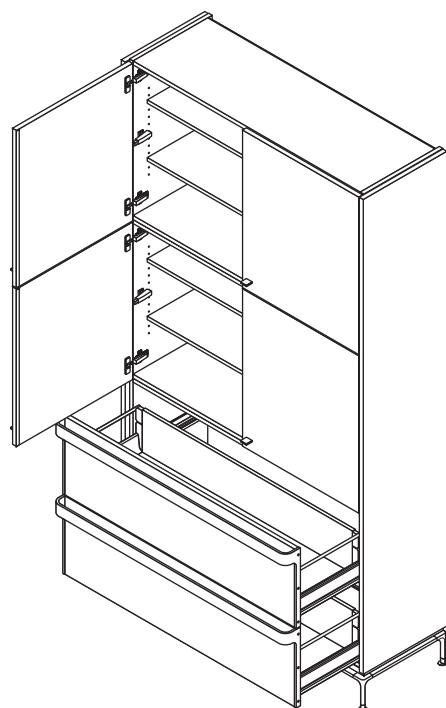
MNTN - 90(120)TN



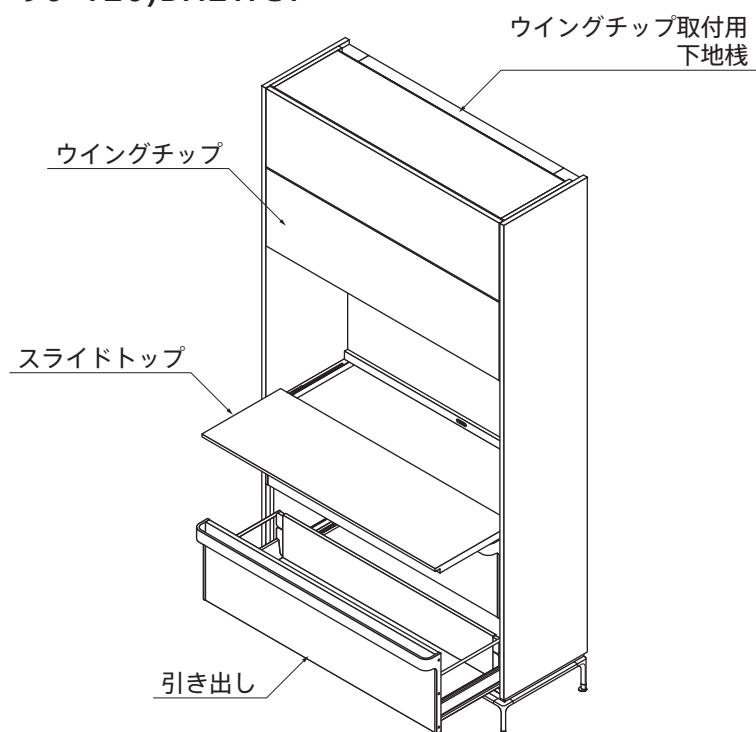
MNT(M)N - 45(60)BH2TNL(R)



MNT(M)N - 90(120)BH2TN

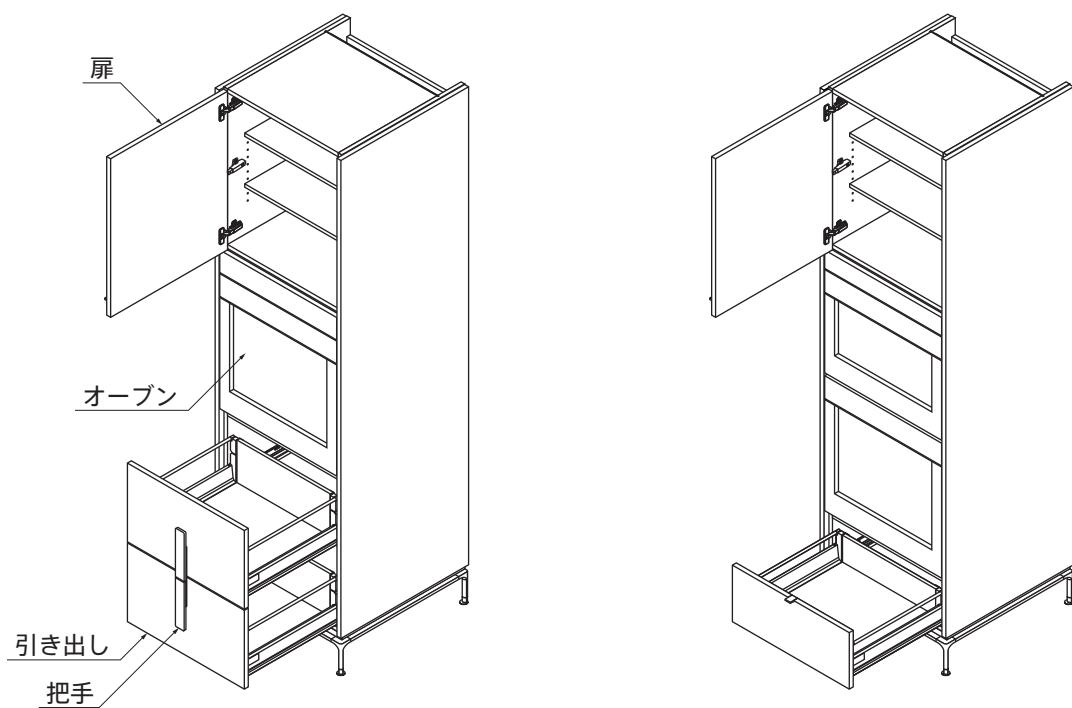


MNTN - 45(60・90・120)BH2WC
MNTN - 45(60・90・120)BH2WCV



MNNM - 60BF2AOR1CTNL(R)
NMMN - 60BF2AOR1ATNL(R)
MNNM - 60BF2BOR1ATNL(R)

MNNM - 60BF1AOR2ATNL(R)



ご使用に際して

■ユニット、扉について

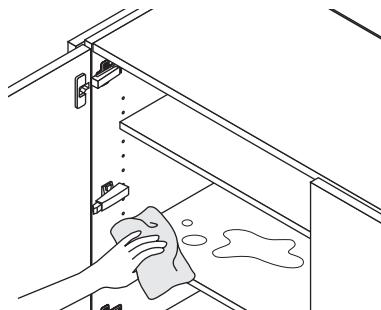
塩素系漂白剤・弱アルカリ性洗剤・ガソリン
・シンナー・アルコール・ミガキ粉・研磨剤
の入った洗剤は使用しないでください。

表面塗装の剥がれ、破損、変質、変色の恐れがあります。



水が付着した場合は、すぐに拭き取り、常に清潔な状態を保ってください。

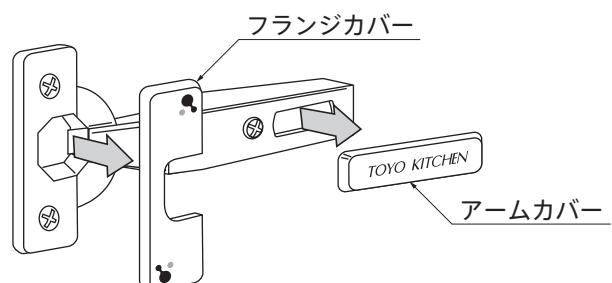
ふくれ、剥がれの原因になります。



■扉について

扉（丁番）の調整

※調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください。



●上下方向の調整

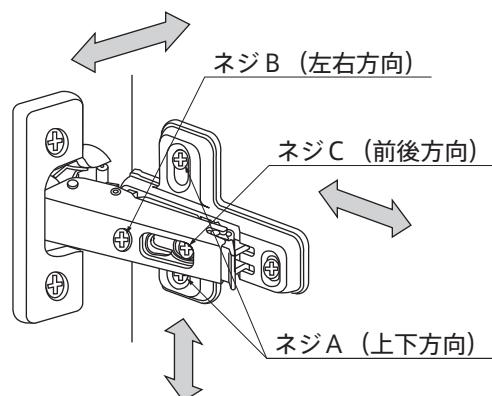
- ・座金のネジAをゆるめ、上下の位置を定めて固定します。

●左右方向の調整

- ・ネジBで調整します。

●前後方向の調整

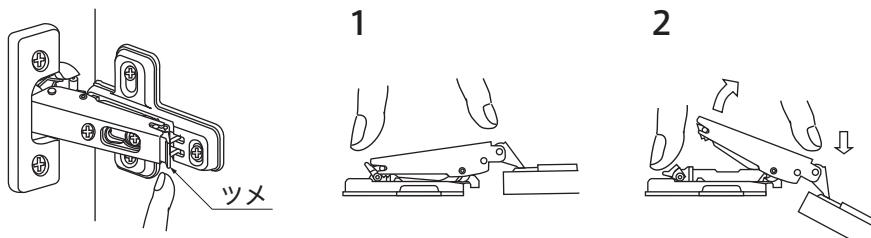
- ・ネジCで調整します。
※基本的に調整しません。



扉（丁番）の取り外し、取付け

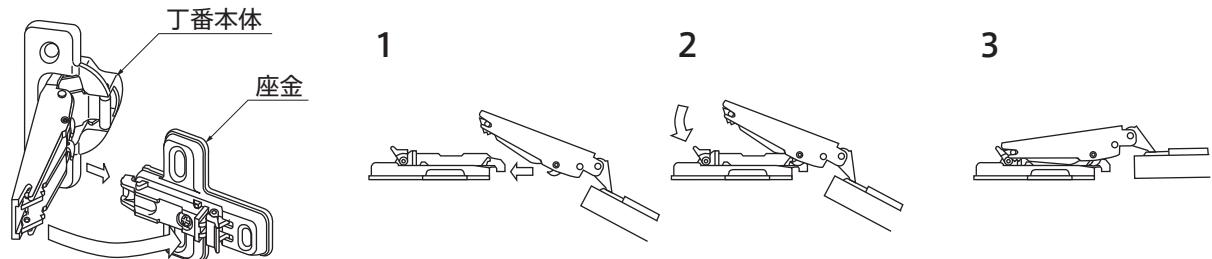
●取り外し

- ・ツメを押して座金から丁番本体を取り外します。



●取付け

- ・丁番本体を座金に取付けます。

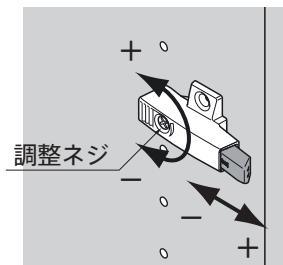


扉用ブルモーションの調整

扉が勢いよく閉まりすぎる場合 . . . +方向へまわす
扉がスムーズに閉まらない場合 . . . -方向へまわす

※調整範囲 -7 ~ +3 mm

※調整範囲以上に調整ネジを回すとシリンダーが詰まって動かなくなる場合があります。
その場合、逆方向へ調整ネジを回すと機能するようになります。



■引き出しについて

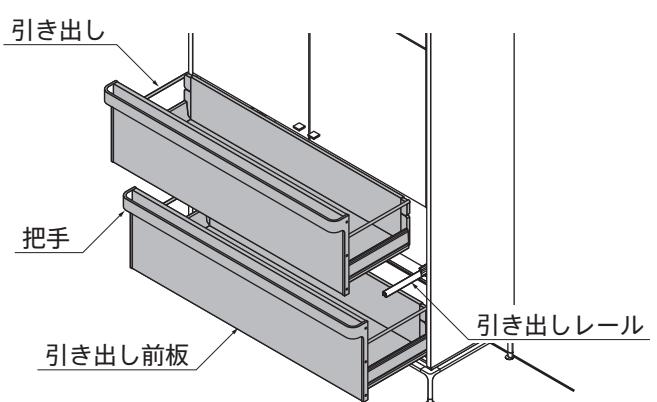
引き出しの取り外し、取付け

●取り外し

- ・引き出しをいっぱいまで引き出します。
 - ・引き出しを持ち上げて取り外します。
- ※把手や引き出し前板を持って取り外さないでください。

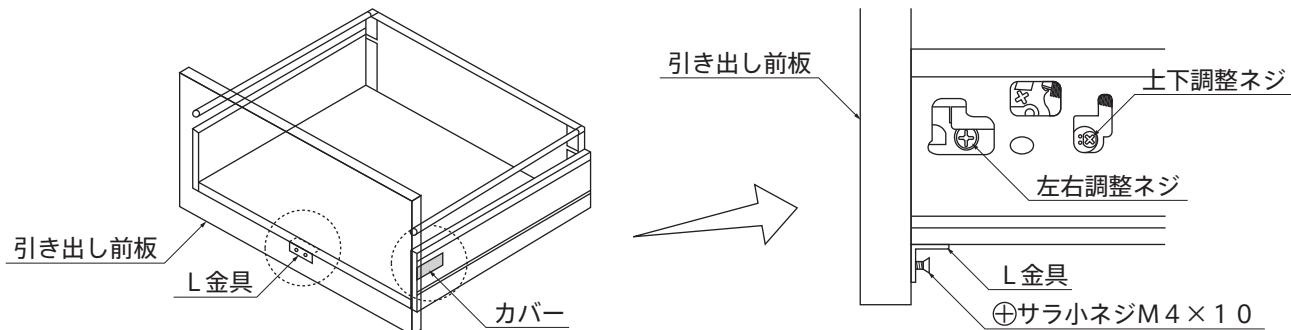
●取付け

- ・引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
- ・引き出しレールの上に引き出しをのせます。
- ・引き出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。



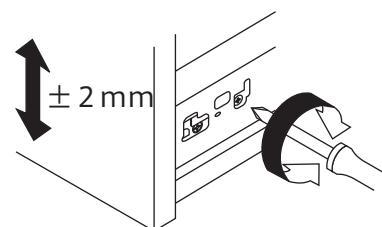
引き出し前板の調整

- ・引き出し側板左右外側についているカバーをマイナスドライバーなどで外してください。
- ・間口900・1200mmの場合、引き出し底板裏面についているL金具の引き出し前板側の取付ネジ（+サラ小ネジM4×10）をゆるめます。
- ・調整が終わりましたら、取付ネジを締めて、カバーを取付けてください。



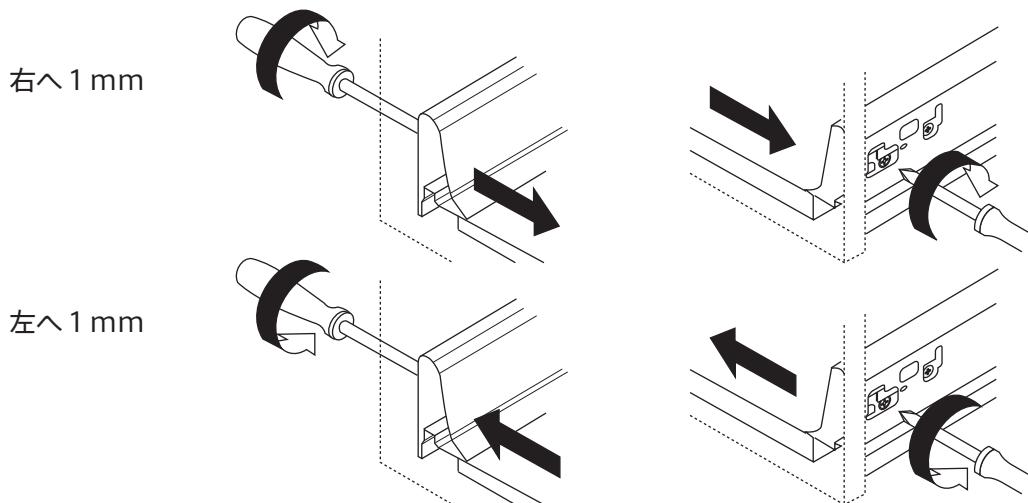
●上下方向の調整

- ・上下調整ネジを+ドライバーで回して、引き出し前板の上下方向を調整します。
±2mm調整できます。



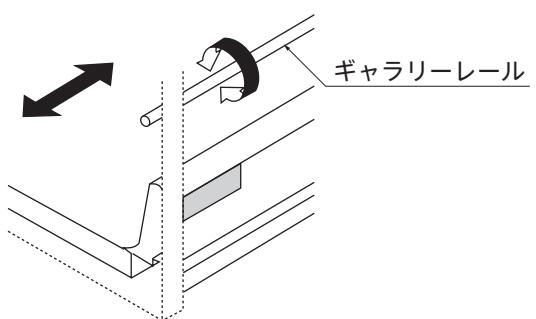
●左右方向の調整

- ・左右調整ネジを+ドライバーで回して、引き出し前板の左右方向を調整します。
±1mm調整できます。



●傾き調整

- ・ギャラリーレールを回して、引き出し前板の傾きを調整します。



クロスギャラリー1段タイプ

- ・クロスギャラリーのネジをゆるめます。 (図1)
 - ・ギャラリーレールにクロスギャラリーを取付けます。 (図2、図3)
 - ・クロスギャラリーのネジを締めます。 (図1)
- ※取り外すときは、逆の手順で行います。

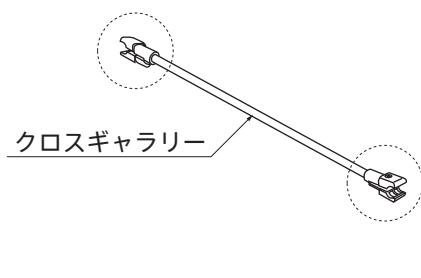


図1

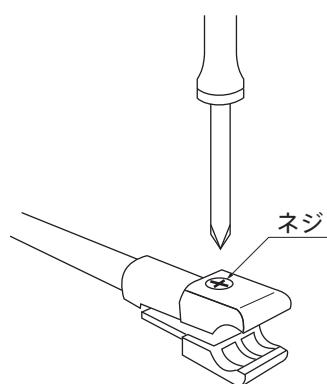


図2

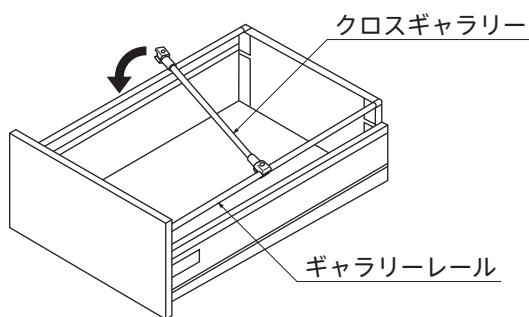
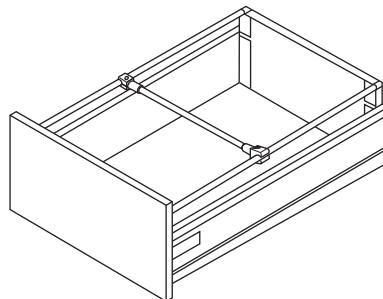
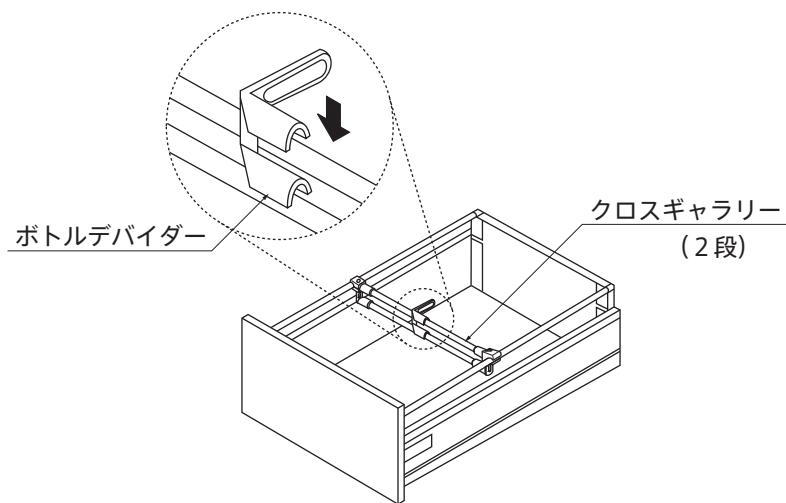


図3



クロスギャラリー2段タイプ

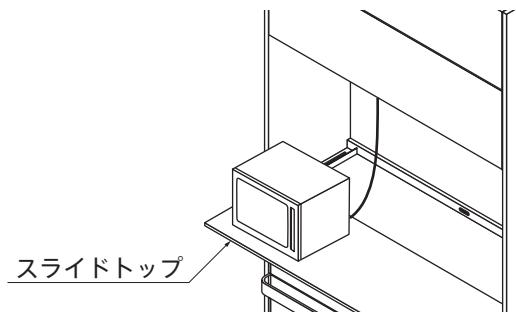
- ・クロスギャラリー2段も上記の取付方法と同じです。
- ・ボトルデバイダーを上から落とし込むようにクロスギャラリー2段にはめ込みます。



■スライドトップについて

家電製品を使用する時は、必ずスライドトップを一杯まで引き出して、安定した状態で使用してください。

家電製品を使用した後で収納庫内に収納する場合は、家電製品が室温レベルに下がるまで待ってから、収納してください。オープンレンジ、炊飯器、電気ポット、オープントースター等の水蒸気や高温の熱がユニット内にこもり、ユニットの変形及び破損の原因になります。また、水蒸気が家電製品のコンセントに付着して、感電や故障の恐れがあります。なお、オープンレンジ等を収納する場合は、壁に接する事がない様に配置してください。過熱、火災の原因になります。



■耐荷重

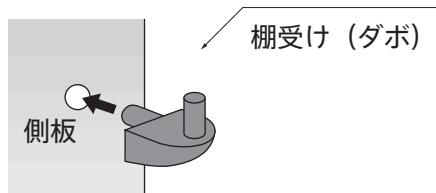
棚板	間口450、間口900タイプの場合	30kg
	間口600、間口1200タイプの場合	15kg
引き出し		15kg
スライドトップ		20kg

※5kg・・・直径20cmのお皿15枚程度を目安にしてください。

※均等に物をのせた場合の耐荷重です。

■棚板の位置変え

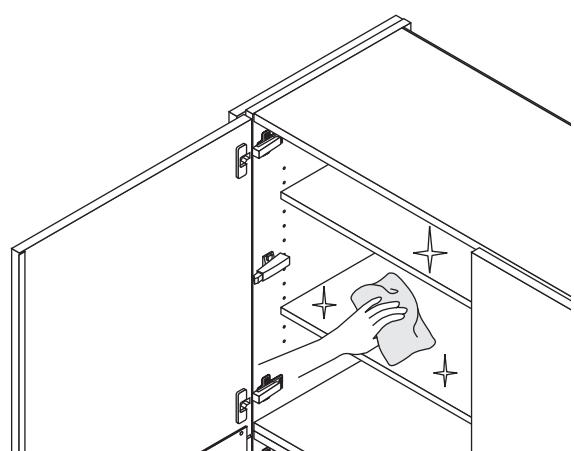
棚板は、お好みの位置に変えられます。
その際は、棚受け（ダボ）の位置も変えてください。



お手入れ方法

通常のお手入れは、柔らかい布を水またはお湯に浸し、よく絞ってから拭いてください。

汚れは、中性洗剤を柔らかい布にしみこませて拭き、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布でから拭きしてください。



ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

■弊社および弊社関係会社（以下「弊社」）は、お客様よりお知らせいただきましたお客様の氏名、住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記の通りお取扱いします。

1. 弊社は、お客様の個人情報を弊社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を弊社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 弊社は、お客様の個人情報を適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

アフターサービスについて

■この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検していただき、異常のあるとき、又はお気づきの点がございましたら、取付・設置店、販売店、又はトヨーキッチンカスタマーサービスにお問い合わせください。

ご連絡していただきたい内容

・ご氏名　・ご住所　・お電話番号　・お買い上げ日　・異常の内容　・品番

■製品の保証期間はお買い上げ後、取扱説明書に従って正常な使用状態において1年間です。

ホルムアルデヒド発散区分

ホルムアルデヒド発散区分

内装仕上げ部分および下地部分とも

F☆☆☆☆

表示ルール

「住宅部品表示ガイドライン」キッチンバス工業会 表示指針による

VOC放散性能

VOC放散性能 4 VOC基準適合（木質建材）

表示ルール 「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4 VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

取付・設置説明書

安全上のご注意

必ずお守りください

取付・設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく行ってください。

■表示内容を無視して誤った取付・設置をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠ 警告

トール収納の取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。

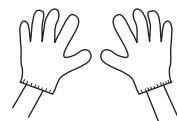


落下して、ケガをする恐れがあります。

金属製の製品を取扱うときは、必ず保護手袋をしてください。



手袋着用



鋼板の切り口や角で手を切る恐れがあります。

電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災・感電の原因になることがあります。

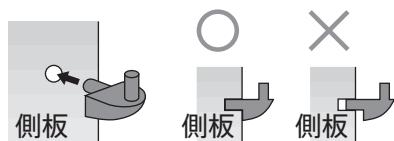
⚠ 注意

トール収納は、必ず壁面に固定してください。



転倒して、ケガをする恐れがあります。

棚板を設置するときは、棚受け（ダボ）をすき間の無いよう根元まで確実に差し込んでください。



棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

ユニットは脚を軸にして起こしたり、引きずらないでください。



床を傷つけたり、ユニットが破損する恐れがあります。

取付・設置完了後は、扉のガタつきが無いことを確認してください。



扉が外れて、ケガをする恐れがあります。

取付・設置前の確認

■注文した製品が納入されているか確認してください。

■壁面の取付位置に取付桿があることを確認してください。

■壁の直角、垂直、床の水平レベルを確認してください。

■ウイングチップ+家電引き出しタイプの場合、指定位置に電源（交流・単相100V 1200W）が壁出ししてあるか確認してください。

■1段オープンタイプ、2段オープンタイプの場合、製品寸法図の位置に各機器の電気配線が施工されているか確認してください。

■下記の天井高さがあることを確認してください。

- | | | |
|------------|--------------|---|
| ・開き扉タイプ | ・開き扉+引き出しタイプ | ・ウイングチップ+家電引き出しタイプ |
| ・1段オープンタイプ | ・2段オープンタイプ | ・トール収納の隣にウイングチップ（ウイングチップ取付用下地桿を含む）を取付ける場合 |

◎A F仕様【H=100】の場合2250mm以上

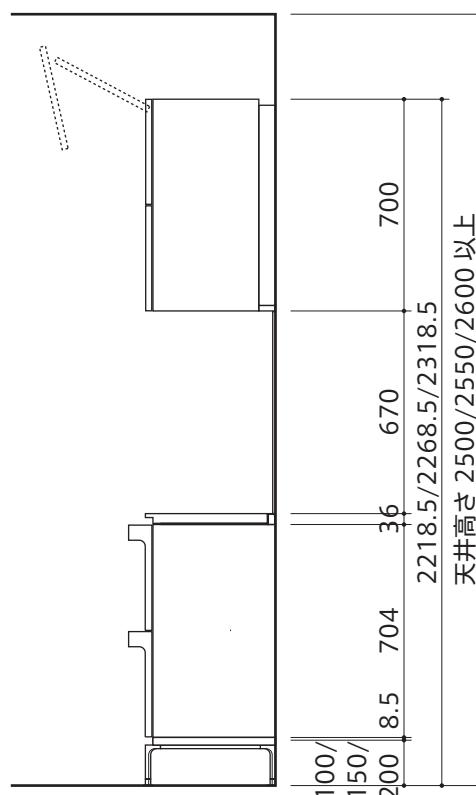
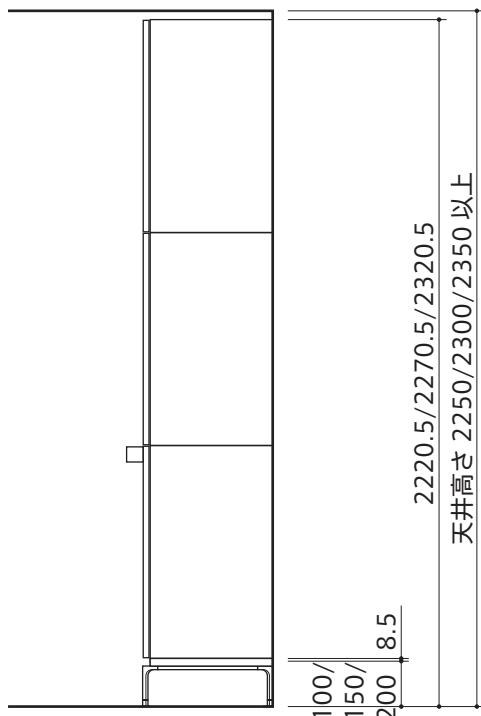
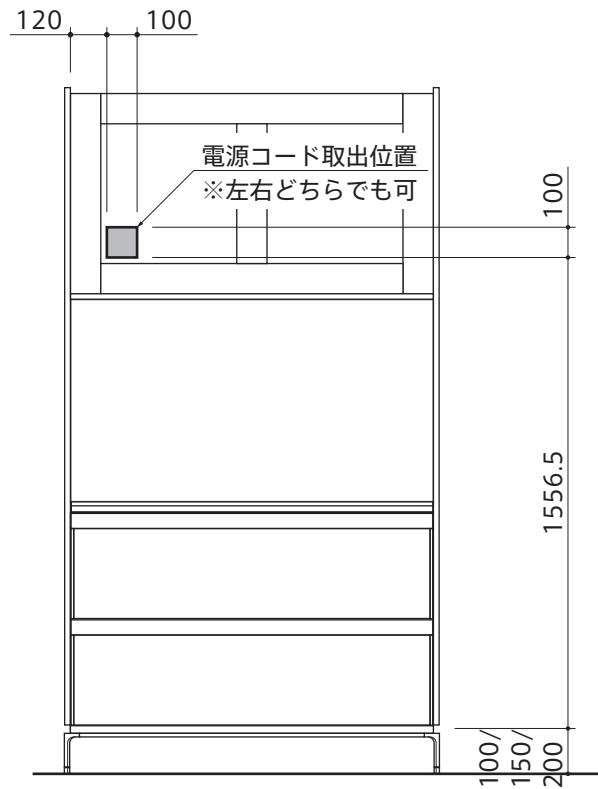
◎A F仕様【H=150】の場合2300mm以上

◎A F仕様【H=200】の場合2350mm以上

◎A F仕様【H=100】の場合2500mm以上

◎A F仕様【H=150】の場合2550mm以上

◎A F仕様【H=200】の場合2600mm以上



取付・設置上のご注意

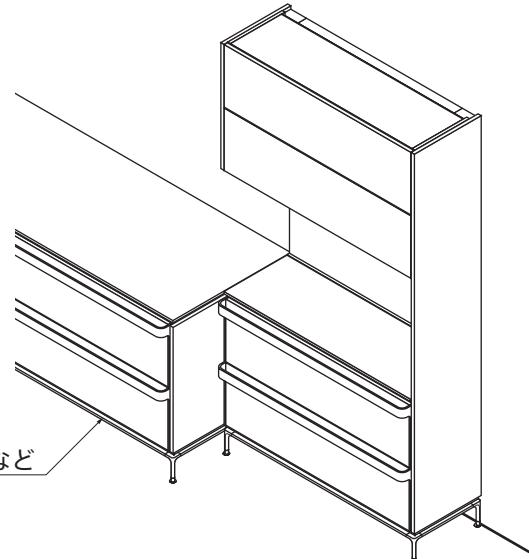
■開き扉タイプ、開き扉+引き出しタイプ共通

開き扉タイプトール収納、開き扉+引き出しタイプトール収納の隣にトール収納の奥行（430mmまたは650mm）を超えるもの（ユニットや家具など）を設置する場合、隣接するもの（ユニットや家具など）と反対側に扉が開くレイアウトにしてください。

※トール収納の奥行（430mmまたは650mm）以下のものを設置する場合、扉の開き方向は関係ありません。

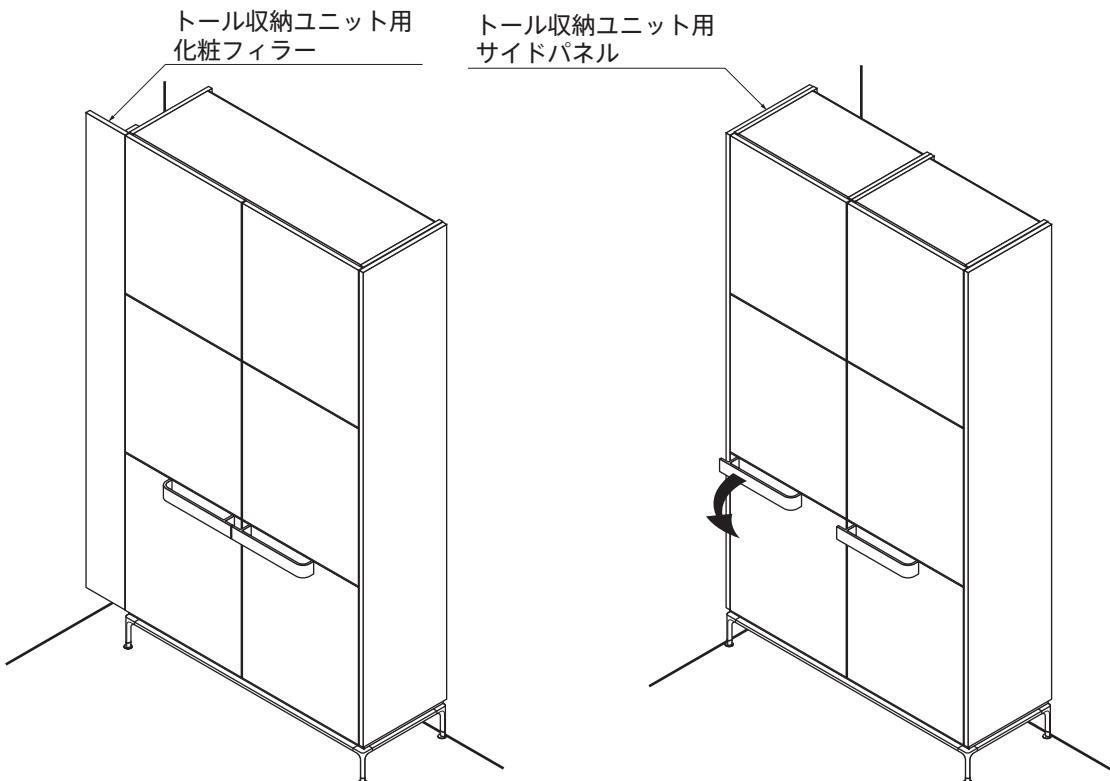
※開き扉+引き出しタイプトール収納の隣にA F仕様【H=100】の場合高さ850mm、A F仕様【H=150】の場合高さ900mm、A F仕様【H=200】の場合高さ950mm以下のものを設置する場合、扉の開き方向は関係ありません。

※間口900、1200mmの開き扉タイプトール収納、開き扉+引き出しタイプトール収納の隣に設置する場合、トール収納の奥行（430mmまたは650mm）以下のもにしてください。



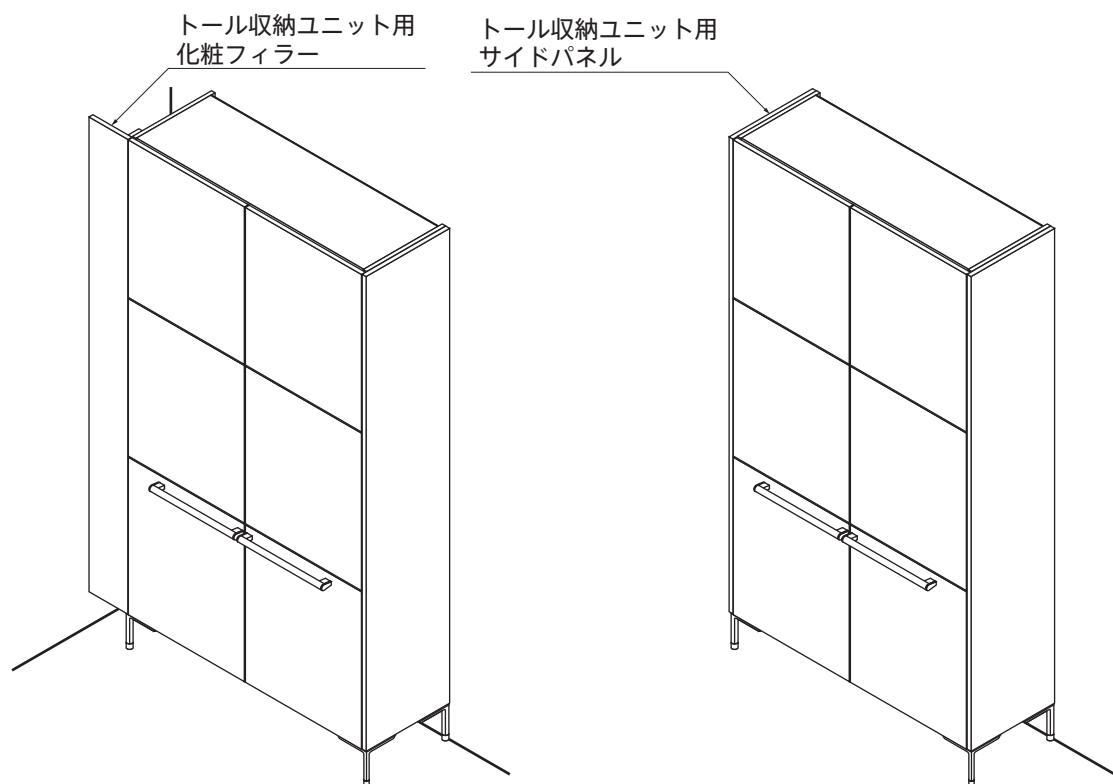
壁に隣接する場合

- ・化粧フィラーを取付けてください。
- ・サイドパネルを取付け、壁側と反対側に扉が開くレイアウトにしてください。



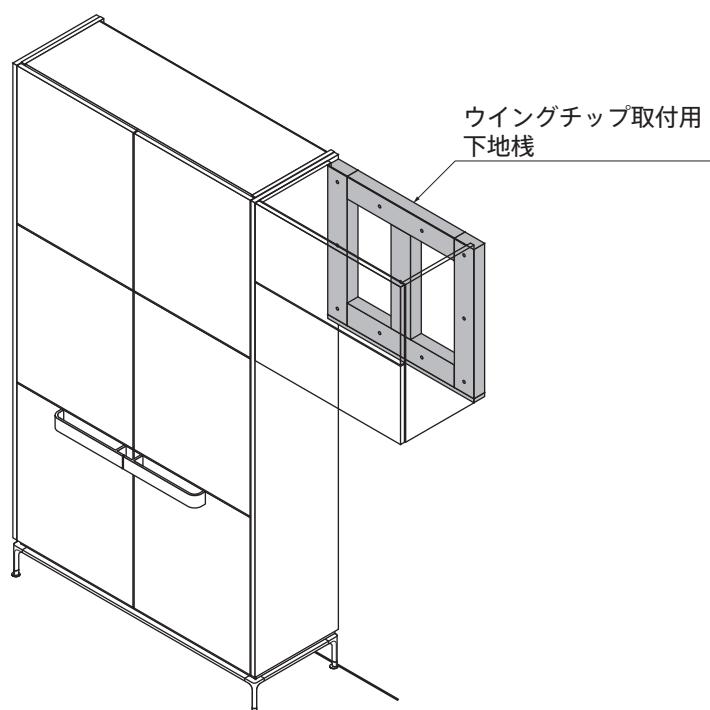
CORE 開き扉タイプの場合

- トール収納全体の両サイドには必ず化粧フィラーまたはサイドパネルを取付けてください。



■全タイプ共通

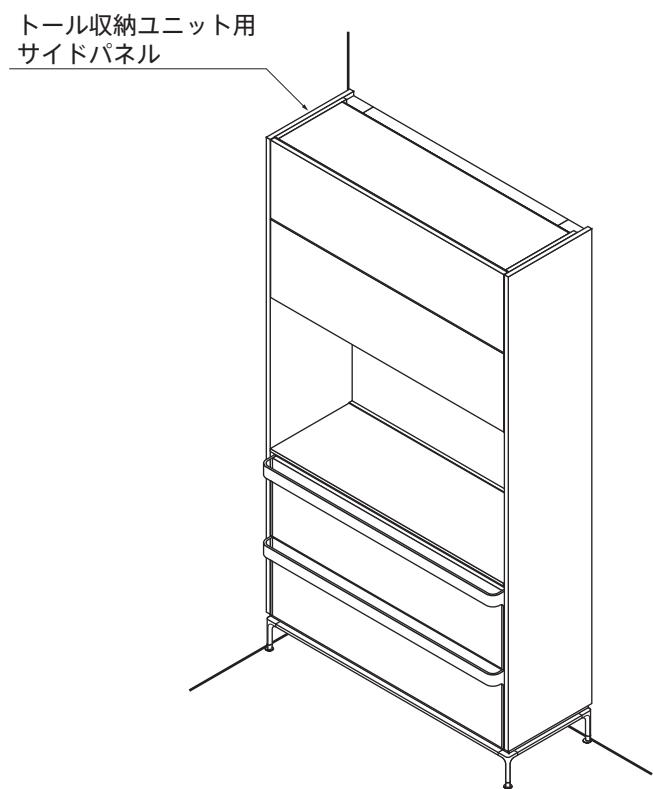
トール収納の隣にウイングチップを取り付ける場合、ウイングチップ取付用下地棟を取付けてください。



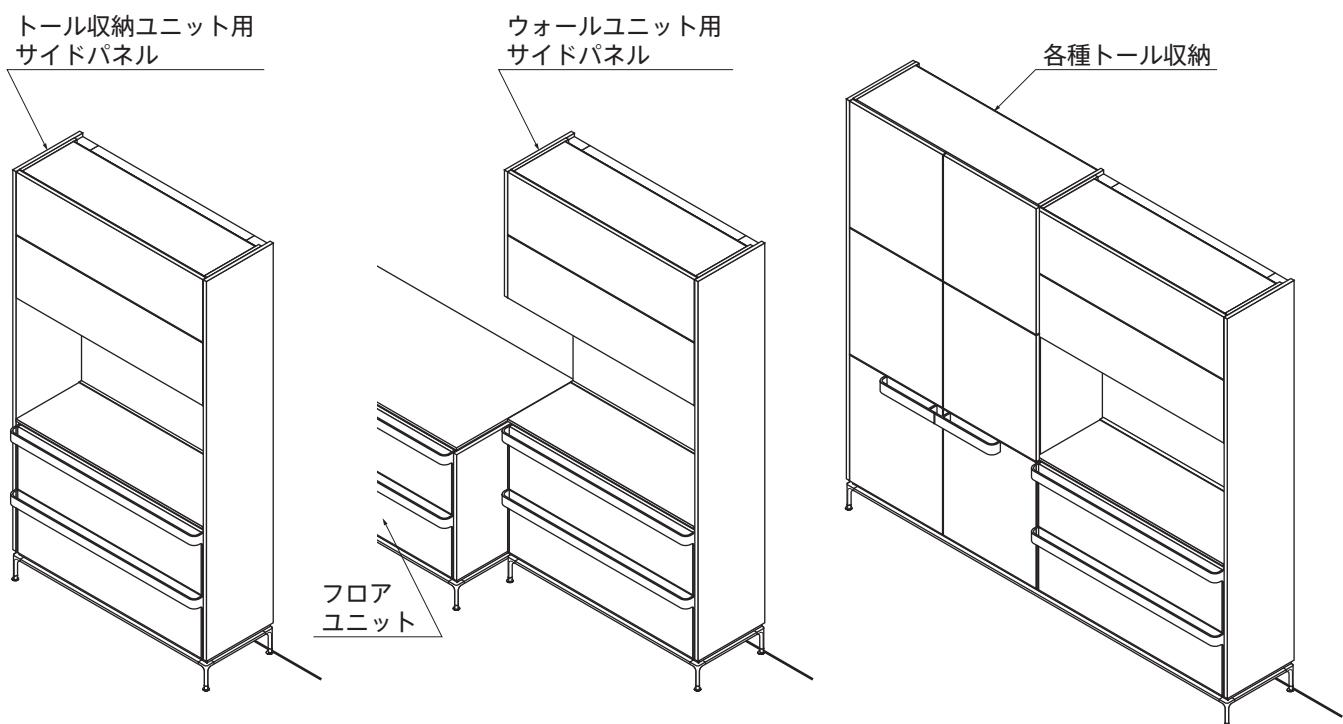
■ ウイングチップ+家電引き出しタイプ

壁に隣接する場合

- ・サイドパネルを取付けてください。

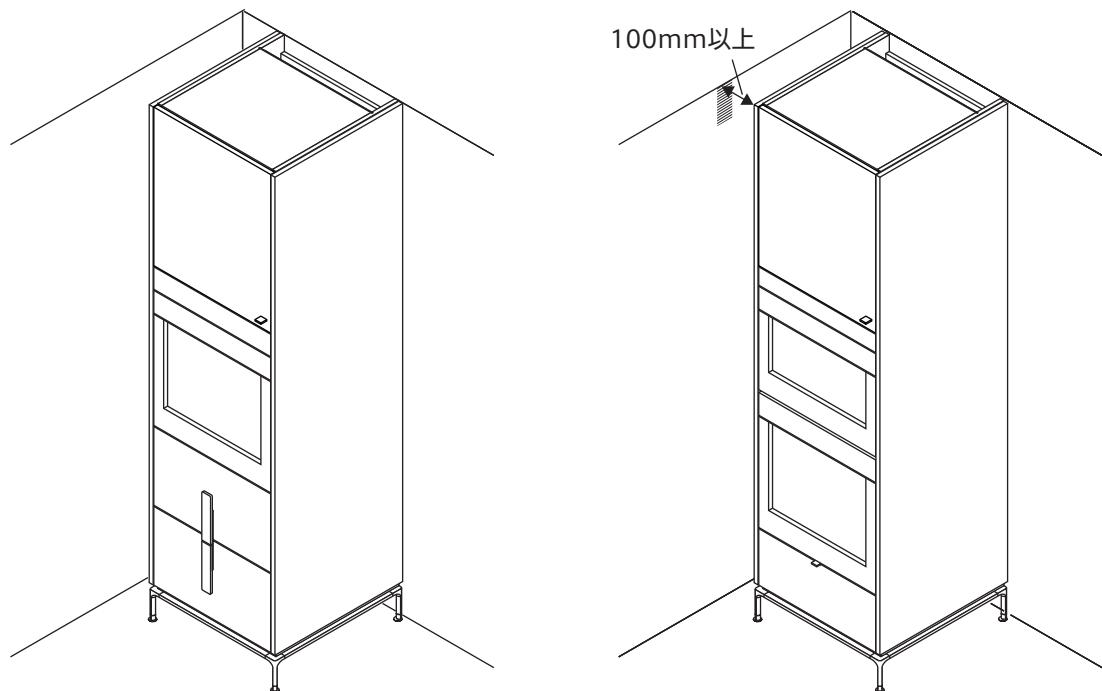


- ・ウイングチップ+家電引き出しタイプトール収納の隣には、サイドパネルまたはウォールユニット用サイドパネル+フロアユニットまたは各種トール収納を取付けてください。



■ 1段オープンタイプ、2段オープンタイプ（ガゲナウ社製オープンの場合のみ）

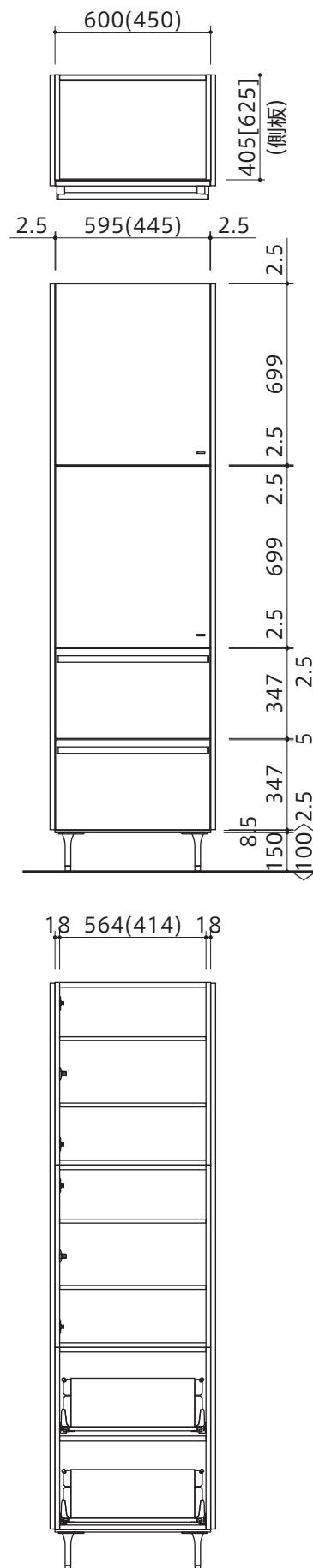
- ・オープン内部のトレイを引き出すため、ドアは必ず90°以上開くように設置してください。
- ・オープンドアのヒンジ側に壁が隣接する場合、離隔距離を100mm以上取ってください。
詳細は、ガゲナウ社の取説工説を参照ください。
https://www.ntec.tv/dl_pdf/c/onens/bo440_441_412_c.pdf
- ・オープンドアのヒンジ側の扉の高さ範囲に把手が隣接しないように設置してください。
- ・オープンドアのヒンジ側にカウンタートップが隣接しないように設置してください。
- ・1段オープンタイプトール収納、2段オープンタイプトール収納の隣に家具や電化製品を設置する場合、奥行き625mm以下のものにしてください。
- ・上部幕板を別途で用意する場合、ミーレオープンについては背面排気のため上部幕板で塞がず、ガラリ等で排気口を設けてください。



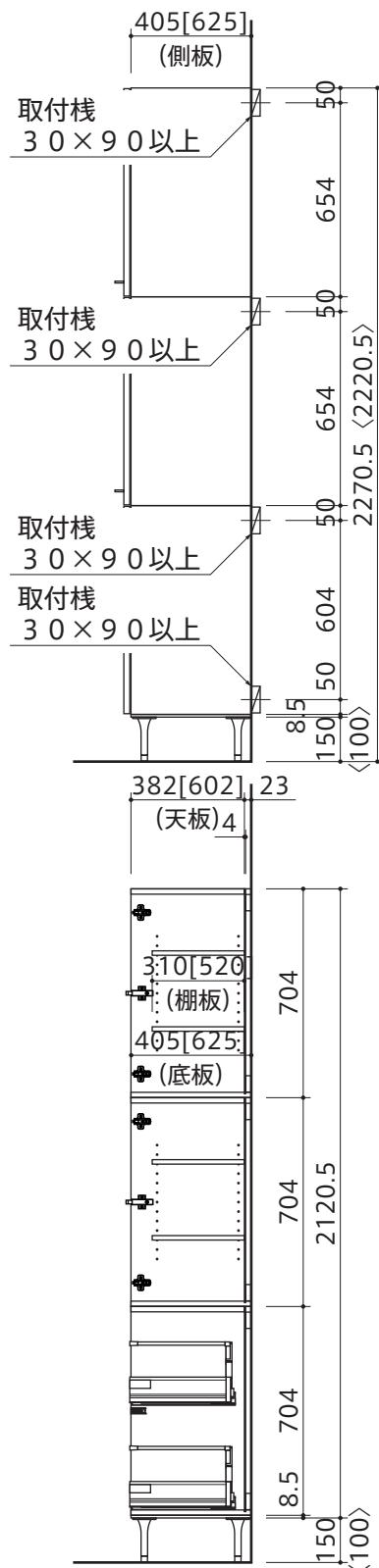
製品寸法図

[i k i t c h e n C U B Eの場合]

- MNT[M]1DT - 60(45)BH2TNR(L)
- MNT[M]5DT - 60(45)BH2TNR(L)



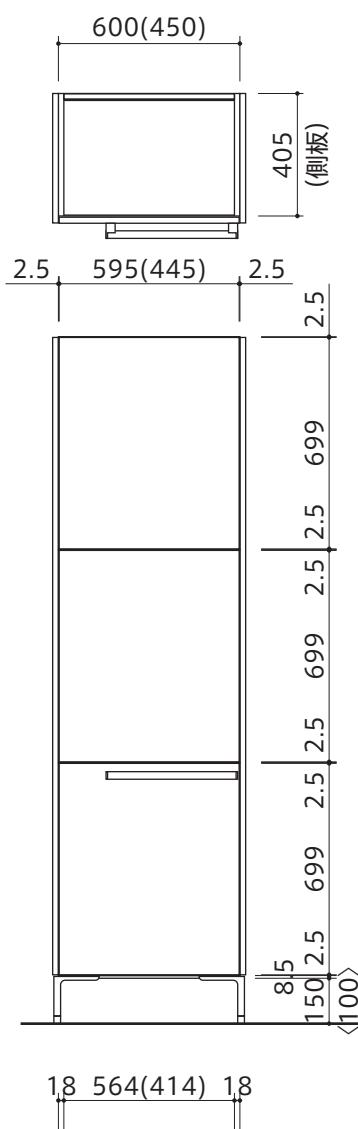
※ < ⟩ 内寸法は、A F仕様 [H = 100] の場合を示す。
※ [] 内寸法は、奥行 625 mm の場合を示す。
※ イラストは、Lタイプの場合を示す。



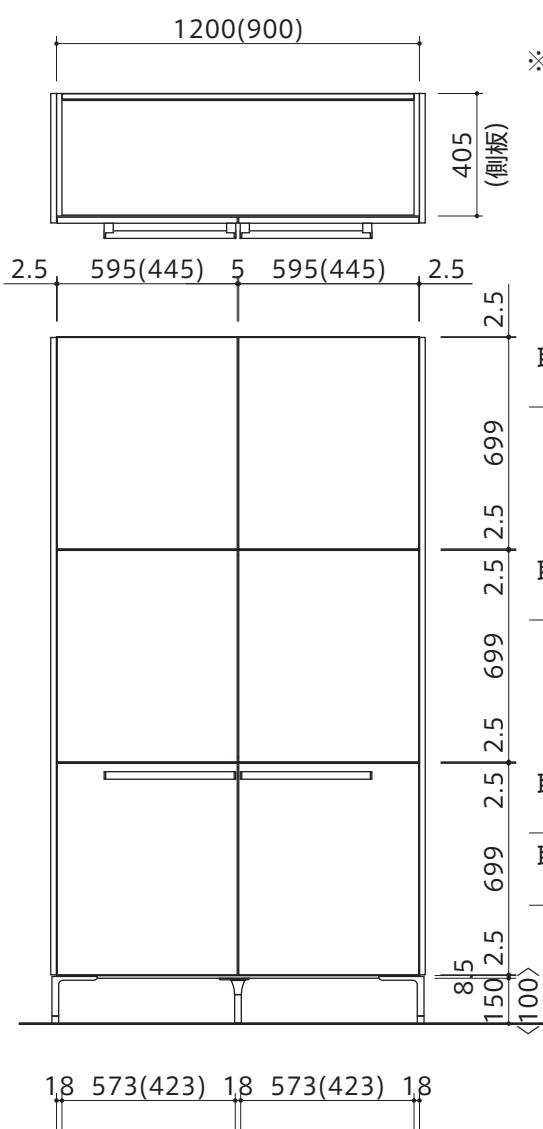
製品寸法図

【C O R E の場合】

■MNTN - 60(45)TNL(R)

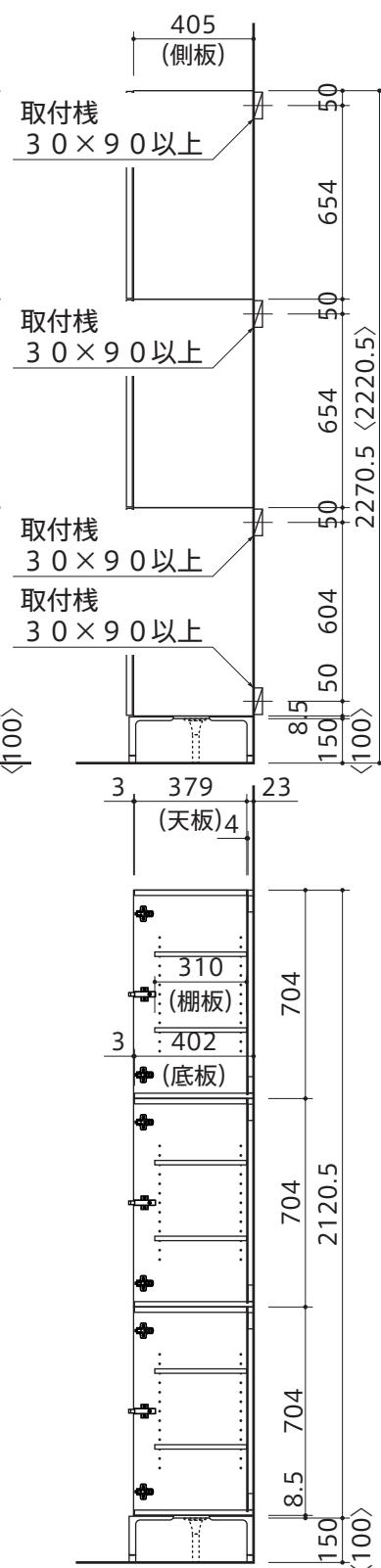


■MNTN - 120(90)TN

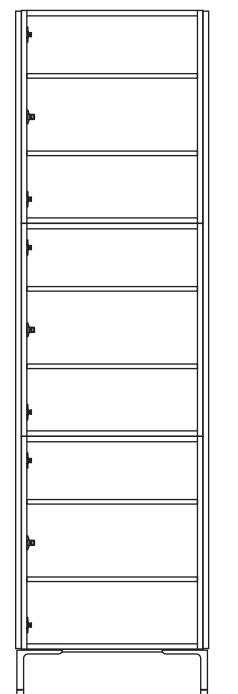


※〈 〉内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

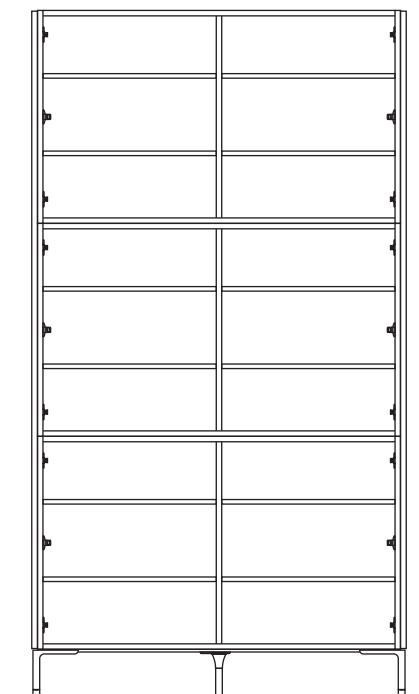
※間口450、600mmは、Lタイプの場合を示す。



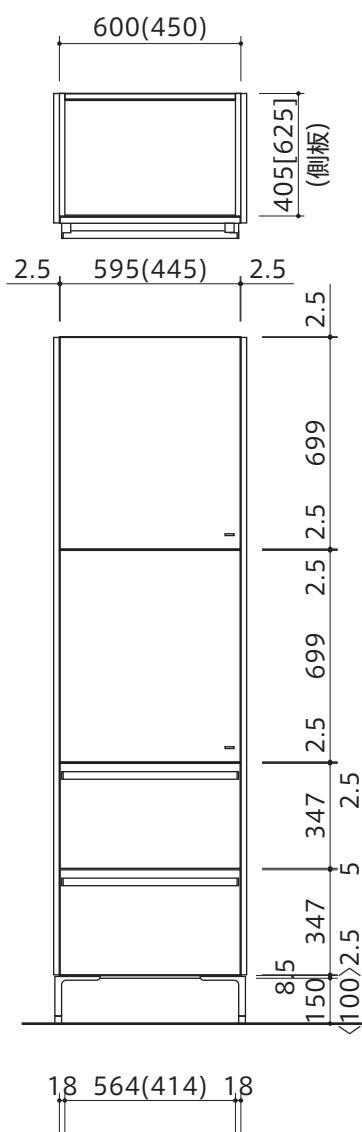
18 564(414) 18



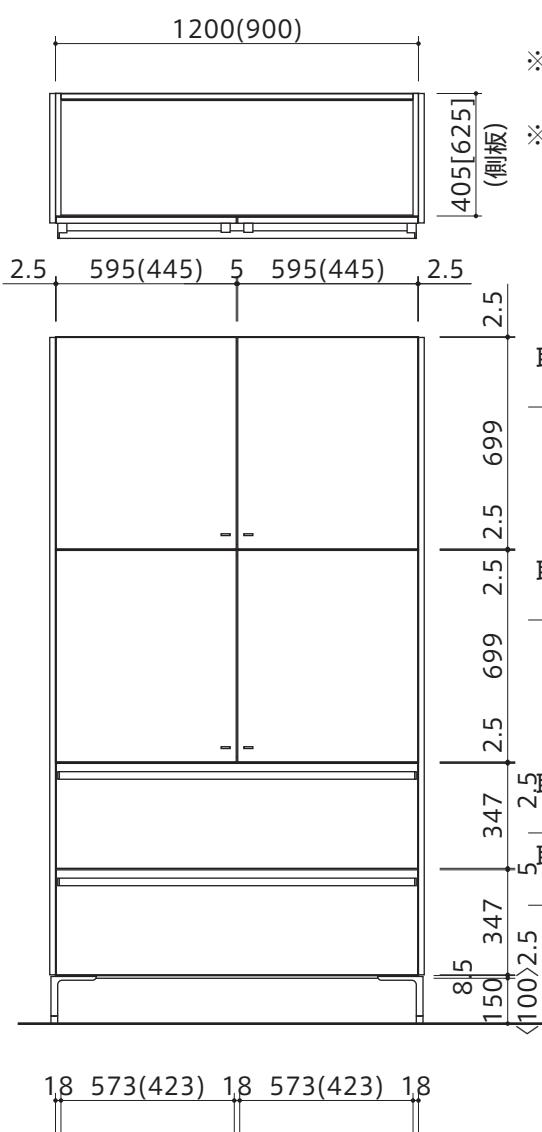
18 573(423) 18 573(423) 18



■MNT[M]N -
60(45)BH2TNL(R)



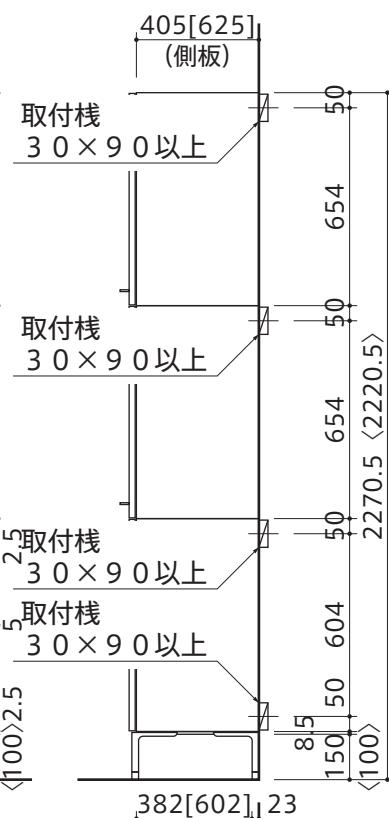
■MNT[M]N - 120(90)BH2TN



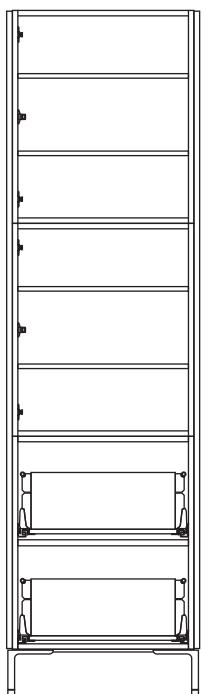
※〈 〉内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

※〔 〕内寸法は、奥行625mmの場合を示す。

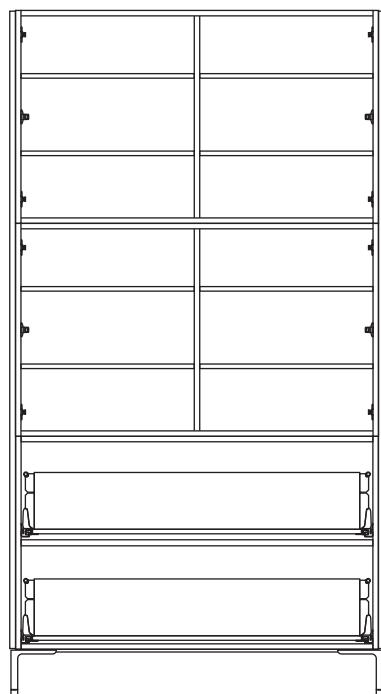
※間口450、600mmは、Lタイプの場合を示す。



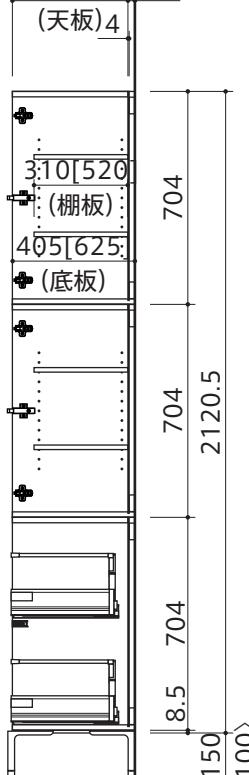
18 564(414) 18



18 573(423) 18 573(423) 18

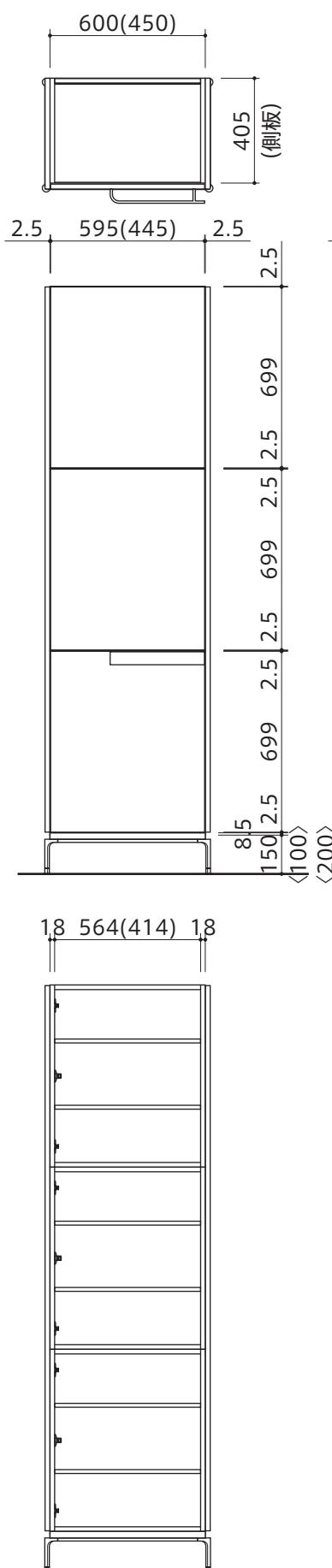


382[602] 23

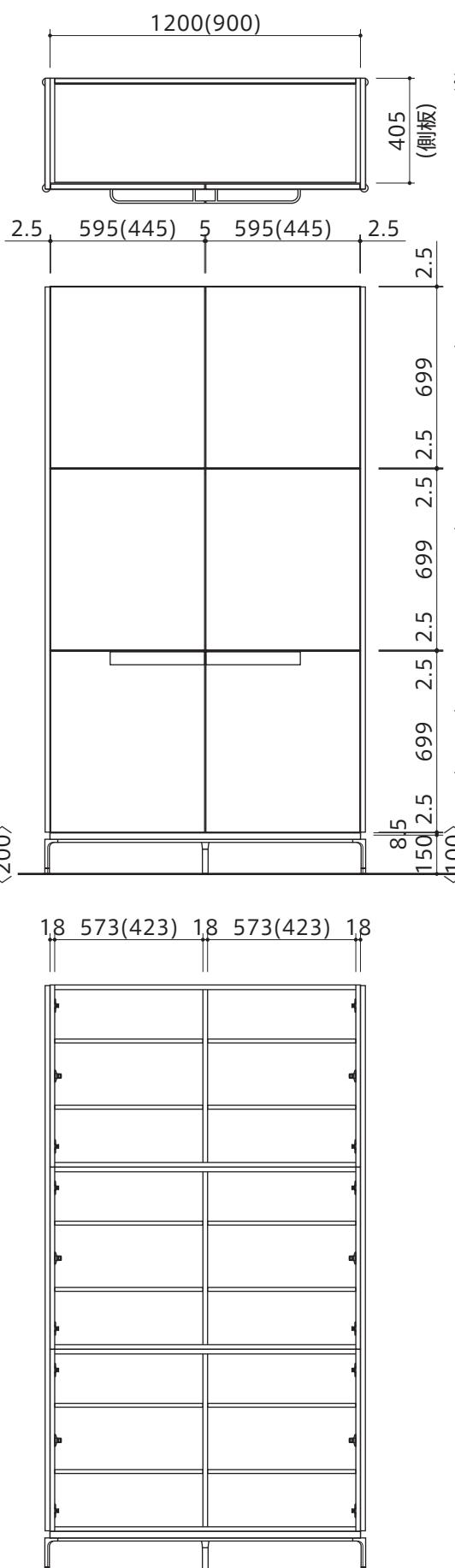


製品寸法図【INO AF Sタイプ/Cタイプの場合】

■MNTN - 60(45)TNL(R)

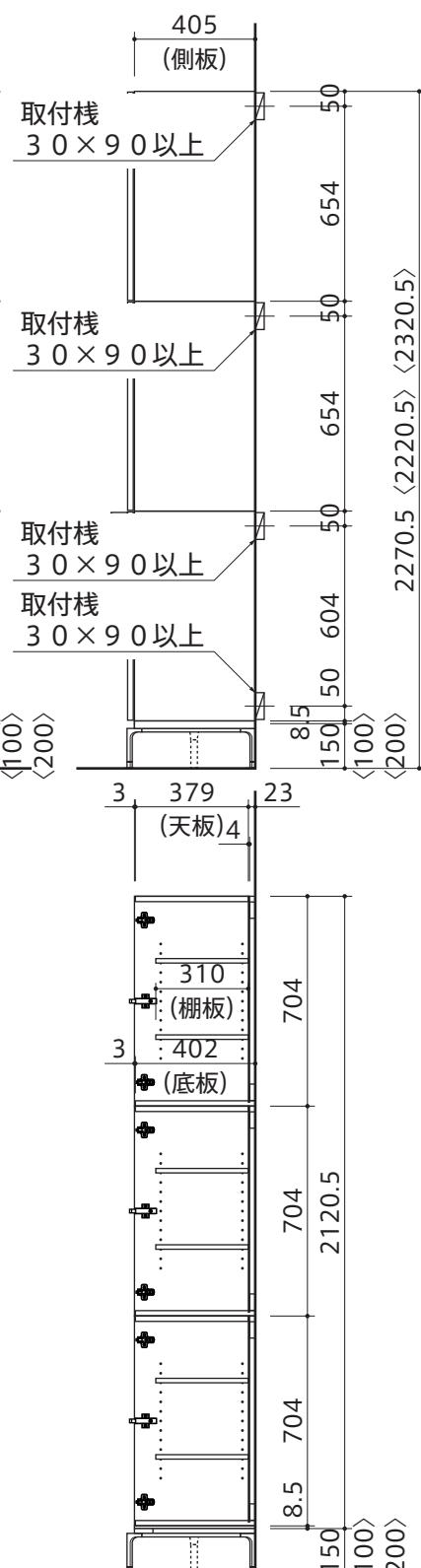


■MNTN - 120(90)TN

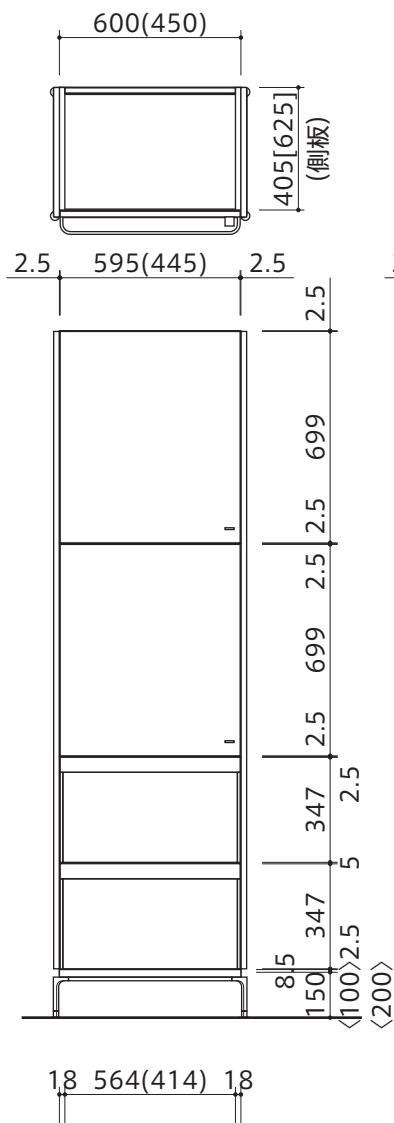


※〈〉内寸法は、AF仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

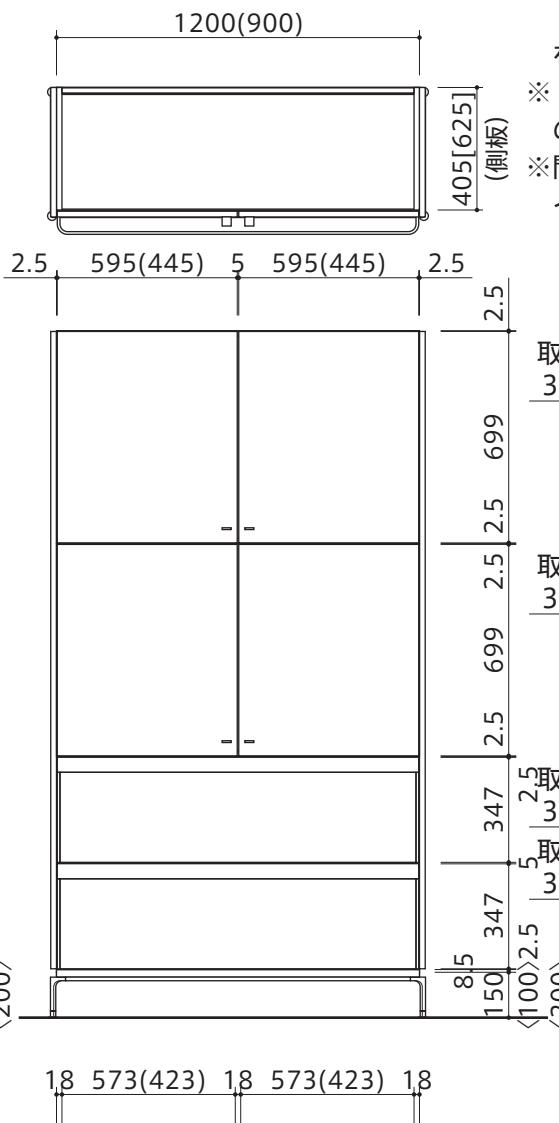
※間口450、600mmは、Lタイプの場合を示す。



■ MNT[M]N -
60(45)BH2TNL(R)



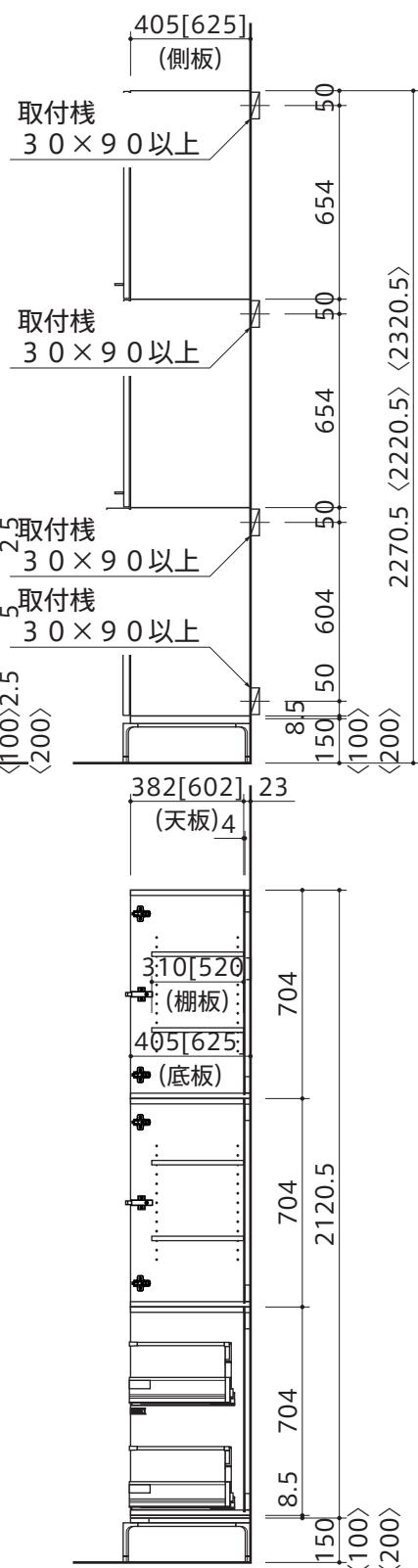
■ MNT[M]N - 120(90)BH2TN



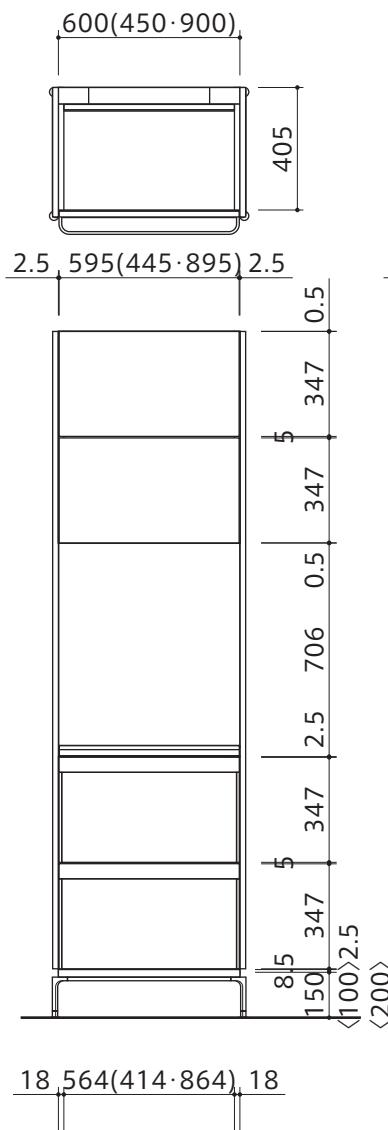
※〈〉内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

※ [] 内寸法は、奥行625mmの場合を示す。

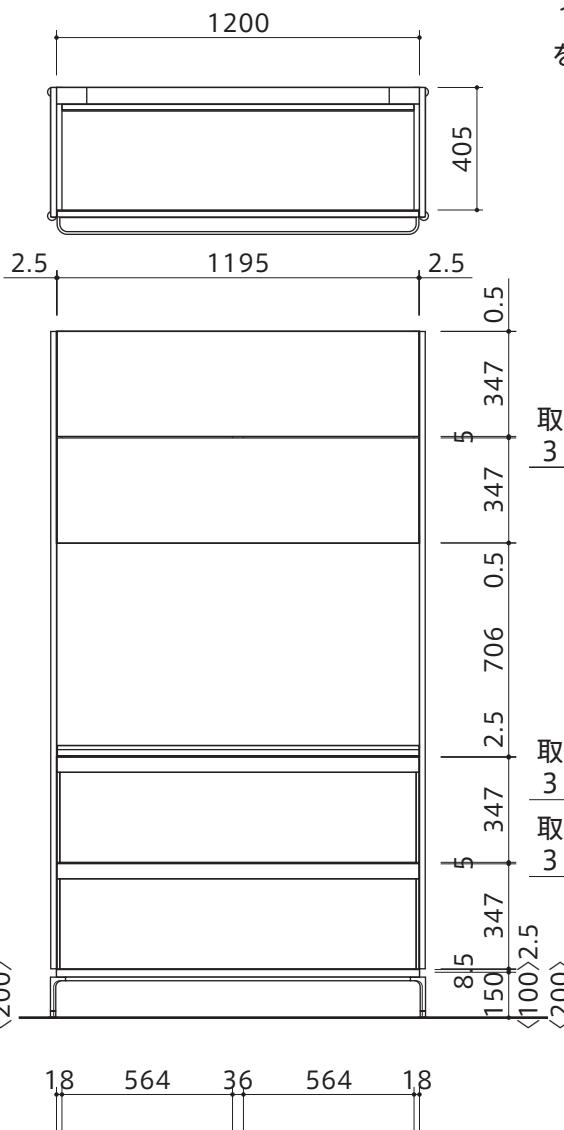
※間口450、600mmは、Lタイプの場合を示す。



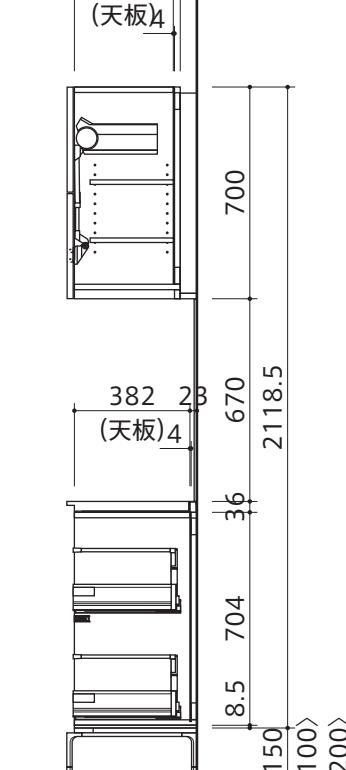
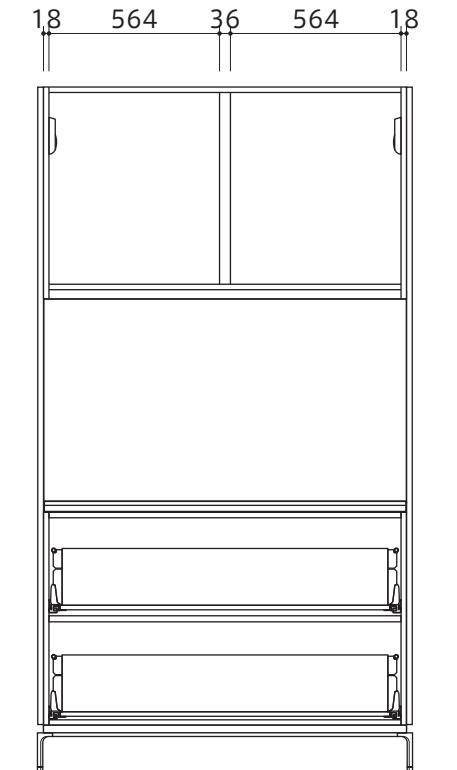
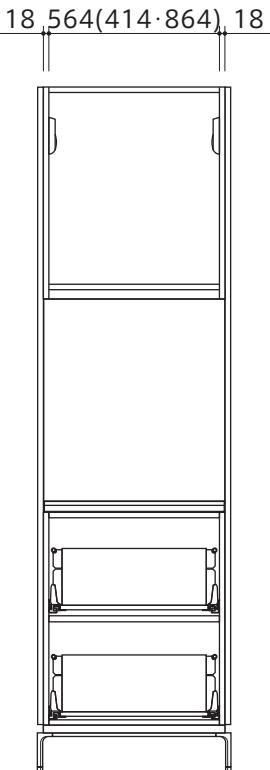
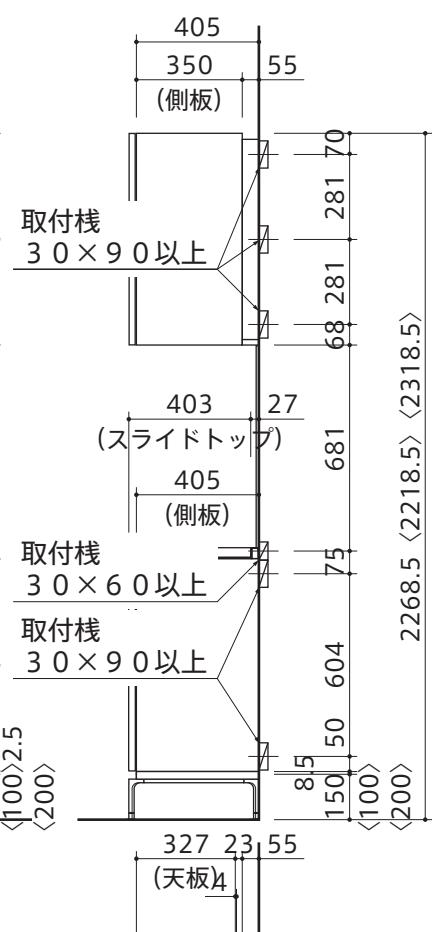
■ MNTN - 60(45·90)BH2WC
■ MNTN - 60(45·90)BH2WCV



■ MNTN - 120BH2WC
■ MNTN - 120BH2WCV

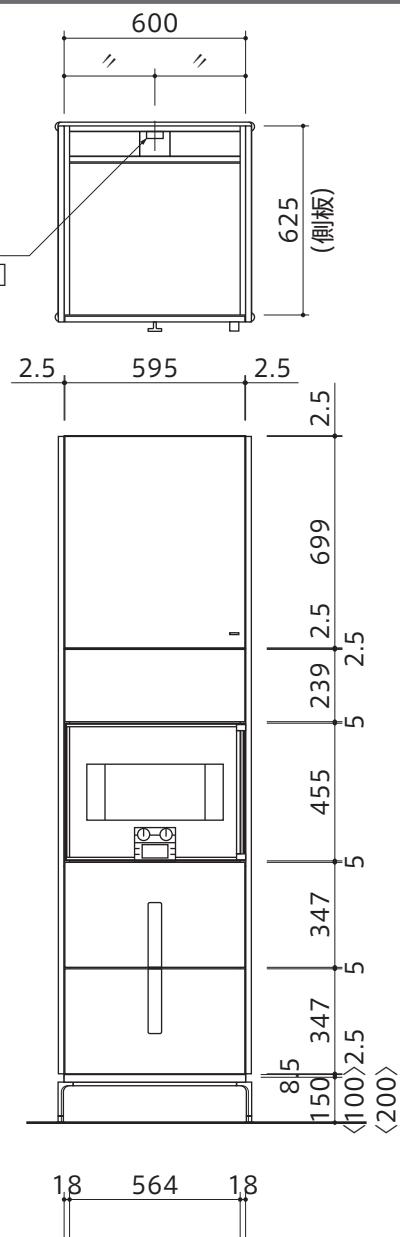


※〈〉内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

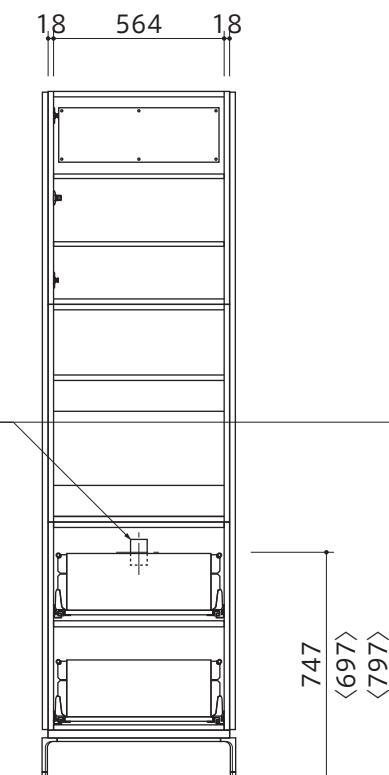


■ MNMN - 60BF2AOR1CTNL(R)

アースターミナル付接地コンセント
単相250V 15A/20A (設備工事)
推奨:パナソニック WKS294 [露出]

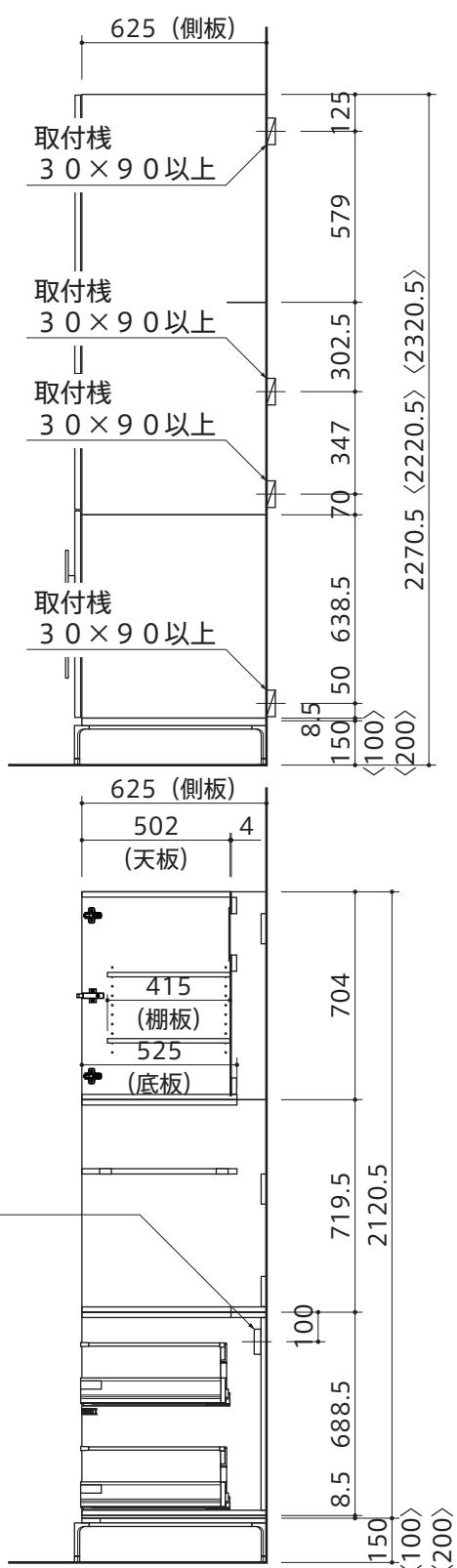


アースターミナル付接地コンセント
単相250V 15A/20A (設備工事)
推奨:パナソニック WKS294 「露出型」



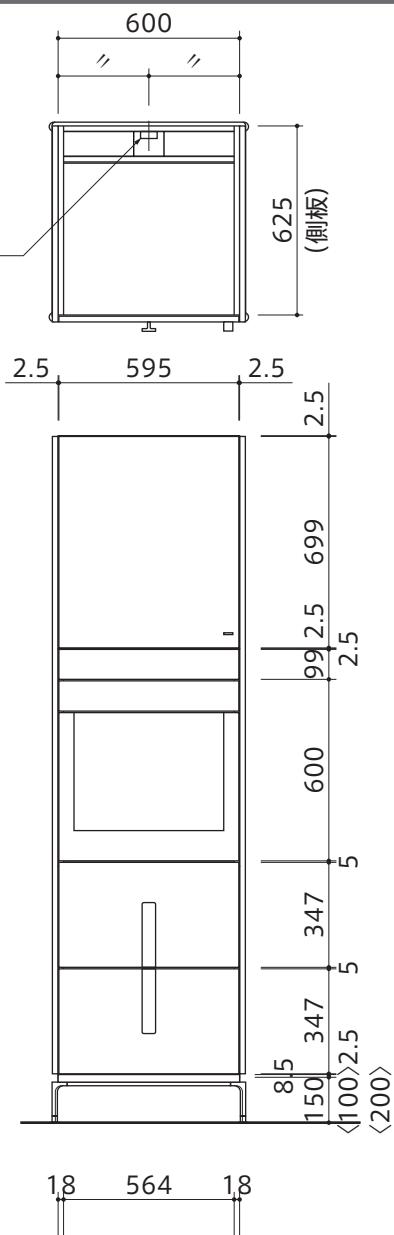
※〈 〉内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

※ Lタイプの場合を示す。

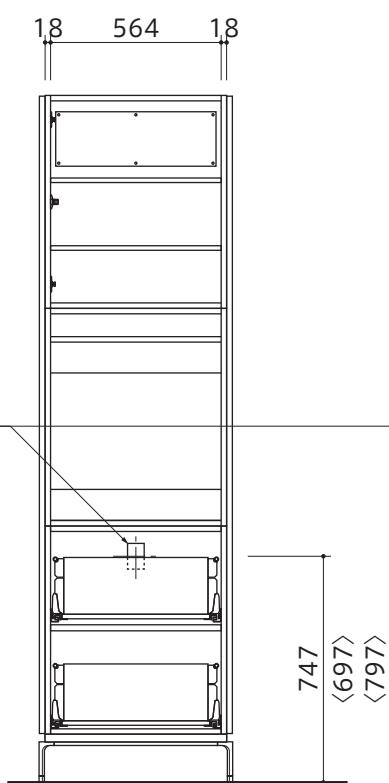


■MNMN - 60BF2AOR1ATNL(R)
■MNMN - 60BF2BOR1ATNL(R)

アースターミナル付接地コンセント
単相250V 15A/20A (設備工事)
推奨:パナソニック WKS294 [露出型]

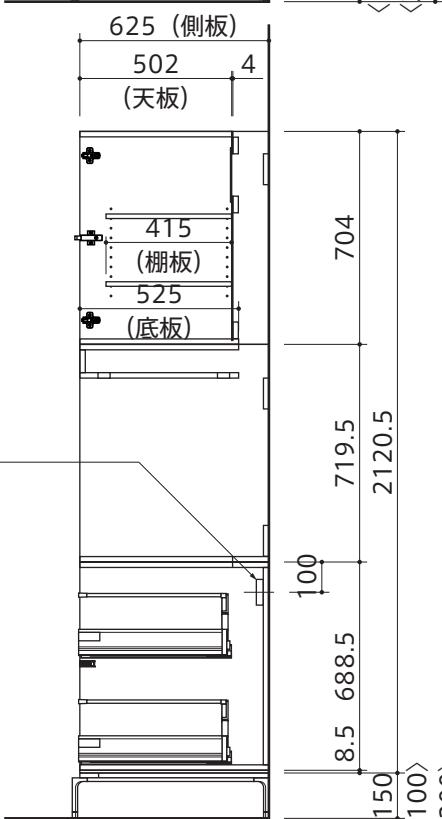
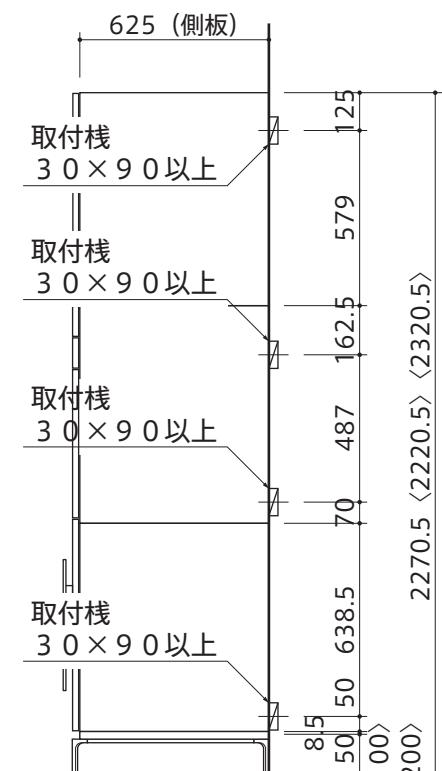


アースターミナル付接地コンセント
単相250V 15A/20A (設備工事)
推奨:パナソニック WKS294 [露出型]



※〈〉内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

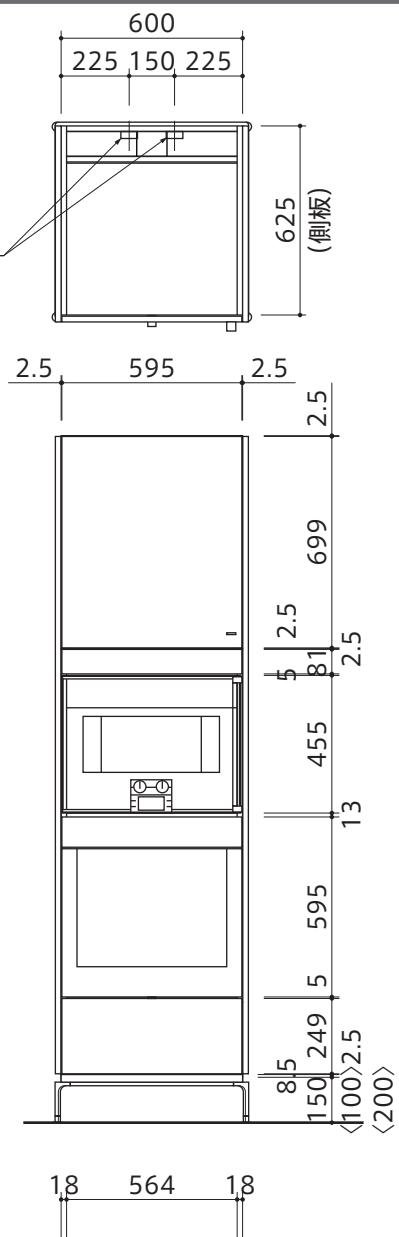
※Lタイプの場合を示す。



■ MNMN - 60BF1AOR2ATNL(R)

アースターミナル付接地コンセント
単相250V 15A/20A (設備工事)

推奨：パナソニック WKS294 [露出型]

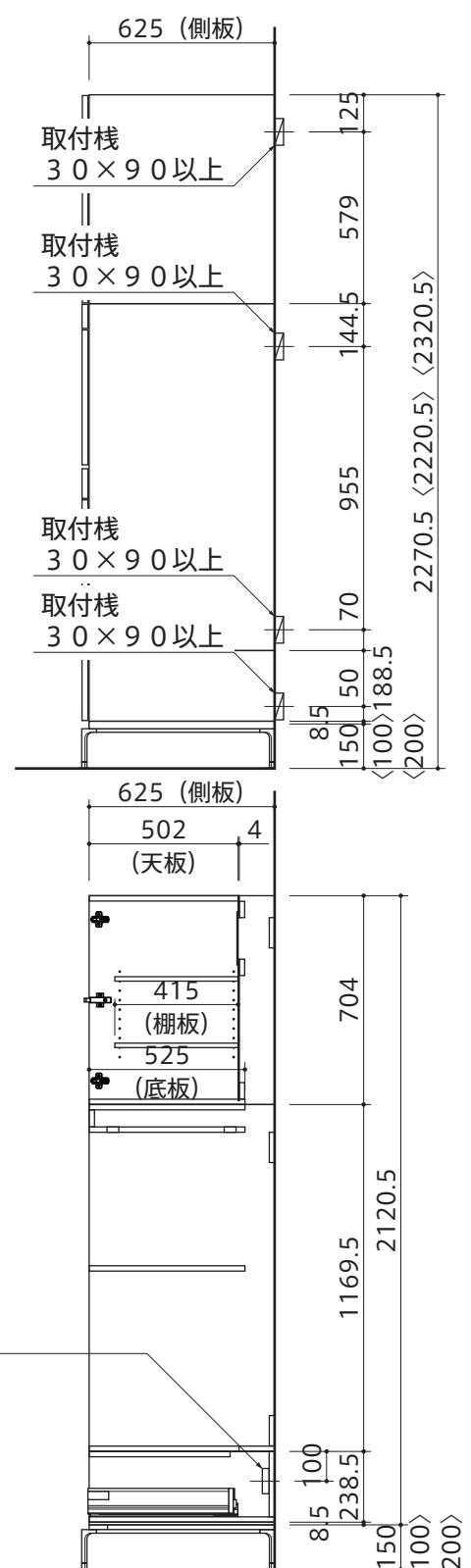


※〈 〉内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

※ Lタイプの場合を示す。

A technical drawing of a vertical metal cabinet. The top section shows a height dimension of 1.8 and a total width dimension of 564. The cabinet body is divided into several horizontal sections by horizontal lines. At the bottom, there is a base plate with mounting holes. A callout box points to the base plate area with the following text:

アースターミナル付接地コンセント
単相250V 15A/20A (設備工事)
推奨：パナソニック WKS294 [露出型]



開き扉+引き出しタイプ

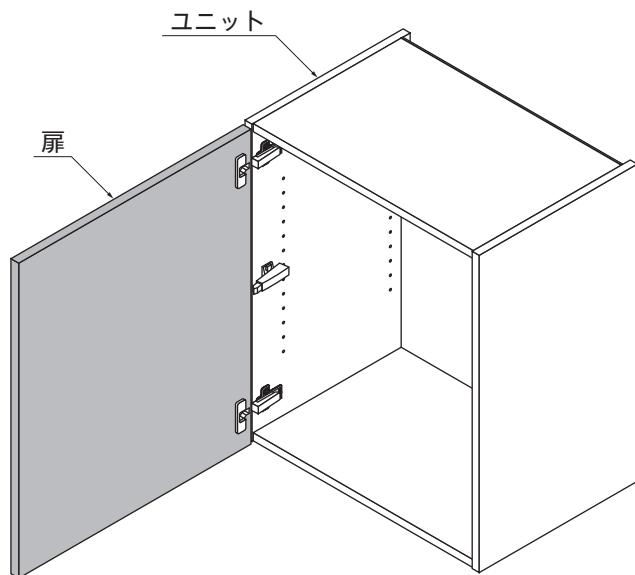
MNT(M)1DT-45(60)BH2TNR(L)
MNT(M)5DT-45(60)BH2TNR(L)

【 i k i t c h e n C U B E の場合】

取付・設置方法

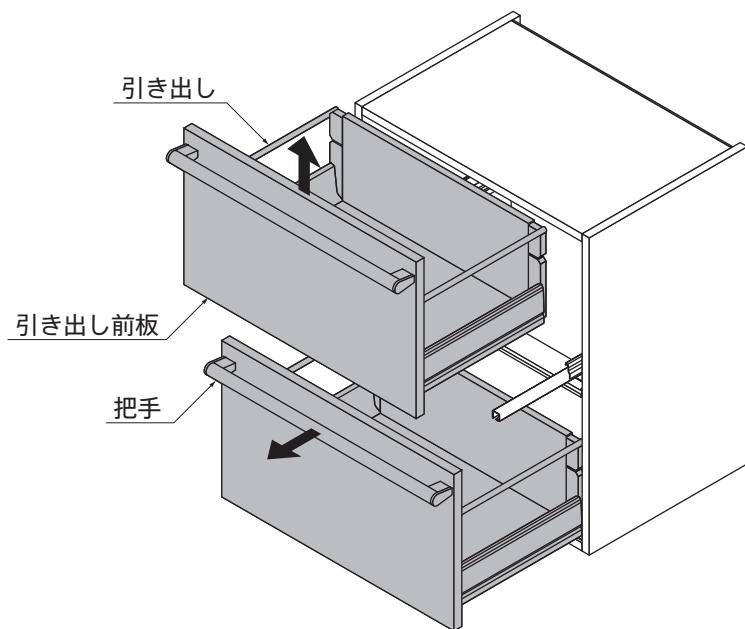
① 扉の取り外し（※開き扉ユニットの場合）

- ユニットの扉を取り外します。（「共通」の「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）



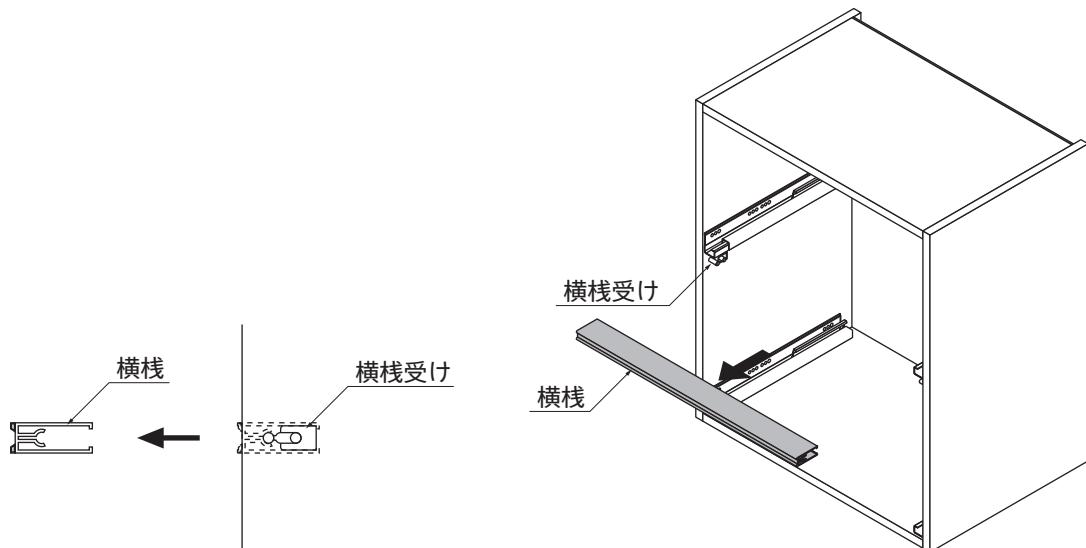
② 引き出しの取り外し（※引き出しユニットの場合）

- 引き出しを取り外します。
 - 引き出しをいっぱいまで引き出します。
 - 引き出しを持ち上げて取り外します。
- ※把手や引き出し前板を持って取り外さないでください。



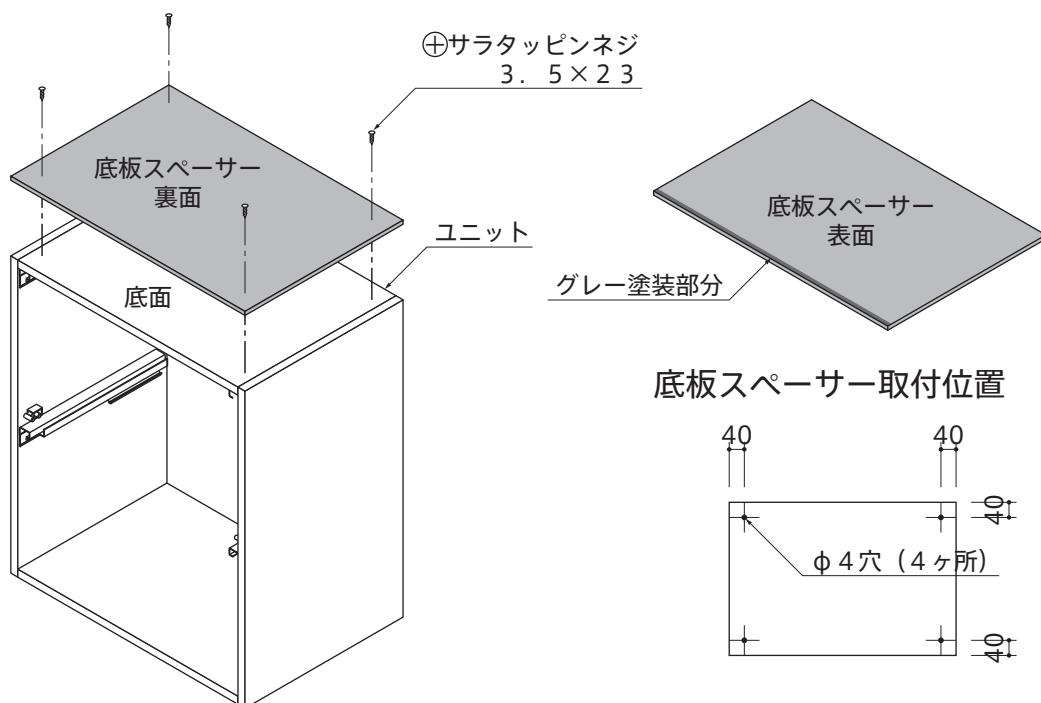
③ 横桿の取り外し（※引き出しユニットの場合）

- ・横桿受けから横桿を引き抜いて取り外します。



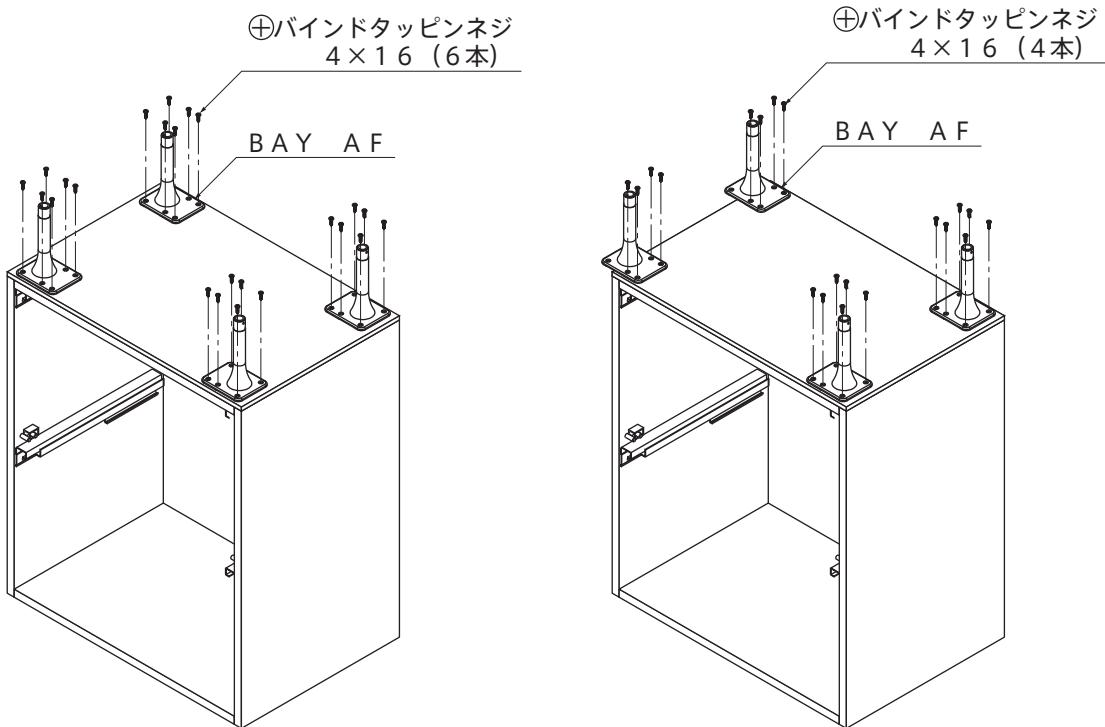
④ 底板スペーサーの取付け

- ・ユニットを 180° 回転させ、底面を上にします。
- ・ユニット底面に底板スペーサーを取付けます。
底板スペーサーの指定位置に $\phi 4$ 穴をあけます。
底板スペーサーのグレー塗装部分がユニット前面の底板面にくるようにして、ユニットに置きます。
ユニット外面と底板スペーサー外面を合わせて、 \oplus サラタッピンネジ 3.5×23 にて固定します。



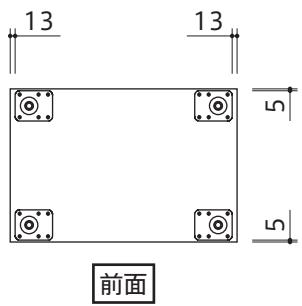
5 BAY AFの取付け

- ユニット底面の指定位置にBAY AFを取付けます。
ユニット底面の四隅に⊕バインドタッピンネジ4.0×16にて固定します。

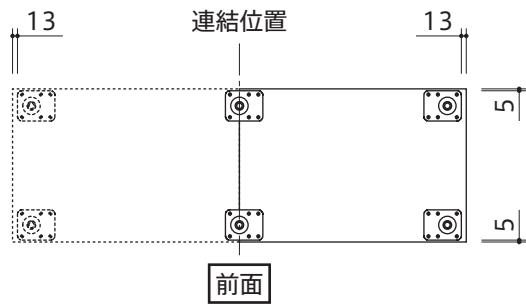


BAY AF取付位置

■単独置きの場合



■連結する場合

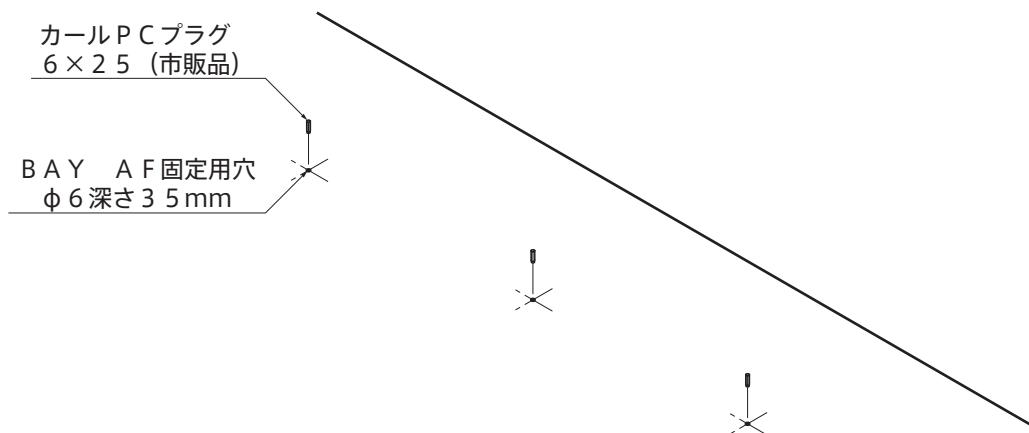


6 固定用穴あけ (※床固定にカールPCプラグを使用する場合)

※コンクリート床、石床の場合、下段ユニットを設置する前にBAY A F設置位置にカールPCプラグを取り付けます。

壁に接する側のBAY A F設置位置にはカールPCプラグの取付けは不要です。

- ・BAY A Fの設置位置に固定用穴φ6深さ35mmをあけます。
- ・固定用穴にカールPCプラグ6×25(市販品)を打ち込みます。

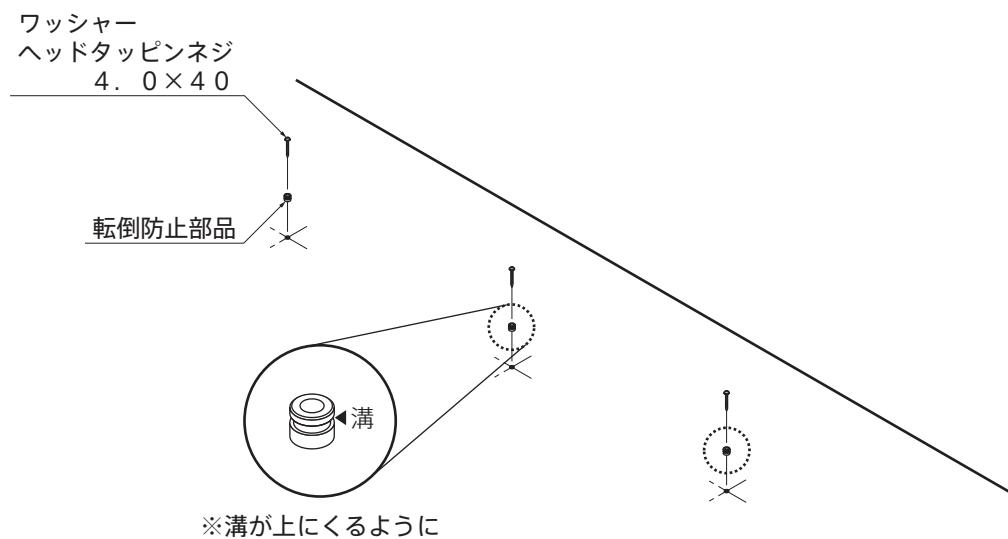


7 転倒防止部品の取付け

- ・BAY A Fの設置位置に付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床面に固定します。

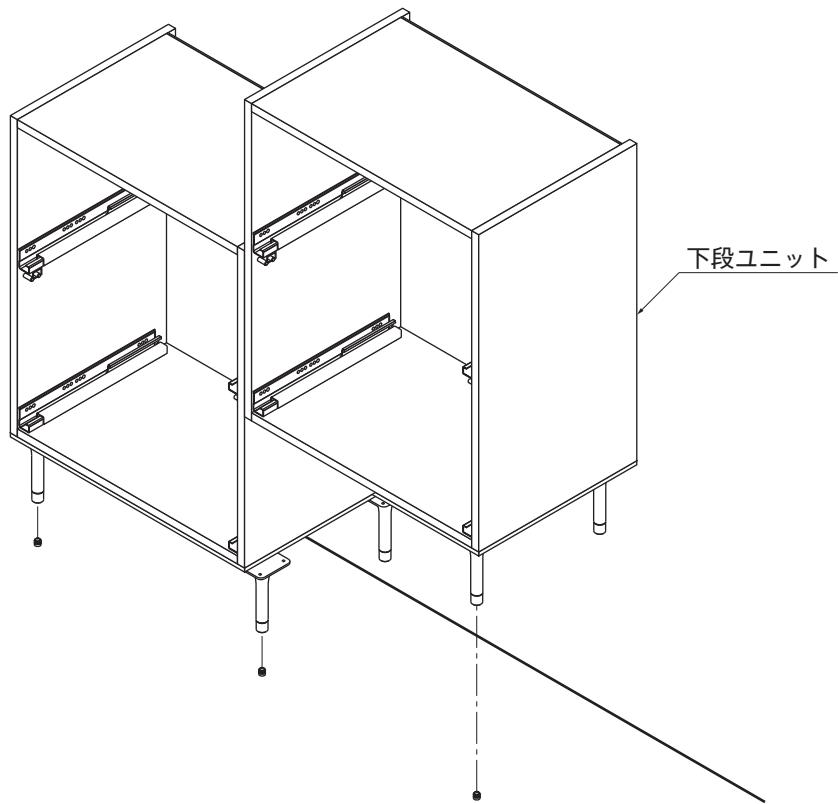
※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取付けます。

壁に接する側のBAY A F設置位置には転倒防止部品の取付けは不要です。



8 下段ユニットの設置

- ・脚を床につけないように下段ユニットを持ち上げて起こし、前側の BAY A F を転倒防止部品に差し込みながら設置します。
- ・ユニットを連結する場合、隣接する下段ユニットに取付けた BAY A F にのせながら設置します。

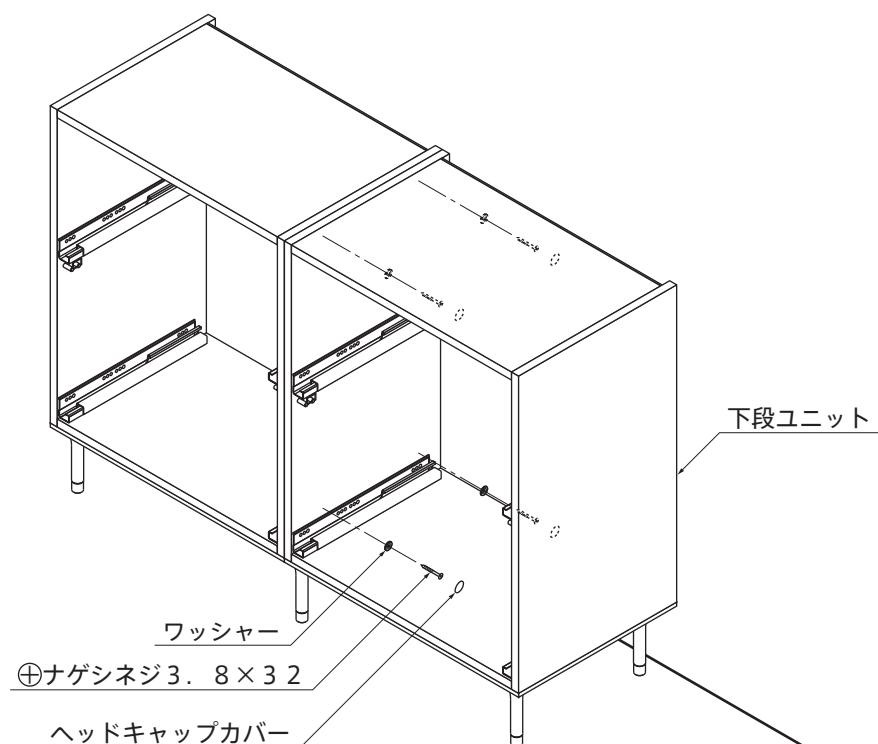


9 下段ユニットの連結（※ユニットを連結する場合）

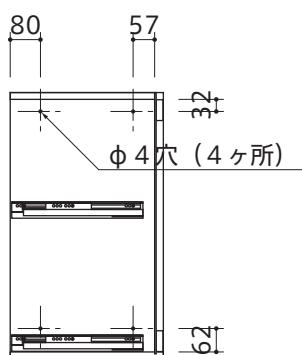
・隣接する下段ユニットの側板外面を合わせて、ユニット同士を連結します。

下段ユニット側板の指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。

④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



ユニット連結位置【側面図】



10 レベル調整、BAY AF の固定

- BAY AF のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。

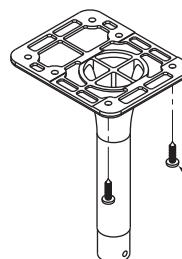
■調整範囲 -0 mm ~ +10 mm

※アジャスト部分の固定穴は見えないように内側に向けて調整します。

- BAY AF のアジャスト部分の固定穴（1ヶ所）から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。

注意：下段ユニット連結後、
下段ユニット下側から
BAY AF の残りの
穴（2ヶ所）を必ずネ
ジ固定してください。

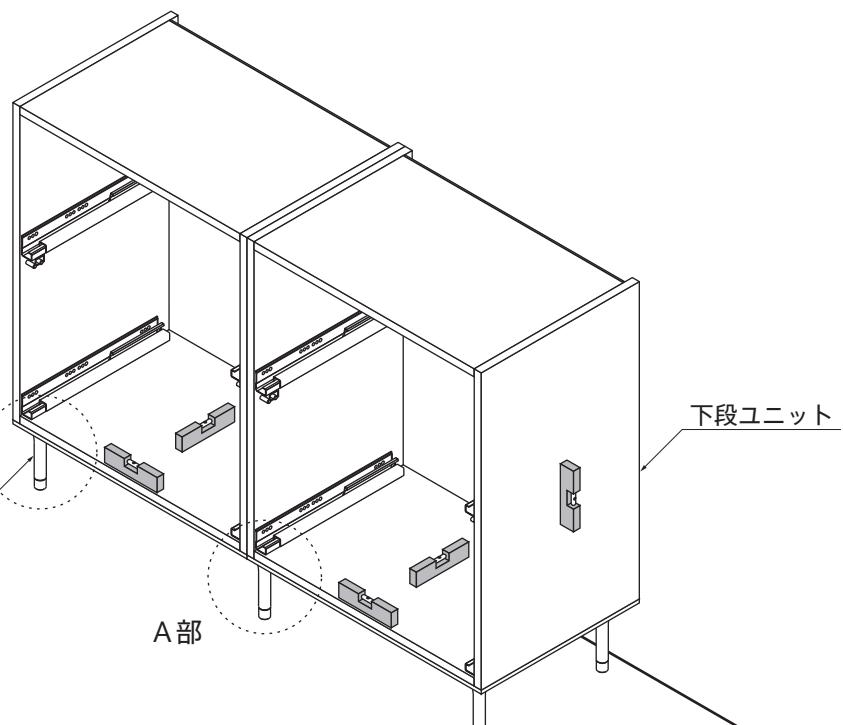
A部 ネジ固定



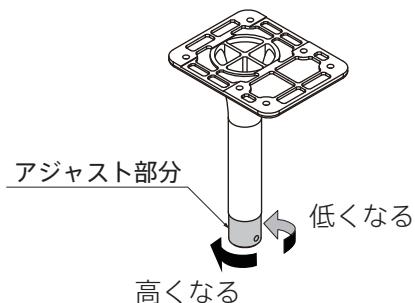
⊕バインドタッピンネジ
4×16 (2本)

B部

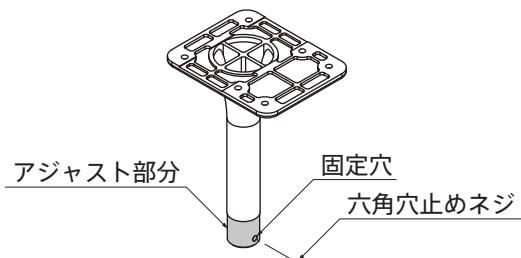
BAY AF



B部 レベル調整



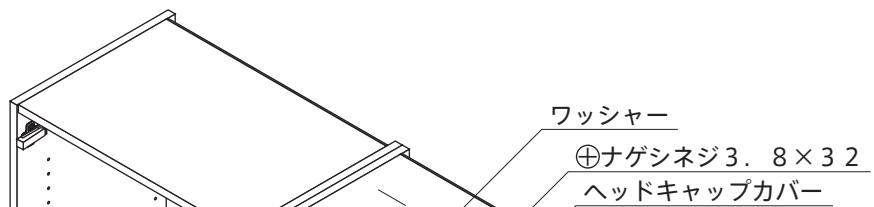
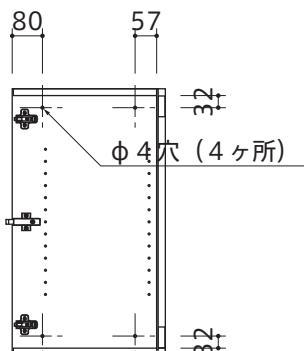
B部 BAY AF 固定



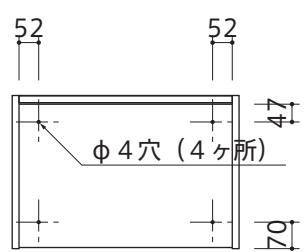
11 中段ユニット、上段ユニットの取付け

- ユニットを連結する場合、隣接するユニットの側板外面を合わせて、ユニット同士を連結します。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。
④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- 上下のユニットの側板外面を合わせて、固定します。
下段ユニットと中段ユニット天板の指定位置にΦ4穴をあけます。
④ナゲシネジ3.8×32に
ワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

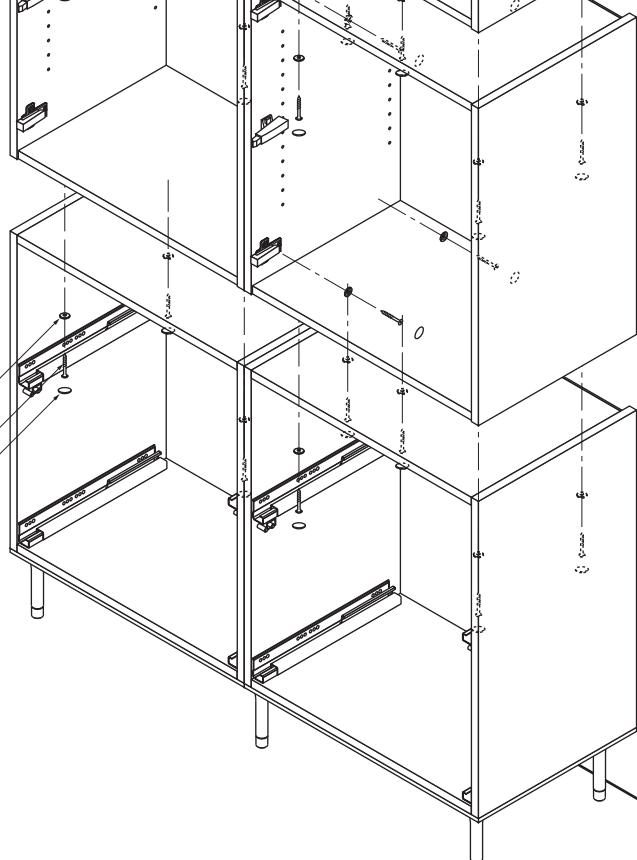
ユニット連結位置【側面図】



ユニット固定位置【平面図】

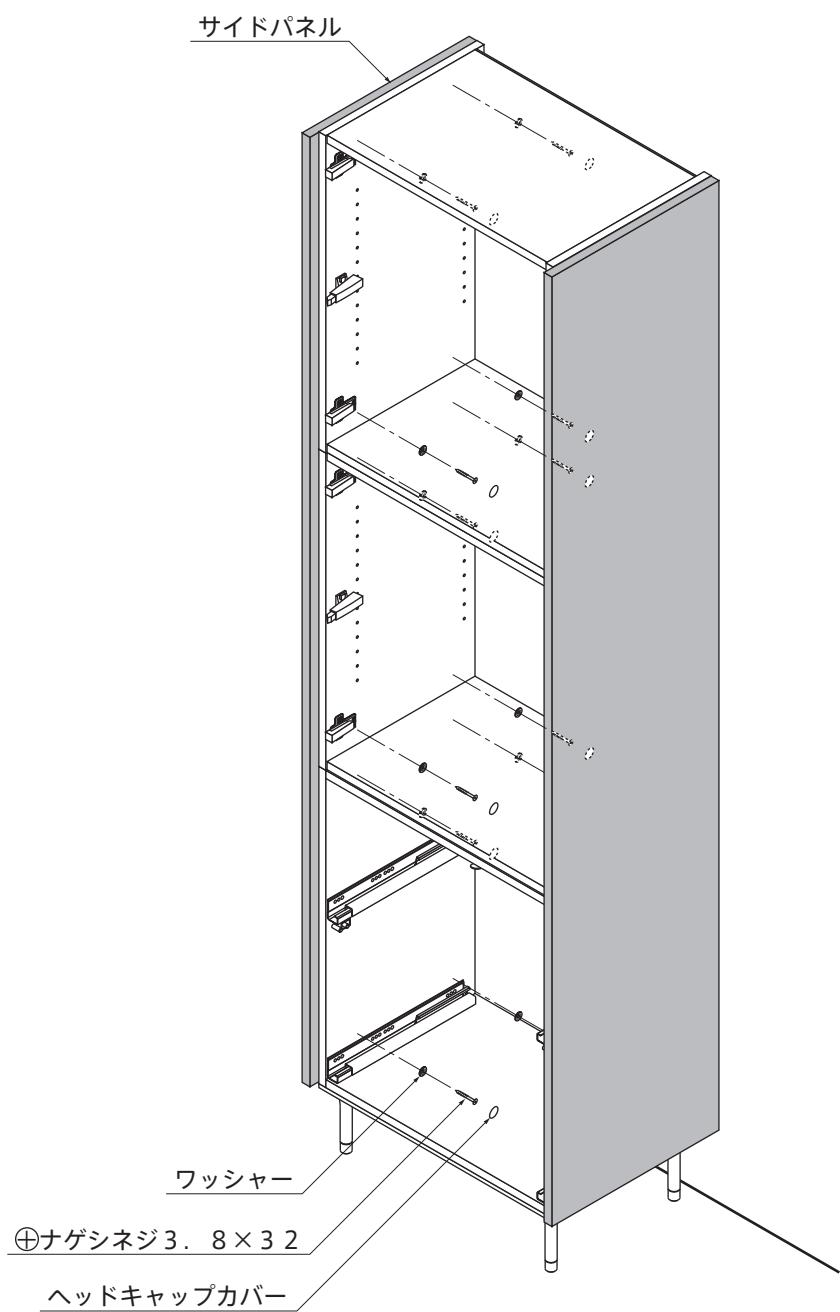


ワッシャー
④ナゲシネジ3.8×32
ヘッドキャップカバー



12 サイドパネルの取付け

- ユニット側板の指定位置にサイドパネルを取付けます。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（12ヶ所）をあけます。
- ④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、サイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

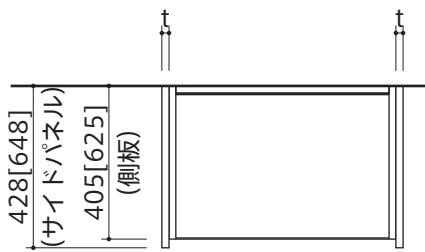


サイドパネル取付位置

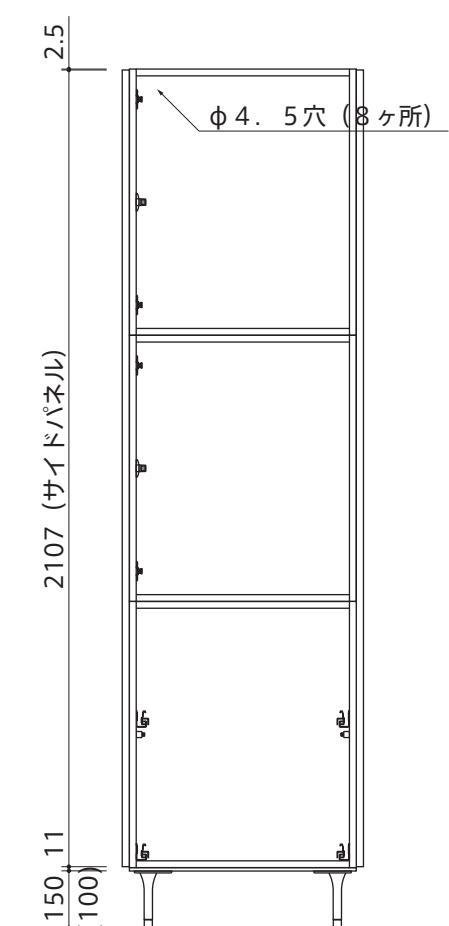
※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

※ [] 内寸法は、奥行625mmの場合を示す。

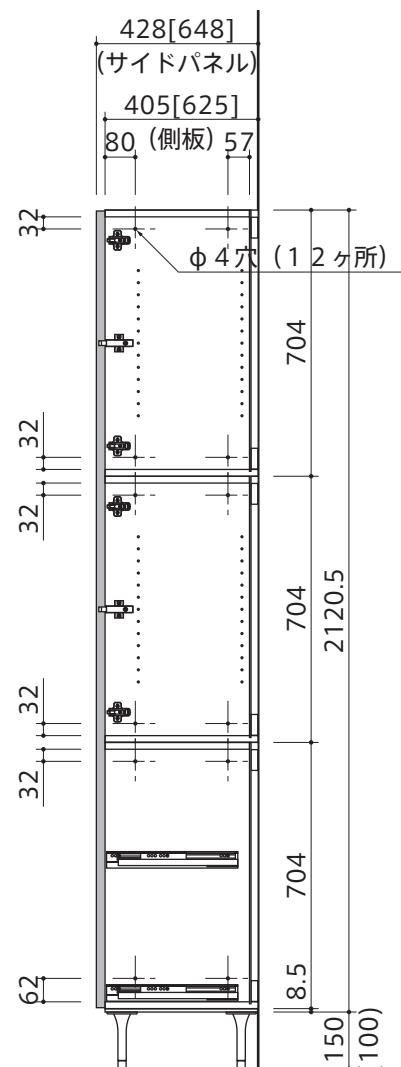
【平面図】



【正面図】

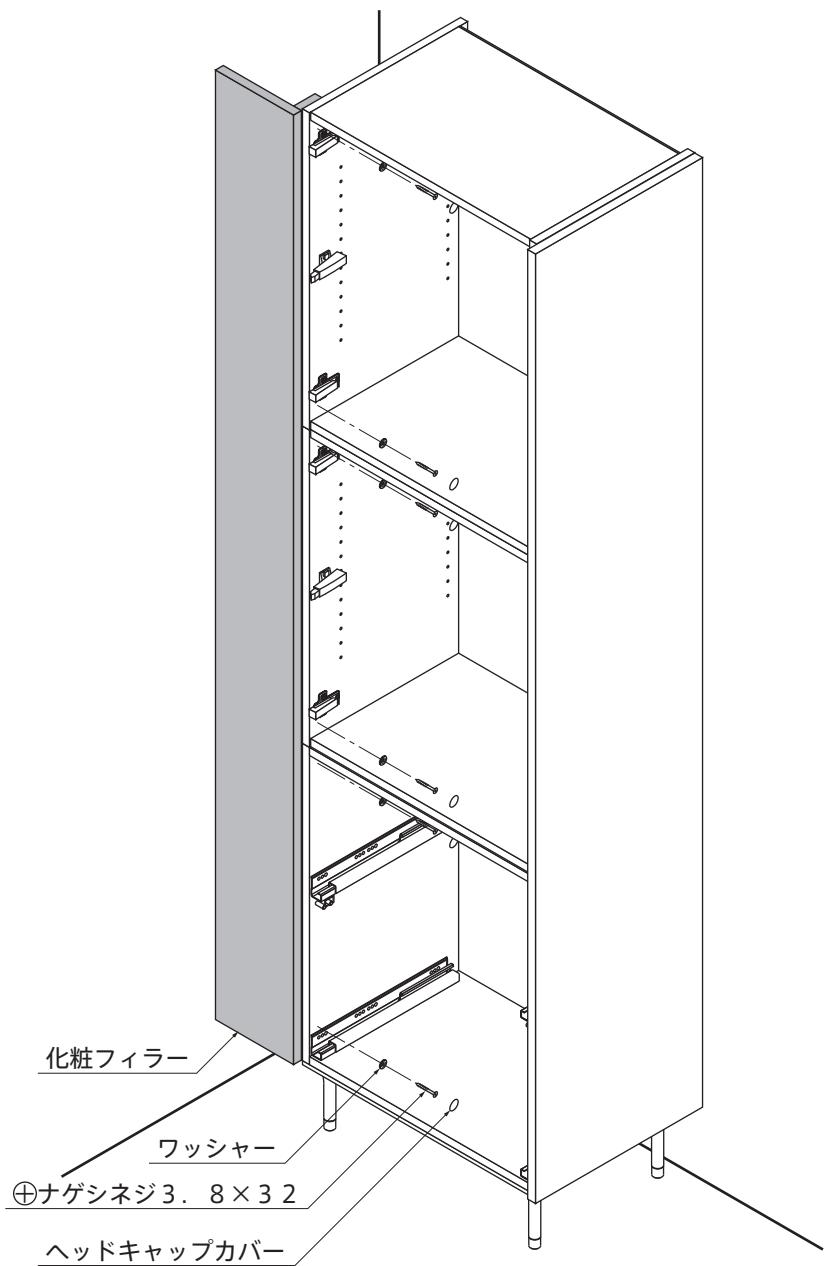


【側面図】



13 化粧フィラーの取付け

- ユニット側板の指定位置に化粧フィラーを取付けます。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（6ヶ所）をあけます。
- ⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、化粧フィラーを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

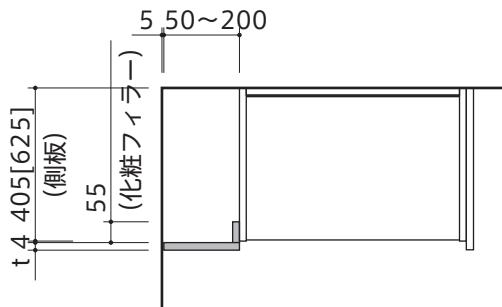


化粧フィラー取付位置

※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

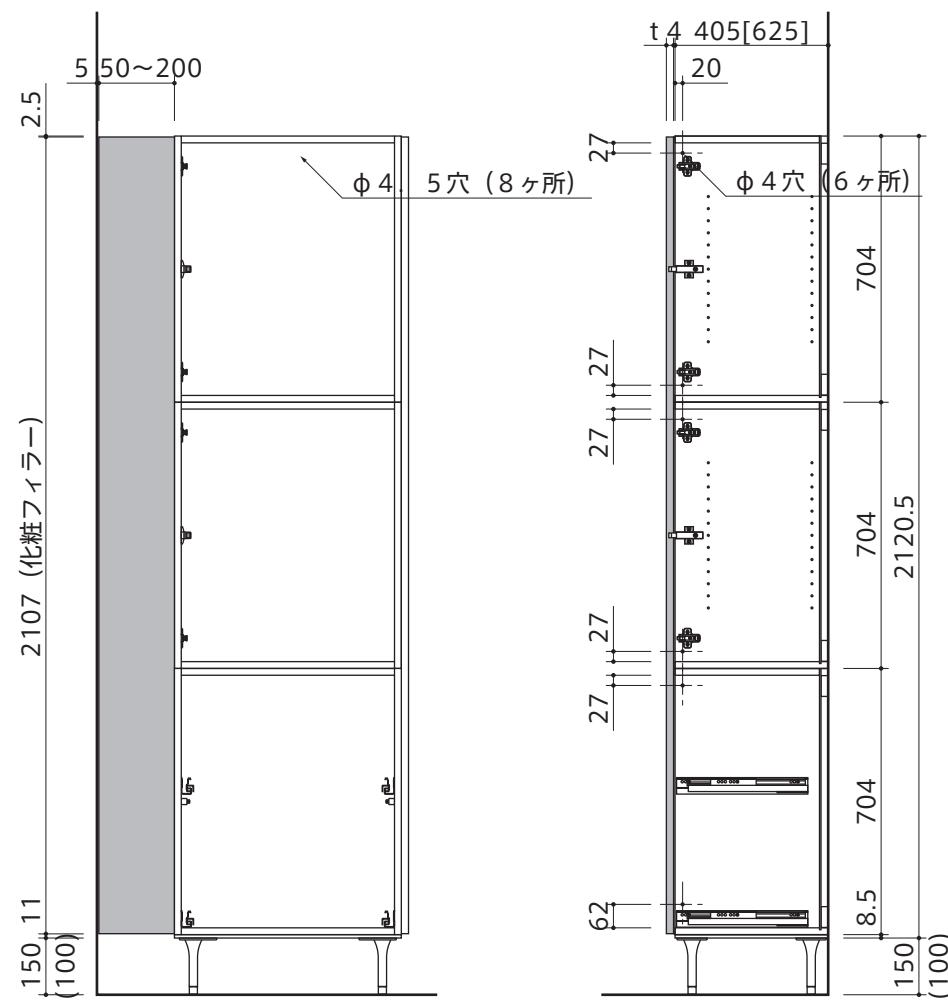
※ [] 内寸法は、奥行625mmの場合を示す。

【平面図】



【正面図】

【側面図】



14 壁面への固定



トール収納の取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



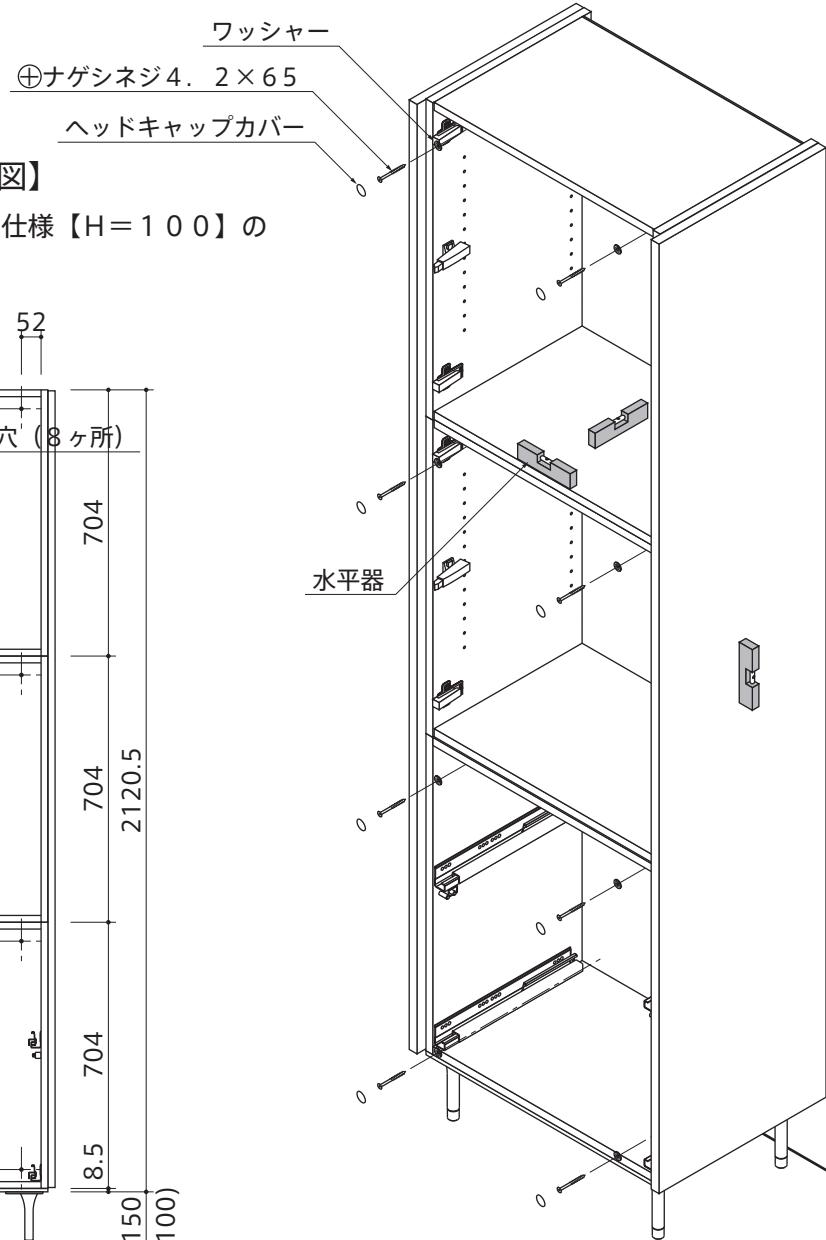
落下して、ケガをする恐れがあります。

※ユニットを壁面へ固定する前に必ずレベル調整を行ってください。（「レベル調整、BAY AFの固定」参照）

- ユニットを壁面に固定します。

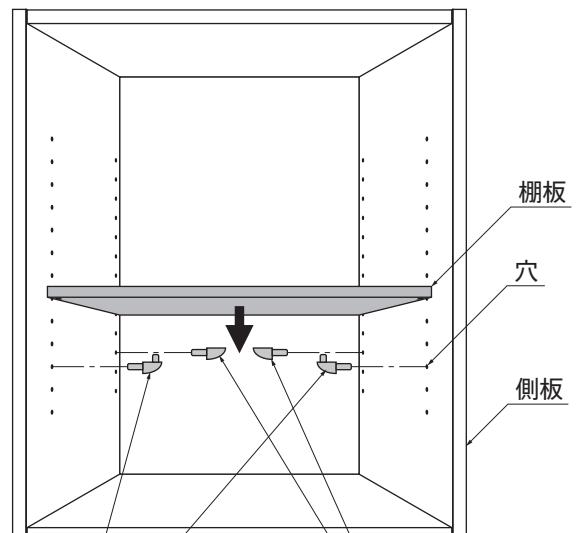
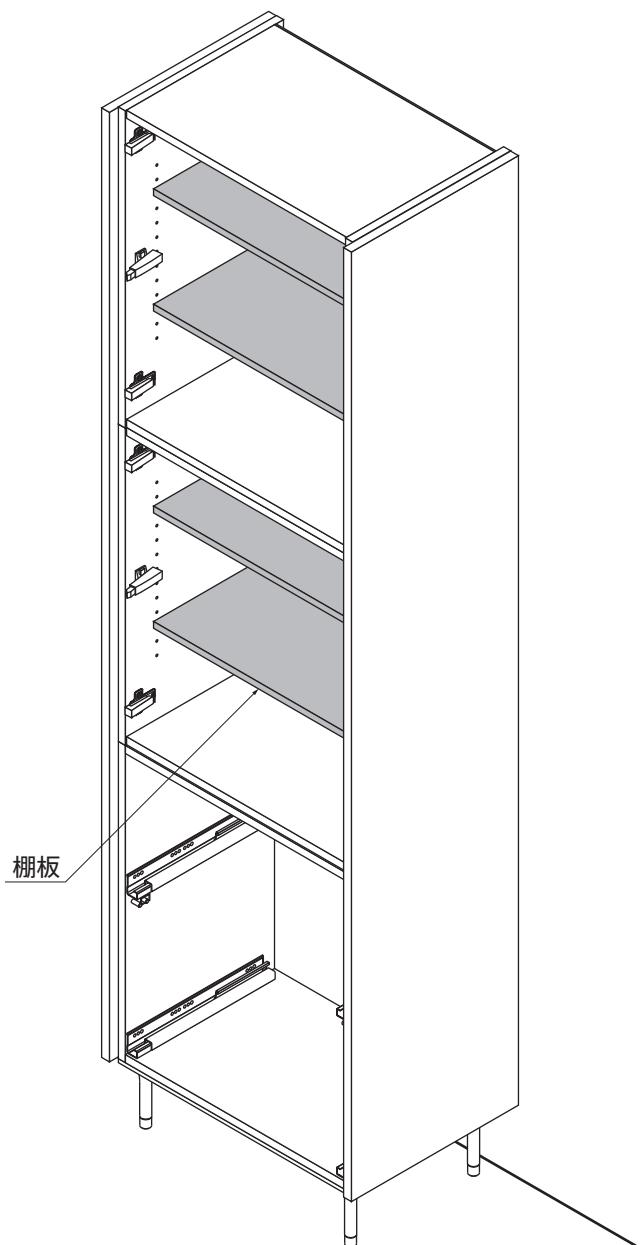
ユニット背板の指定位置にΦ4.5穴をあけます。

④ナゲシネジ4.2×65にワッシャーを通して、ユニットを壁面に固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。



15 棚板の取付け（※開き扉ユニットの場合）

- 側板の任意の穴位置に棚受け（ダボ）を差し込みます。
前面にはツメ付き、背面にはツメ無しを差し込みます。
- 棚板を棚受け（ダボ）にのせます。



【前面】

棚受け（ダボ）
ツメ付き



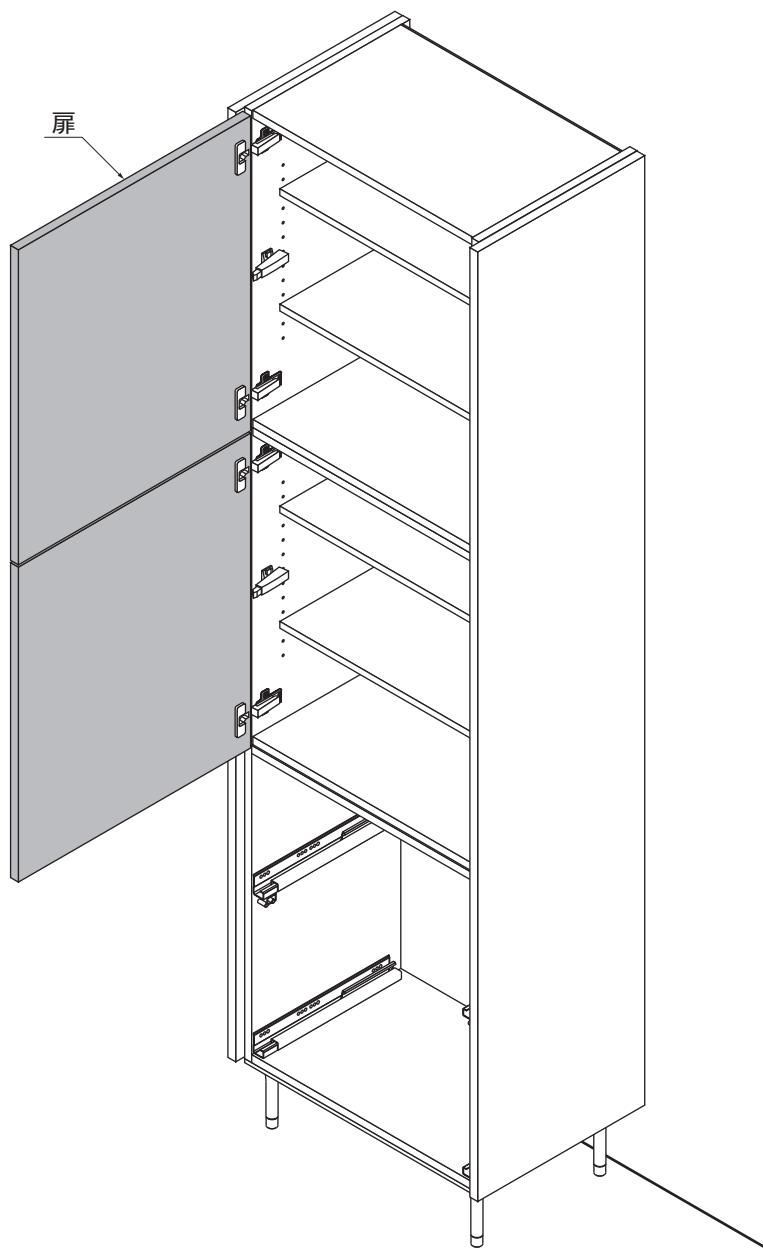
【背面】

棚受け（ダボ）
ツメ無し



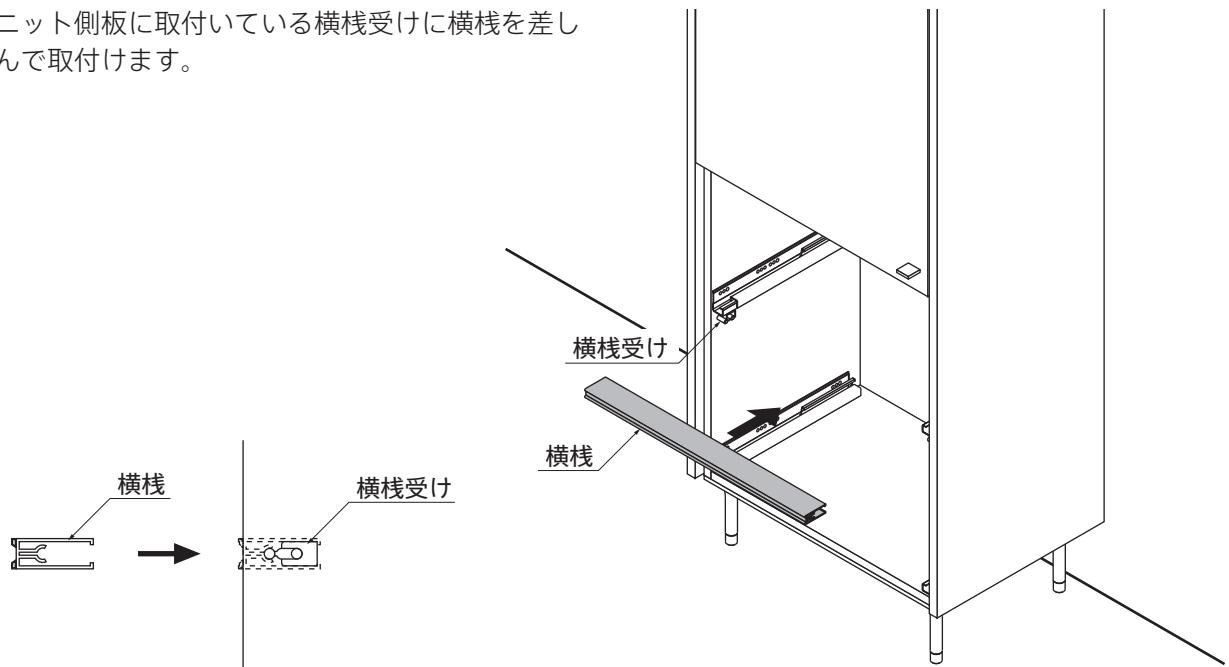
16 扉の取付け（※開き扉ユニットの場合）

- ユニットに扉を取付けます。（「共通」の「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）



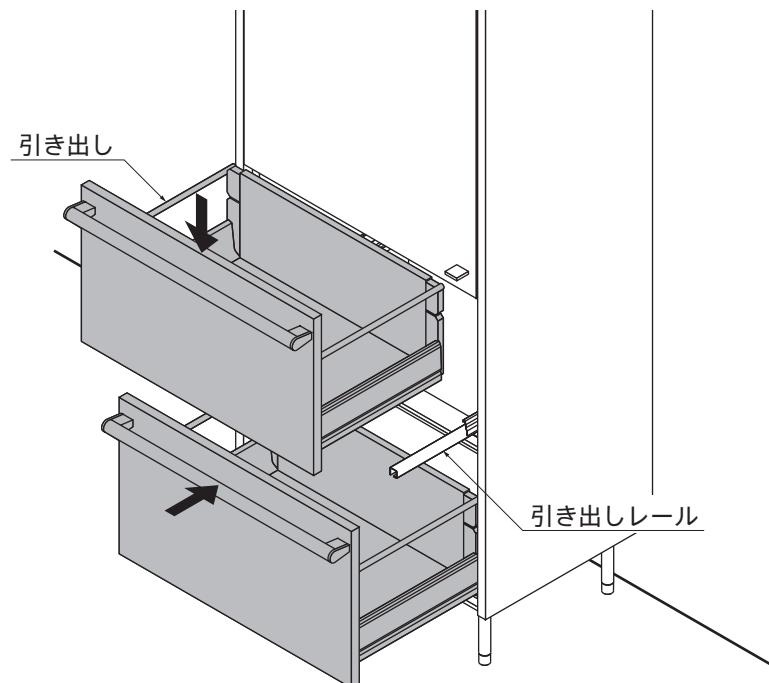
17 横桟の取付け（※引き出しユニットの場合）

- ユニット側板に取付いている横桟受けに横桟を差し込んで取付けます。



18 引き出しの取付け（※引き出しユニットの場合）

- 引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
- 引き出しレールの上に引き出しをのせます。
- 引き出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。



開き扉タイプ

開き扉+引き出しタイプ

MNTN - 45(60)TNL(R)

MNTN - 90(120)TN

MNT(M)N - 45(60)BH2TNL(R)

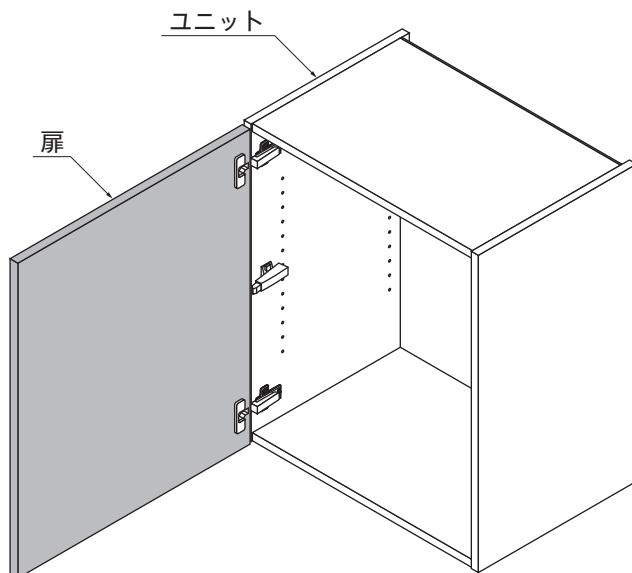
MNT(M)N - 90(120)BH2TN

【COREの場合】

取付・設置方法

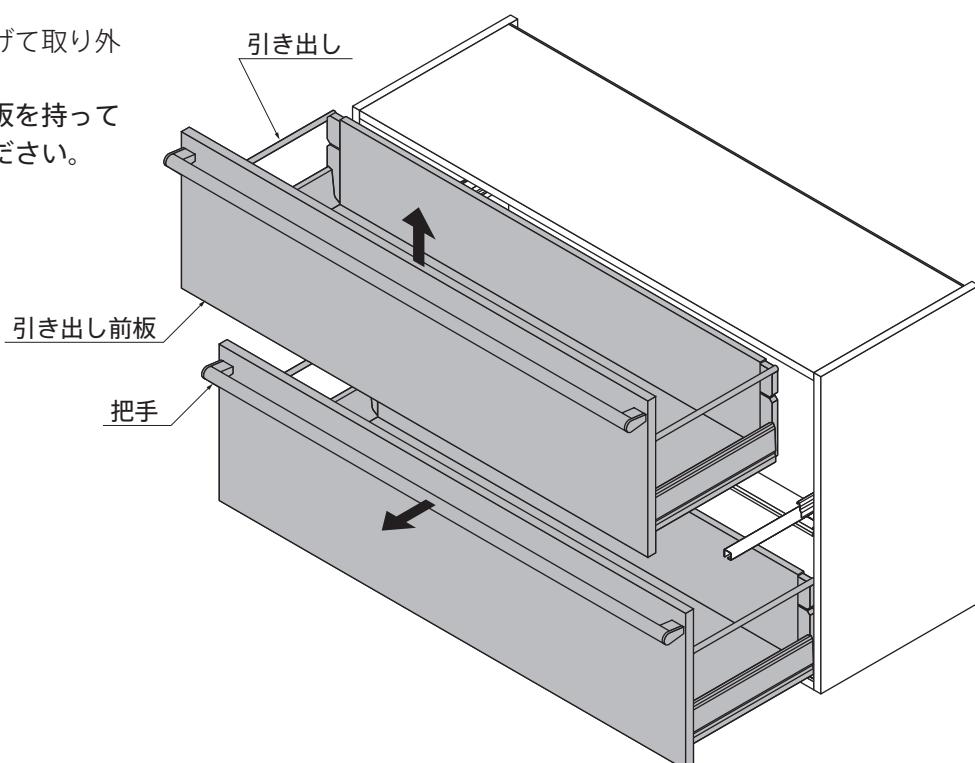
① 扉の取り外し（※開き扉ユニットの場合）

- ユニットの扉を取り外します。（「共通」の「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）



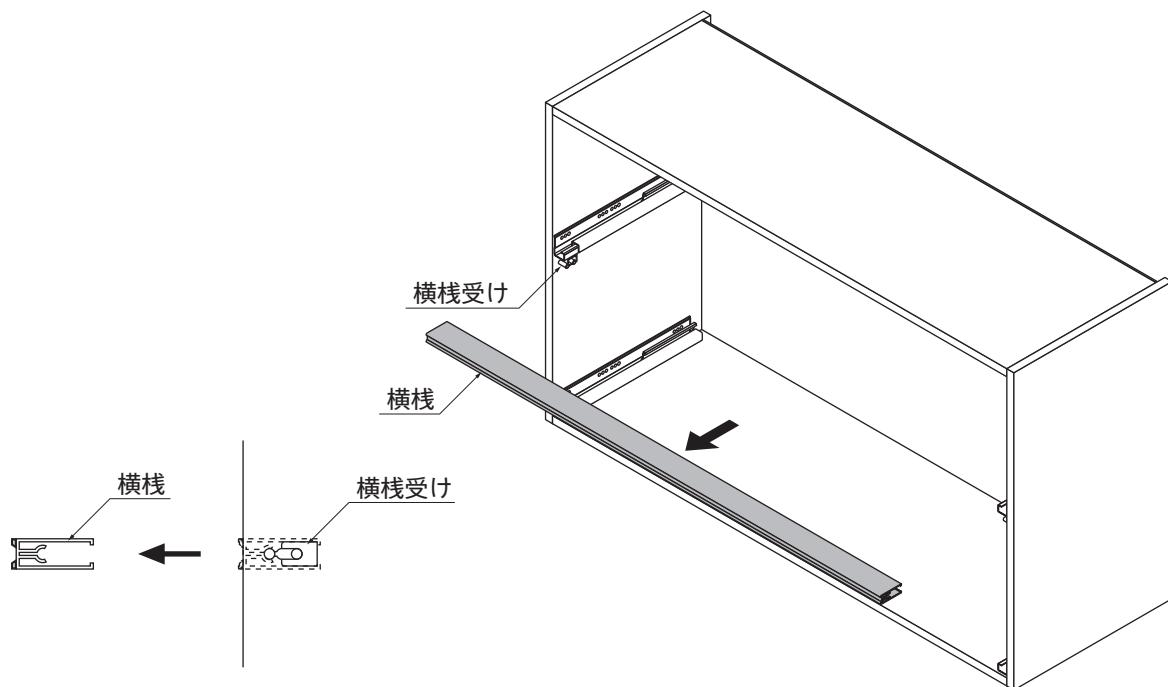
② 引き出しの取り外し（※引き出しユニットの場合）

- 引き出しを取り外します。
引き出しをいっぶいまで引き
出します。
引き出しを持ち上げて取り外
します。
- ※把手や引き出し前板を持って
取り外さないでください。



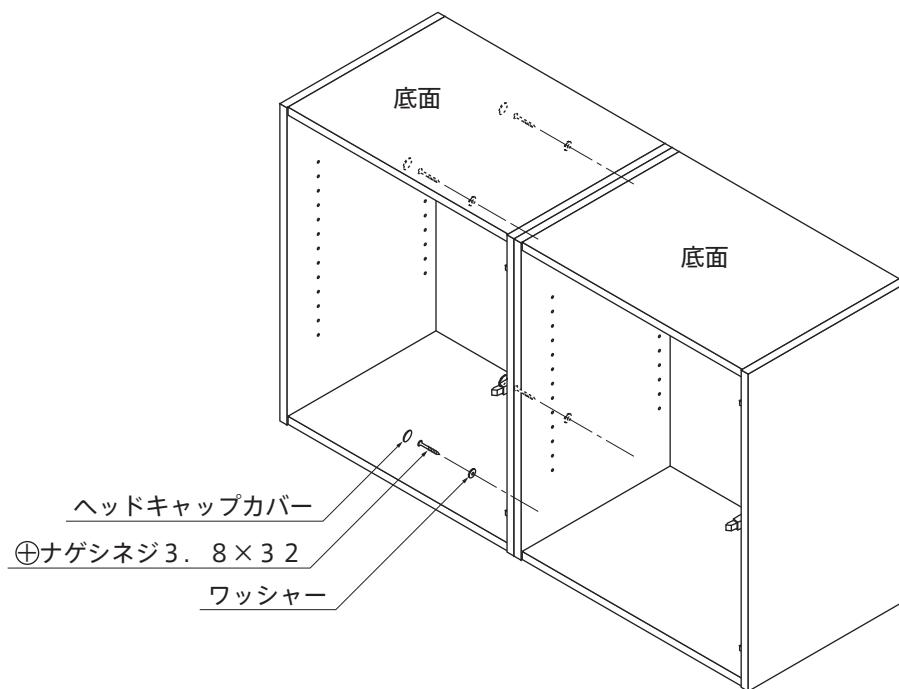
③ 横桟の取り外し（※引き出しユニットの場合）

- ・横桟受けから横桟を引き抜いて取り外します。



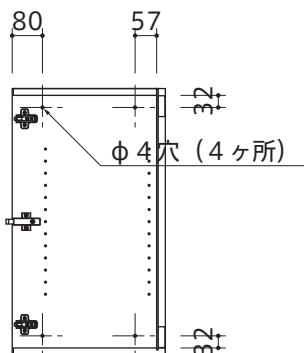
4 下段ユニットの連結（※ユニットを連結する場合）

- ユニットを180°回転させ、底面を上にします。
- 隣接するユニットの側板外面を合わせて、ユニット同士を連結します。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。
- ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

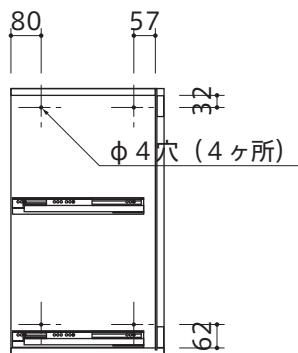


ユニット連結位置【側面図】

開き扉ユニットの場合

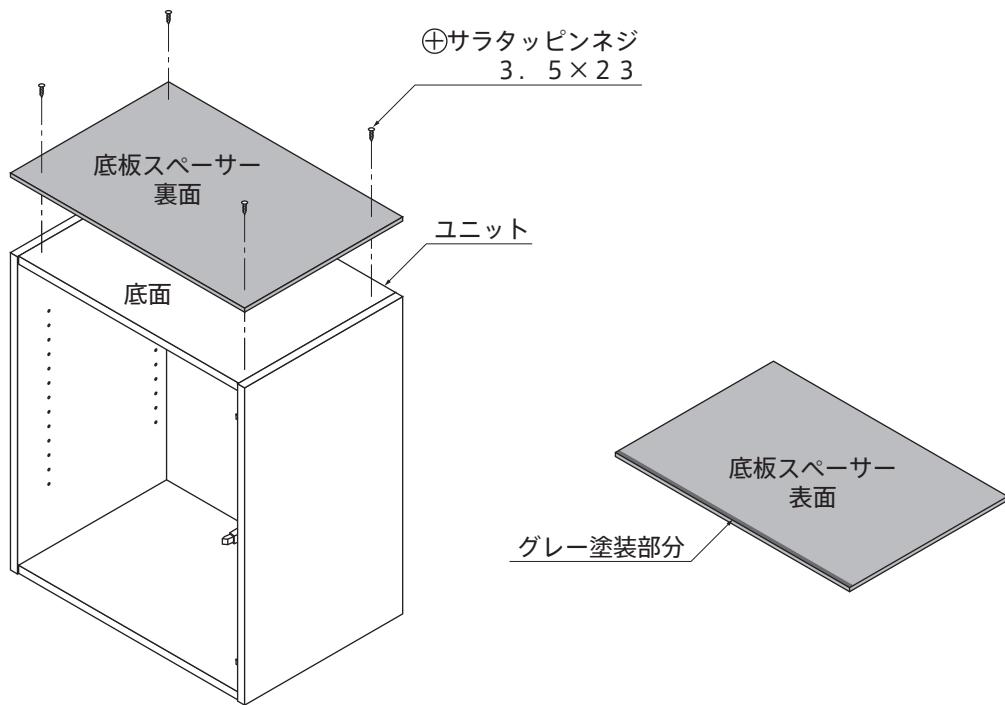


引き出しユニットの場合



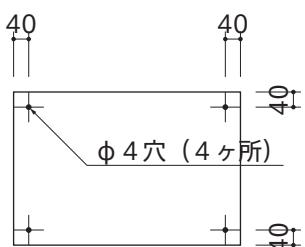
5 底板スペーサーの取付け

- ユニット底面に底板スペーサーを取付けます。
- 底板スペーサーの指定位置にΦ4穴をあけます。
- 底板スペーサーのグレー塗装部分がユニット前面の底板面にくるようにして、ユニットに置きます。
- ユニット外面と底板スペーサー外面を合わせて、 \oplus サラタッピンネジ3.5×23にて固定します。

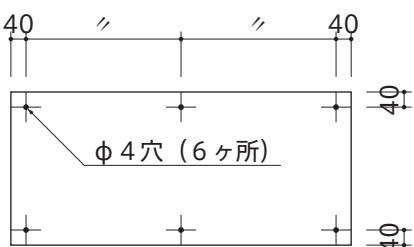


底板スペーサー取付位置

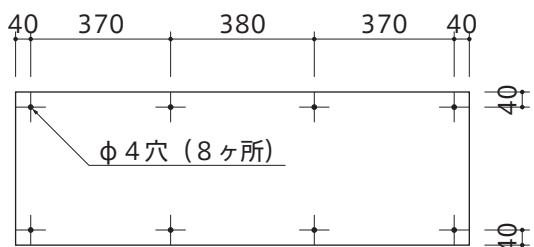
■間口450mm・
間口600mmの場合



■間口900mmの場合



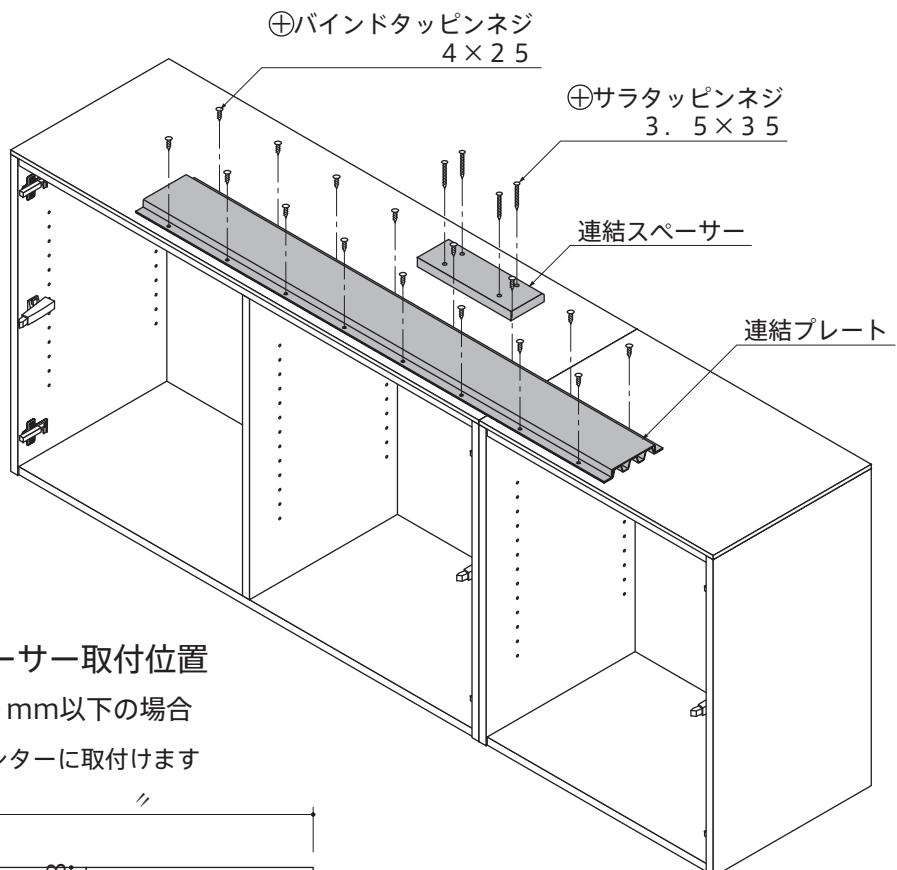
■間口1200mmの場合



6 連結プレート、連結スペーサーの取付け (※ユニット全体間口が1200mmを超えて連結する場合)

※ユニット全体間口が1200mmを超えてユニット同士を連結する場合、連結プレートおよび連結スペーサーを取付けます。

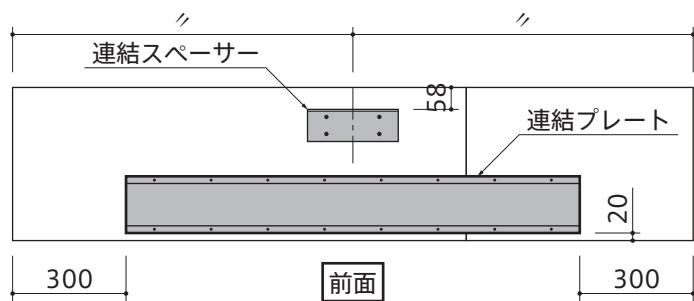
- ・ユニット底面の指定位置に④バインドタッピンネジ4×25にて連結プレートを取り付けます。
- ・ユニット底面の指定位置に④サラタッピンネジ3.5×35にて連結スペーサーを取り付けます。



連結プレート、連結スペーサー取付位置

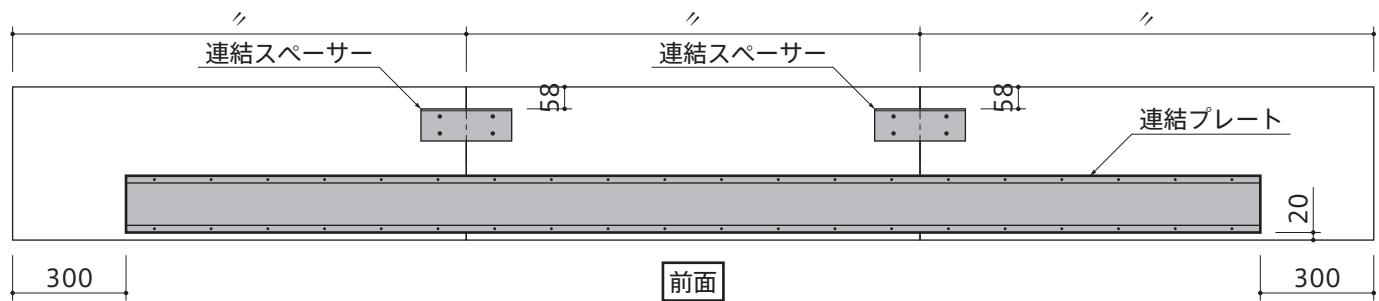
■ユニット全体間口が2700mm以下の場合

ユニット全体の幅のセンターに取付けます



■ユニット全体間口が2700mmを超える場合

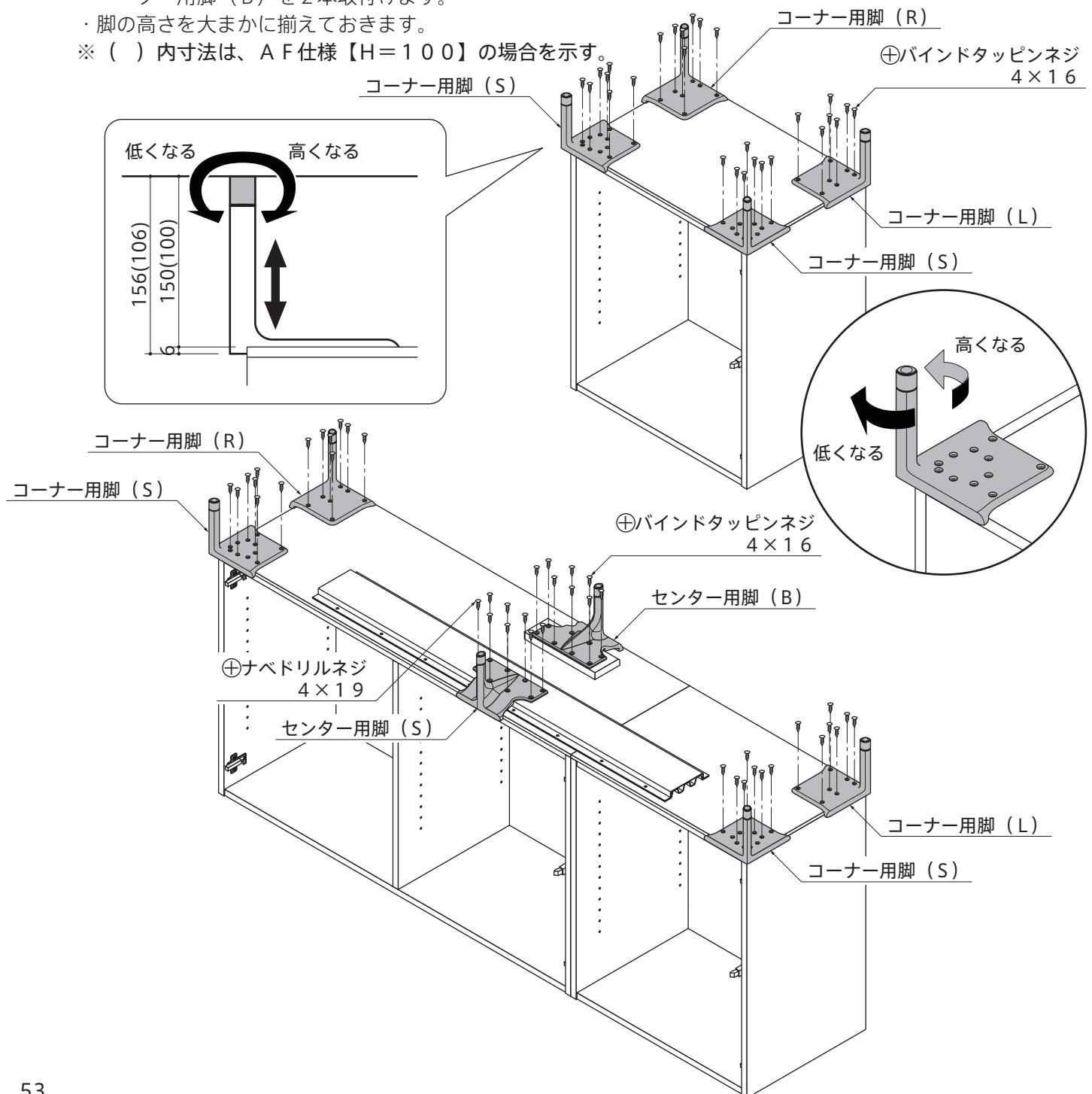
ユニット全体の幅を3等分した位置に取付けます



7 CORE AFの取付け

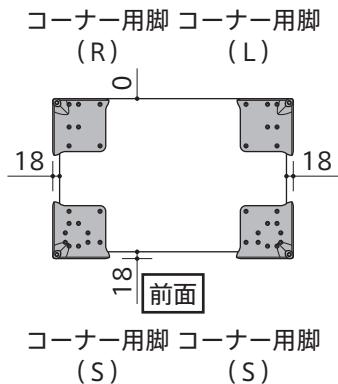
- ユニット底面にCORE AFを取付けます。
- ユニット底面の四隅にコーナー用脚を取付けます。
前面側にはコーナー用脚(S)を背面側にはコーナー用脚(R、L)を取付けます。
- ユニット全体間口が1200mmを超える場合、ユニット中央にセンター用脚を取付けます。
前面側のセンター用脚(S)取付位置にΦ3.5下穴をあけます。
- ユニット全体間口が1200mmを超えて2700mm以下の場合、前面側にセンター用脚(S)を1本、背面側にセンター用脚(B)を1本取付けます。
- ユニット全体間口が2700mmを超える場合、前面側にセンター用脚(S)を2本、背面側にセンター用脚(B)を2本取付けます。
- 脚の高さを大まかに揃えておきます。

※()内寸法は、AF仕様【H=100】の場合を示す。

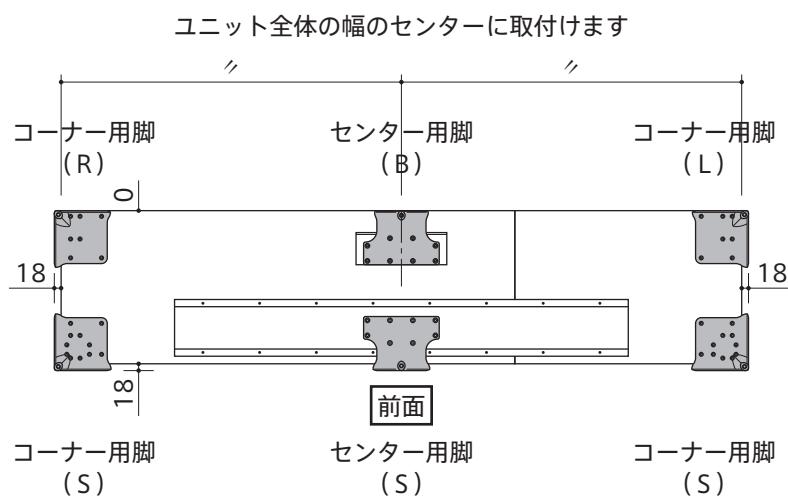


CORE AF 取付位置

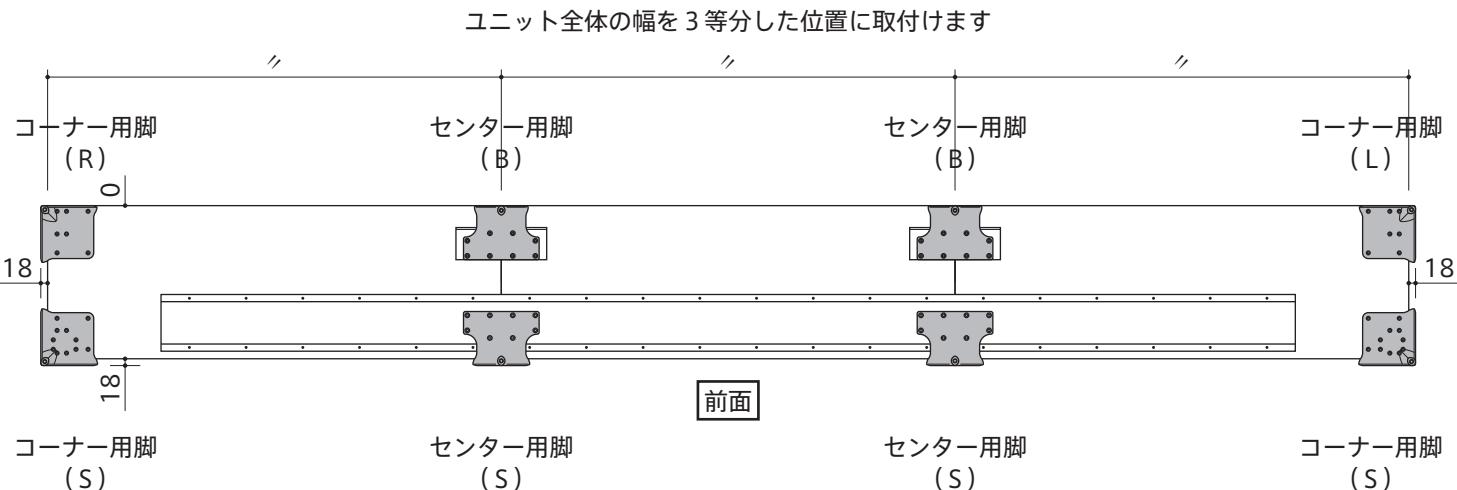
■ユニット全体間口が
1200mm以下の場合



■ユニット全体間口が1200mmを超えて2700mm以下の場合



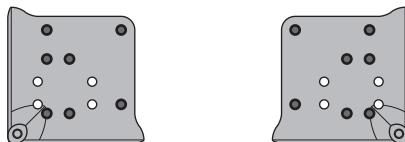
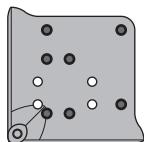
■ユニット全体間口が2700mmを超える場合



CORE AF ネジ固定位置

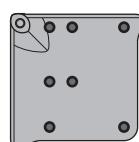
コナー用脚 (S)

●印…ネジ固定位置



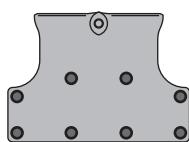
コナー用脚 (R) (L)

全てネジ固定



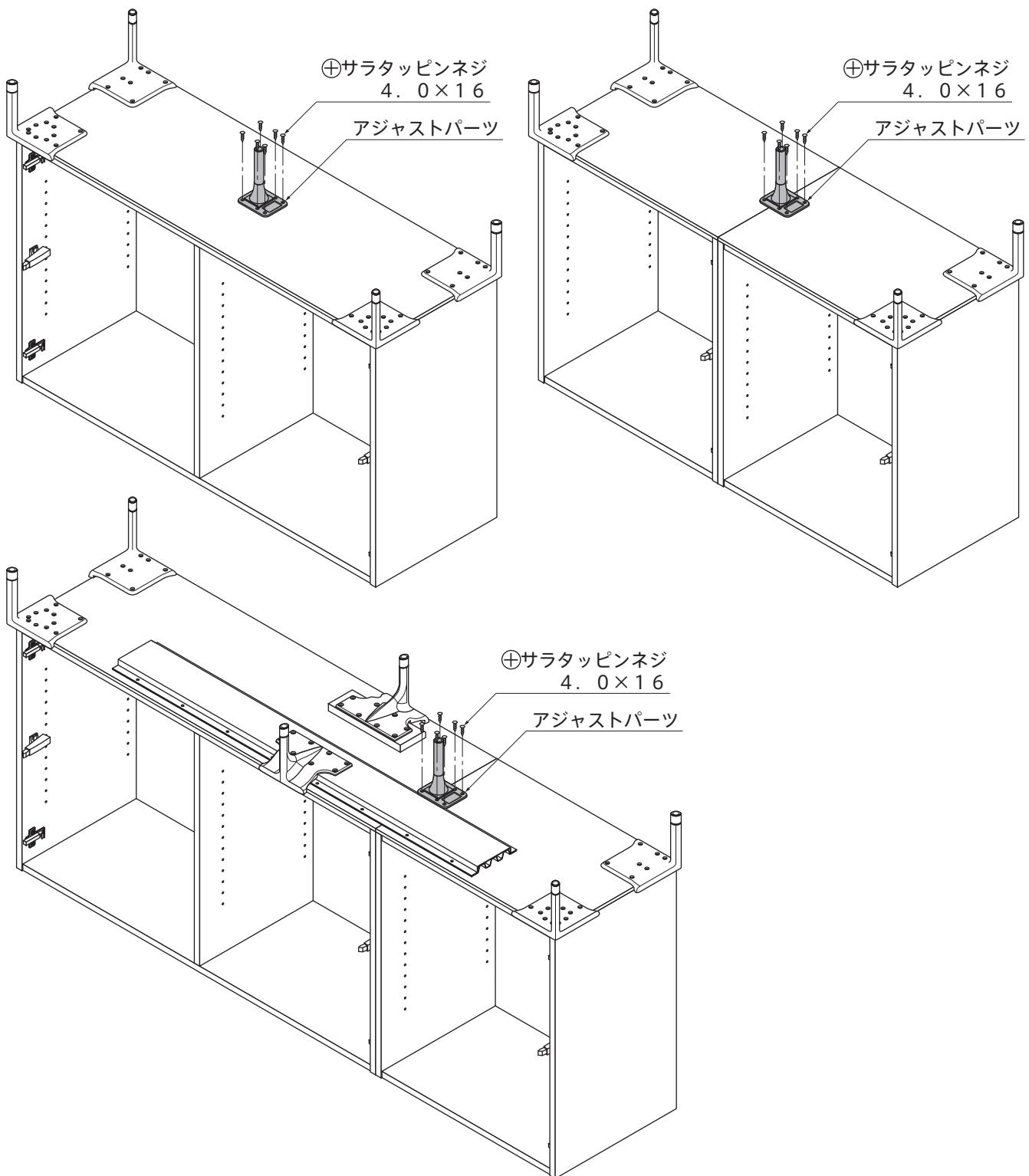
センター用脚 (B) (S)

全てネジ固定



8 アジャストパーツの取付け

- ・間口900・1200mmの開き扉タイプトール収納を単独で設置する場合、ユニット中央にアジャストパーツを取付けます。
- ・ユニット全体間口が1200mm以下でユニットを連結する場合、ユニットの連結位置にアジャストパーツを取付けます。
- ・ユニット全体間口が1200mmを超えてユニットの連結位置が直近の脚から300mm以上離れている場合、ユニットの連結位置にアジャストパーツを取付けます。



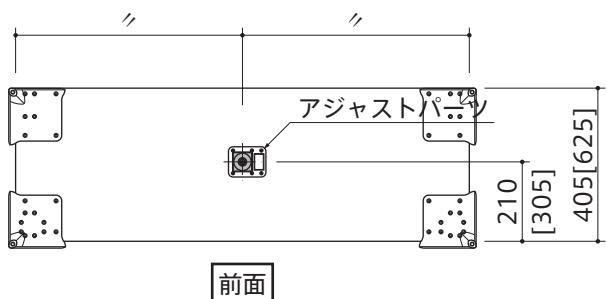
アジャストパーツ取付位置

※ [] 内寸法は、奥行625mmの場合を示す。

■ユニット全体間口が1200mm以下の場合

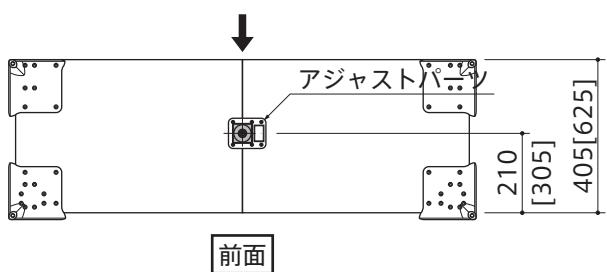
- 間口900mm・間口1200mmの開き扉タイプトール収納を単独で設置する場合

ユニットのセンターに取付けます



- ユニットを連結する場合

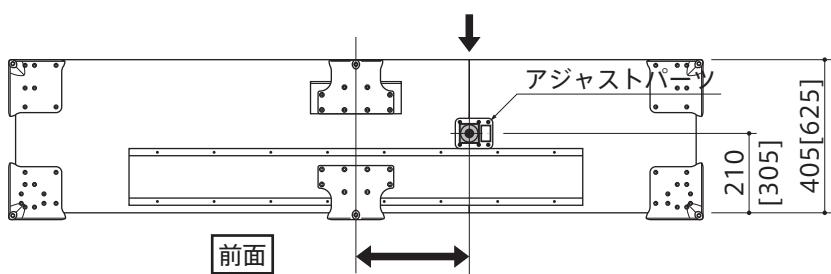
ユニットの連結位置に取付けます



■ユニット全体間口が1200mmを超える場合

- ユニットの連結位置が直近の脚から300mm以上離れている場合

ユニットの連結位置に取付けます



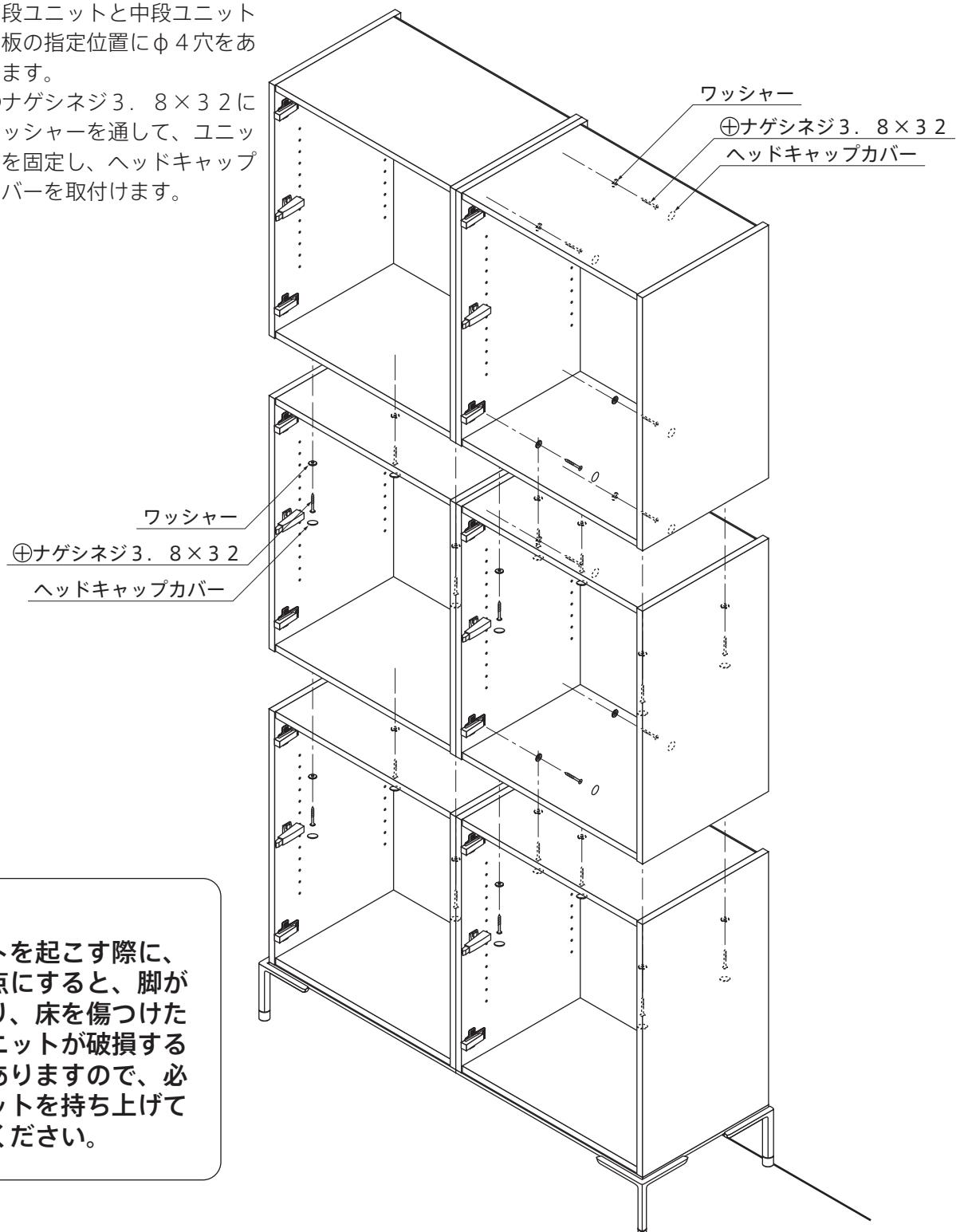
直近の脚からユニット連結位置までの
距離が300mm以上の場合

9 中段ユニット、上段ユニットの取付け

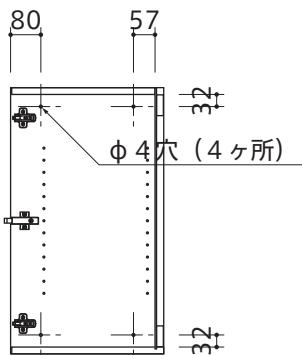
- 脚を床につけないように下段ユニットを持ち上げて起こします。
- ユニットを連結する場合、隣接するユニットの側板外面を合わせて、ユニット同士を連結します。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。
- ⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- 上下のユニットの側板外面を合わせて、固定します。

下段ユニットと中段ユニット
天板の指定位置にΦ4穴をあけます。

⊕ナゲシネジ3.8×32に
ワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



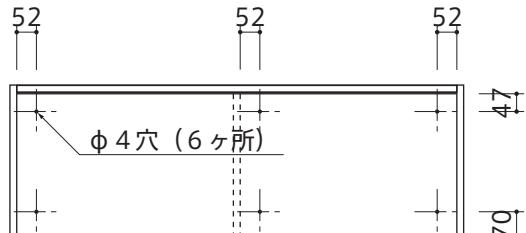
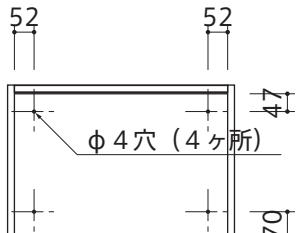
ユニット連結位置【側面図】



ユニット固定位置【平面図】

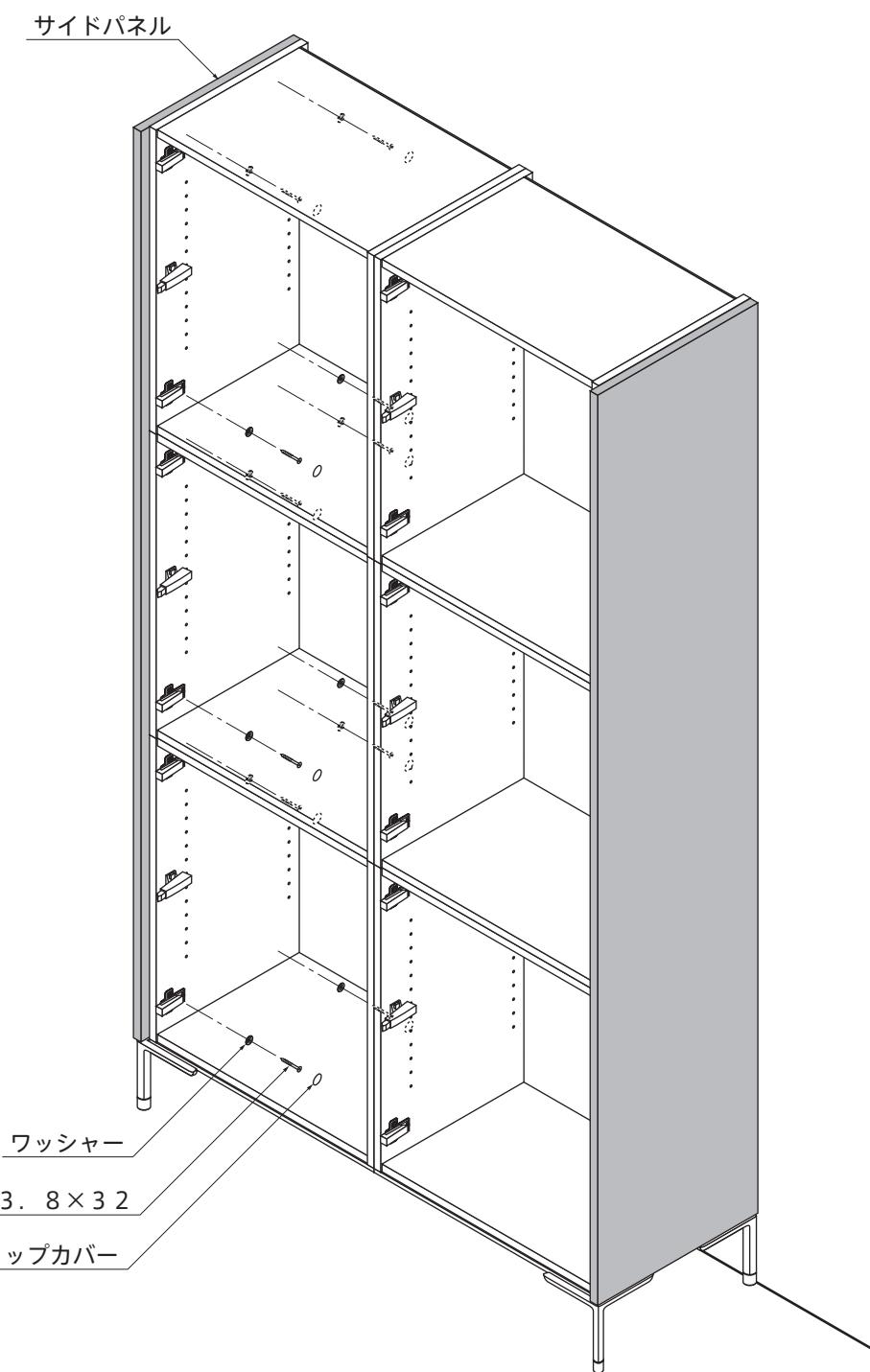
■間口450mm・
間口600mmの場合

■間口900mm・
間口1200mmの場合



10 サイドパネルの取付け

- ユニット側板の指定位置にサイドパネルを取付けます。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（12ヶ所）をあけます。
- ④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、サイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

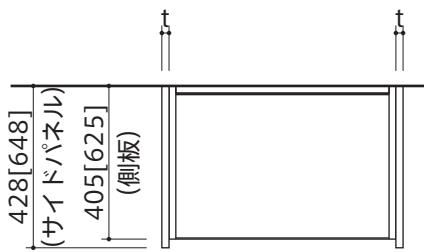


サイドパネル取付位置

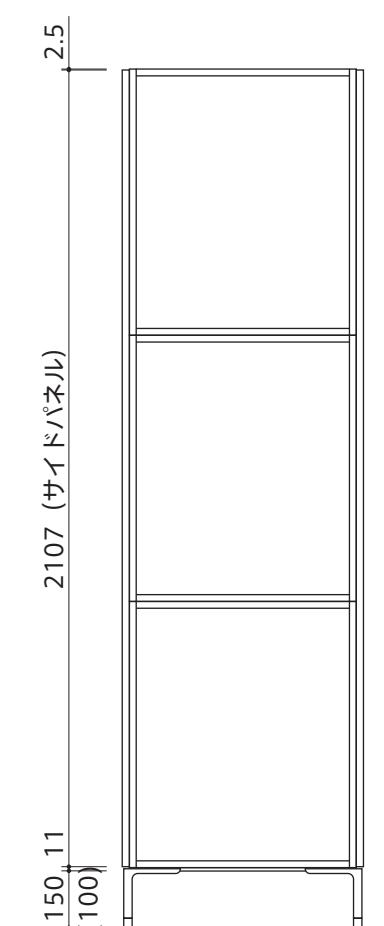
※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

※ [] 内寸法は、奥行625mmの場合を示す。

【平面図】

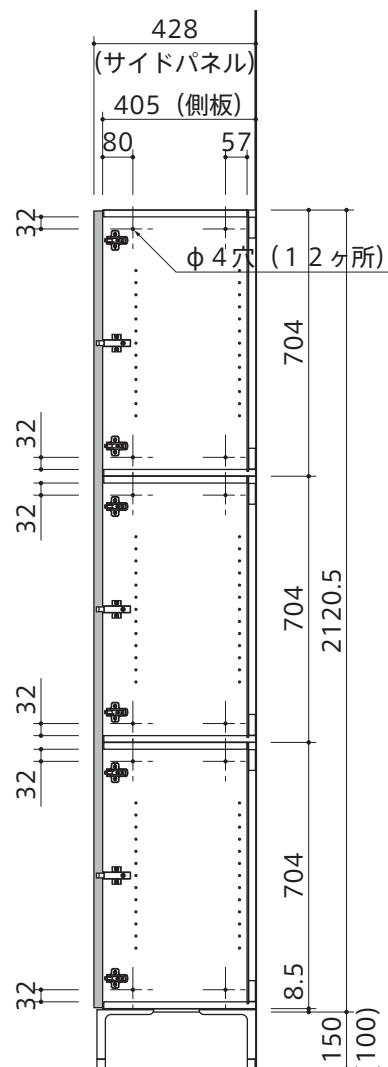


【正面図】

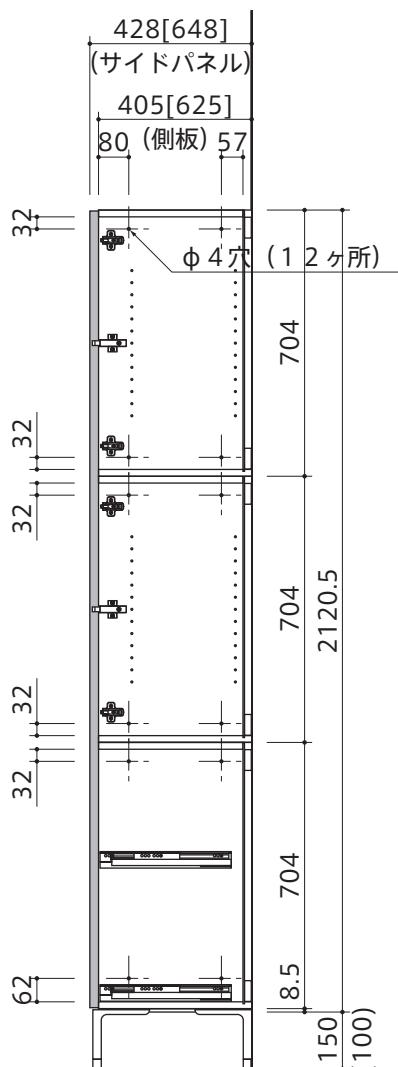


【側面図】

開き扉タイプ

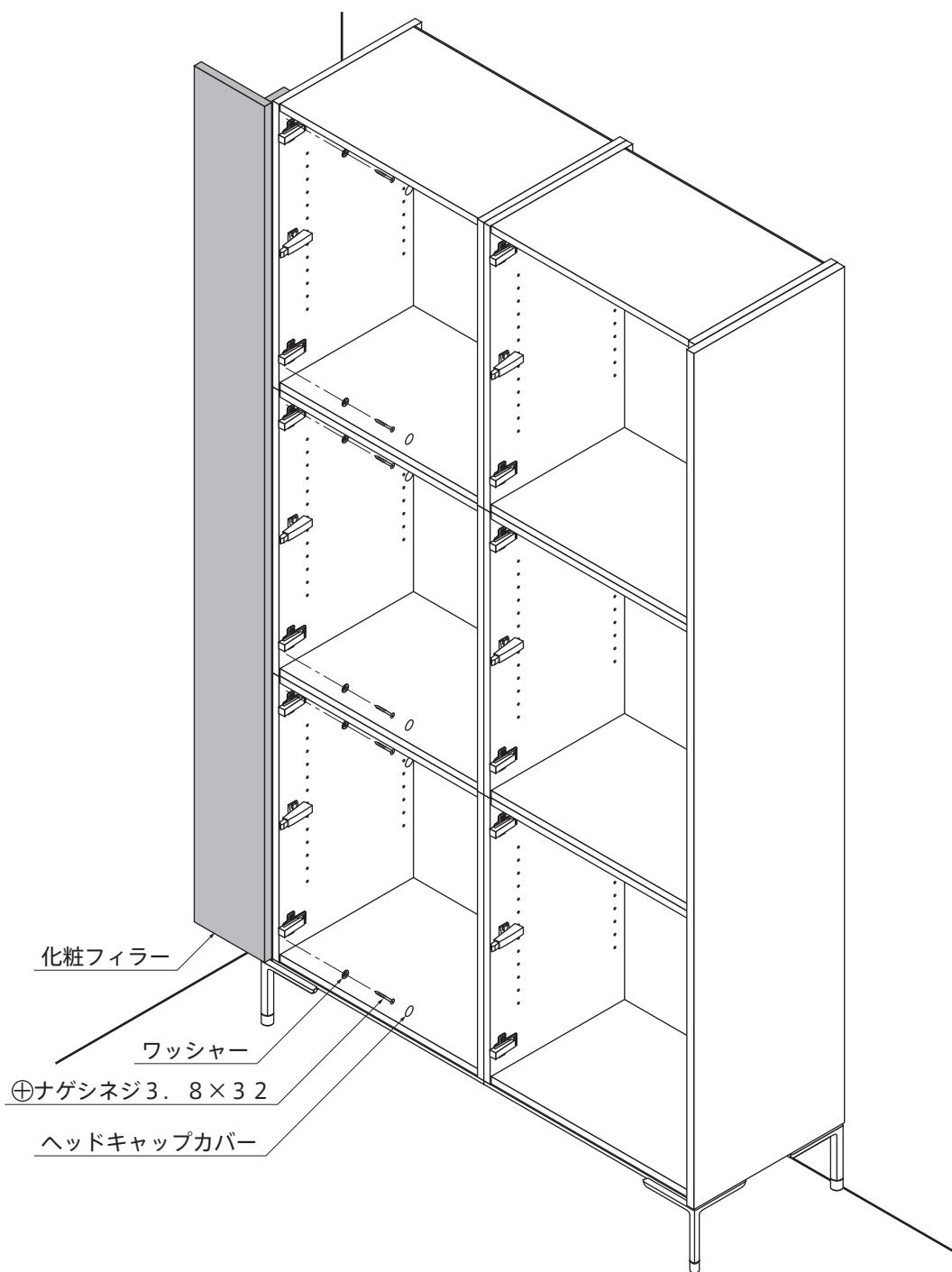


開き扉+引き出しタイプ



11 化粧フィラーの取付け

- ユニット側板の指定位置に化粧フィラーを取付けます。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（6ヶ所）をあけます。
④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、化粧フィラーを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

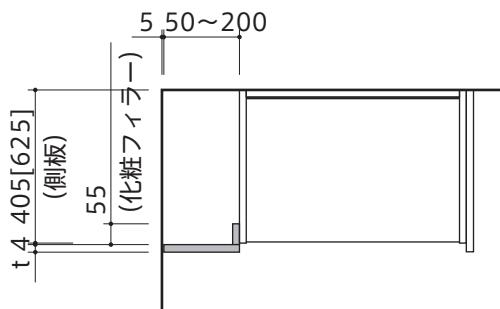


化粧フィラー取付位置

※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

※ [] 内寸法は、奥行625mmの場合を示す。

【平面図】

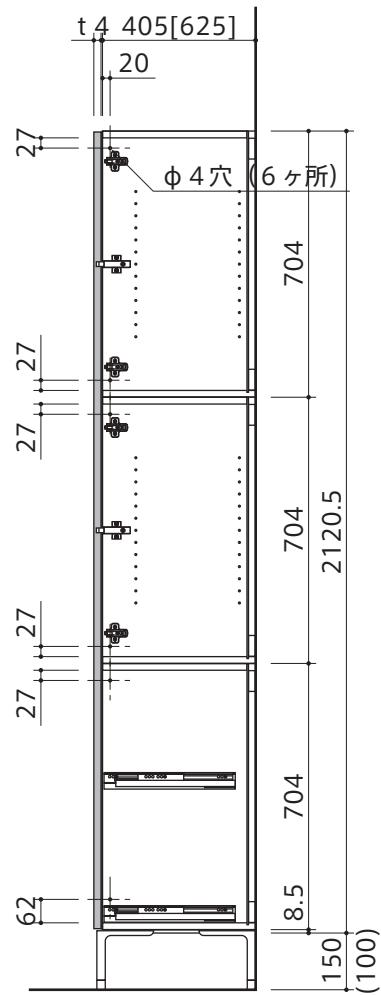
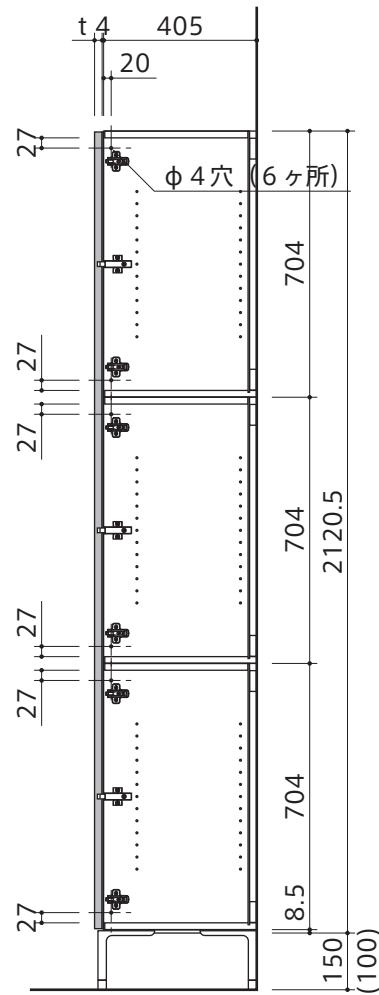
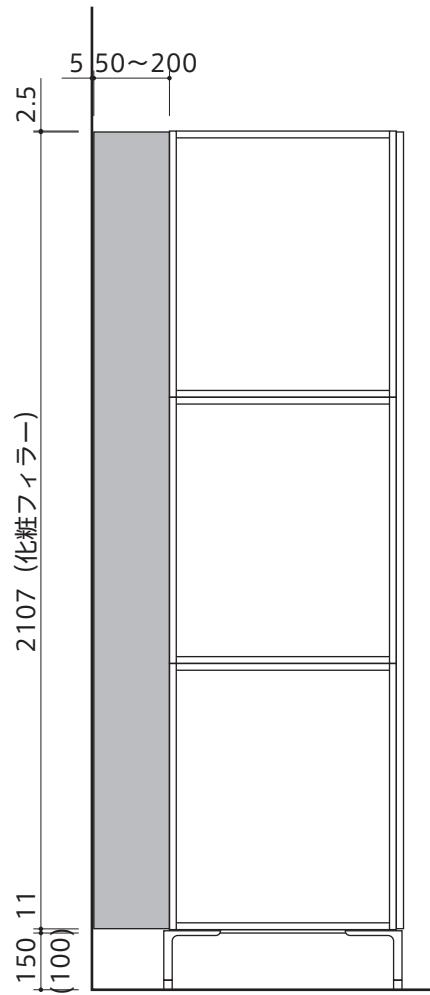


【正面図】

【側面図】

開き扉タイプ

開き扉+引き出しタイプ



12 壁面への固定



トルル収納の取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



落下して、ケガをする恐れがあります。

*ユニットを壁面へ固定する前に必ずレベル調整を行ってください。

- ユニットを壁面に固定します。
ユニット背板の指定位置にΦ4.5穴をあけます。
ナゲシネジ4.2×65にワッシャーを通して、ユニットを壁面に固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

ワッシャー

ナゲシネジ4.2×65

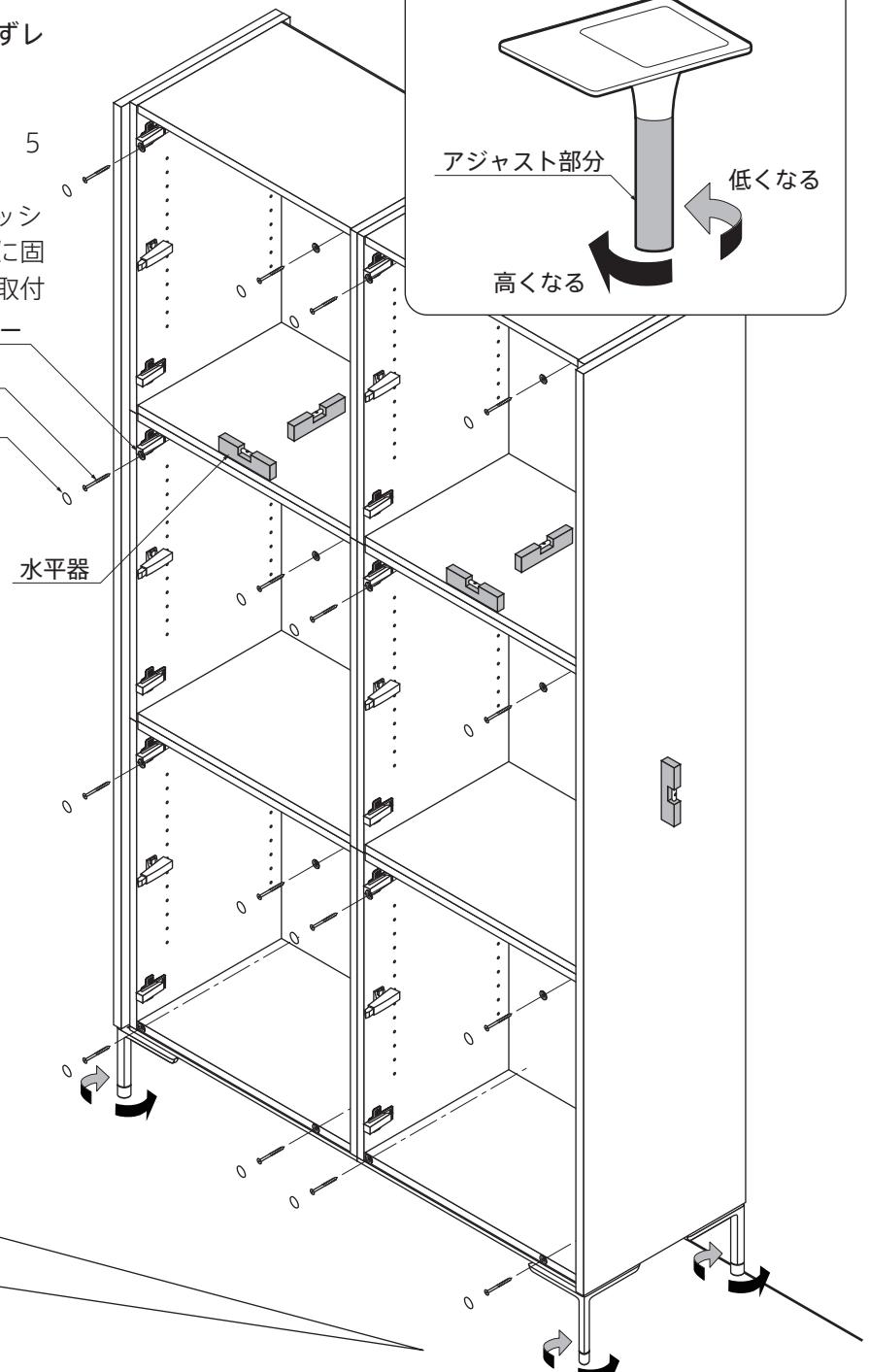
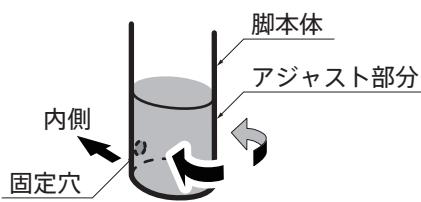
ヘッドキャップカバー

CORE AFの調整

- アジャスト部分を手で回して調整します。

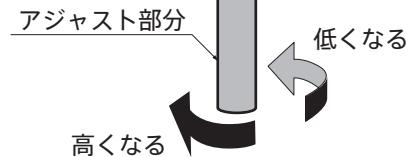
*調整範囲 -0~+10mm
アジャスト部分の固定穴が見えないように内側へ向けてください。

- 脚本体とアジャスト部分の形状が揃うように調整してください。



アジャストパーツの調整

- アジャスト部分を手で回して調整します。
※調整範囲 -0~+10mm
※調整は0mmを基準として、最小範囲で行ってください。



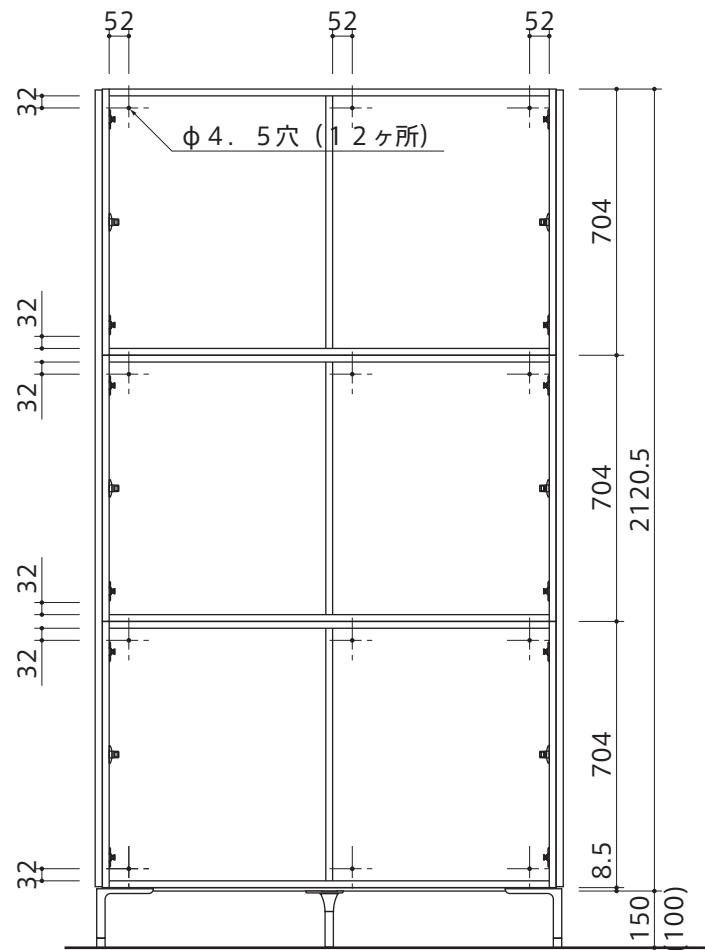
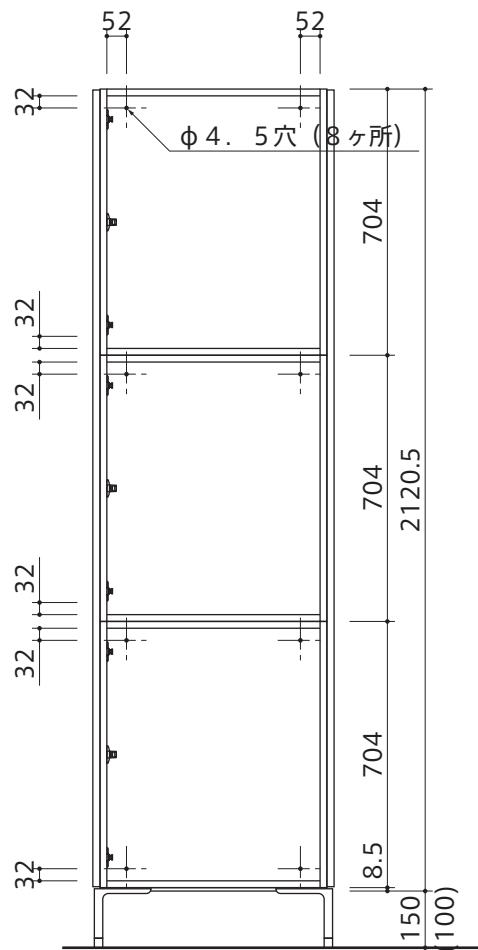
壁面固定位置【正面図】

※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

開き扉タイプ

■間口450mm・
間口600mmの場合

■間口900mm・
間口1200mmの場合



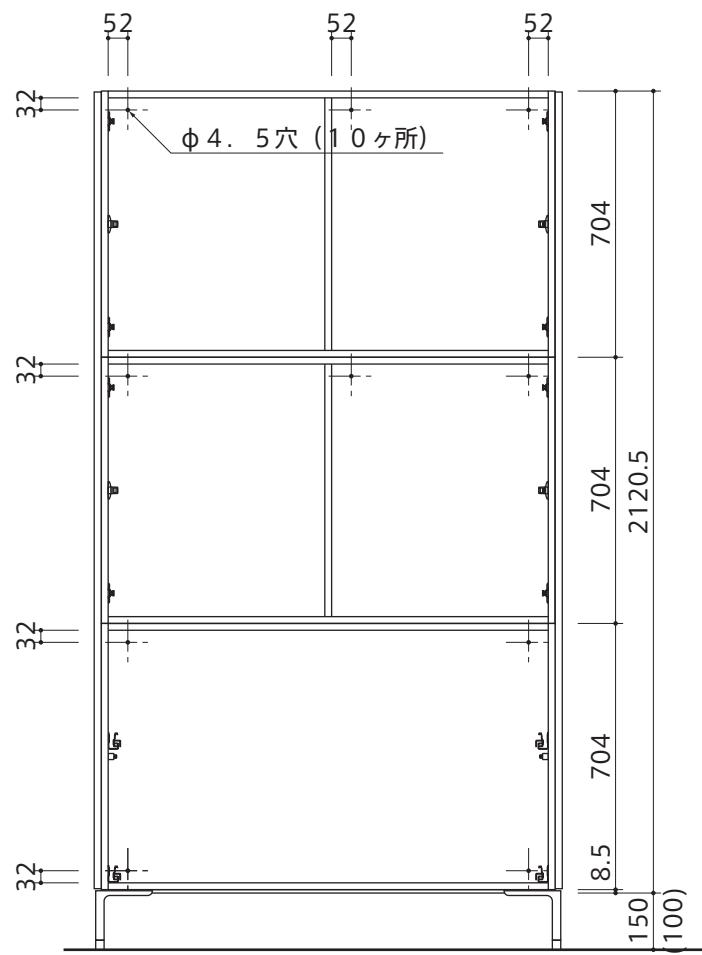
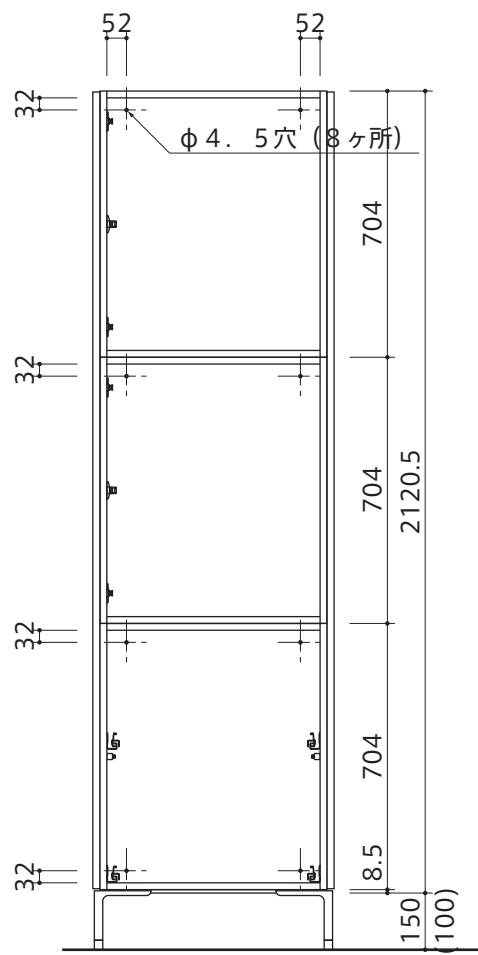
壁面固定位置【正面図】

※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】の場合を示す。

開き扉+引き出しタイプ

■間口450mm・
間口600mmの場合

■間口900mm・
間口1200mmの場合

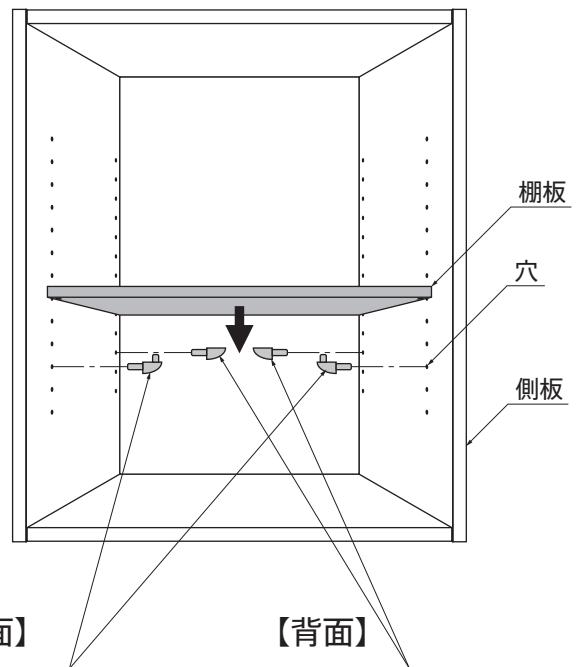
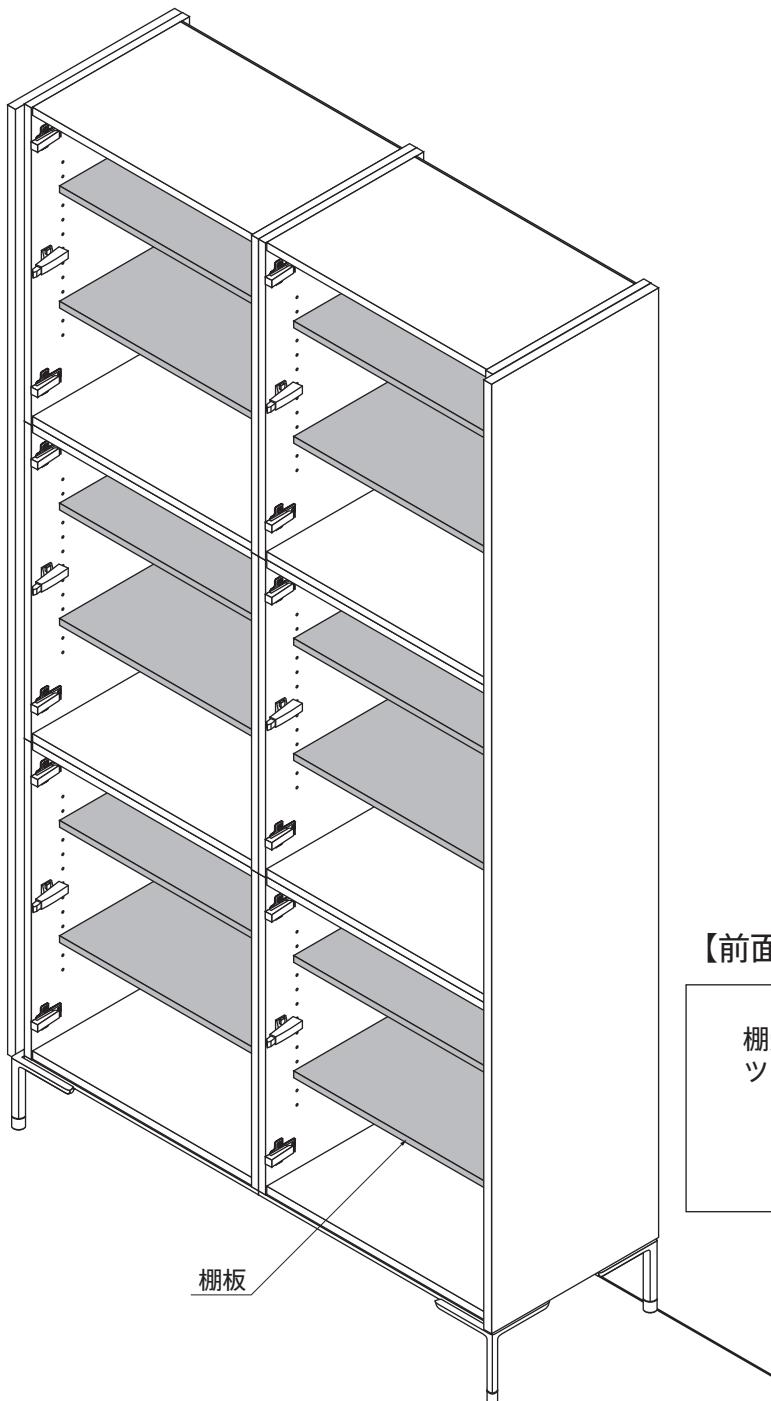


13 棚板の取付け（※開き扉ユニットの場合）

・側板（間口900・1200mmの場合、側板と中仕切）の任意の穴位置に棚受け（ダボ）を差し込みます。

前面にはツメ付き、背面にはツメ無しを差し込みます。

・棚板を棚受け（ダボ）にのせます。



【前面】

棚受け（ダボ）
ツメ付き



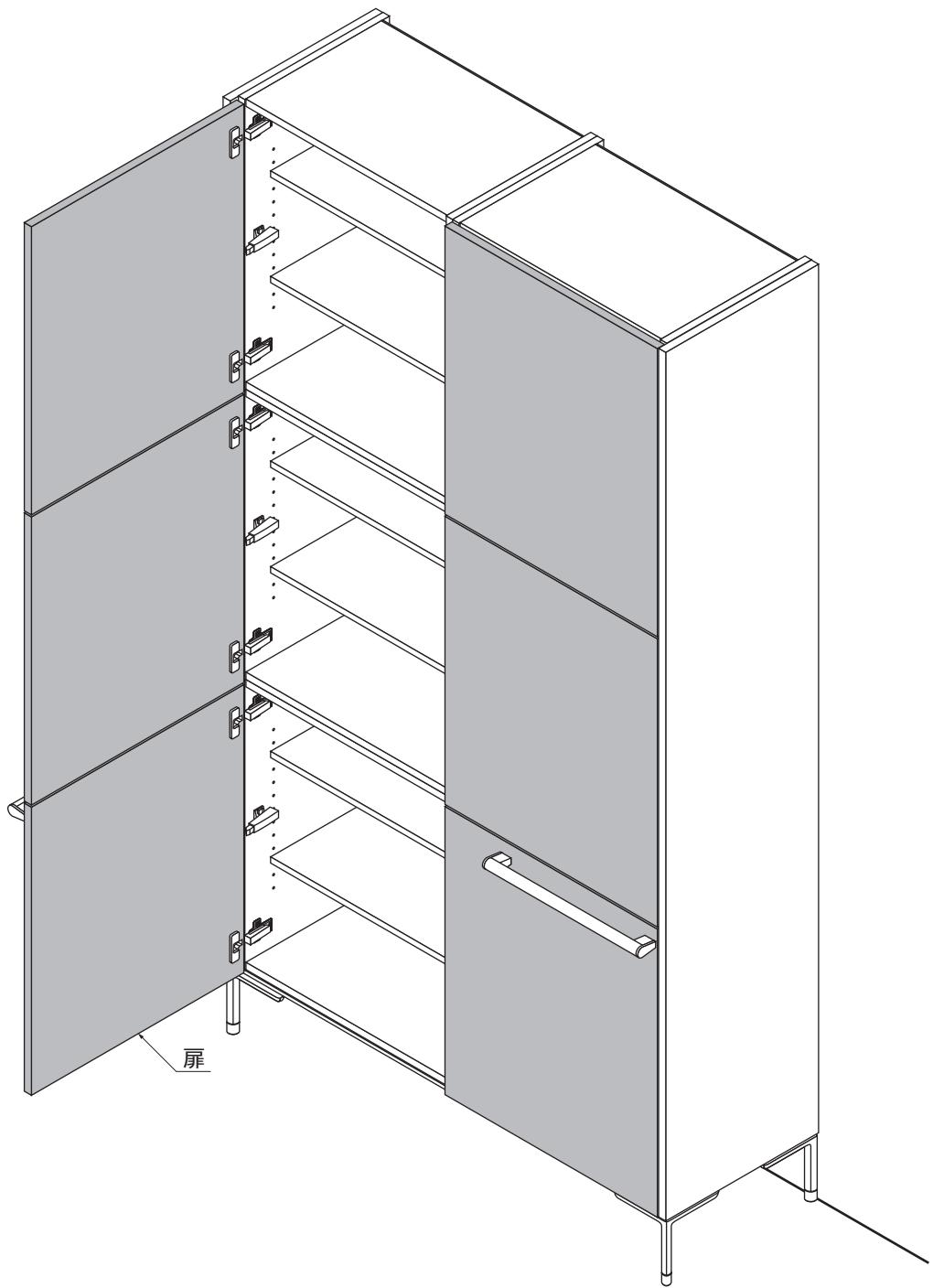
【背面】

棚受け（ダボ）
ツメ無し



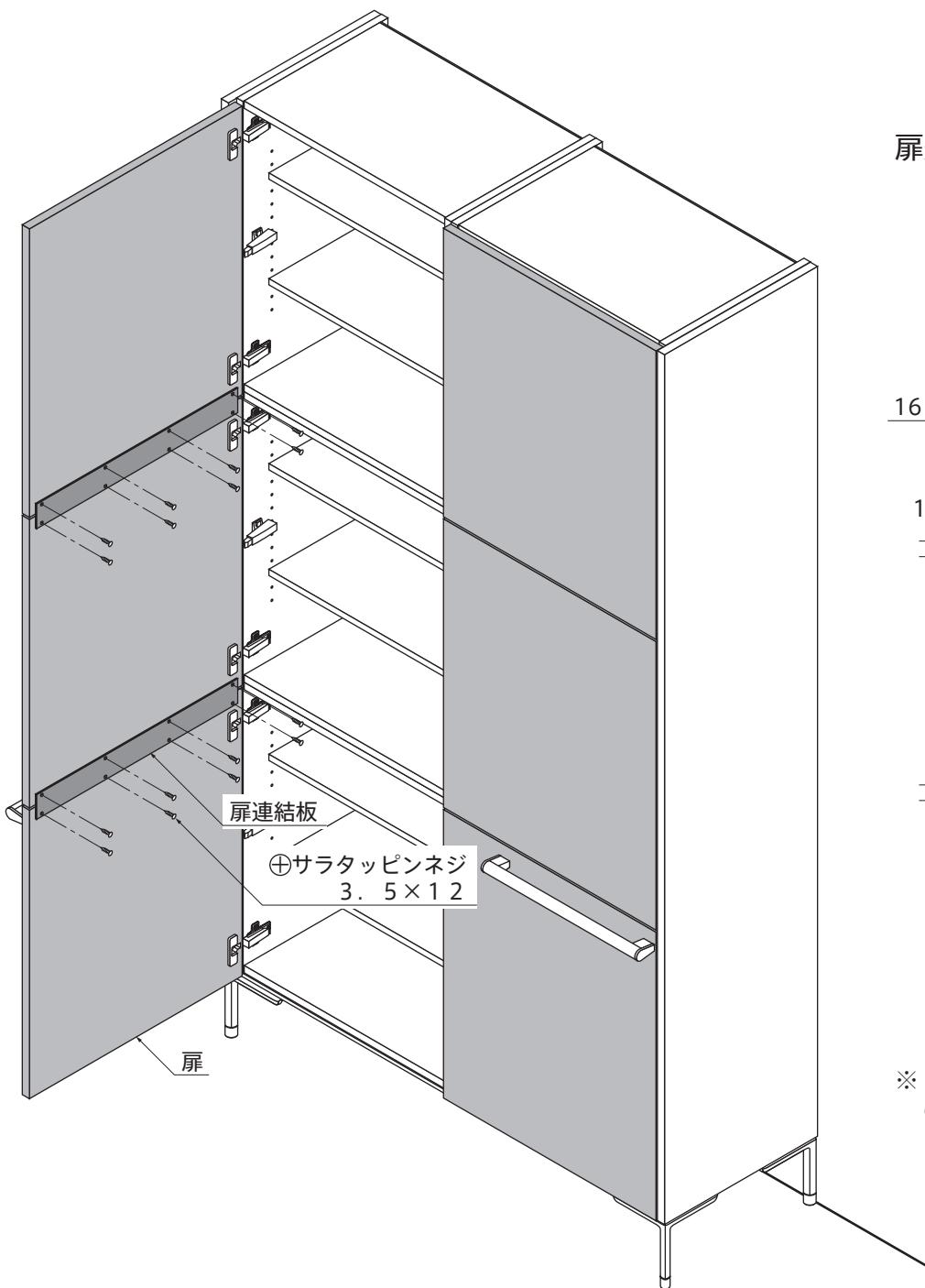
14 扉の取付け（※開き扉ユニットの場合）

- ユニットに扉を取付けます。（「共通」の「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）

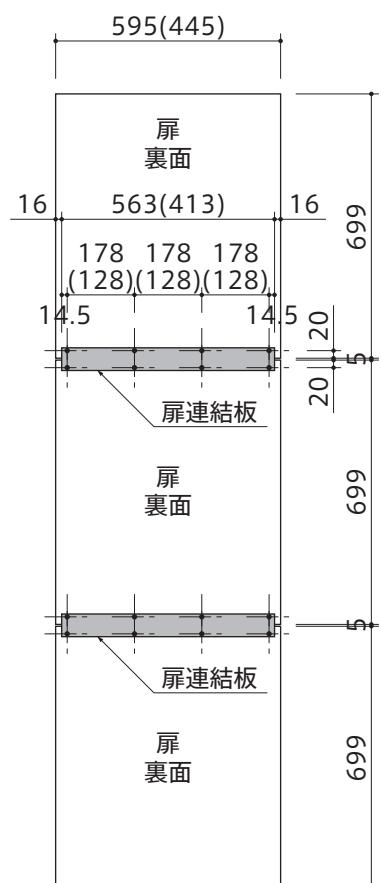


15 扉連結板の取付け [開き扉タイプの場合]

- 下段ユニットと中段ユニット、中段ユニットと上段ユニットの扉を連結します。
⊕サラタッピンネジ3.5×12にて、扉裏面の指定位置に扉連結板を取付けます。



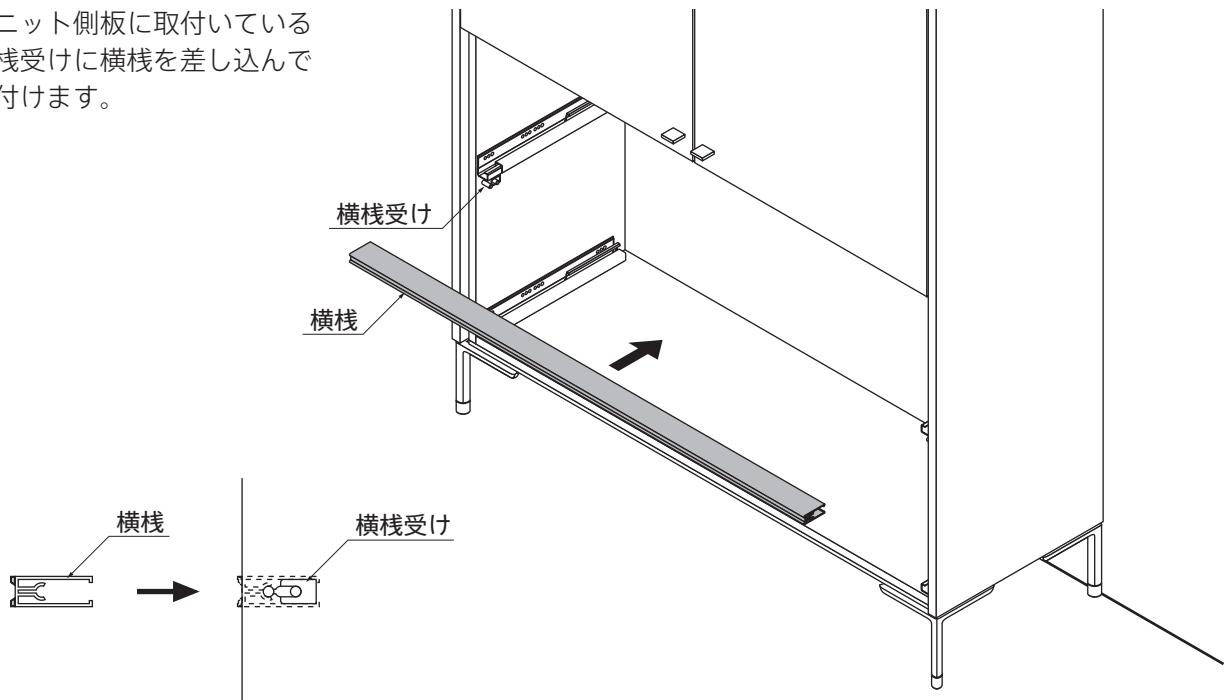
扉連結板取付位置



※()内寸法は、間口450、
900mmの場合を示す。

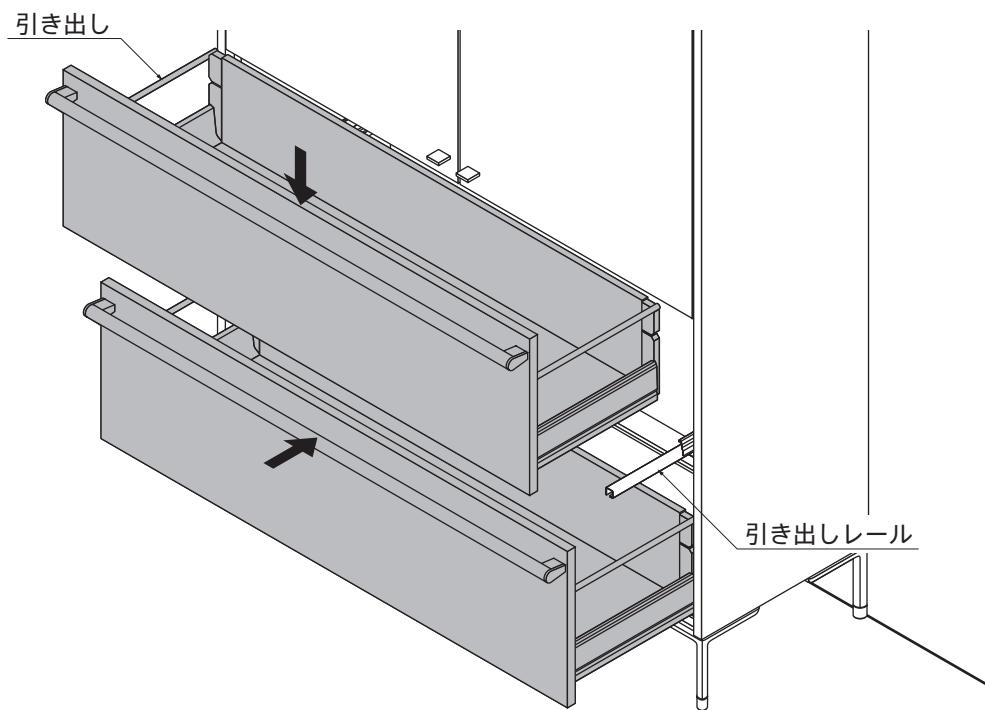
16 横桿の取付け（※引き出しユニットの場合）

- ユニット側板に取付いている横桿受けに横桿を差し込んで取付けます。



17 引き出しの取付け（※引き出しユニットの場合）

- 引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
- 引き出しレールの上に引き出しをのせます。
- 引き出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。



開き扉タイプ 開き扉+引き出しタイプ

MNTN - 45(60)TNL(R)

MNTN - 90(120)TN

MNT(M)N - 45(60)BH2TNL(R)

MNT(M)N - 90(120)BH2TN

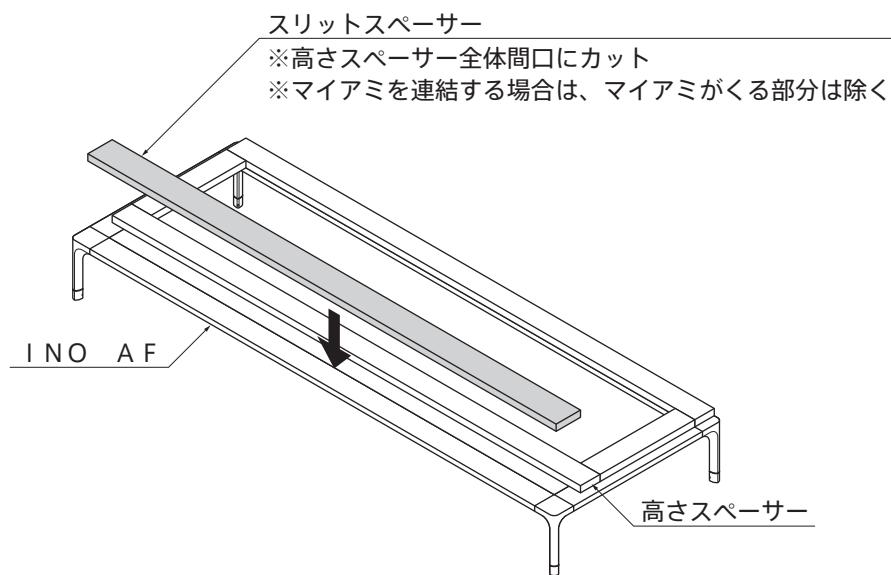
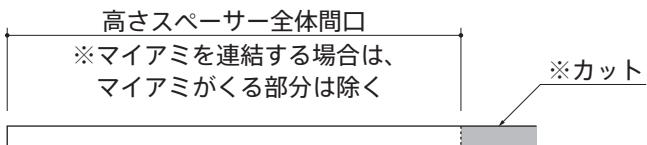
【INO AF Sタイプ
／Cタイプの場合】

取付・設置方法

① スリットスペーサーの加工、取付け

- ・スリットスペーサーを高さスペーサー全体間口に合わせてカットします。
※マイアミを連結する場合は、マイアミがくる部分は除く。
- ※カットした面にスリット化粧板を貼るため、きれいに仕上げてください。
- ・スリットスペーサーの両面テープのはく離紙を剥がし、INO AFの高さスペーサー前端に合わせて貼り付けます。

スリットスペーサー加工寸法



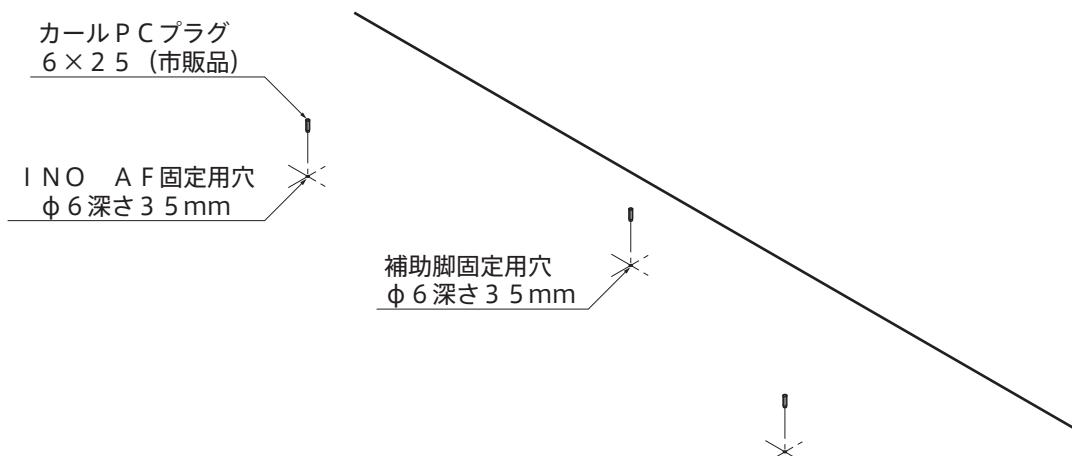
2 固定用穴あけ (※床固定にカールPCプラグを使用する場合)

※コンクリート床、石床の場合、INO AFを設置する前にカールPCプラグを取付けます。

壁に接する側のINO AF取付位置にはカールPCプラグの取付けは不要です。

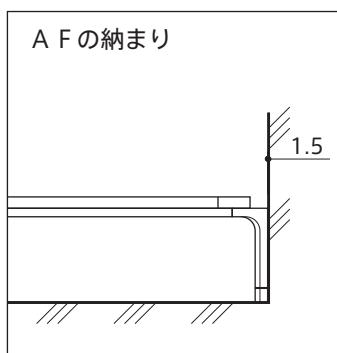
- INO AFと補助脚の設置位置に固定用穴Φ6深さ35mmをあけます。

- 固定用穴にカールPCプラグ6×25(市販品)を打ち込みます。

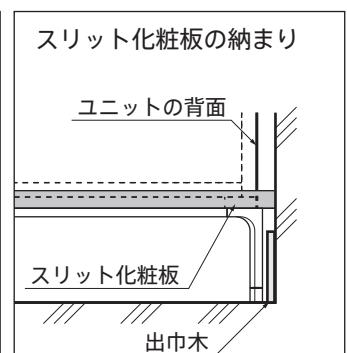
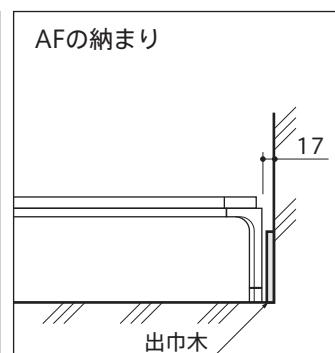


【側面図】 ※イラストはSタイプを示します。收まりはCタイプも同様です。

■背面の壁に出巾木がない場合

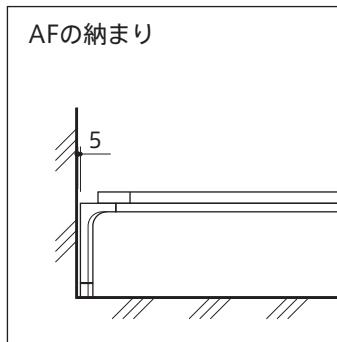


■背面の壁に出巾木がある場合

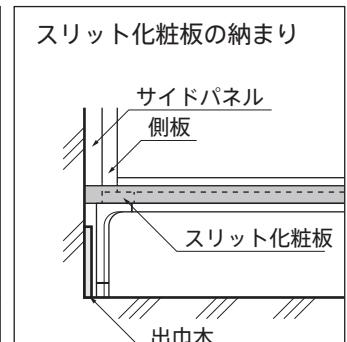
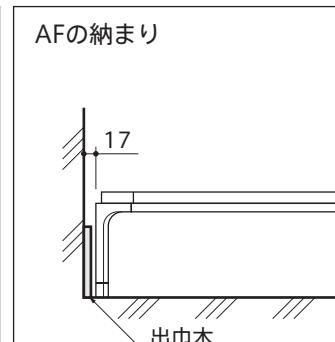


【正面図】 (※INO AF側面が壁に隣接する場合)

■側面の壁に出巾木がない場合



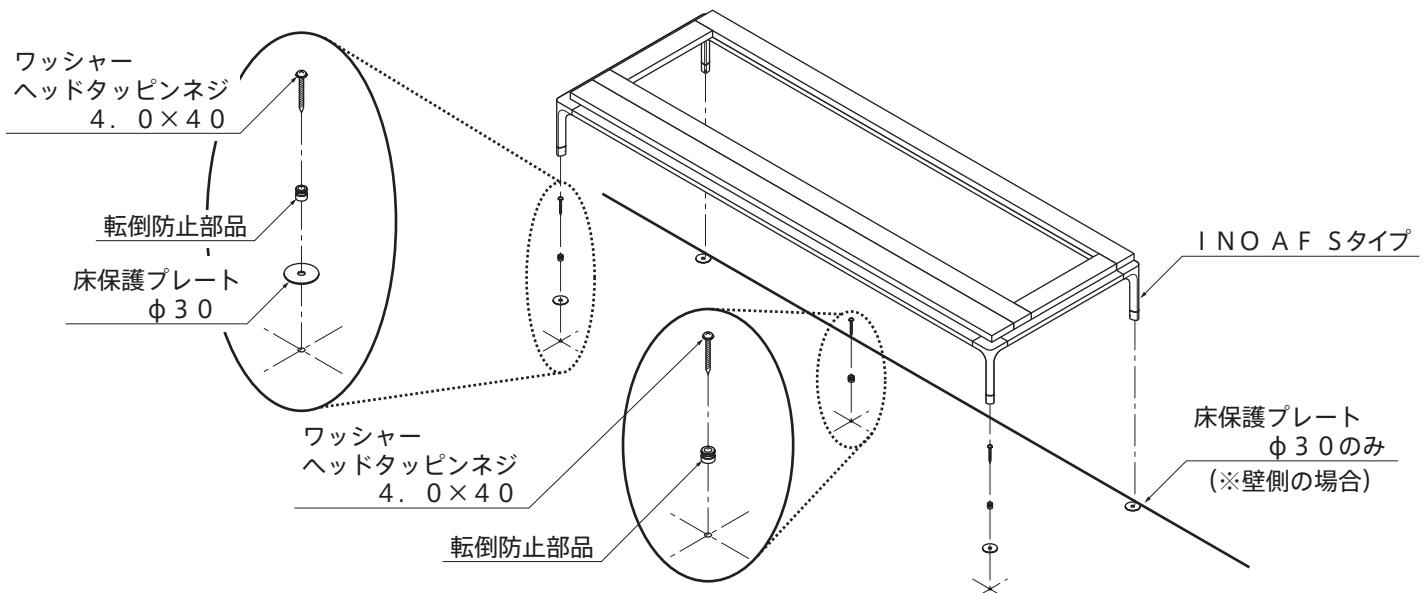
■側面の壁に出巾木がある場合



3 転倒防止部品の取付け、INO AFの設置

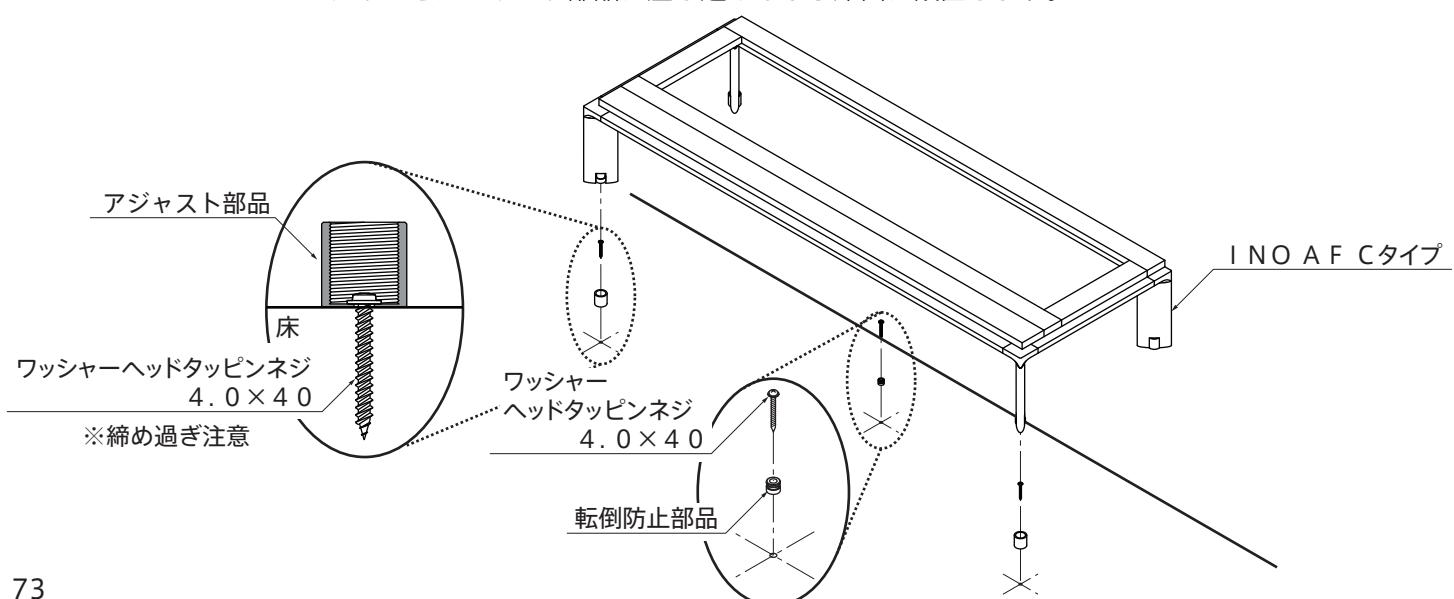
■ INO AF Sタイプの設置

- INO AFの設置位置に、床保護プレートφ30を置き、その上から付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床面に固定します。
 - 補助脚の設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床面に固定します。
- ※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取付けます。
壁に接する側は転倒防止部品を取付けず、床保護プレートφ30のみ置きます。
- INO AFを転倒防止部品に差し込みながら床面に設置します。



■ INO AF Cタイプの設置

- INO AF Cタイプの設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にてアジャスト部品を床面に固定します。
- ※ネジを完全に締めずに、アジャスト部品が回る程度に締めてください。
- 補助脚の設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床面に固定します。
- ※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取付けます。
- INO AF Cタイプをアジャスト部品に差し込みながら床面に設置します。

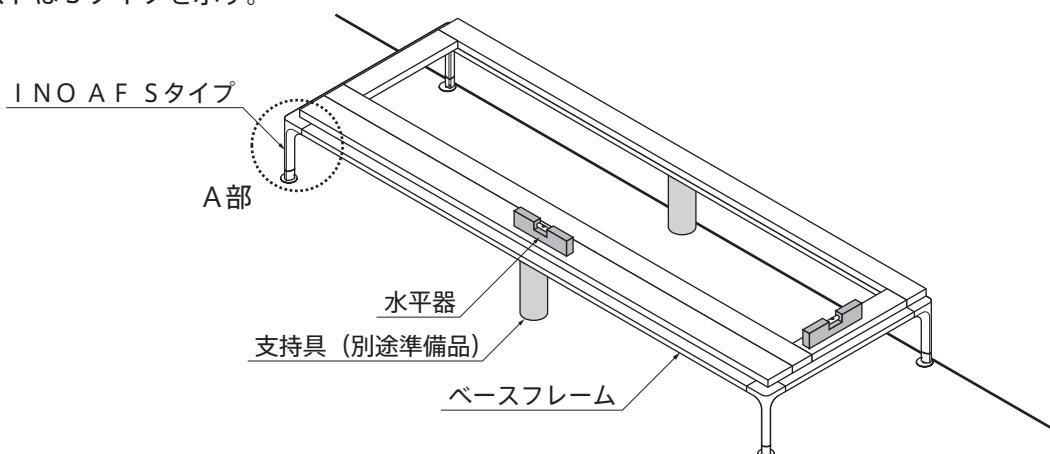


4 支持具の設置

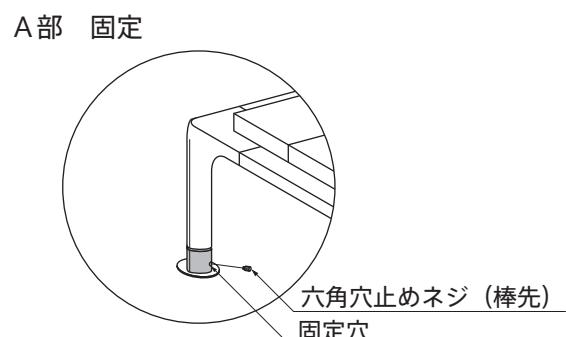
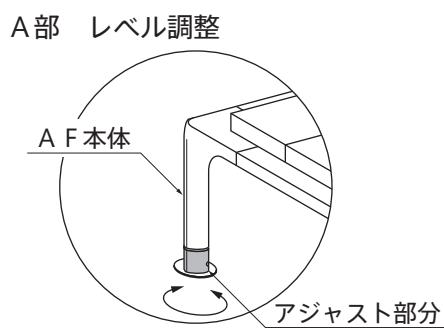
- ・取付・設置の際に、ベースフレームがたるまないように、支持具（別途準備品）で支えます。支持具はベースフレーム下で支え、750mmピッチ以下になるように設置します。
- ※支持具は、取付・設置が全て終了したら取り外します。

5 レベル調整、INO AFの固定

- ・INO AFのアジャスト部分を回して、レベルを調整します。
※調整範囲 -0~+10mm
- ※AF本体とアジャスト部分の形状が揃うように調整します。
- ・前側のINO AFのアジャスト部分の固定穴から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。
※イラストはSタイプを示す。



■ S タイプの場合



■ C タイプの場合

- ・INO AF Cタイプをアジャスト部品の上に設置し、本体が大きく傾かない様に調整しながら一番下まで締めます。（図1）
- ・一番下まで締めた状態を基準とし、低い場所のレベルを調整する。（図2）

図1

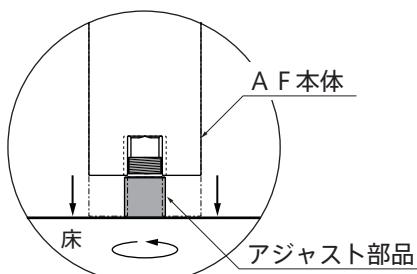
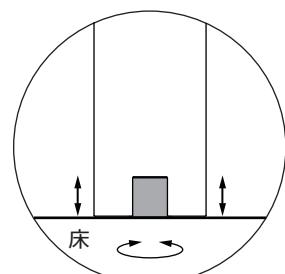
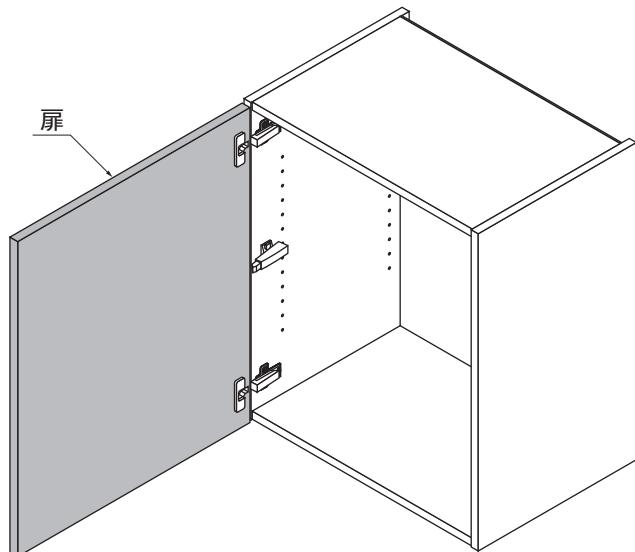


図2



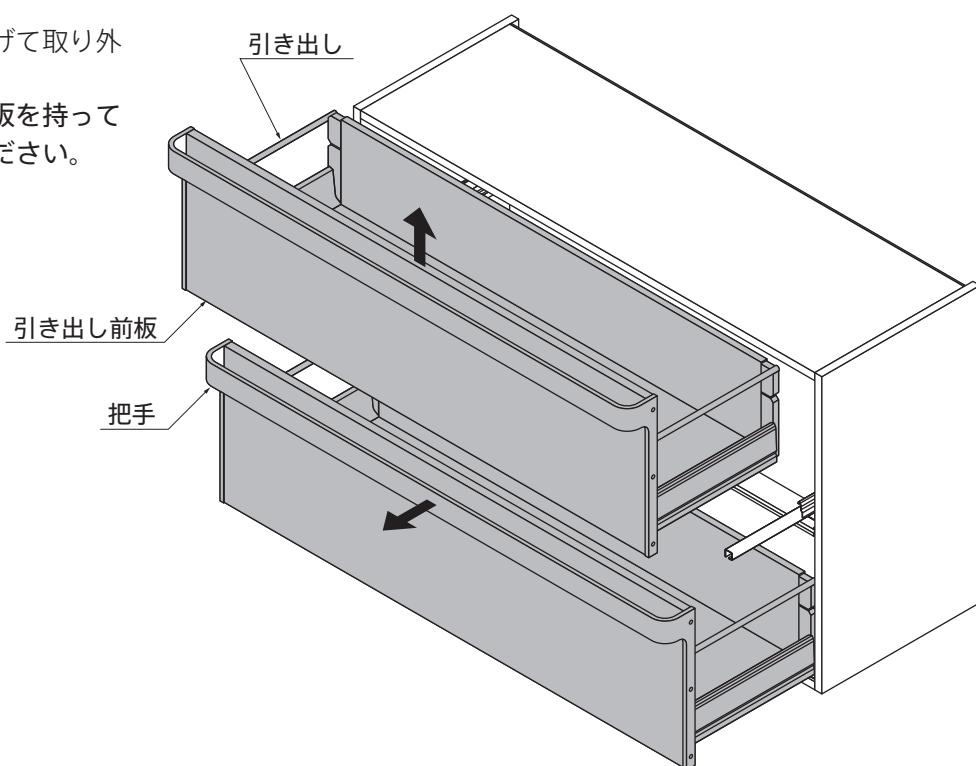
6 扉の取り外し（※開き扉ユニットの場合）

- 扉を取り外します。（「共通」の「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）



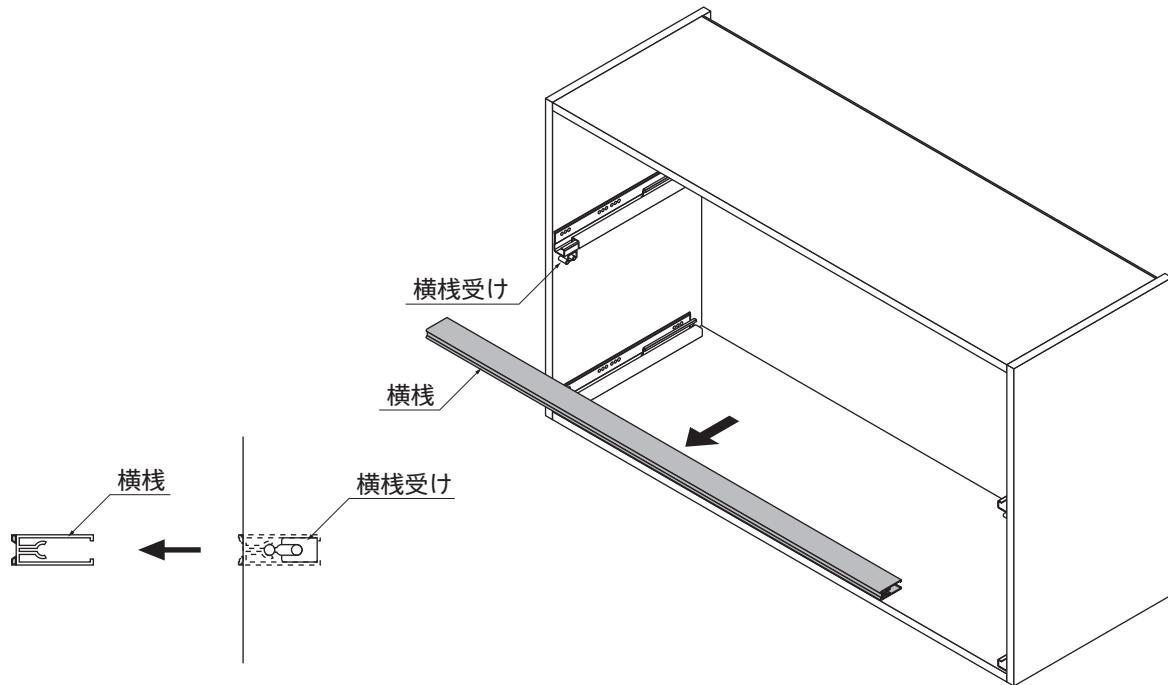
7 引き出しの取り外し（※引き出しユニットの場合）

- 引き出しを取り外します。
引き出しをいっぱいまで引き
出します。
引き出しを持ち上げて取り外
します。
- ※把手や引き出し前板を持って
取り外さないでください。



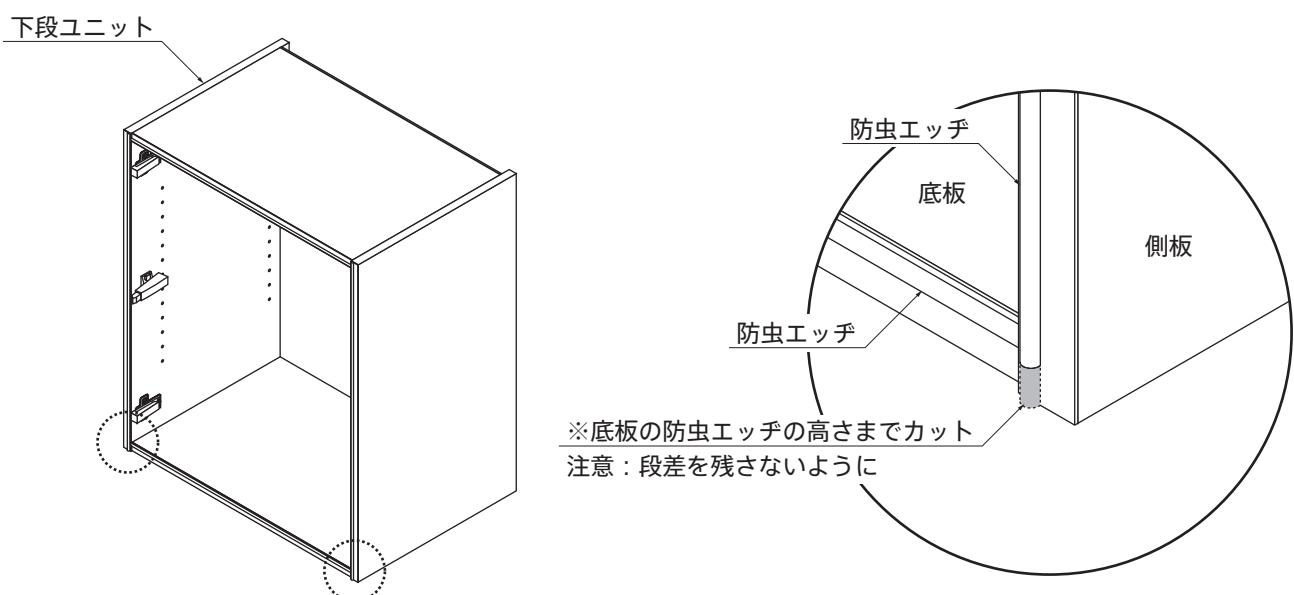
8 横桿の取り外し（※引き出しユニットの場合）

- ・横桿受けから横桿を引き抜いて取り外します。



9 防虫エッチの加工

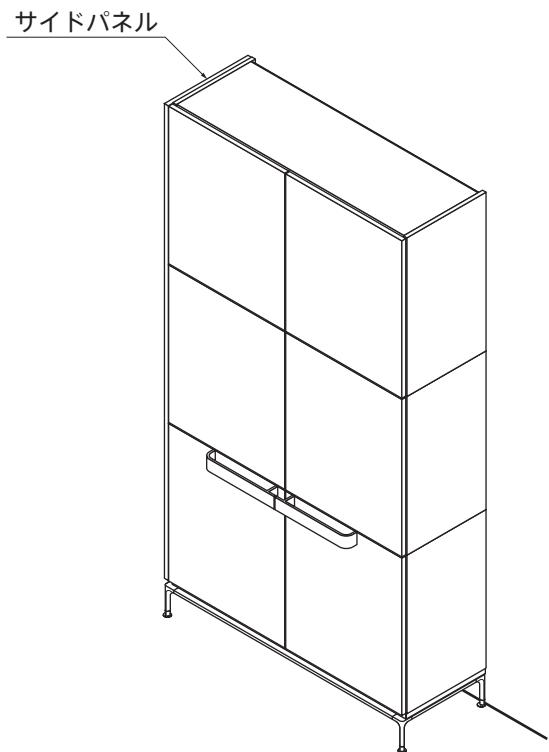
- ・下段ユニット側板の防虫エッチをカットします。
- 側板下部の防虫エッチを底板の防虫エッチの高さまでカットします。
- ※カットした部分にスリット化粧板を貼るため、段差を残さないようきれいに仕上げてください。



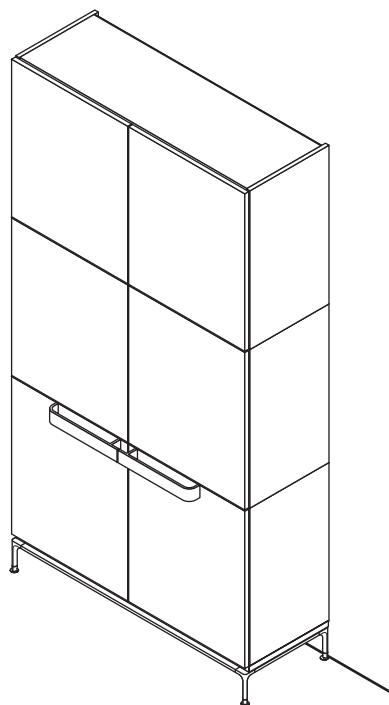
10 底板スペーサーの加工

- ・サイドパネルや化粧フィラーを取付けない場合、底板スペーサーを 5 mmカットします。
 - ・ユニット単独置きで両側ともサイドパネルや化粧フィラーを取付けない場合は、10 mmカットします。
- ※カットした面にスリット化粧板を貼るため、きれいに仕上げてください。

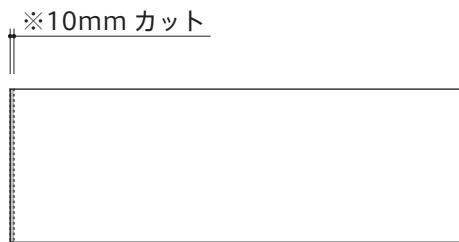
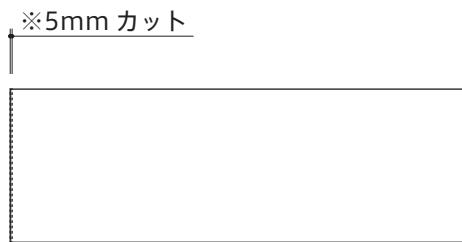
■片側のみサイドパネルや
化粧フィラーを取付けない場合



■両側ともサイドパネルや
化粧フィラーを取付けない場合

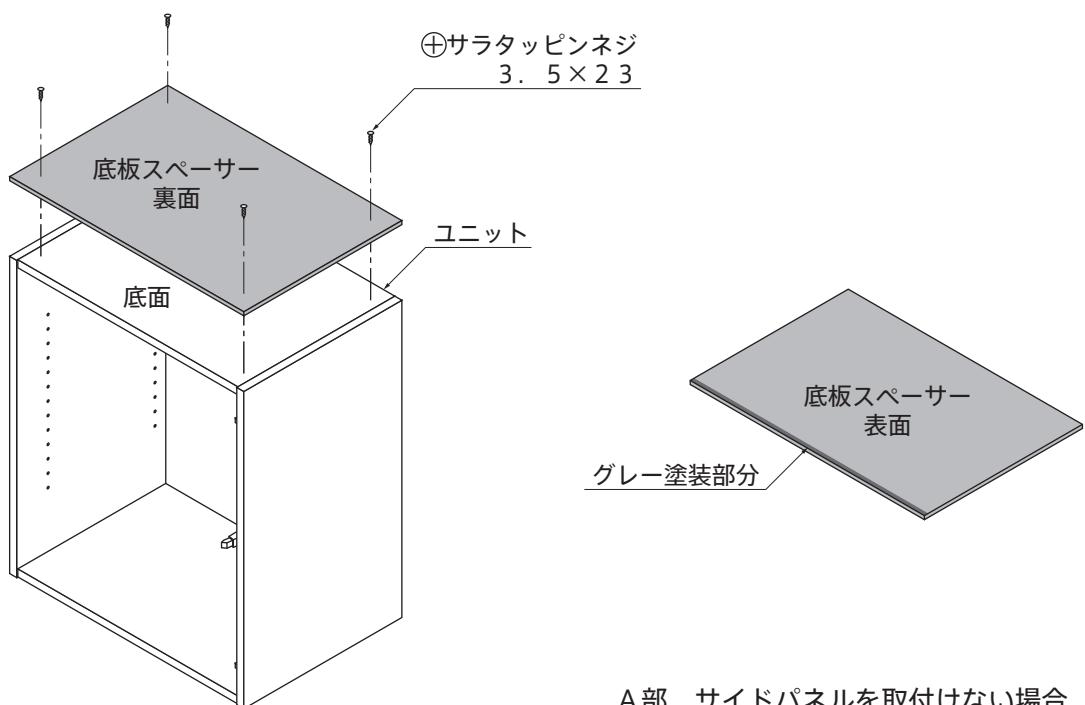


底板スペーサー加工寸法

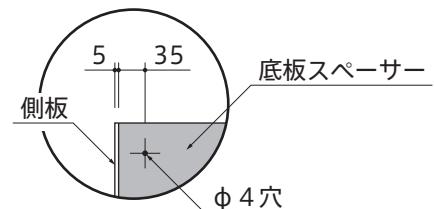


11 底板スペーサーの取付け

- ユニット底面に底板スペーサーを取付けます。
底板スペーサーの指定位置にΦ4穴をあけます。
底板スペーサーのグレー塗装部分がユニット前面の底板面にくるようにして、ユニットに置きます。
底板スペーサーの背面はユニット後端に揃え、側面は側板側面に揃えて（サイドパネルを取付けない場合、側板側面から5mm内側にくるように）、④サラタッピンネジ3.5×23にて固定します。
※「底板スペーサーの加工」にて底板スペーサーをカットし、ユニットを連結するレイアウトの場合は、カットした面が連結側にくるように置きます。



A部 サイドパネルを取付けない場合

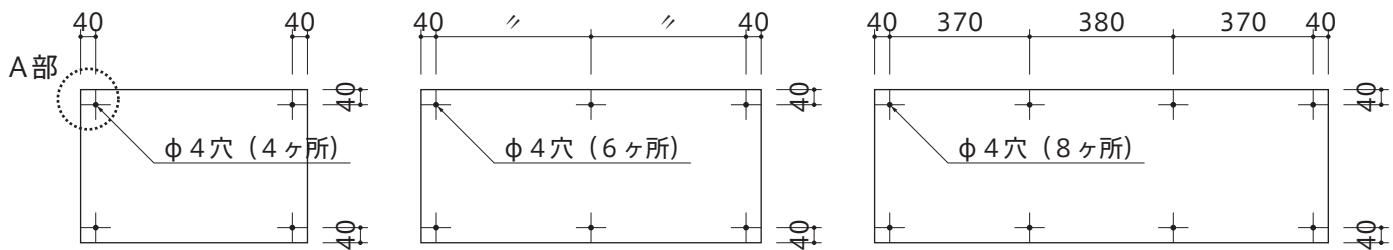


底板スペーサー取付位置

■間口450mm・
間口600mmの場合

■間口900mmの場合

■間口1200mmの場合



12 補助脚の取付け

■ S タイプの場合

S タイプの補助脚は、樹脂製クリアタイプになります。

- ・M 8 セレート付きネジを使用し、アジャスター プレートに補助脚を取付けます。
ユニットを裏に向けて、ユニット底板裏面の指定位置（「補助脚取付位置」を参照）に補助脚を取付けます。
アジャスター プレートの取付穴から、 \oplus サラタッピンネジ 4.0×16 （4本）にて固定します。

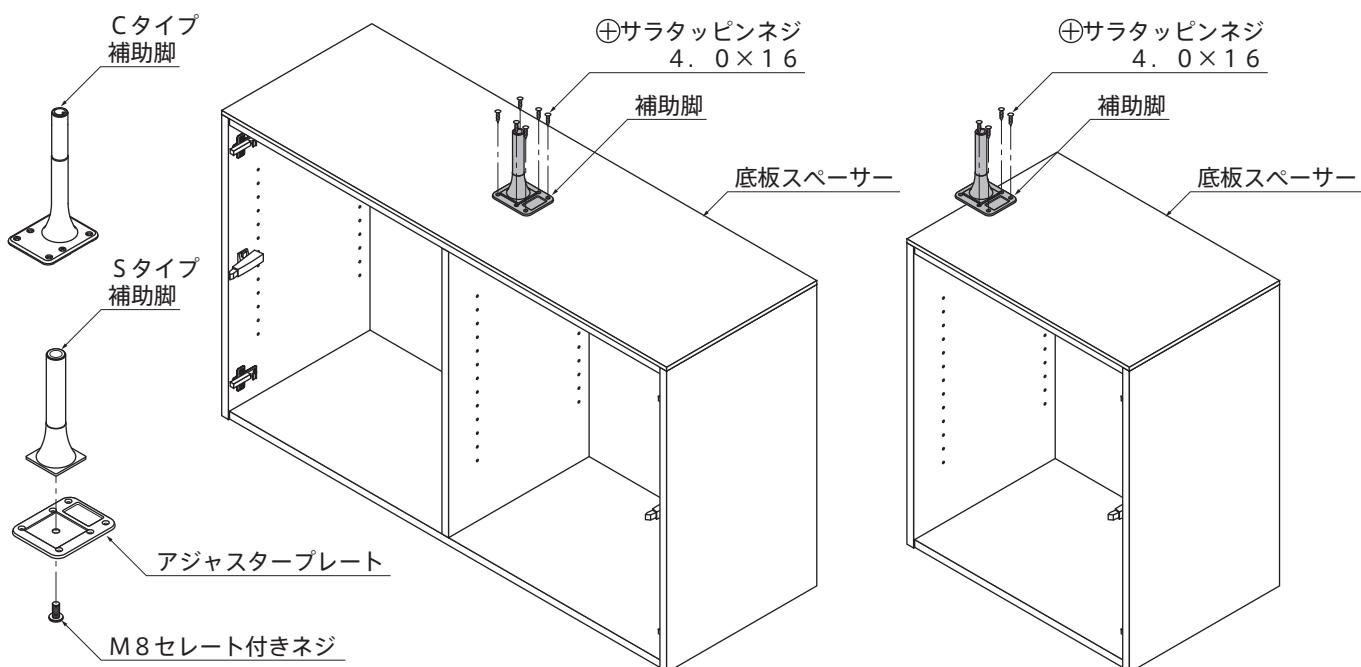
■ C タイプの場合

C タイプの補助脚は、金属製クロームメッキタイプになります。

- ・ユニットを裏に向けて、ユニット底板裏面の指定位置（「補助脚取付位置」を参照）に補助脚を取付けます。
補助脚の取付穴から、 \oplus サラタッピンネジ 4.0×16 （4本）にて固定します。

■ 間口 900 mm・間口 1200 mm の 開き扉タイプトール収納の場合

■ ユニットを連結する場合



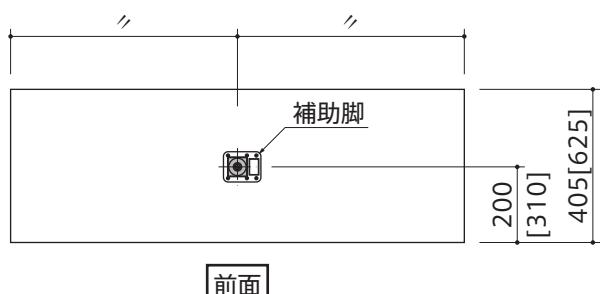
補助脚取付位置

※ [] 内寸法は、奥行 625 mm の場合を示す。

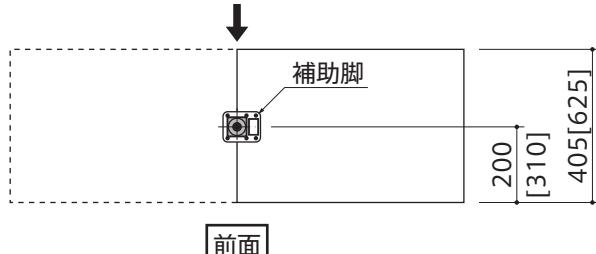
■ 間口 900 mm・間口 1200 mm の 開き扉タイプトール収納の場合

■ ユニットを連結する場合

ユニットのセンターに取付けます

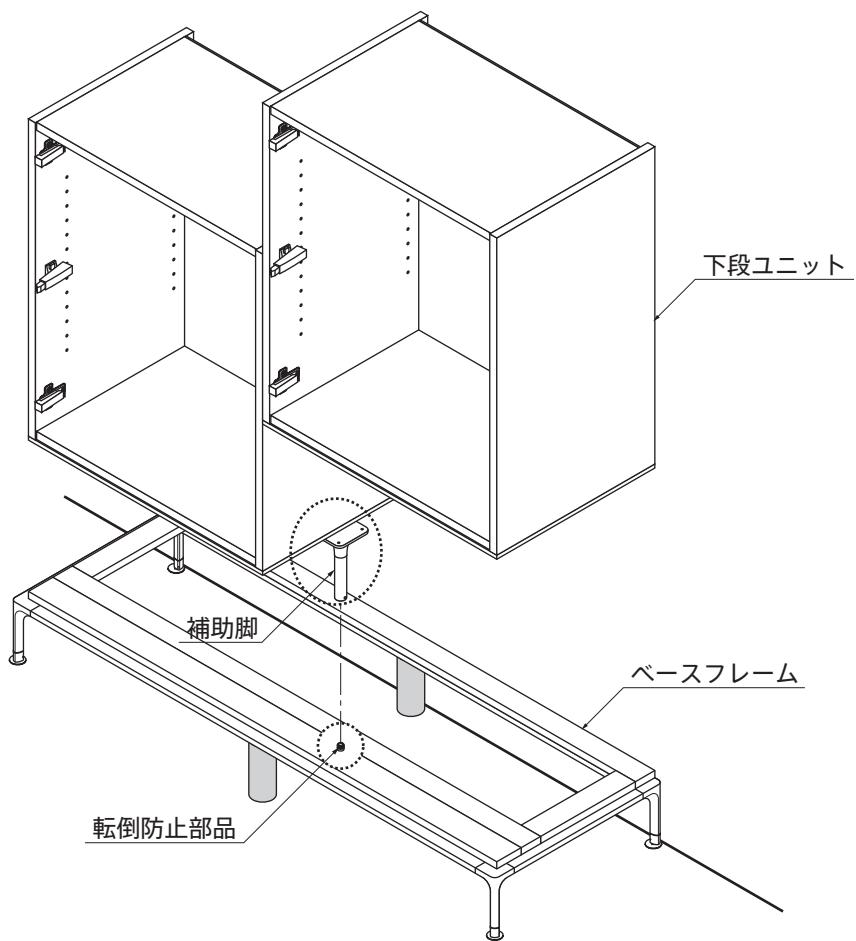


ユニットの連結位置に取付けます



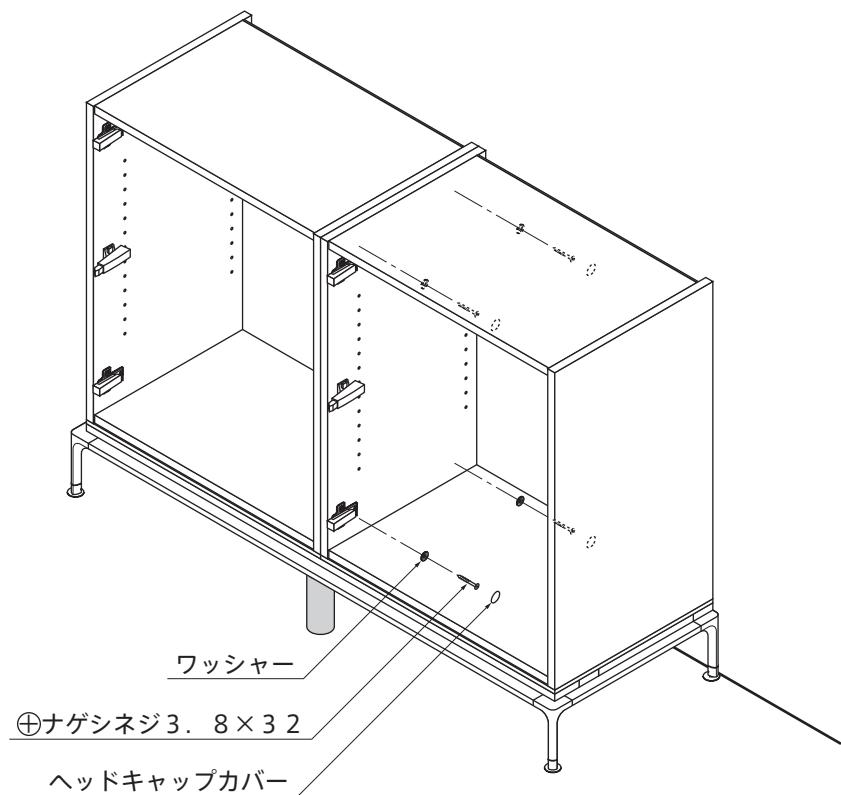
13 下段ユニットの設置

- ・ベースフレームの上に下段ユニットを設置します。
- ・間口900・1200mmの開き扉タイプトール収納の場合または、ユニットを連結する場合、補助脚を転倒防止部品に差し込みながら設置します。



14 下段ユニットの連結（※ユニットを連結する場合）

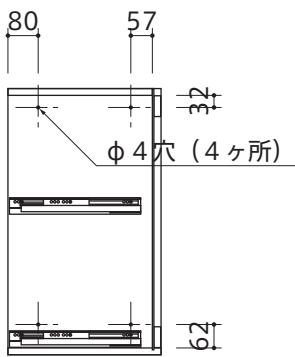
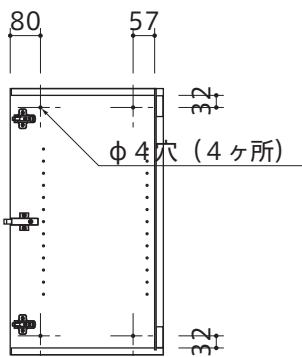
- ユニットの側板外面を合わせて、ユニット同士を連結します。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。
- ⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



ユニット連結位置【側面図】

開き扉ユニットの場合

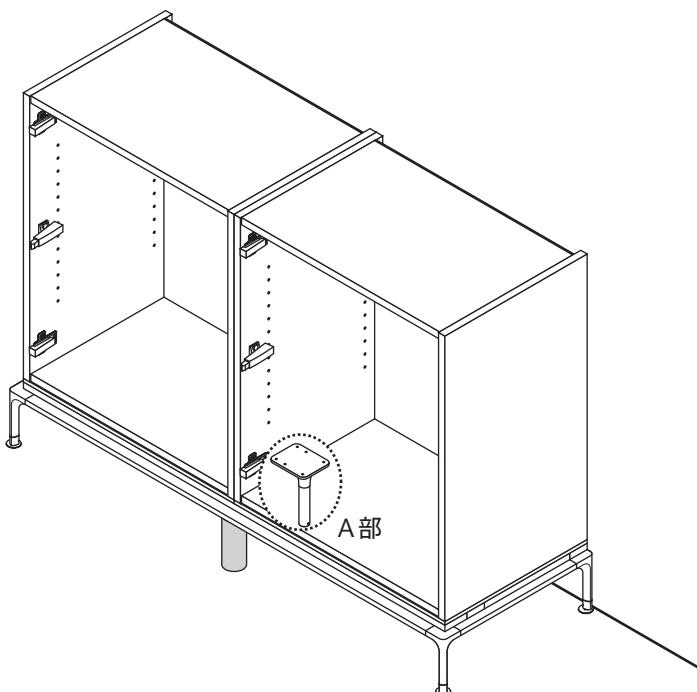
引き出しユニットの場合



15 補助脚のレベル調整・固定（※補助脚がある場合）

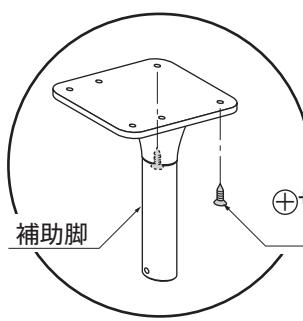
- ユニットを連結する場合、補助脚のアジャスター プレートの残りの穴から \oplus サラタッピンネジ 4.0 × 16 (2本) にて固定します。
- 補助脚のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。
■調整範囲 -0 ~ +10 mm
- 補助脚の固定穴 (Sタイプの場合2ヶ所、Cタイプの場合1ヶ所) から六角穴止めネジ (棒先) にて固定します。

※イラストはSタイプを示す

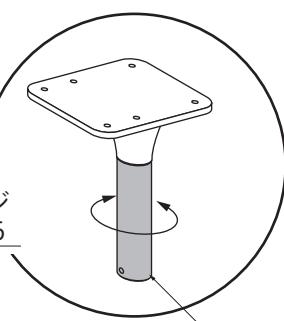


■ Sタイプの場合

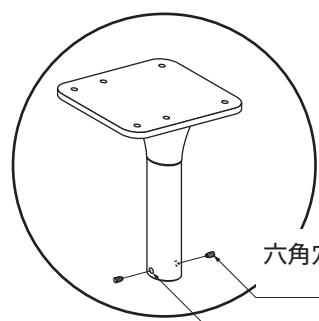
A部 ネジ固定
(※ユニットを連結する場合)



A部 レベル調整

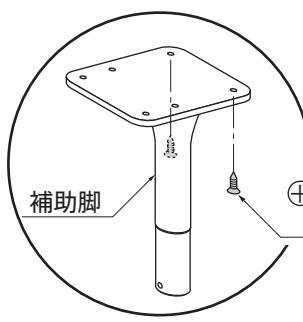


A部 固定

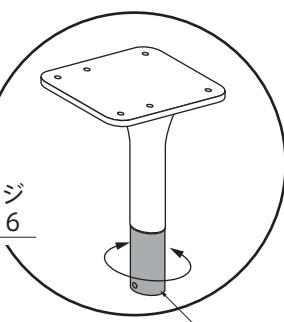


■ Cタイプの場合

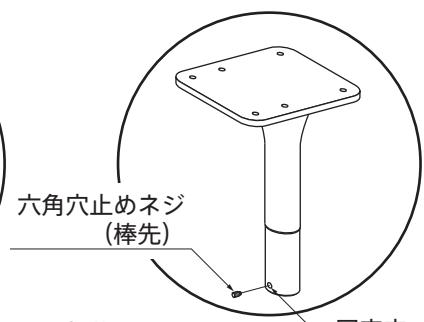
A部 ネジ固定
(※ユニットを連結する場合)



A部 レベル調整



A部 固定



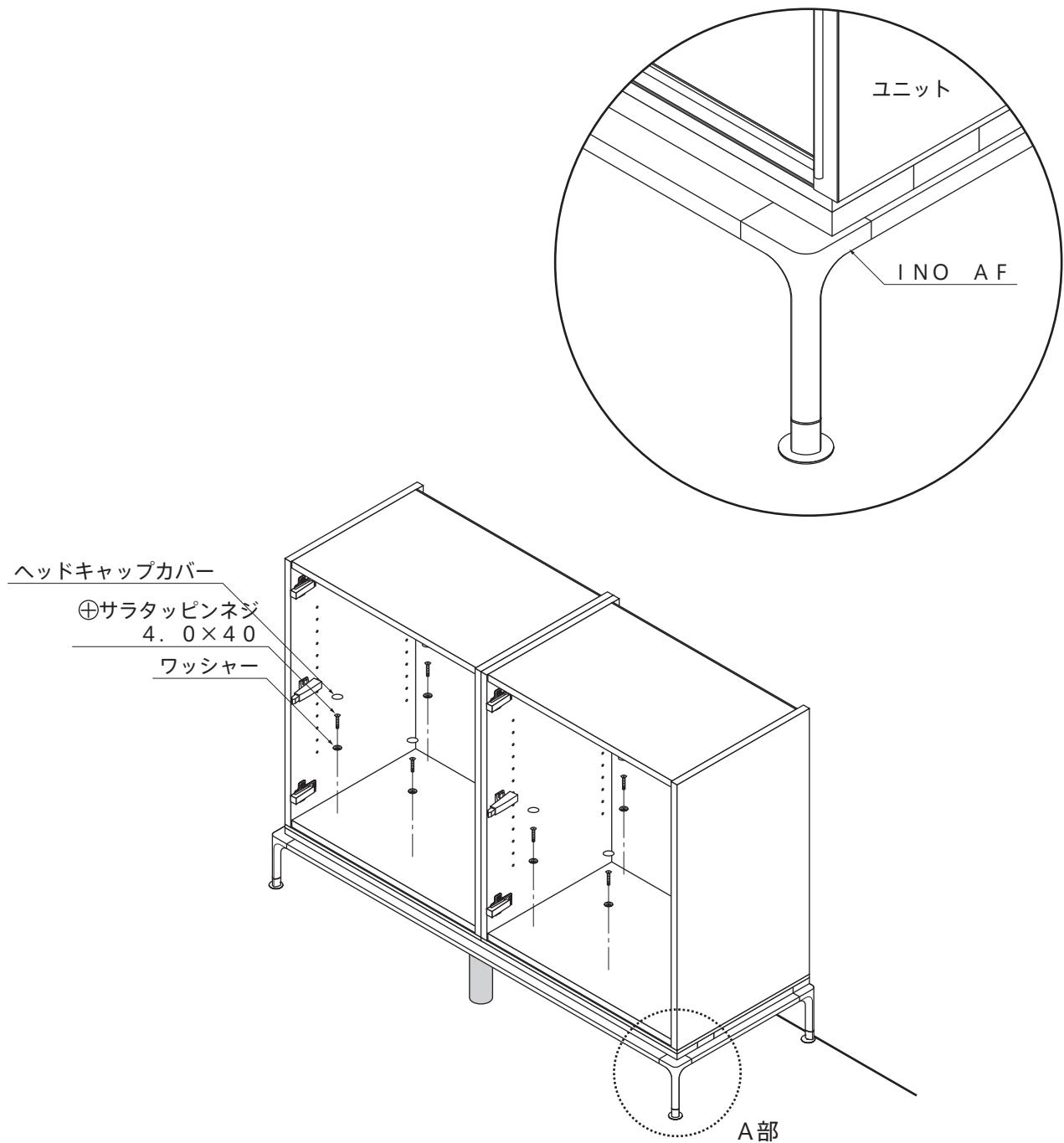
16 下段ユニットの固定

・ベースフレームの角パイプ前面コーナーと底板スペーサー前面コーナーを合わせて、ユニットを固定します。

ユニット底板の指定位置にΦ3穴をあけます。

⊕サラタッピンネジ4.0×40にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

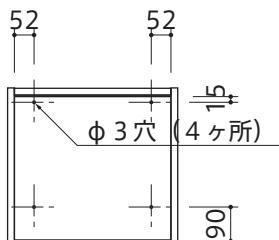
A部詳細図
底板スペーサーをカットした場合



ユニット固定位置【平面図】

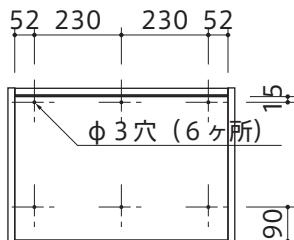
■間口450mm

開き扉ユニット、
引き出しユニットの場合



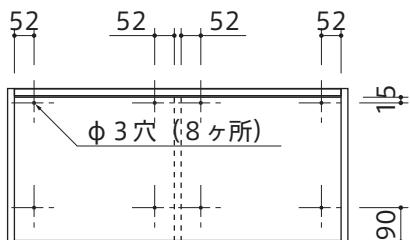
■間口600mm

開き扉ユニット、
引き出しユニットの場合



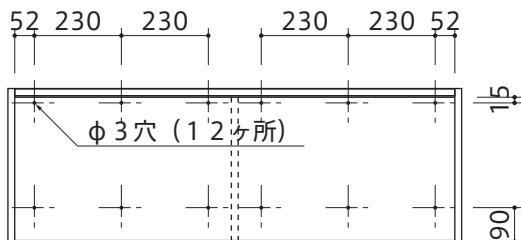
■間口900mm

開き扉ユニットの場合



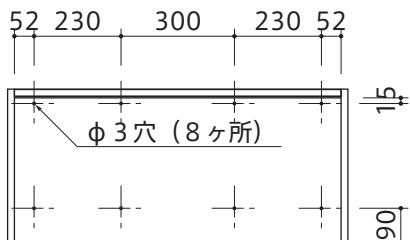
■間口1200mm

開き扉ユニットの場合



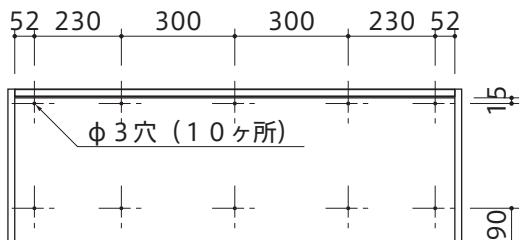
■間口900mm

引き出しユニットの場合



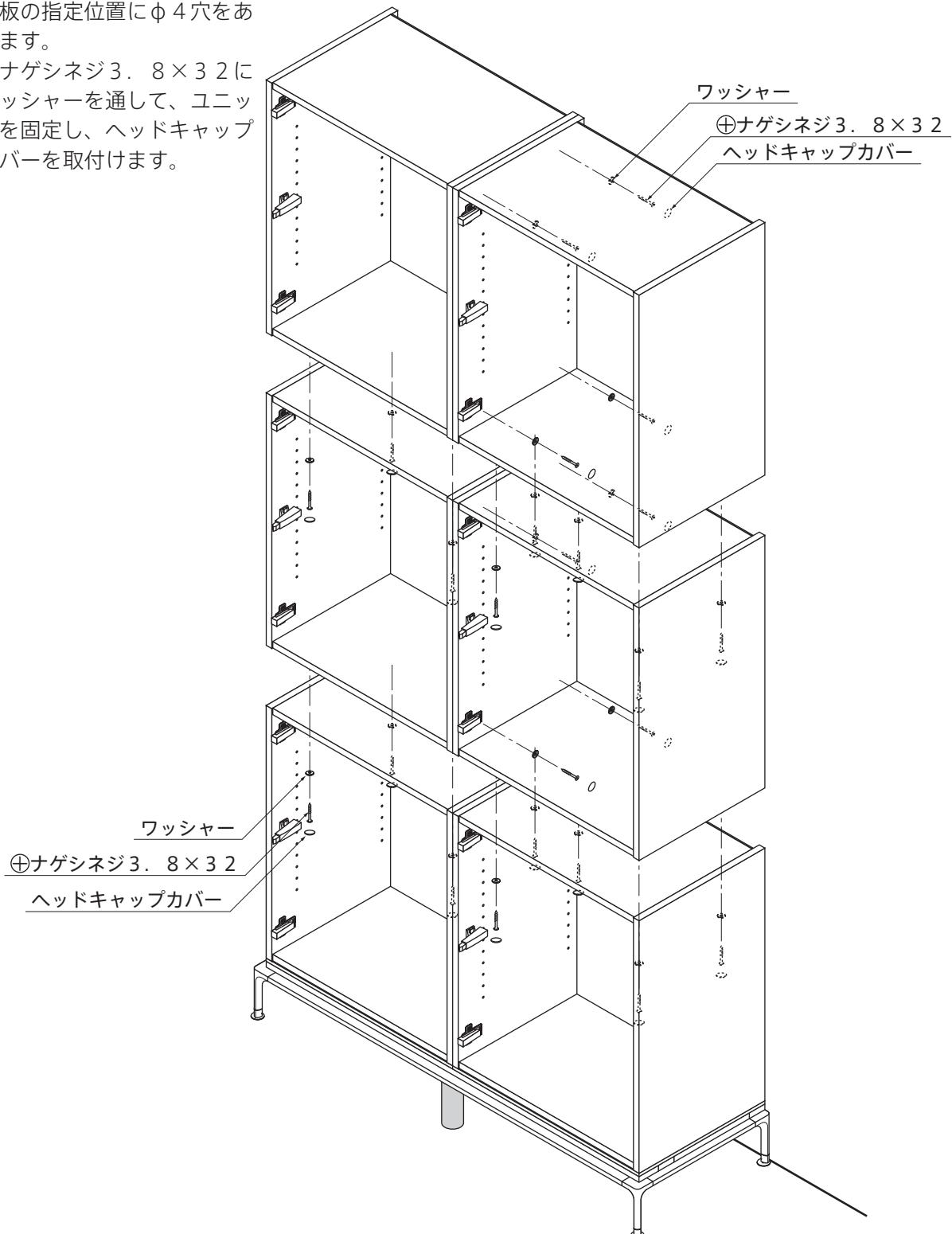
■間口1200mm

引き出しユニットの場合

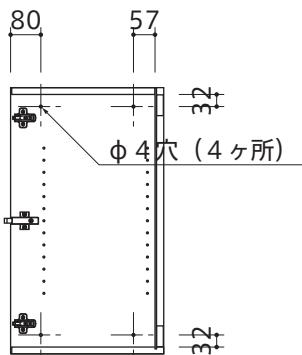


17 中段ユニット、上段ユニットの取付け

- ユニットを連結する場合、隣接するユニットの側板外面を合わせて、ユニット同士を連結します。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。
④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。
- 上下のユニットの側板外面を合わせて、固定します。
下段ユニットと中段ユニット
天板の指定位置にΦ4穴をあけます。
④ナゲシネジ3.8×32に
ワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



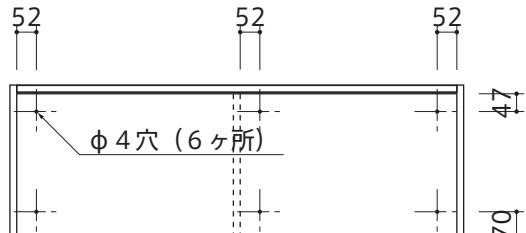
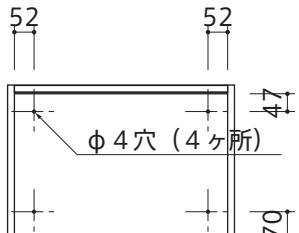
ユニット連結位置【側面図】



ユニット固定位置【平面図】

■間口450mm・
間口600mmの場合

■間口900mm・
間口1200mmの場合



18 スリット化粧板の取付け

■サイドパネルや化粧フィラーを取付ける場合

※スリット化粧板を取付ける前に、高さスペーサーの表面をきれいに拭き取ってください。

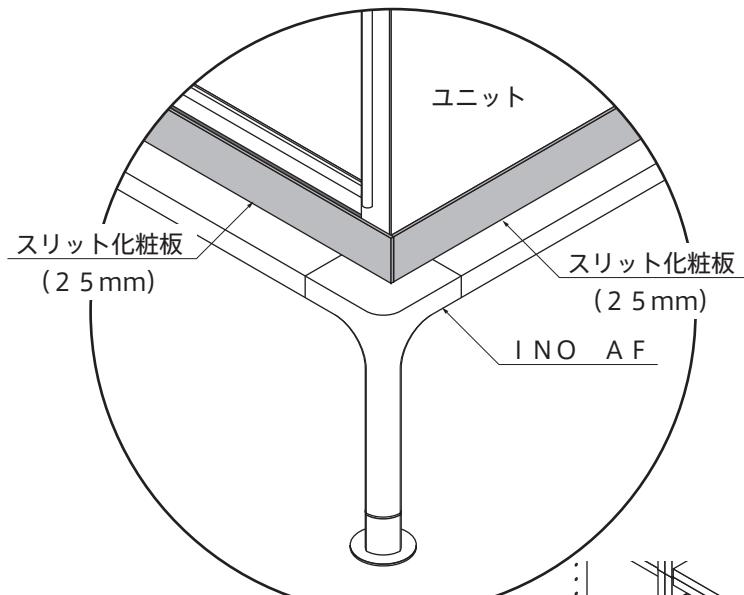
- ・スリット化粧板（25mm）をユニット奥行に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、高さスペーサーの側面下端に合わせて貼り付けます。
- ・スリット化粧板（25mm）をスリットスペーザー全体間口と両側のスリット化粧板の厚みを合わせたサイズにカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、スリットスペーザーの前面下端に合わせて貼り付けます。

※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

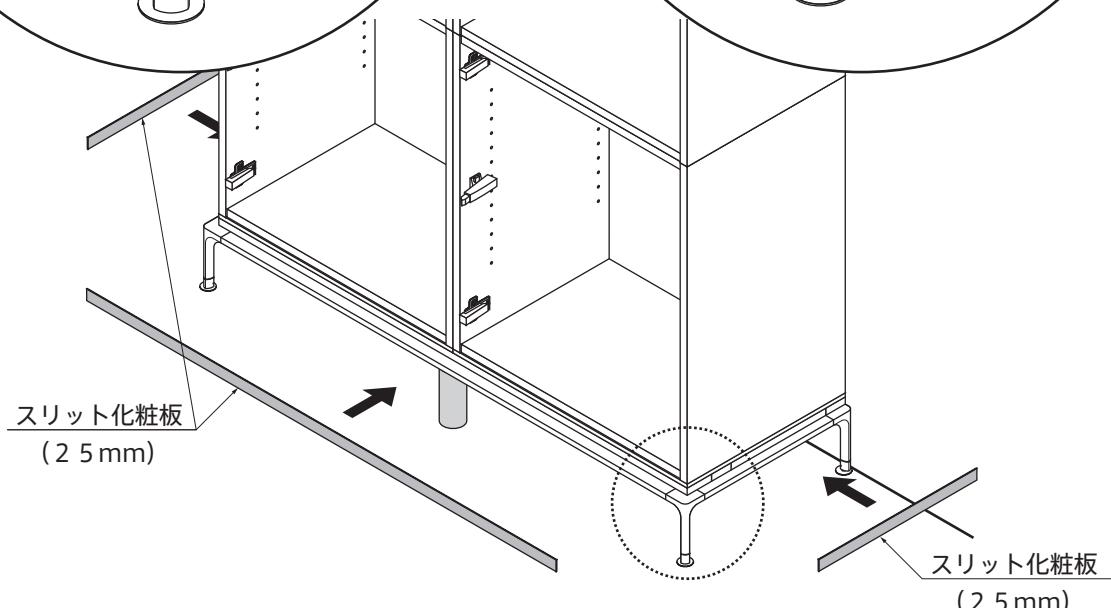
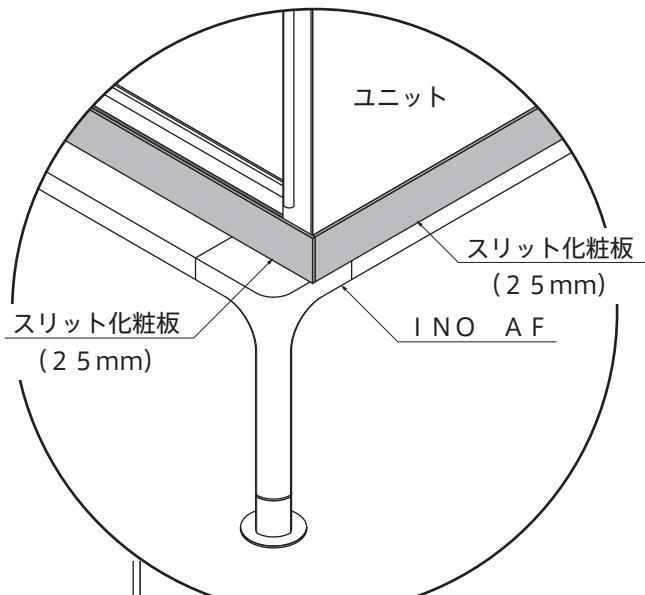
※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

貼り付け後は、両面テープがしっかりと貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

サイドパネルを取付ける場合



化粧フィラーを取付ける場合



■サイドパネルや化粧フィラーを取付けない場合

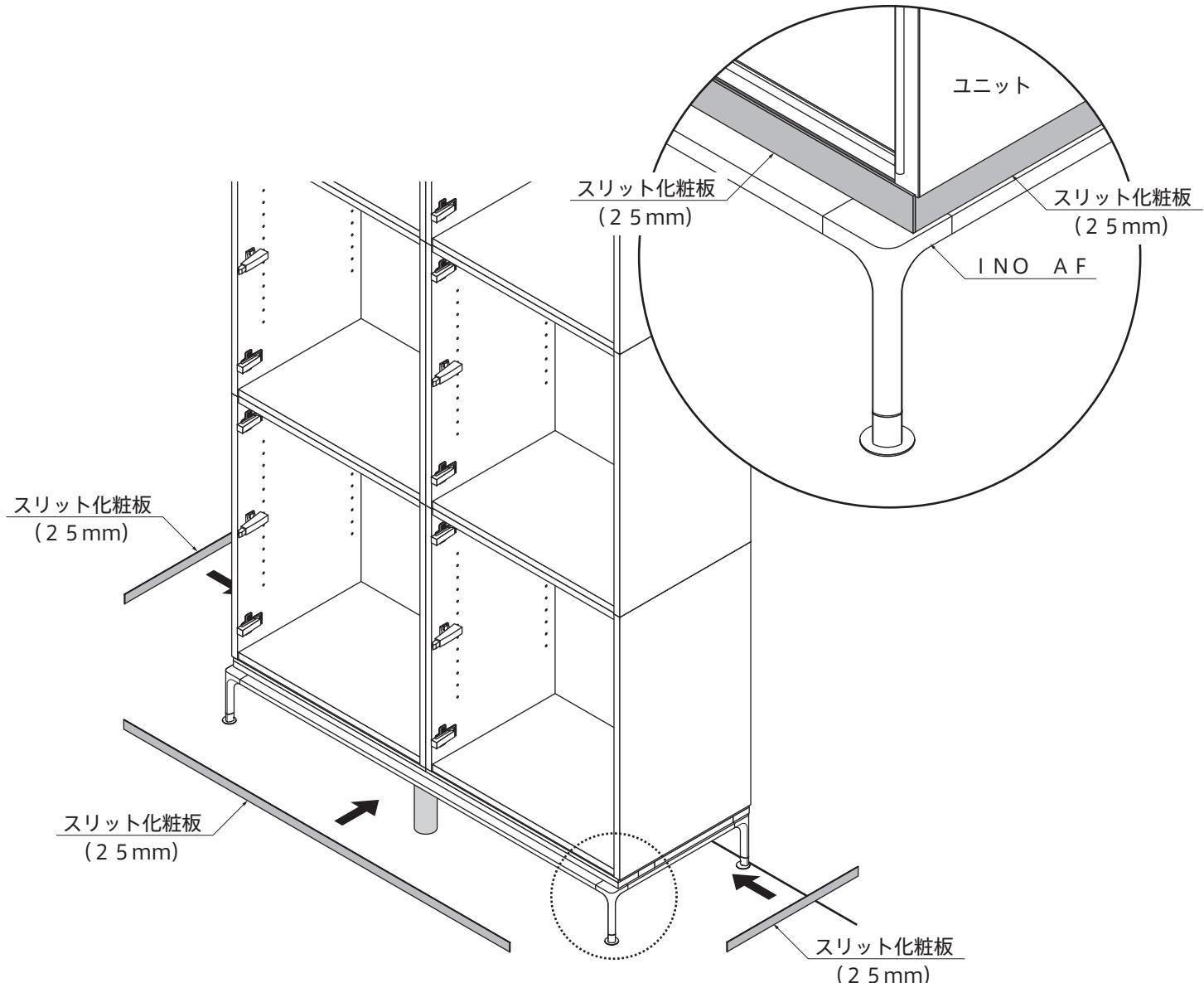
※スリット化粧板を取付ける前に、高さスペーサーの表面をきれいに拭き取ってください。

- ・スリット化粧板（25mm）をユニット奥行に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、高さスペーサーの側面下端に合わせて貼り付けます。
- ・スリット化粧板（25mm）をスリットスペーサー全体間口と両側のスリット化粧板の厚みを合わせたサイズにカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、スリットスペーサーの前面下端に合わせて貼り付けます。

※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

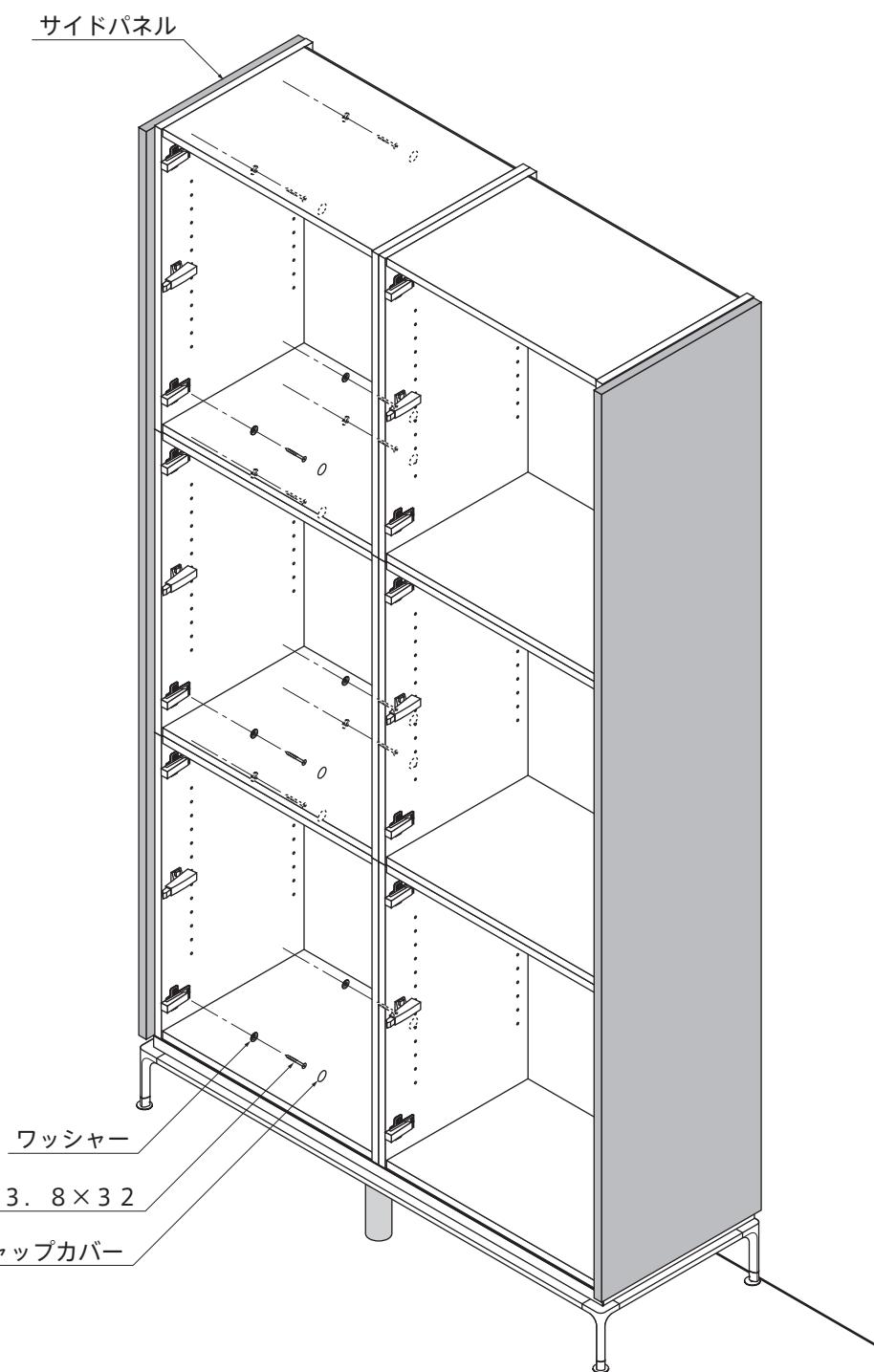
※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

貼り付け後は、両面テープがしっかりと貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。



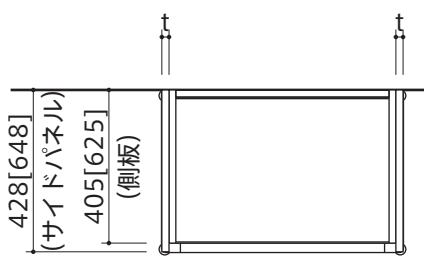
19 サイドパネルの取付け

- ユニット側板の指定位置にサイドパネルを取付けます。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（12ヶ所）をあけます。
- ⊕ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、サイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

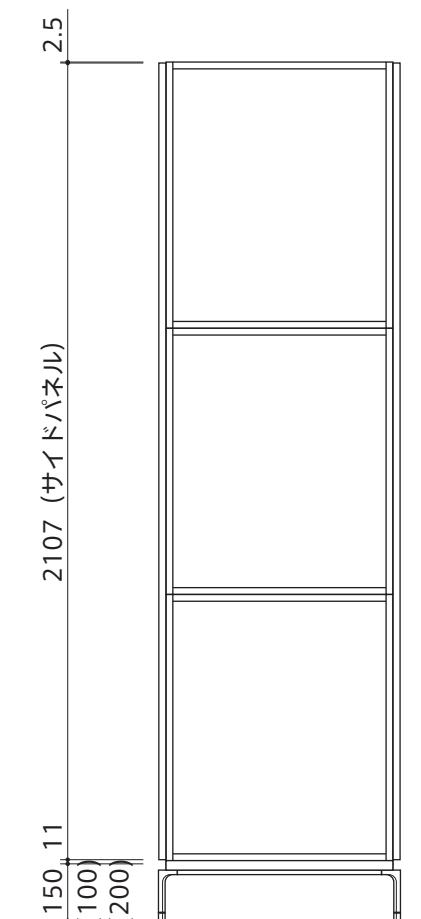


サイドパネル取付位置

【平面図】



【正面図】



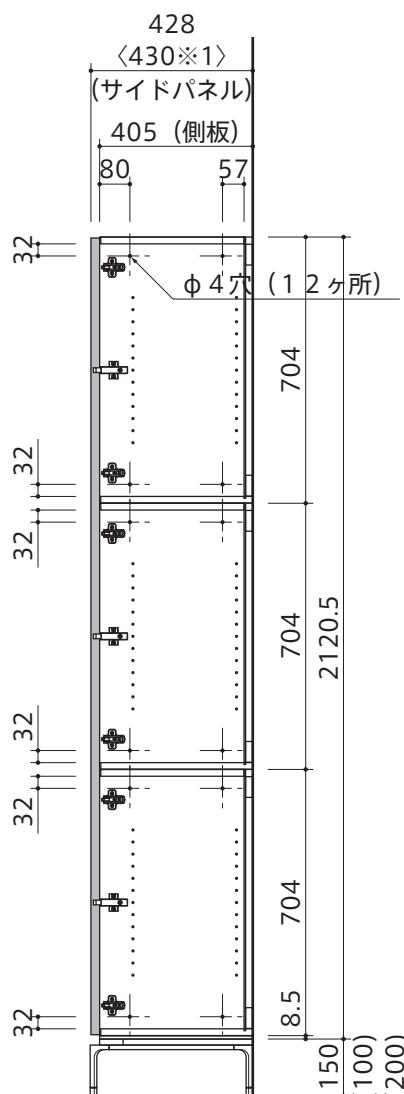
※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

※ [] 内寸法は、奥行625mmの場合を示す。

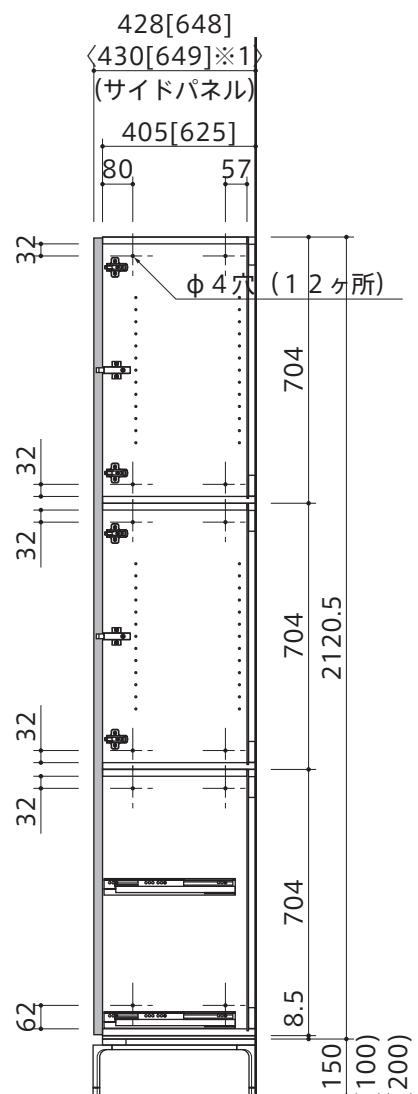
※1 リニアメタルの場合を示す。

【側面図】

開き扉タイプ

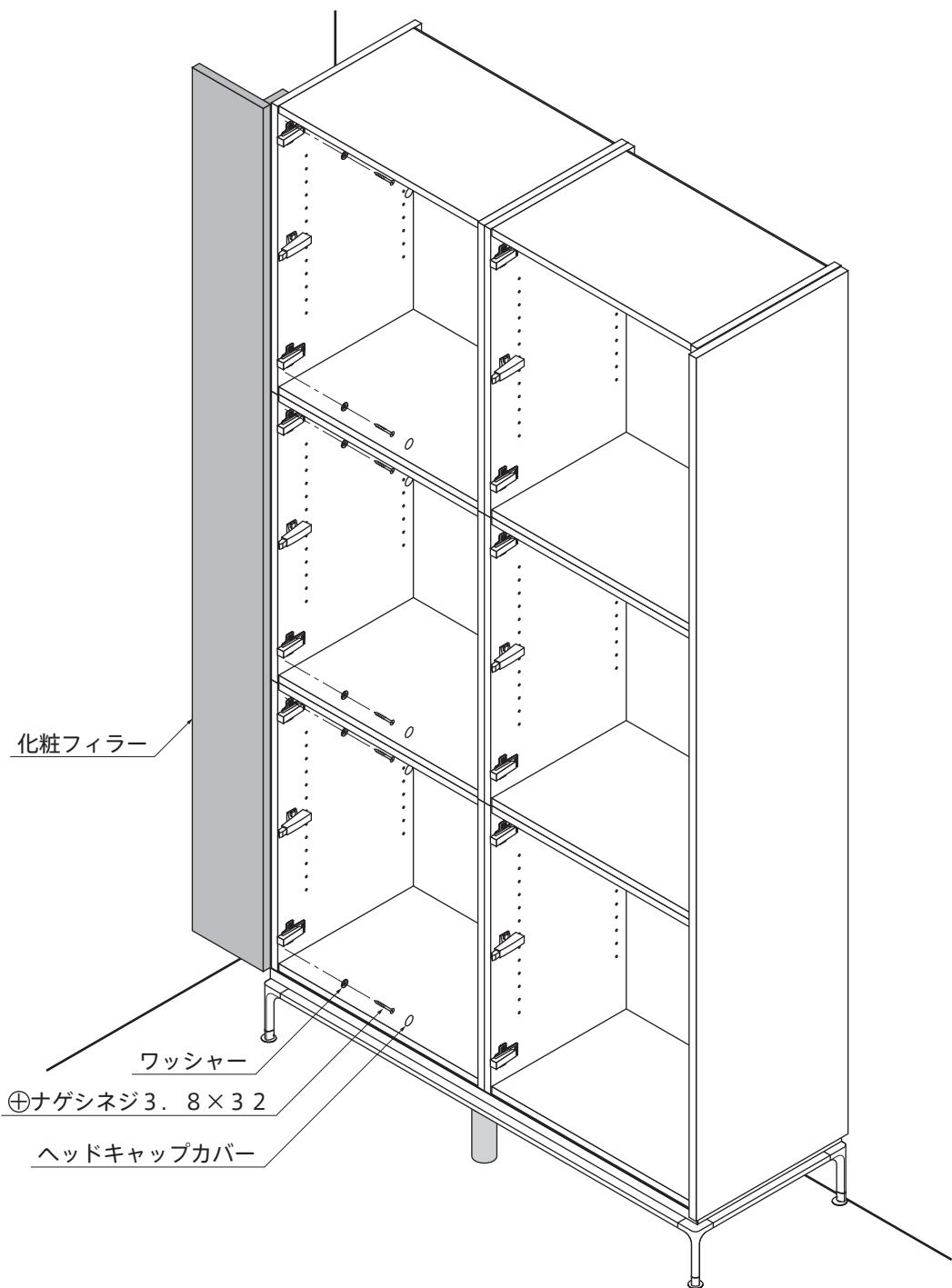


開き扉+引き出しタイプ



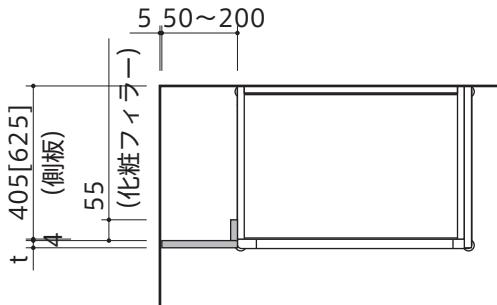
20 化粧フィラーの取付け

- ユニット側板の指定位置に化粧フィラーを取付けます。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（6ヶ所）をあけます。
④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、化粧フィラーを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



化粧フィラー取付位置

【平面図】



【正面図】

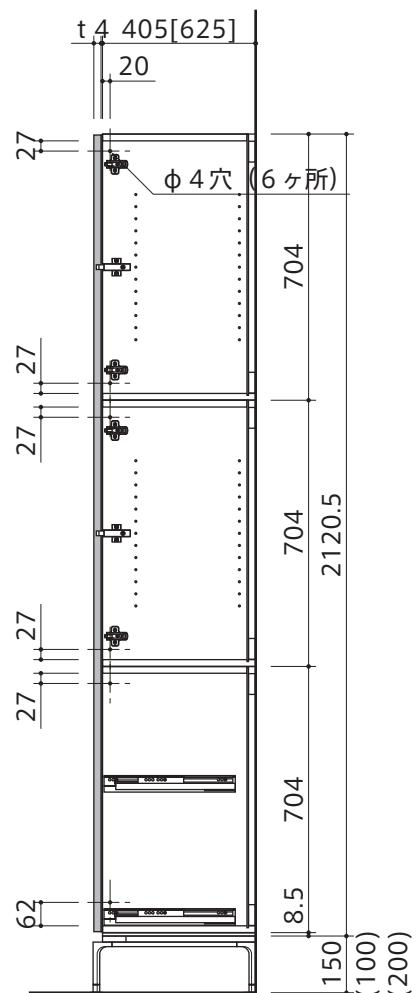
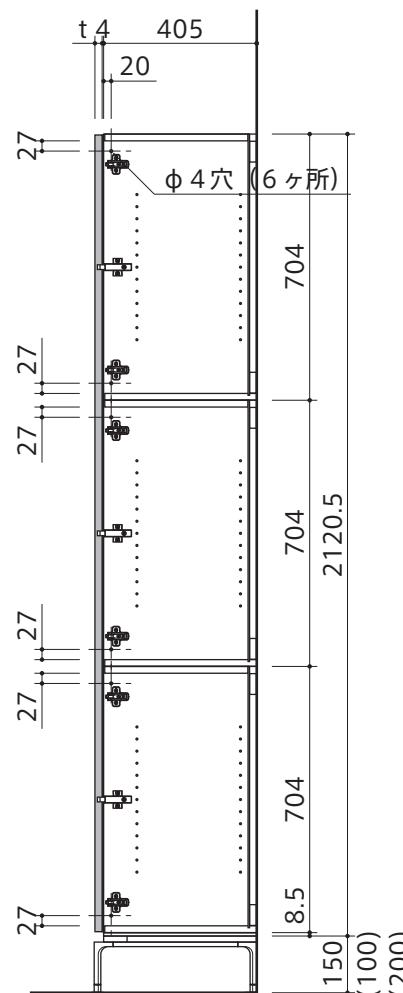
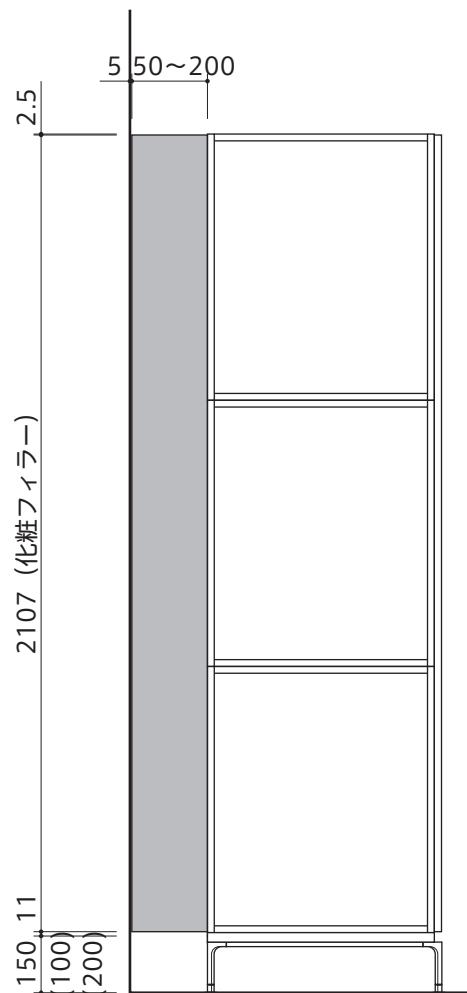
※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

※ [] 内寸法は、奥行625mmの場合を示す。

【側面図】

開き扉タイプ

開き扉+引き出しタイプ



21 壁面への固定

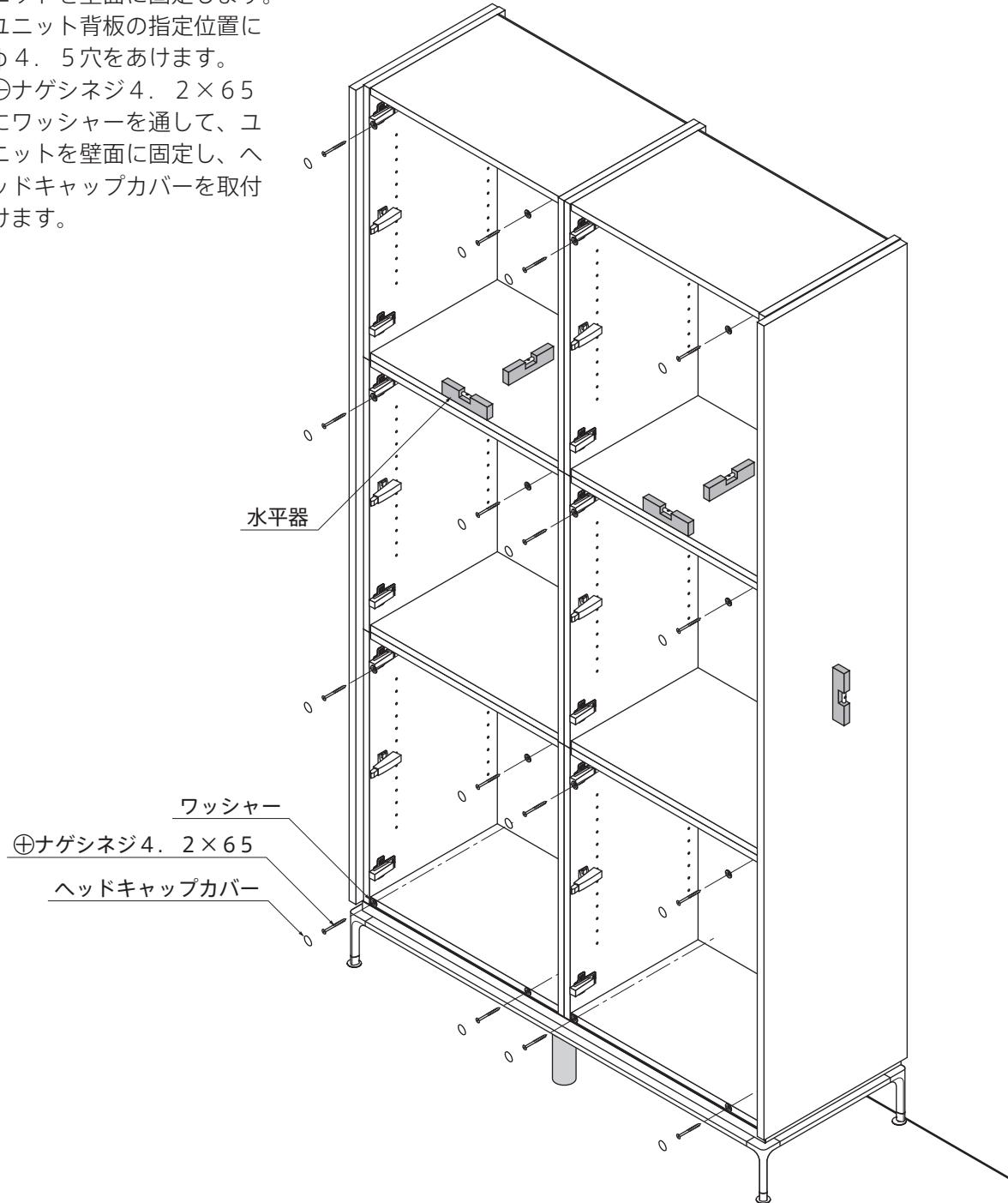


トルル収納の取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



落下して、ケガをする恐れがあります。

- ユニットを壁面に固定します。
ユニット背板の指定位置に
 $\phi 4.5$ 穴をあけます。
⊕ナゲシネジ4.2×65
にワッシャーを通して、ユ
ニットを壁面に固定し、ヘ
ッドキャップカバーを取付
けます。



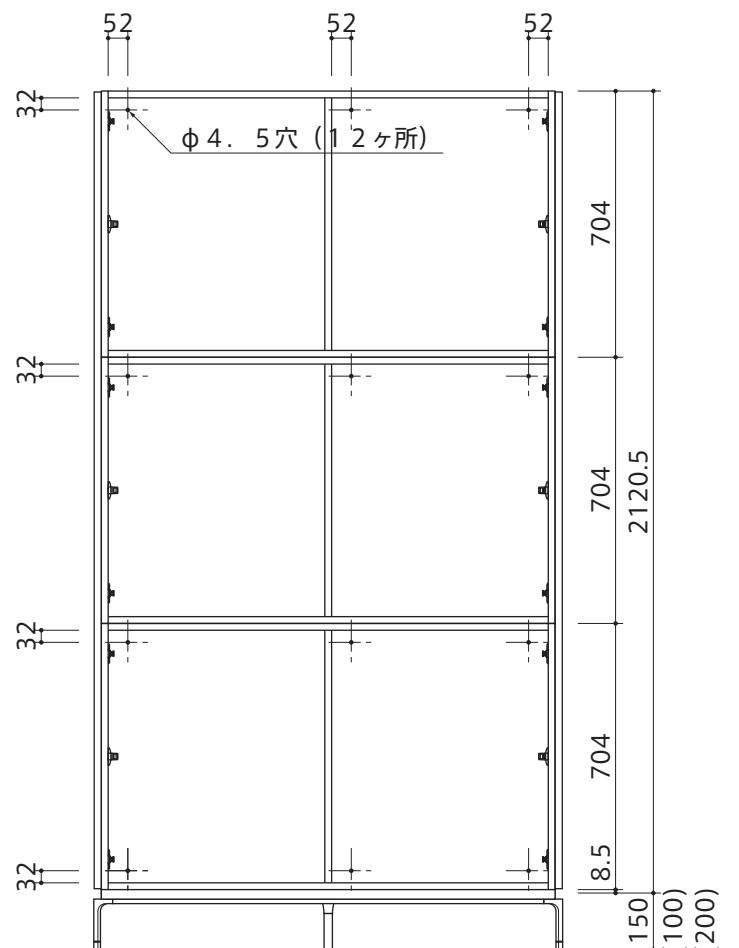
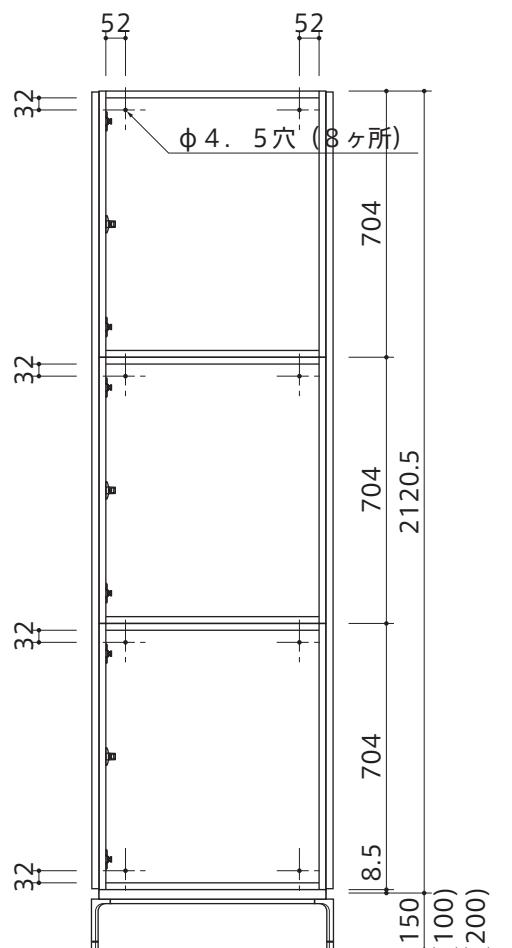
壁面固定位置【正面図】

※()内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

開き扉タイプ

■間口450mm・
間口600mmの場合

■間口900mm・
間口1200mmの場合



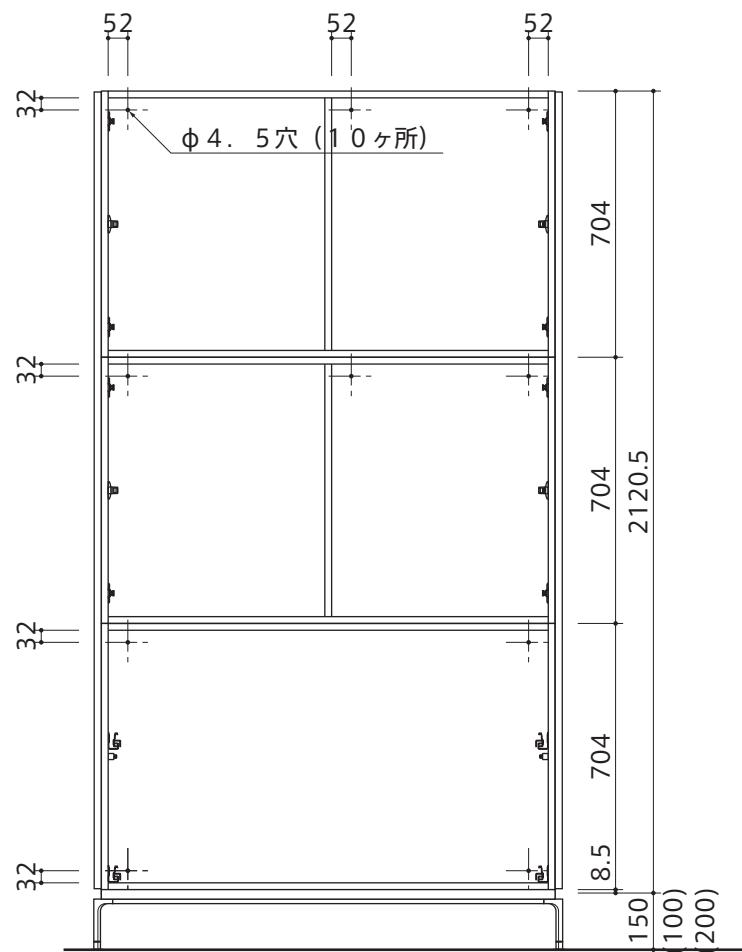
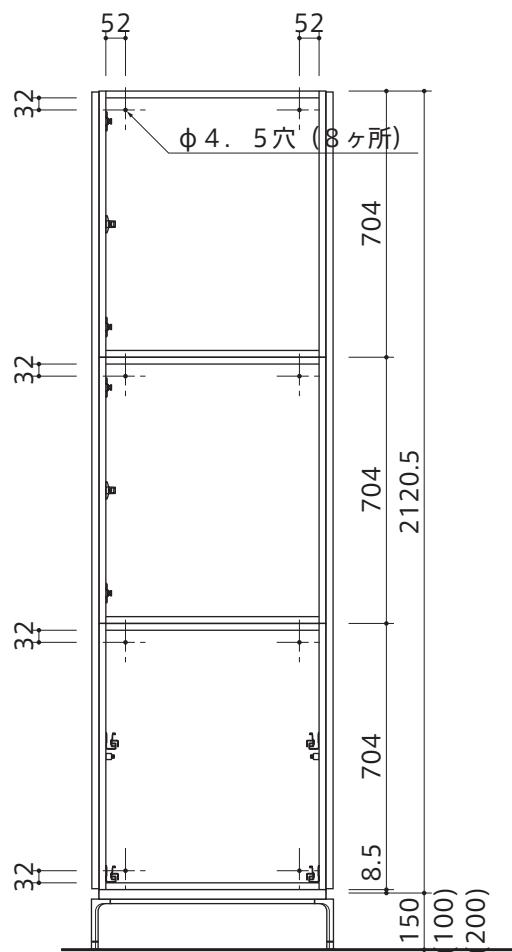
壁面固定位置【正面図】

※()内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

開き扉+引き出しタイプ

■間口450mm・
間口600mmの場合

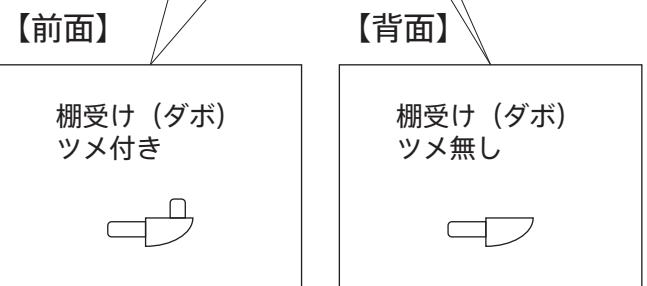
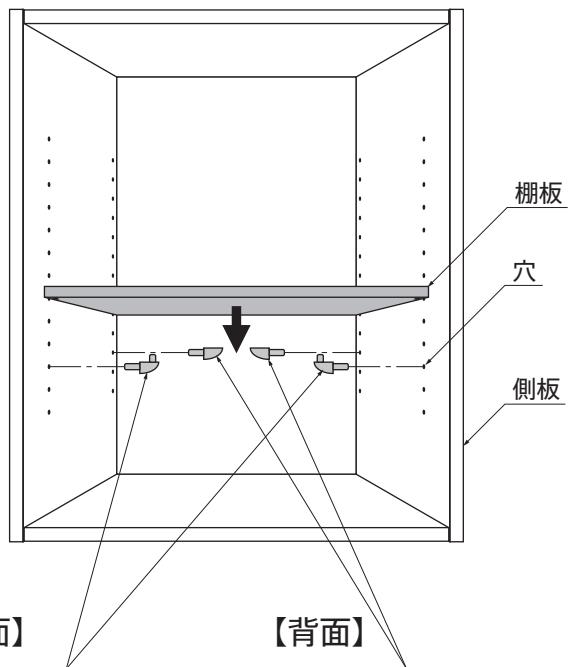
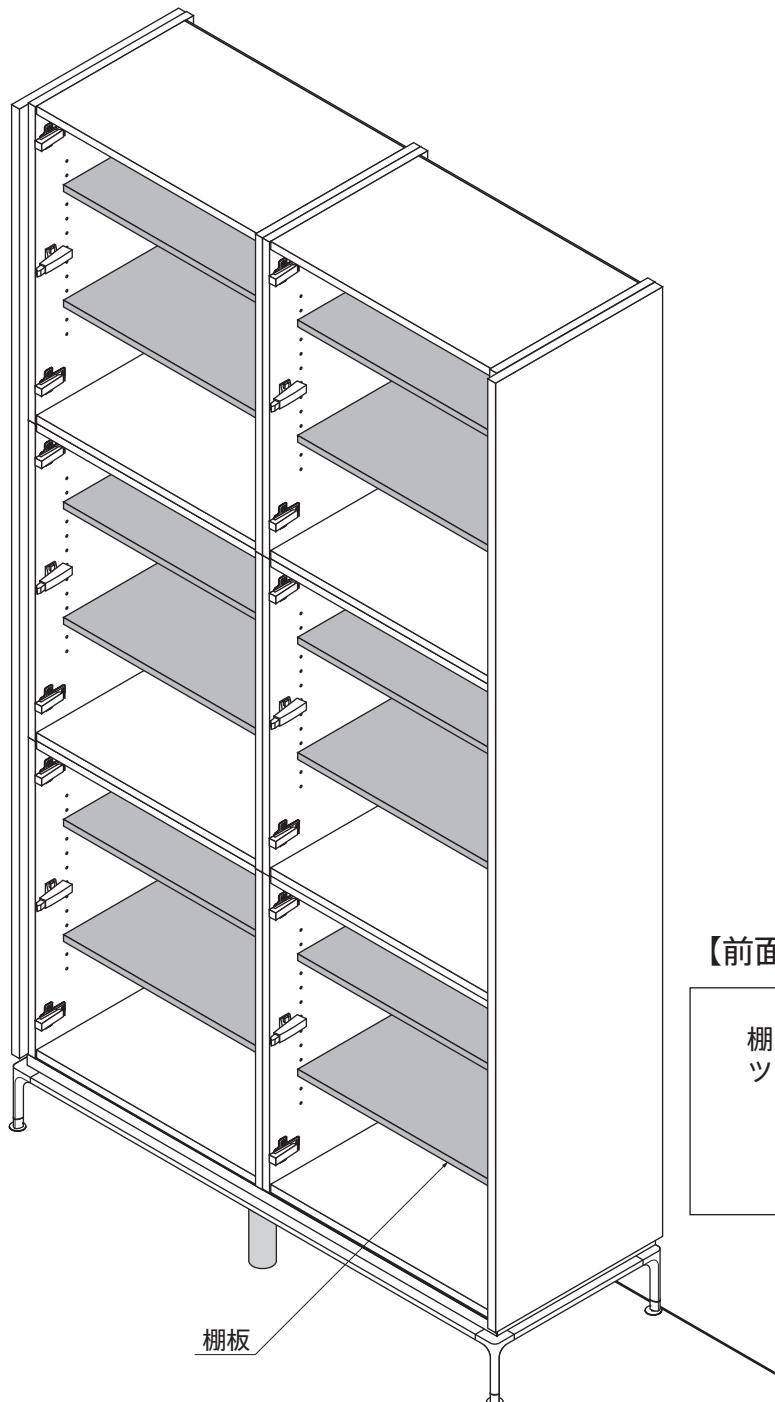
■間口900mm・
間口1200mmの場合



22

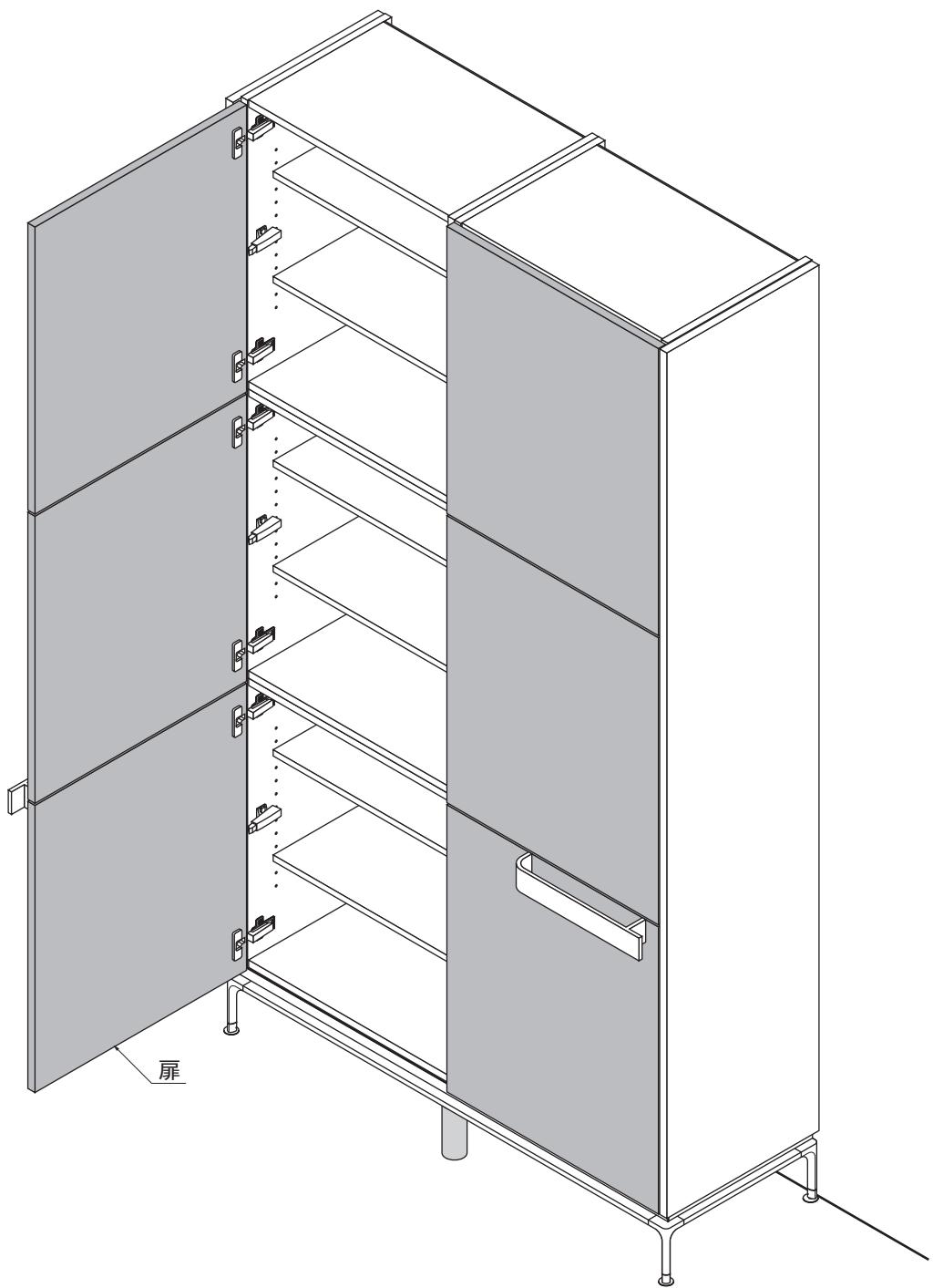
棚板の取付け（※開き扉ユニットの場合）

- 側板（間口900・1200mmの場合、側板と中仕切）の任意の穴位置に棚受け（ダボ）を差し込みます。
前面にはツメ付き、背面にはツメ無しを差し込みます。
- 棚板を棚受け（ダボ）にのせます。



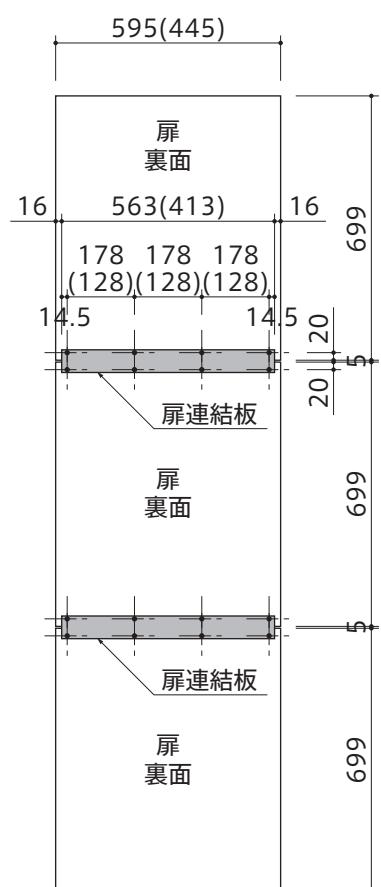
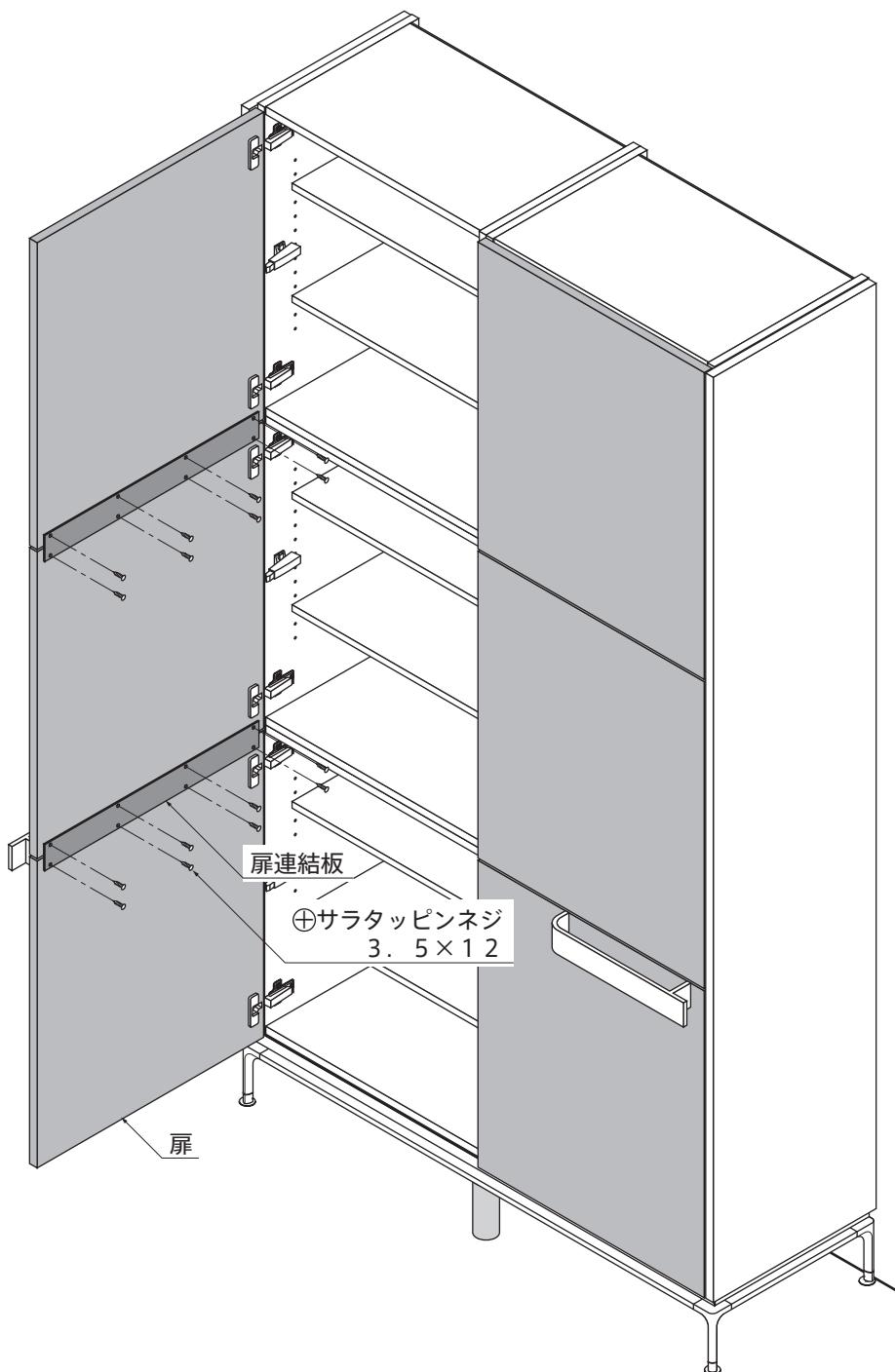
23 扉の取付け（※開き扉ユニットの場合）

- ユニットに扉を取付けます。（「共通」の「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）



24 扉連結板の取付け [開き扉タイプの場合]

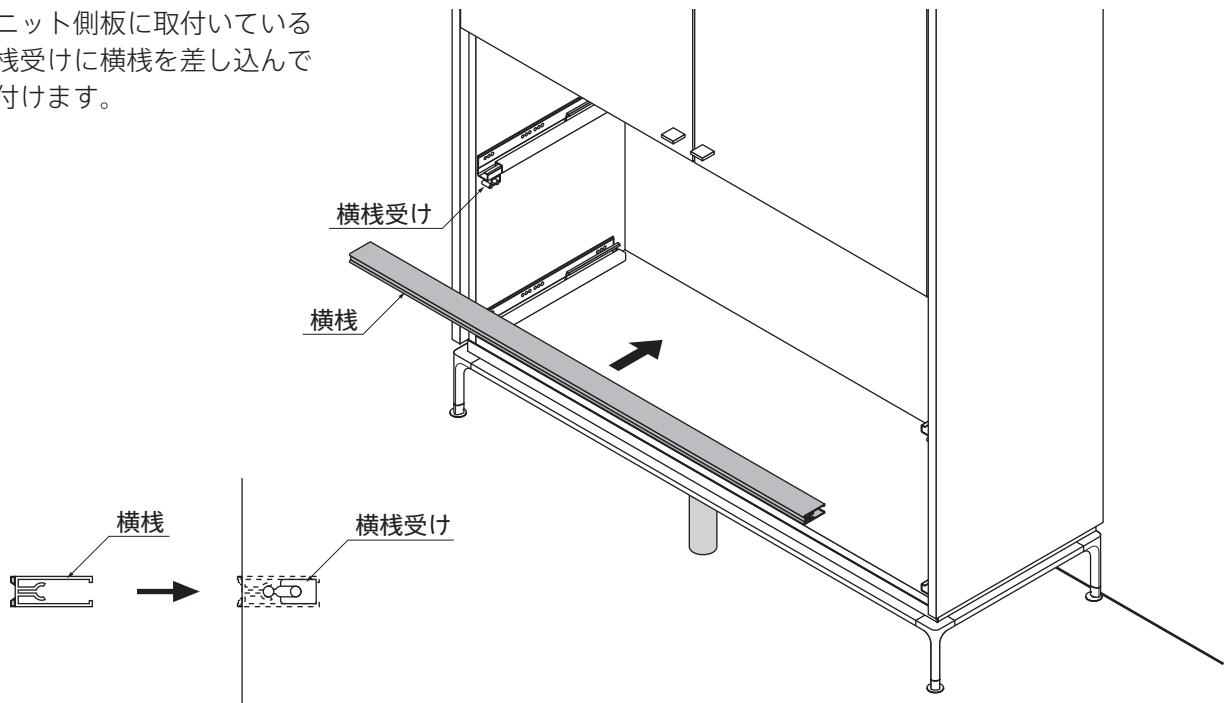
- 下段ユニットと中段ユニット、中段ユニットと上段ユニットの扉を連結します。
④サラタッピンネジ3.5×12にて、扉裏面の指定位置に扉連結板を取付けます。



* () 内寸法は、間口450、
900mmの場合を示す。

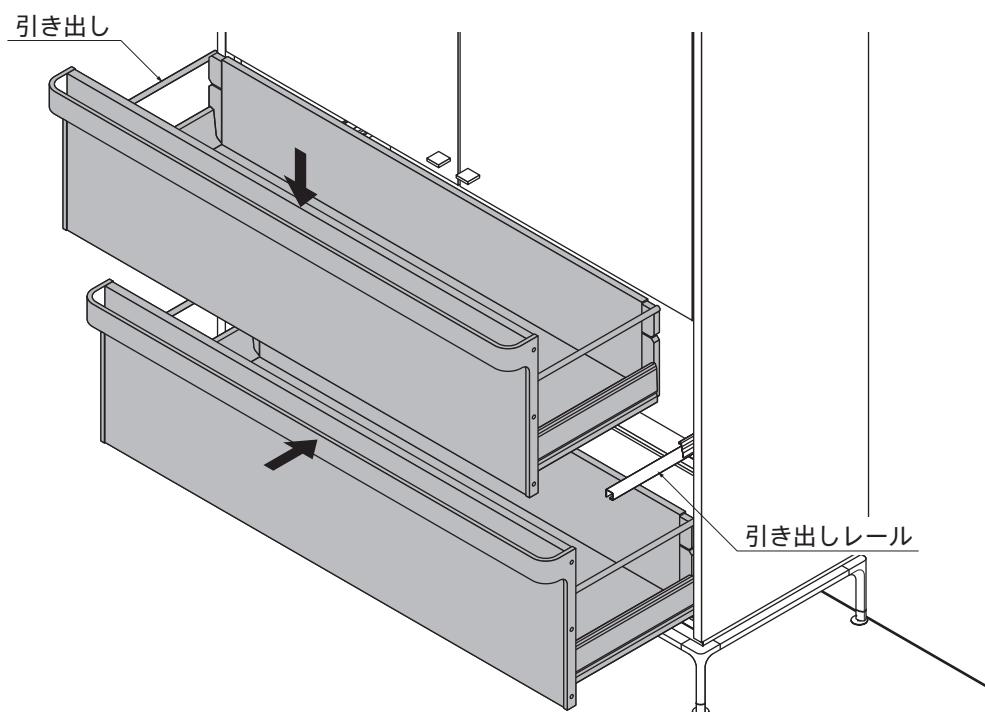
25 横桿の取付け（※引き出しユニットの場合）

- ユニット側板に取付いている横桿受けに横桿を差し込んで取付けます。



26 引き出しの取付け（※引き出しユニットの場合）

- 引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
- 引き出しレールの上に引き出しをのせます。
- 引き出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。



ウイングチップ+ 家電引き出しタイプ

MNTN - 45(60・90・120)BH2WC

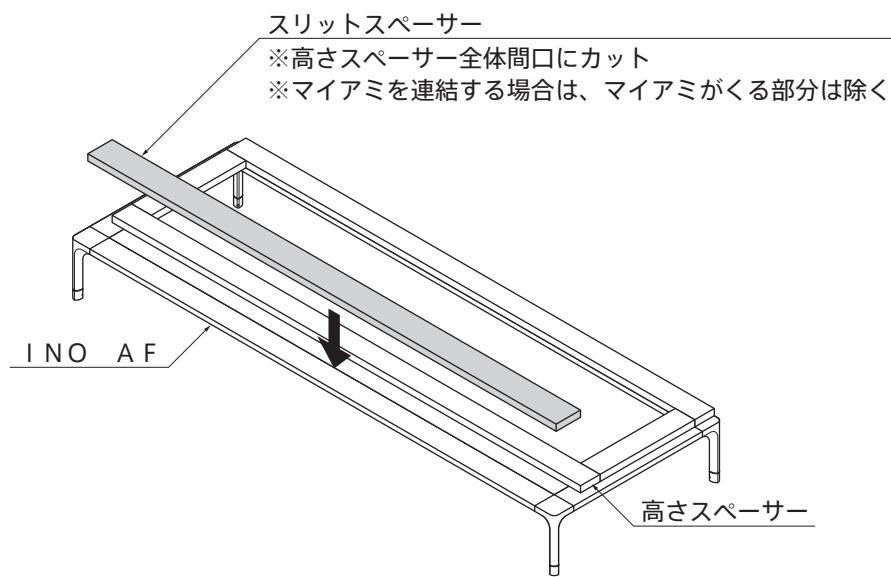
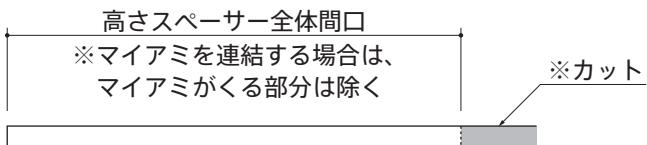
【INO AF Sタイプ
／Cタイプの場合】

取付・設置方法

① スリットスペーサーの加工、取付け

- ・スリットスペーサーを高さスペーサー全体間口に合わせてカットします。
※マイアミを連結する場合は、マイアミがくる部分は除く。
- ※カットした面にスリット化粧板を貼るため、きれいに仕上げてください。
- ・スリットスペーサーの両面テープのはく離紙を剥がし、INO AFの高さスペーサー前端に合わせて貼り付けます。

スリットスペーサー加工寸法

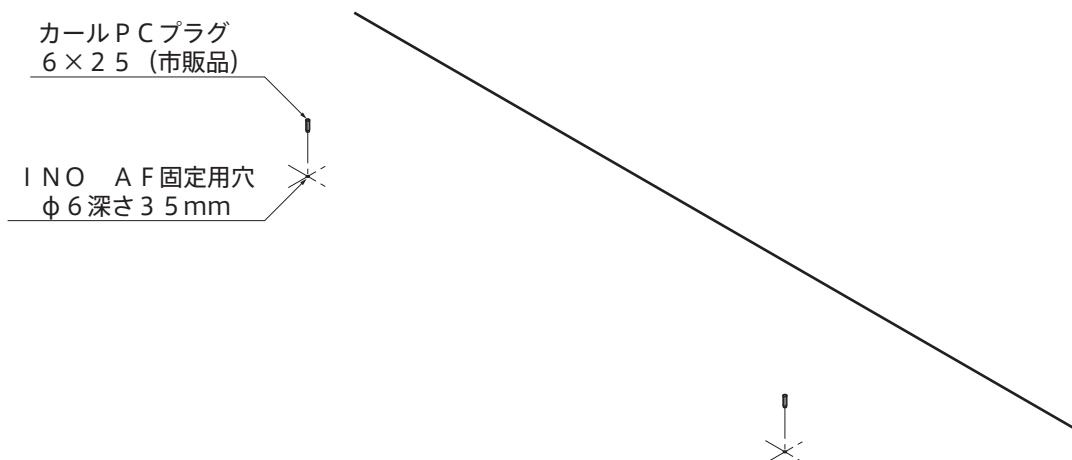


2 固定用穴あけ (※床固定にカールPCプラグを使用する場合)

※コンクリート床、石床の場合、INO AFを設置する前にカールPCプラグを取付けます。

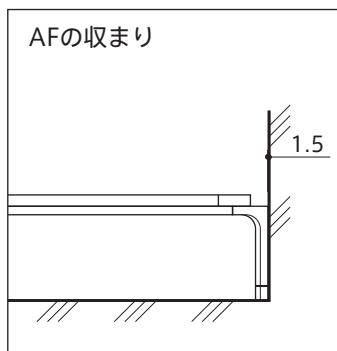
壁に接する側のINO AF取付位置にはカールPCプラグの取付けは不要です。

- ・INO AFの設置位置に固定用穴Φ6深さ35mmをあけます。
- ・固定用穴にカールPCプラグ6×25(市販品)を打ち込みます。

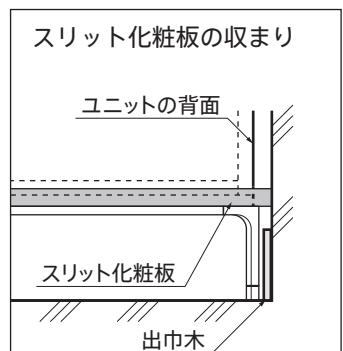
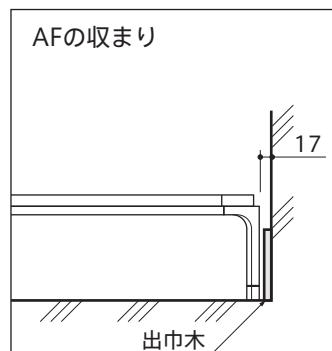


【側面図】 ※イラストはSタイプを示します。收まりはCタイプも同様です。

■背面の壁に出巾木がない場合

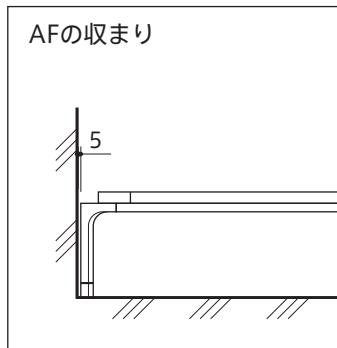


■背面の壁に出巾木がある場合

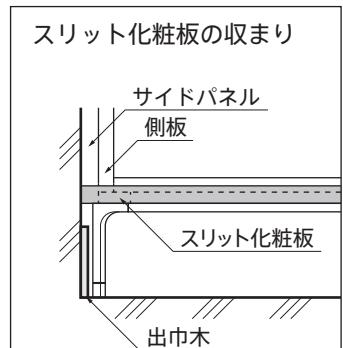
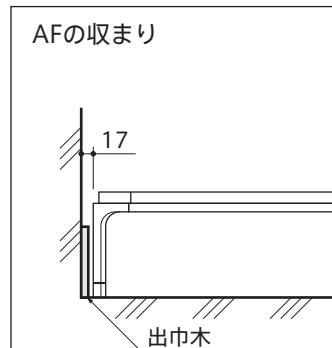


【正面図】 (※INO AF側面が壁に隣接する場合)

■側面の壁に出巾木がない場合



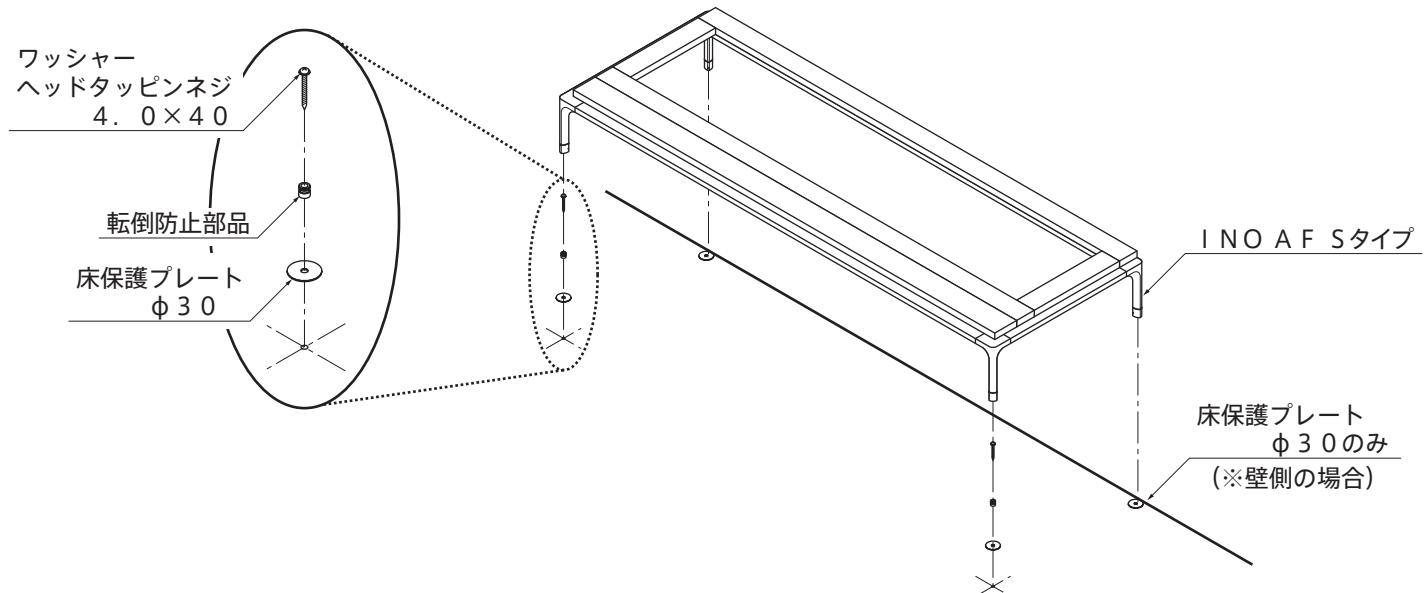
■側面の壁に出巾木がある場合



3 転倒防止部品の取付け、INO AFの設置

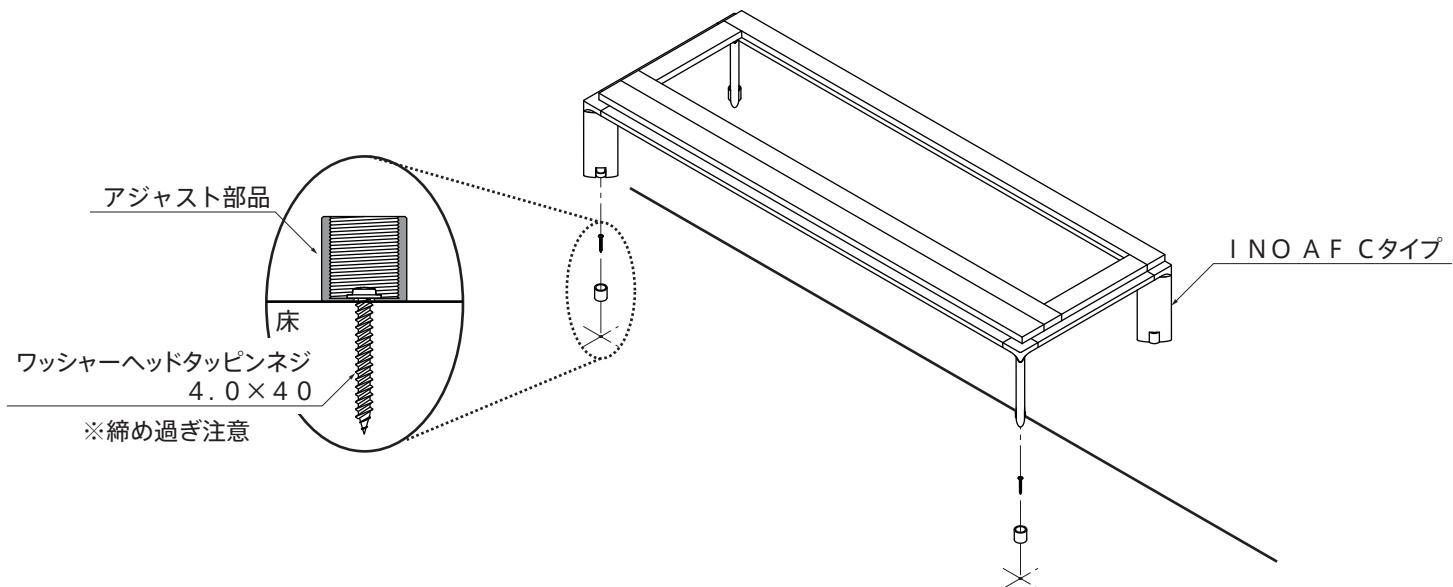
■ INO AF Sタイプの設置

- INO AFの設置位置に、床保護プレートΦ30を置き、その上から付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床面に固定します。
※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取付けます。
- 壁に接する側は転倒防止部品を取付けず、床保護プレートΦ30のみ置きます。
- INO AFを転倒防止部品に差し込みながら床面に設置します。



■ INO AF Cタイプの設置

- INO AF Cタイプの設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にてアジャスト部品を床面に固定します。
※ネジを完全に締めずに、アジャスト部品が回る程度に締めてください。
※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取付けます。
- INO AF Cタイプをアジャスト部品に差し込みながら床面に設置します。



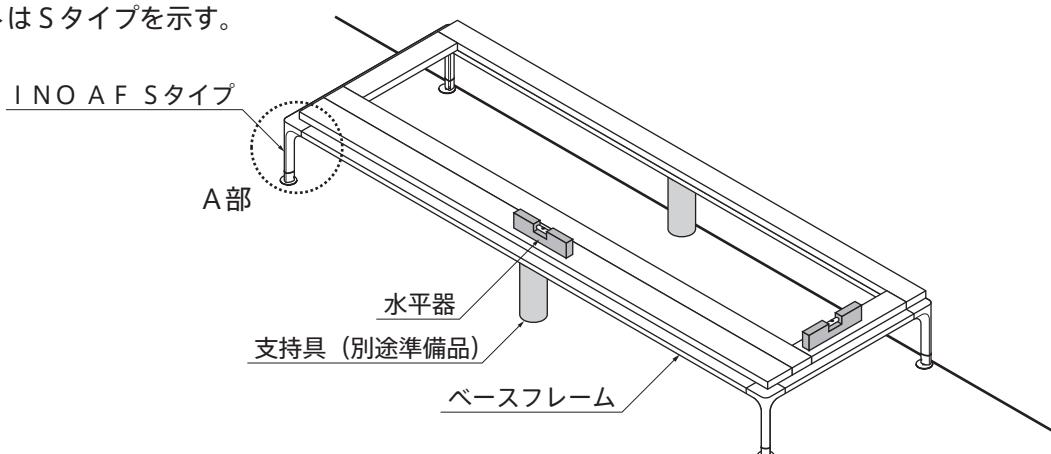
4 支持具の設置

- ・取付・設置の際に、ベースフレームがたるまないように、支持具（別途準備品）で支えます。支持具はベースフレーム下で支え、750mmピッチ以下になるように設置します。
- ※支持具は、取付・設置が全て終了したら取り外します。

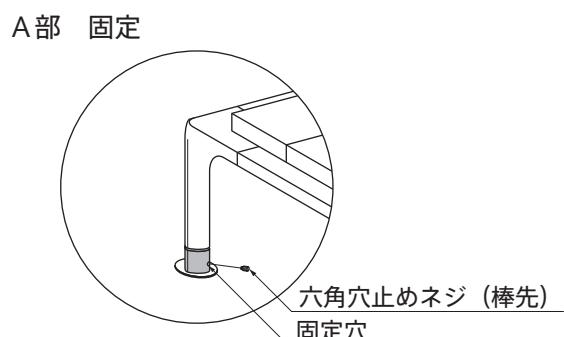
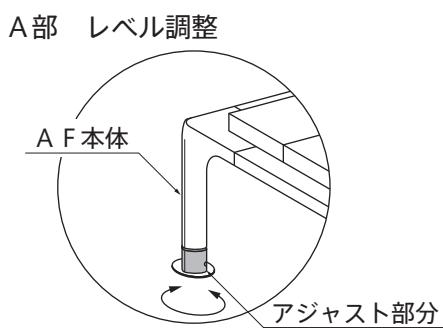
5 レベル調整、INO AFの固定

- ・INO AFのアジャスト部分を回して、レベルを調整します。
- ※調整範囲 -0~+10mm
- ※AF本体とアジャスト部分の形状が揃うように調整します。
- ・前側のINO AFのアジャスト部分の固定穴から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。

※イラストはSタイプを示す。



■ S タイプの場合



■ C タイプの場合

- ・INO AF Cタイプをアジャスト部品の上に設置し、本体が大きく傾かない様に調整しながら一番下まで締めます。（図1）
- ・一番下まで締めた状態を基準とし、低い場所のレベルを調整する。（図2）

図1

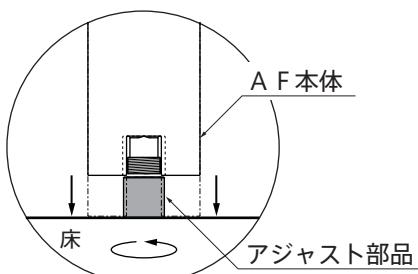
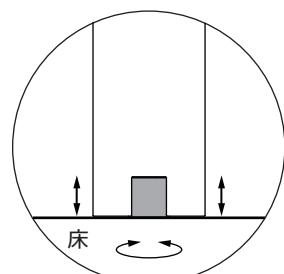
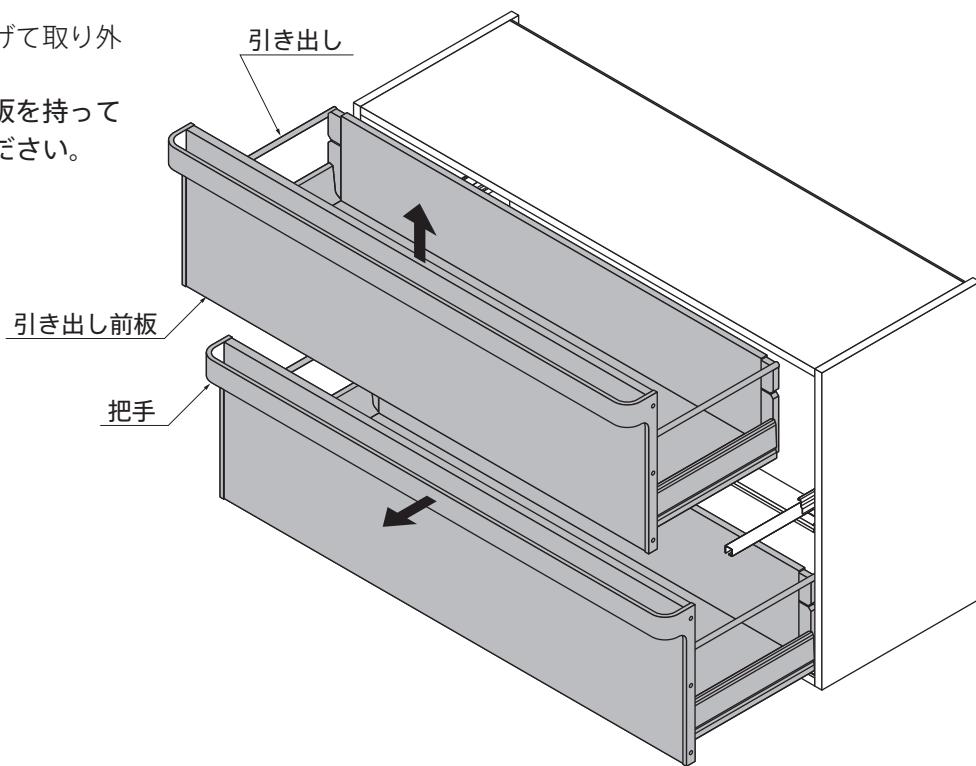


図2



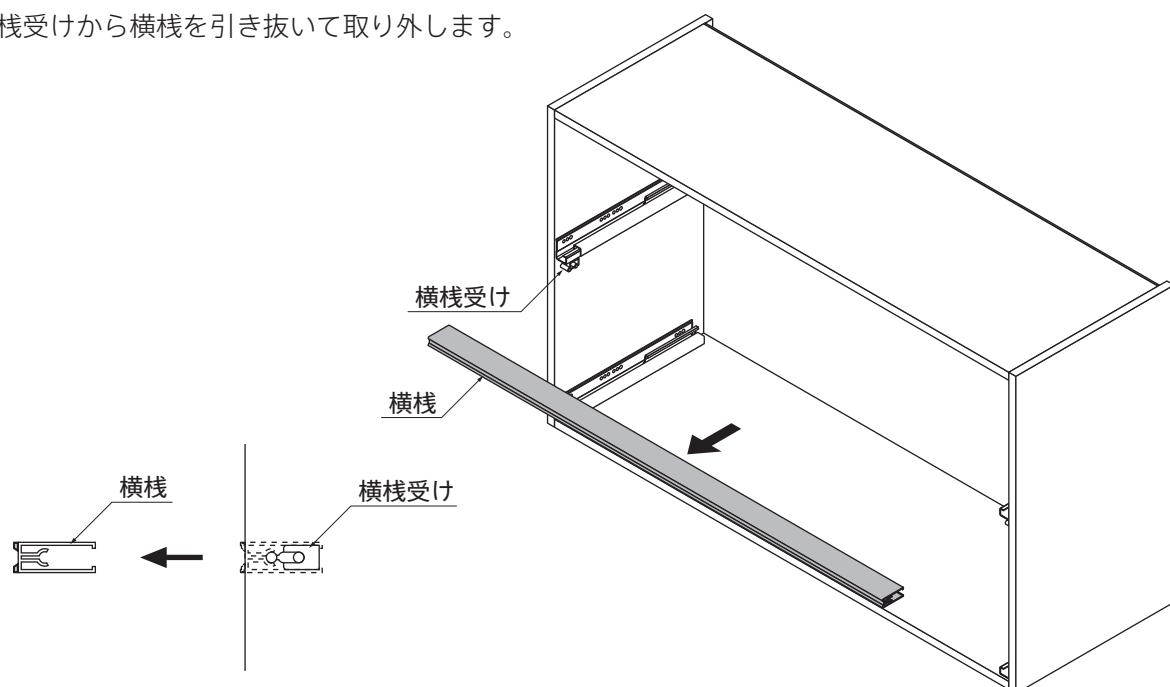
6 引き出しの取り外し（※引き出しユニットの場合）

- ・引き出しを取り外します。
引き出しをいっぶいまで引き出します。
- 引き出しを持ち上げて取り外します。
- ※把手や引き出し前板を持って取り外さないでください。



7 横桿の取り外し（※引き出しユニットの場合）

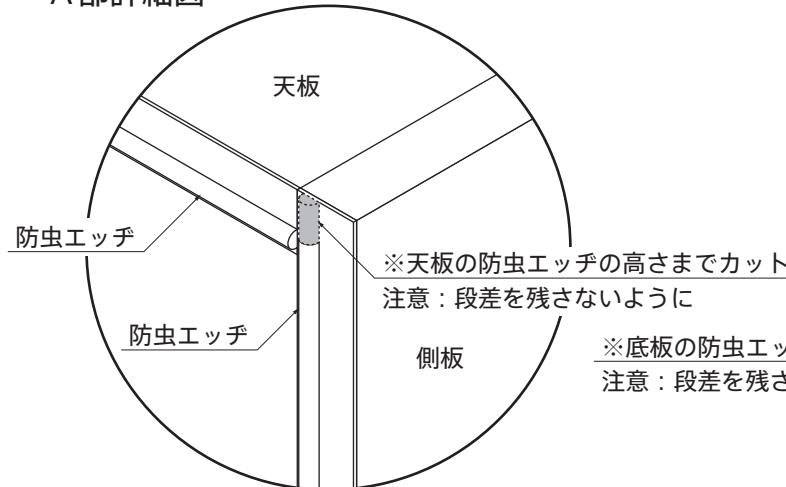
- ・横桿受けから横桿を引き抜いて取り外します。



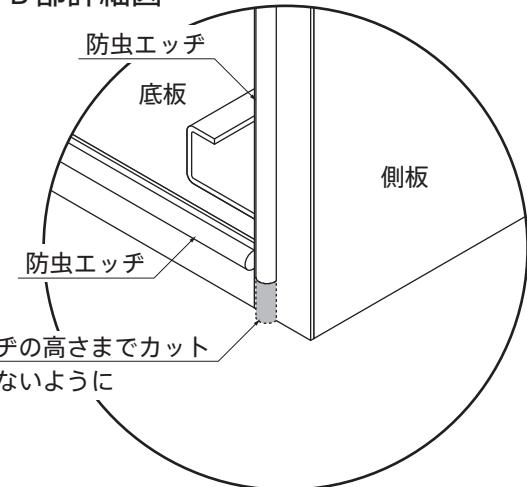
8 防虫エッヂの加工

- ・引き出しユニット側板の防虫エッヂをカットします。
 - 側板上部の防虫エッヂを天板の防虫エッヂの高さまでカットします。
 - 側板下部の防虫エッヂを底板の防虫エッヂの高さまでカットします。
- ※カットした部分にスリット化粧板を貼るため、段差を残さないようきれいに仕上げてください。

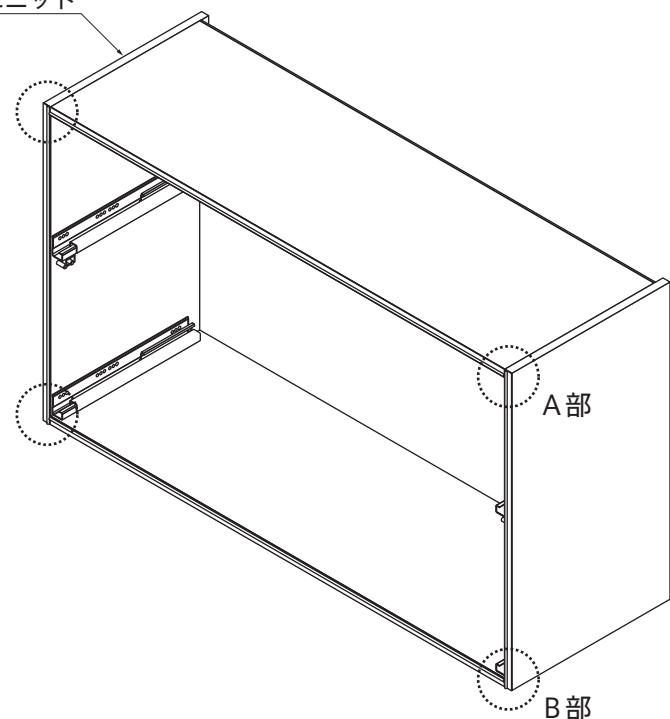
A部詳細図



B部詳細図

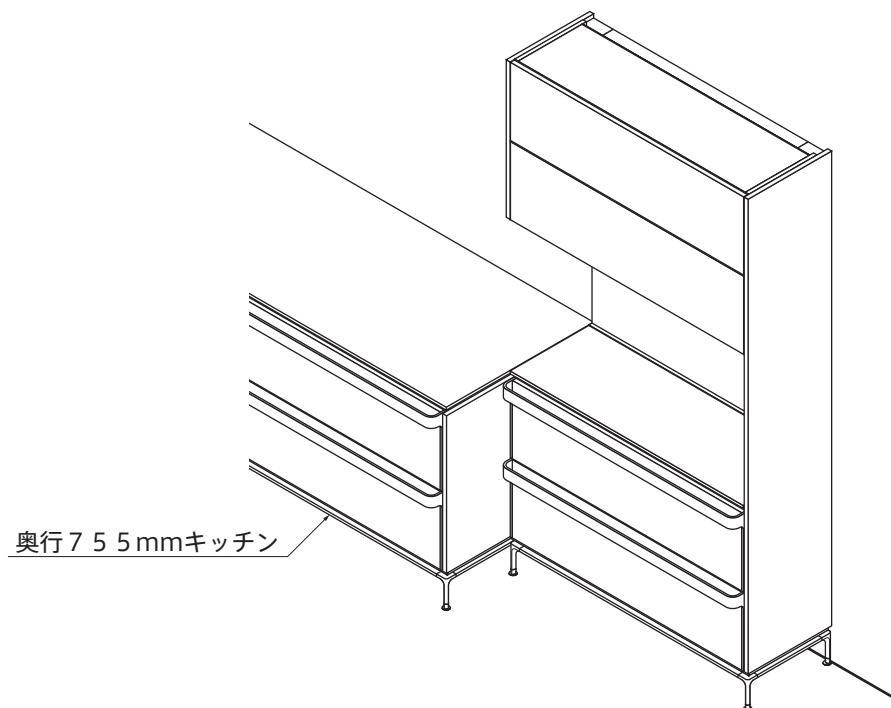


引き出しユニット

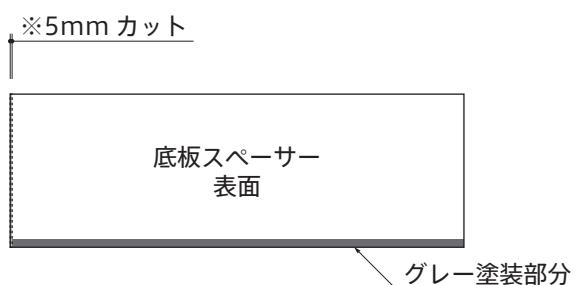


9 底板スペーサーの加工

- ・奥行755mmキッチンが隣接する場合、奥行755mmキッチンがくる側の底板スペーサーを5mmカットします。
- 底板スペーサーのグレー塗装部分がユニット前面の底板面にくるようにしてカットします。

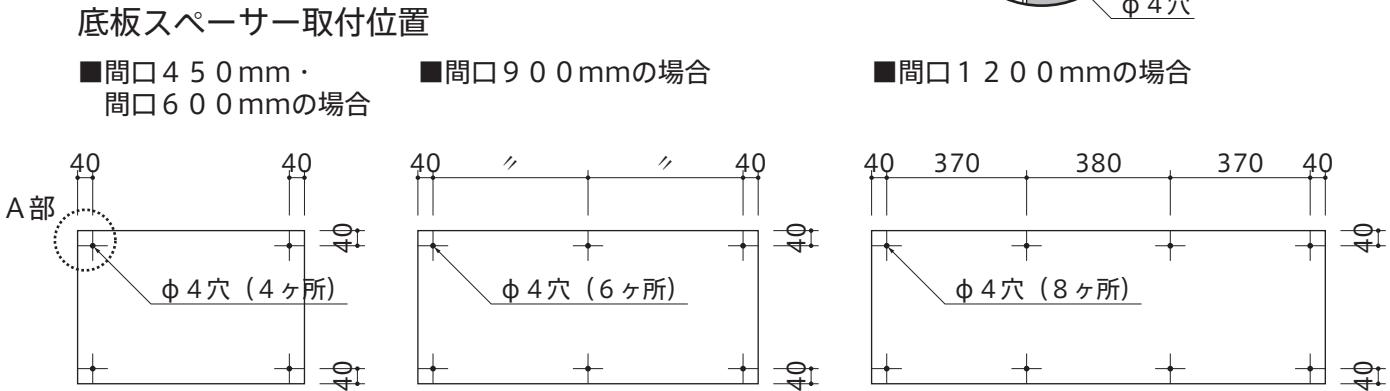
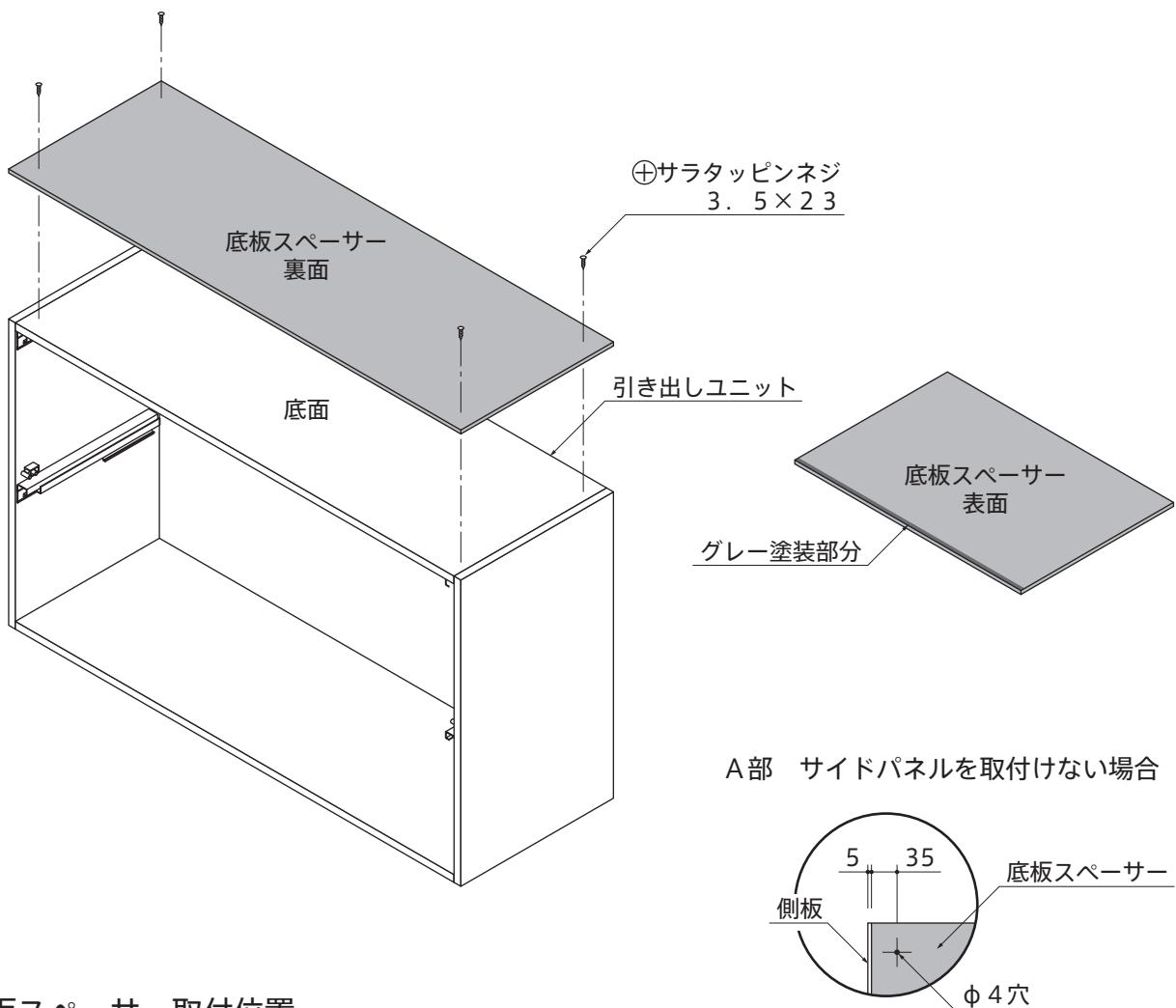


底板スペーザー加工寸法



10 底板スペーサーの取付け

- ユニット底面に底板スペーサーを取付けます。
底板スペーサーの指定位置にΦ4穴をあけます。
底板スペーサーのグレー塗装部分がユニット前面の底板面にくるようにして、ユニットに置きます。
底板スペーサーの背面はユニット後端に揃え、側面は側板側面に揃えて（サイドパネルを取付けない場合、側板側面から5mm内側にくるように）、④サラタッピンネジ3.5×23にて固定します。



11 引き出しユニットの取付け

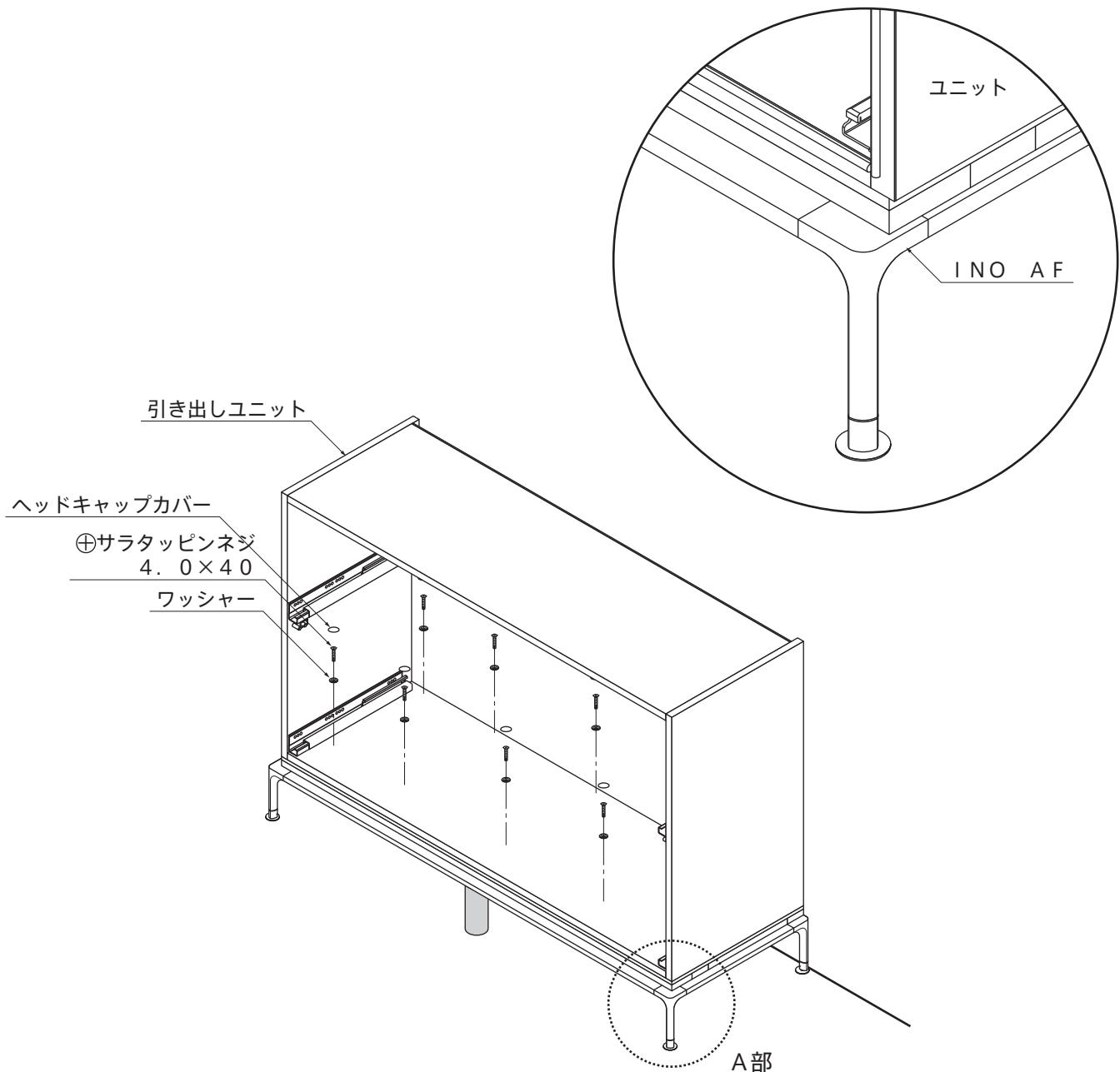
※ I NO A F側面が壁に隣接する場合、引き出しユニットにサイドパネルを取付けてから I NO A Fに固定します。（「サイドパネルの取付け」を参照のこと。）

- ・ベースフレームの角パイプ前面コーナーと底板スペーサー前面コーナーを合わせて、ユニットを固定します。

ユニット底板の指定位置にΦ3穴をあけます。

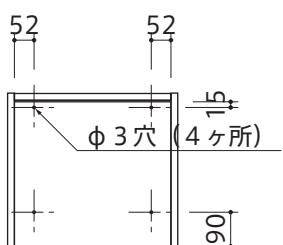
④サラタッピンネジ4.0×40にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

A部詳細図
底板スペーサーをカットした場合

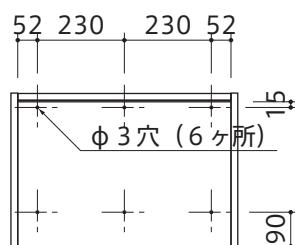


ユニット固定位置【平面図】

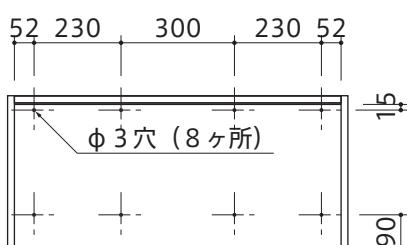
■間口450mmの場合



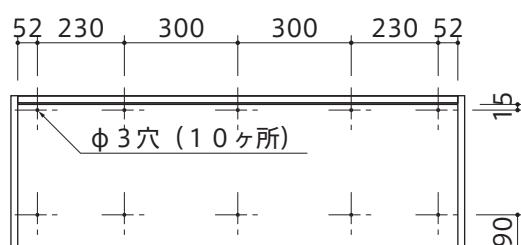
■間口600mmの場合



■間口900mmの場合



■間口1200mmの場合



12 スリット化粧板の取付け

※スリット化粧板を取付ける前に、高さスペーサーの表面をきれいに拭き取ってください。

※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

貼り付け後は、両面テープがしっかりと貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

・スリット化粧板（10mm）をユニット全体間口に合わせてカットします。

・スリット化粧板（10mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、側板前面木口の上端に合わせて貼り付けます。

■サイドパネルの隣がオープンになる場合

・スリット化粧板（25mm）をユニット奥行に合わせてカットします。

・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、高さスペーサーの側面下端に合わせて貼り付けます。

・スリット化粧板（25mm）をスリットスペーサー全体間口と両側のスリット化粧板の厚みを合わせたサイズにカットします。

・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、スリットスペーサーの前面下端に合わせて貼り付けます。

※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

■サイドパネルの隣が壁面の場合

・スリット化粧板（25mm）をユニット奥行に合わせてカットします。（オープン側のみ）

・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、オープン側の高さスペーサーの側面下端に合わせて貼り付けます。

・スリット化粧板（25mm）をスリットスペーサー全体間口と片側のスリット化粧板の厚みと壁面までのばしたサイズにカットします。

・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、スリットスペーサーの前面下端に合わせて貼り付けます。

■奥行755mmキッチンが隣接する場合

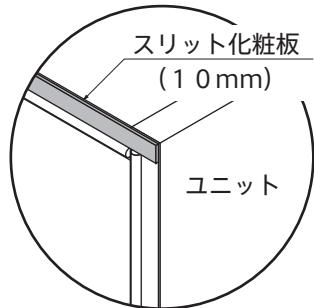
・スリット化粧板（25mm）をユニット奥行に合わせてカットします。（奥行755mmキッチンがくる側の反対側のみ）

・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、奥行755mmキッチンがくる側の反対側の高さスペーサーの側面下端に合わせて貼り付けます。

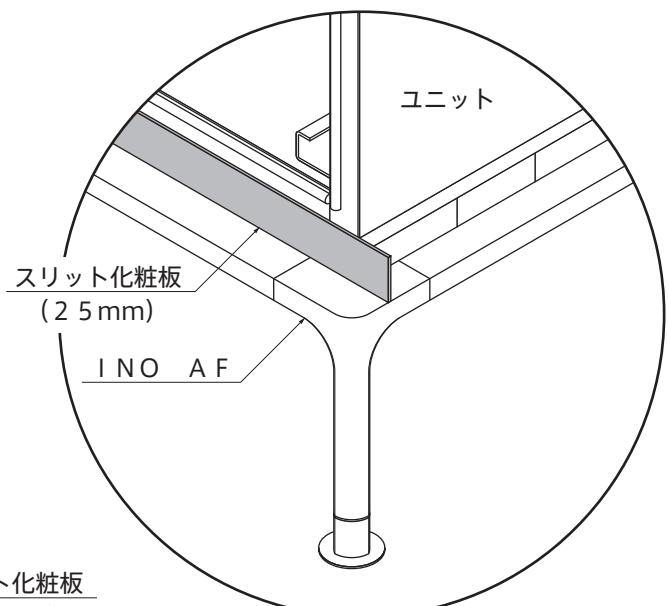
・スリット化粧板（25mm）をスリットスペーサー全体間口と片側のスリット化粧板の厚みと奥行755mmキッチン側面のスリット化粧板までのばしたサイズにカットします。

・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、スリットスペーサーの前面下端に合わせて貼り付けます。

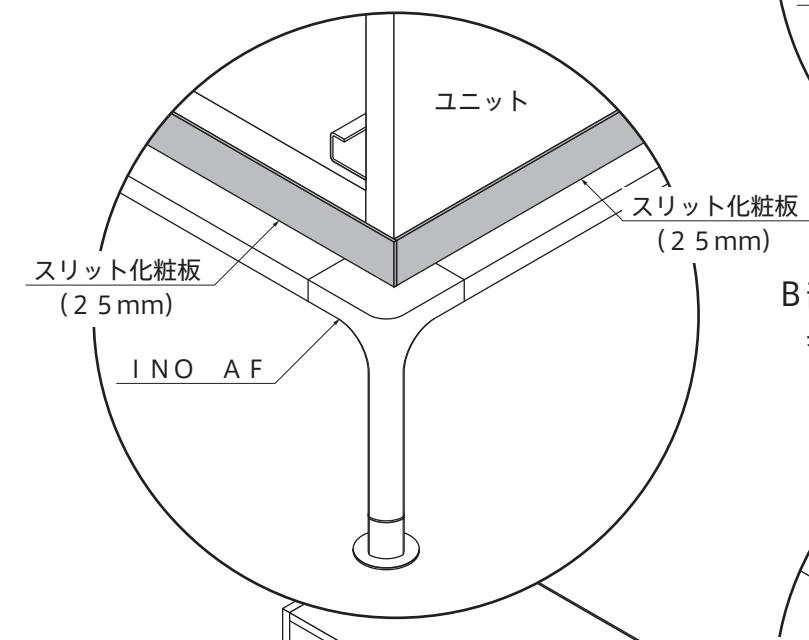
A部詳細図



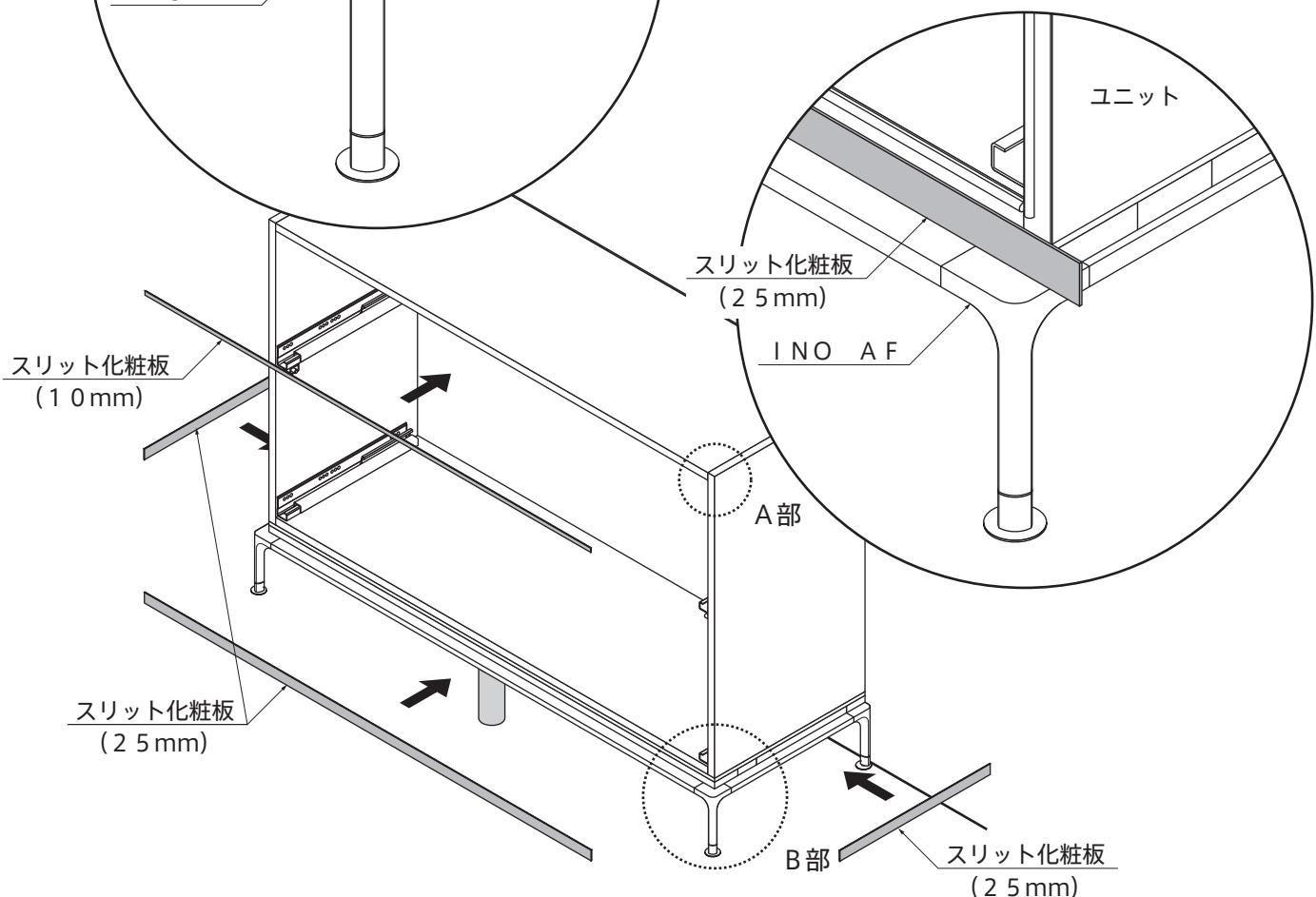
B部詳細図
サイドパネルの隣が壁面の場合



B部詳細図
サイドパネルの隣がオープンになる場合



B部詳細図
奥行755mmキッチンが隣接する場合



13 壁面への固定



トルル収納の取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。

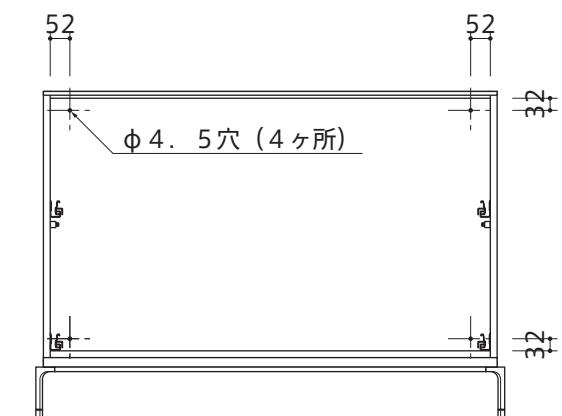
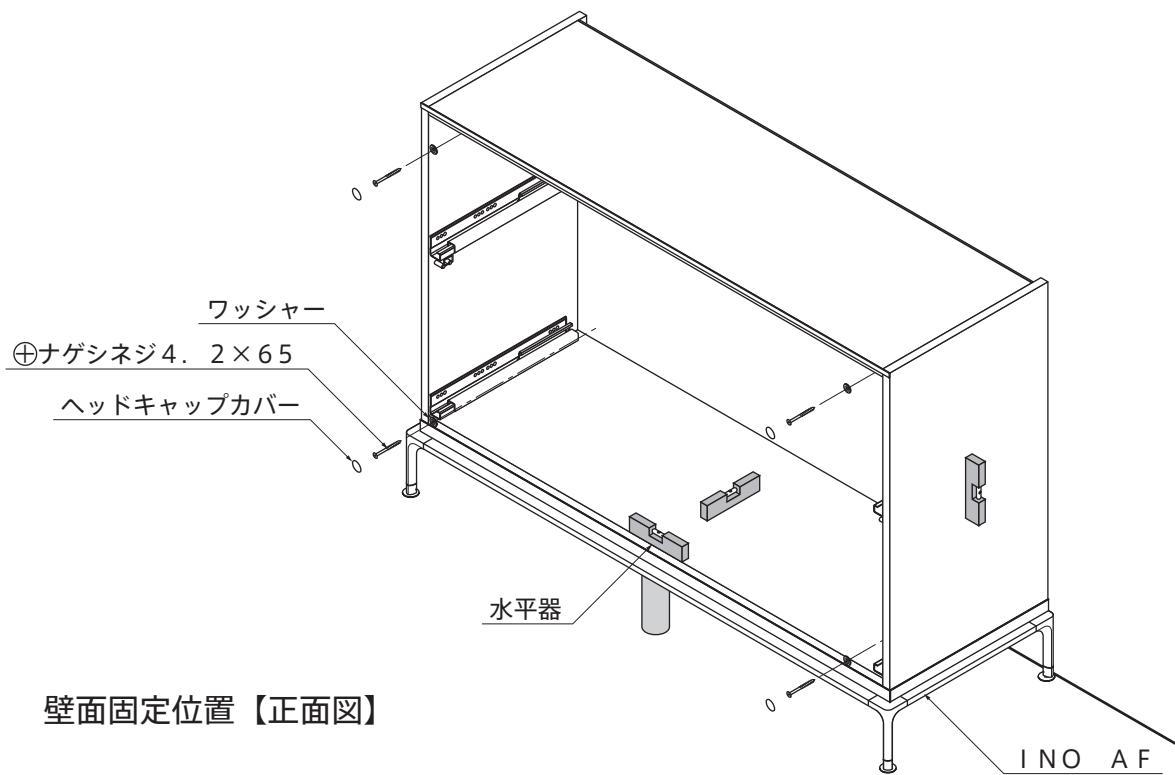


落下して、ケガをする恐れがあります。

- ユニットを壁面に固定します。

ユニット背板の指定位置にΦ4.5穴（4ヶ所）をあけます。

⊕ナゲシネジ4.2×65にワッシャーを通して、ユニットを壁面に固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。



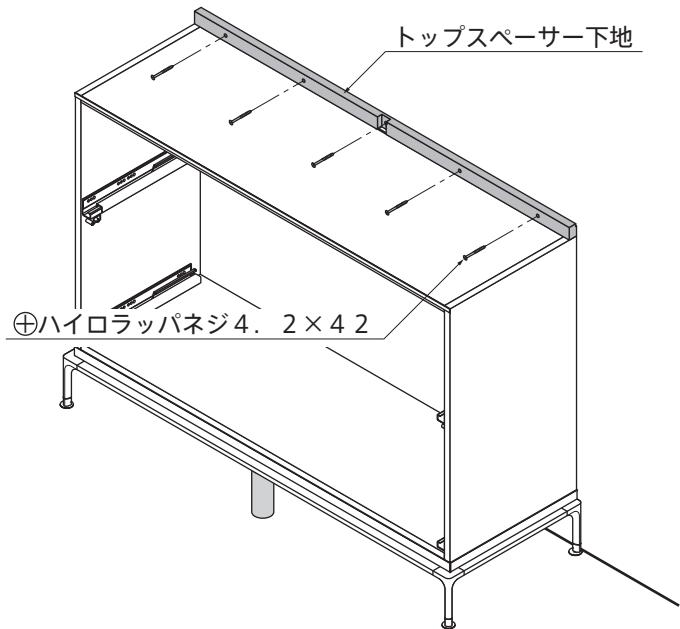
14

トップスペーサーの取付け

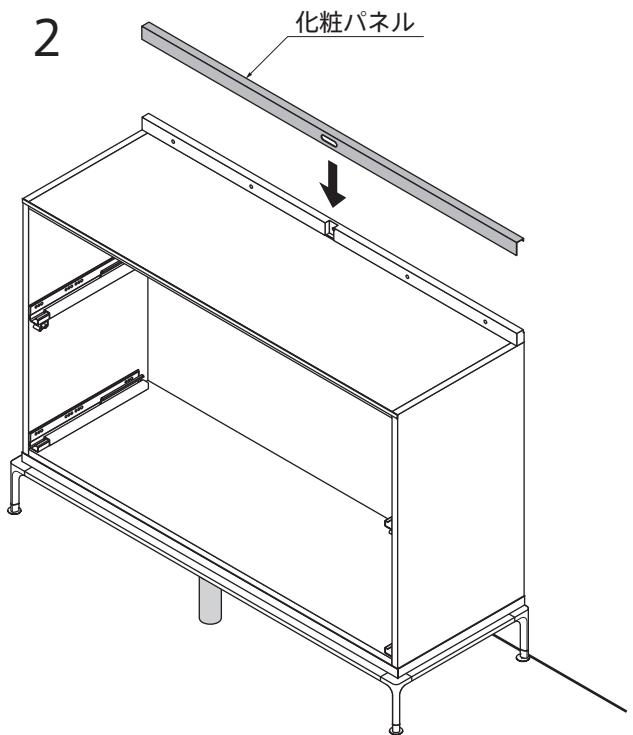
・壁面の指定位置にトップスペーサーを取付けます。

1. トップスペーサー下地をユニット幅に合わせて天板に置き、 \oplus ハイロラッパネジ4. 2×4 2にて壁面に固定します。
2. トップスペーサー下地に化粧パネルを差し込みます。
3. 化粧パネルの穴にマグネットキャッチ本体を差し込み、 \oplus サラタッピンネジ3. 5×1 6にて固定します。

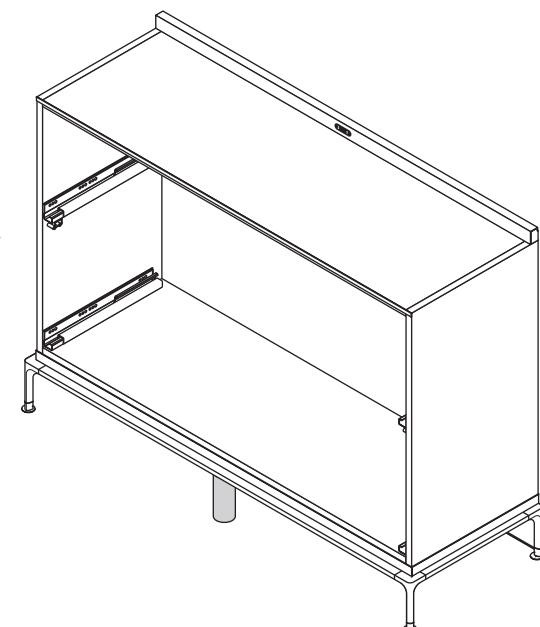
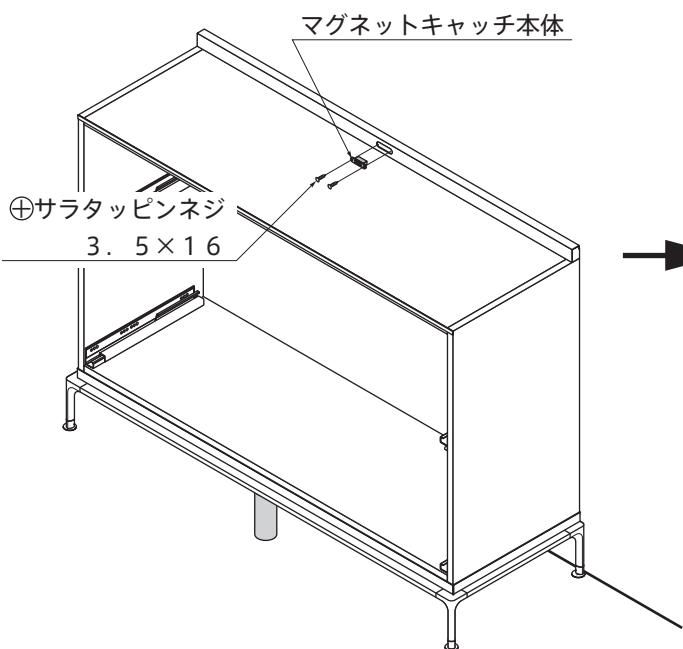
1



2

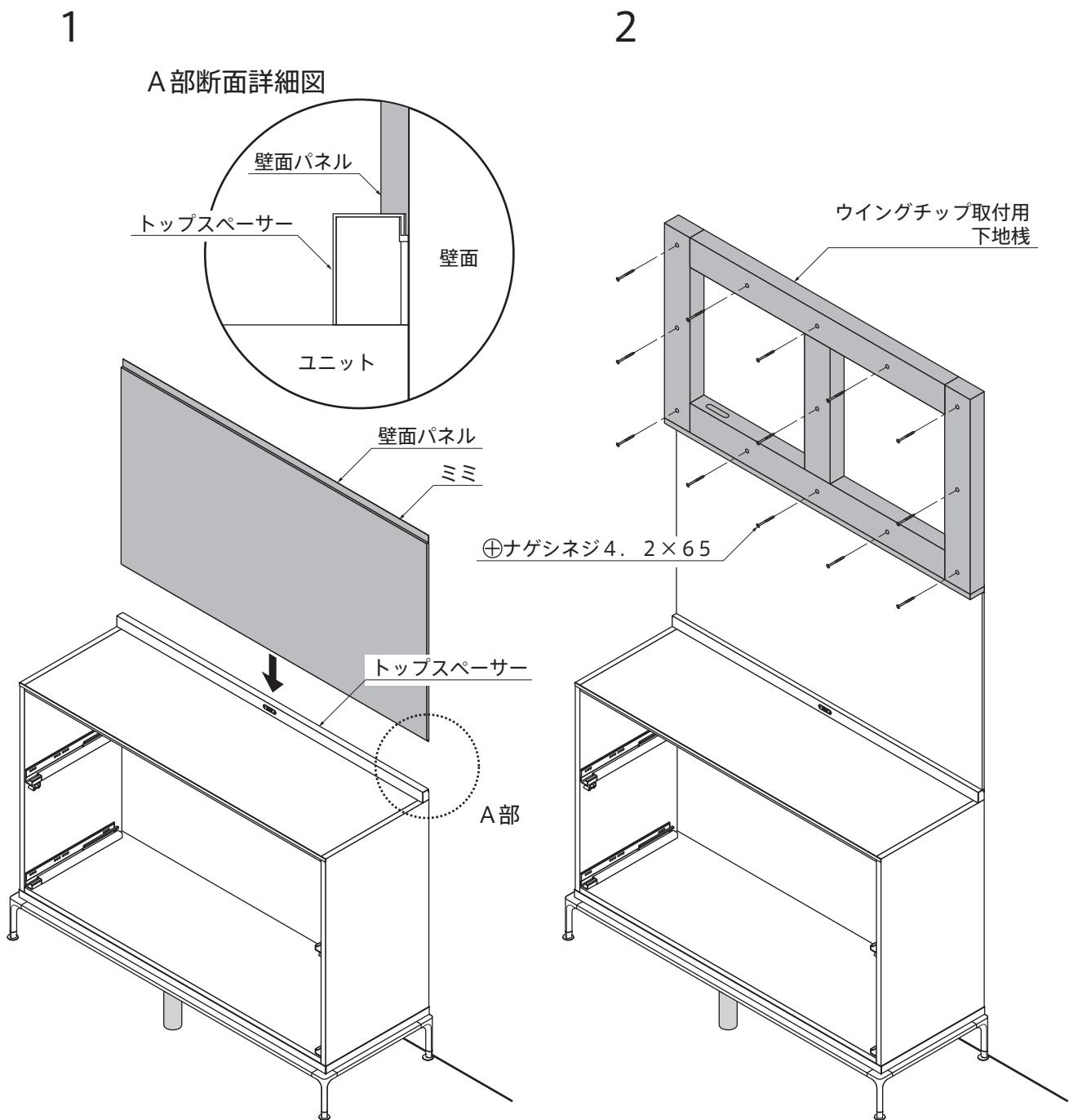


3



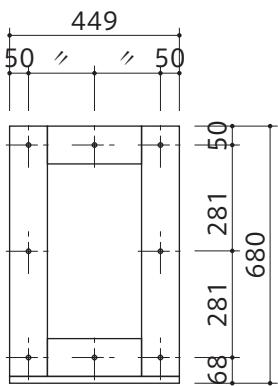
15 壁面パネル、 ウイングチップ取付用下地棧の取付け

1. トップスペーサーの切り欠き部分に壁面パネルを差し込みます。
※ 必要に応じて、壁面パネルを接着剤にて固定してください。
2. 壁面パネルのミミを押さえるようにウイングチップ取付用下地棧を取付けます。
壁面の指定位置に \oplus ナゲシネジ4. 2×65にてウイングチップ取付用下地棧を取付けます。
3. モザイクタイル壁面パネルの場合、壁とのすき間全周をシーリングします。
※ モザイクタイル壁面パネルの場合、タイルの目地は別途対応してください。

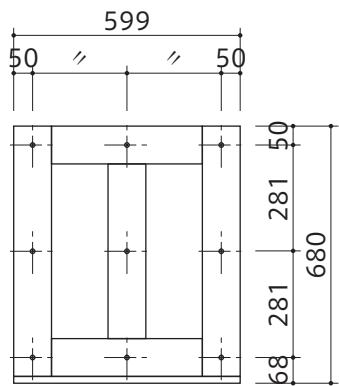


ウイングチップ取付用下地棧取付位置

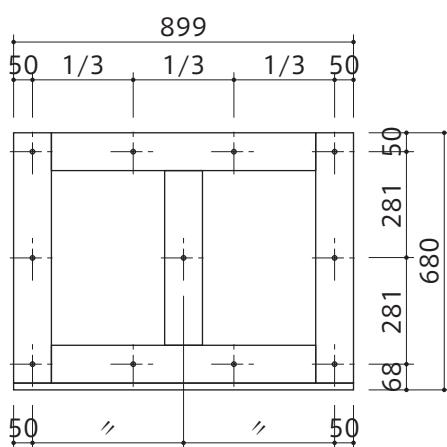
■間口450mmの場合



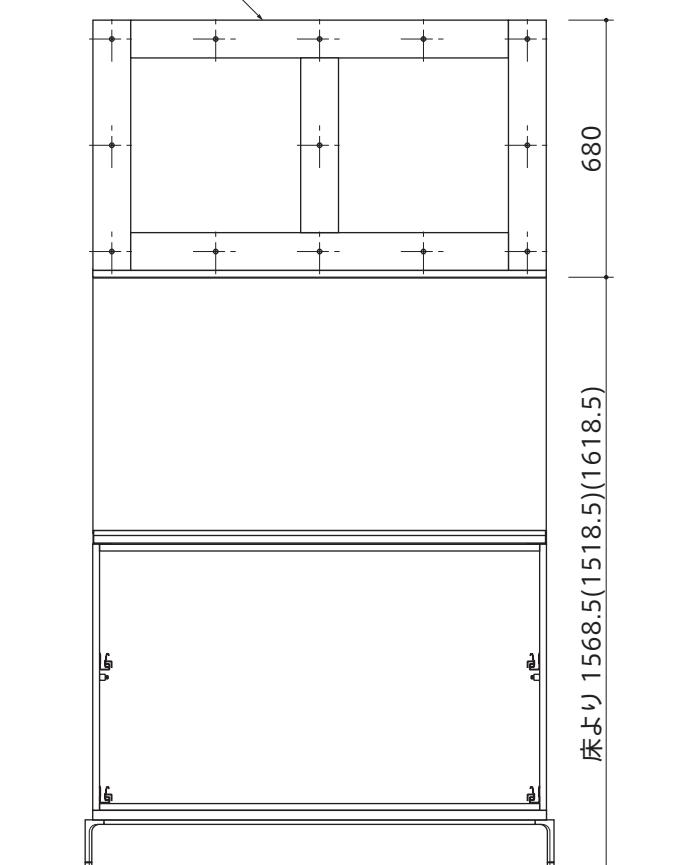
■間口600mmの場合



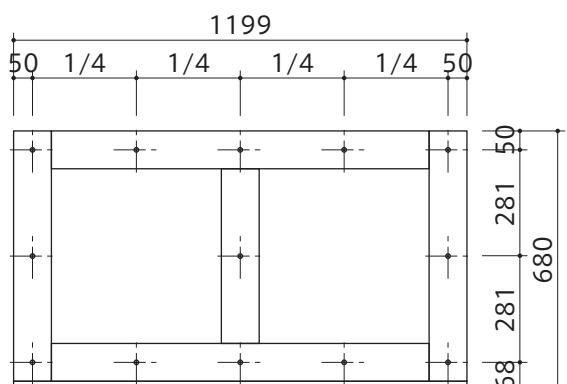
■間口900mmの場合



ウイングチップ取付用
下地棧



■間口1200mmの場合



※()内寸法は、A F仕様【H=100】と
【H=200】の場合を示す。

16 スライドコンセントの取付け、結線

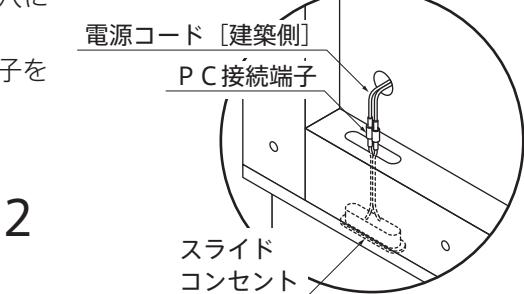


電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。

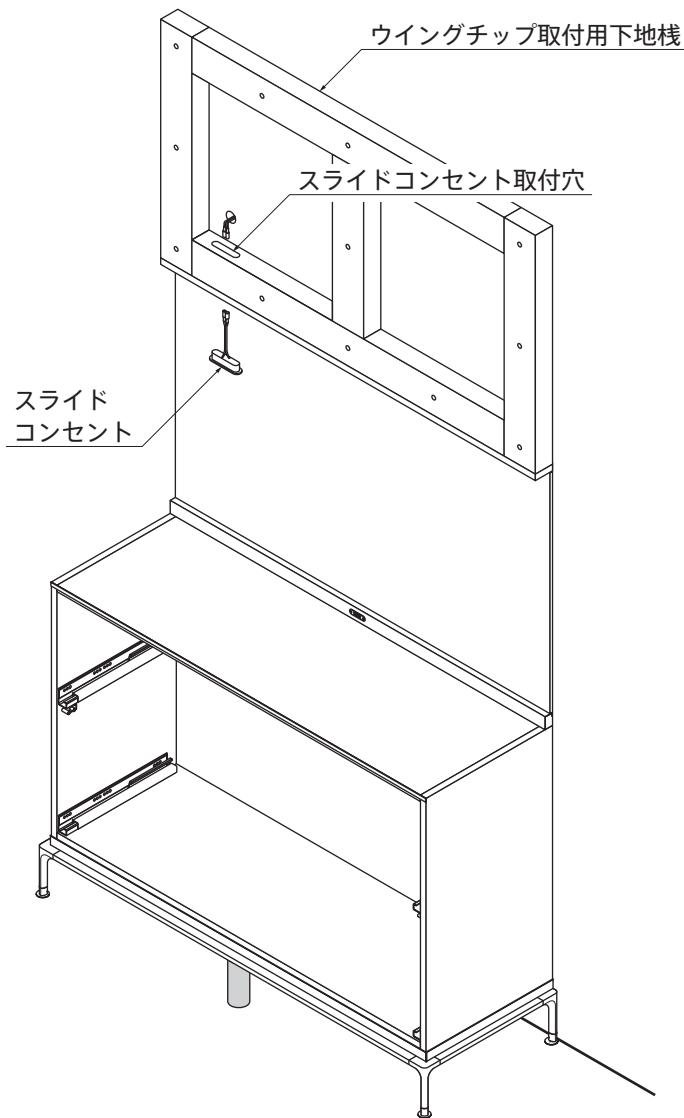


火災・感電の原因になることがあります。

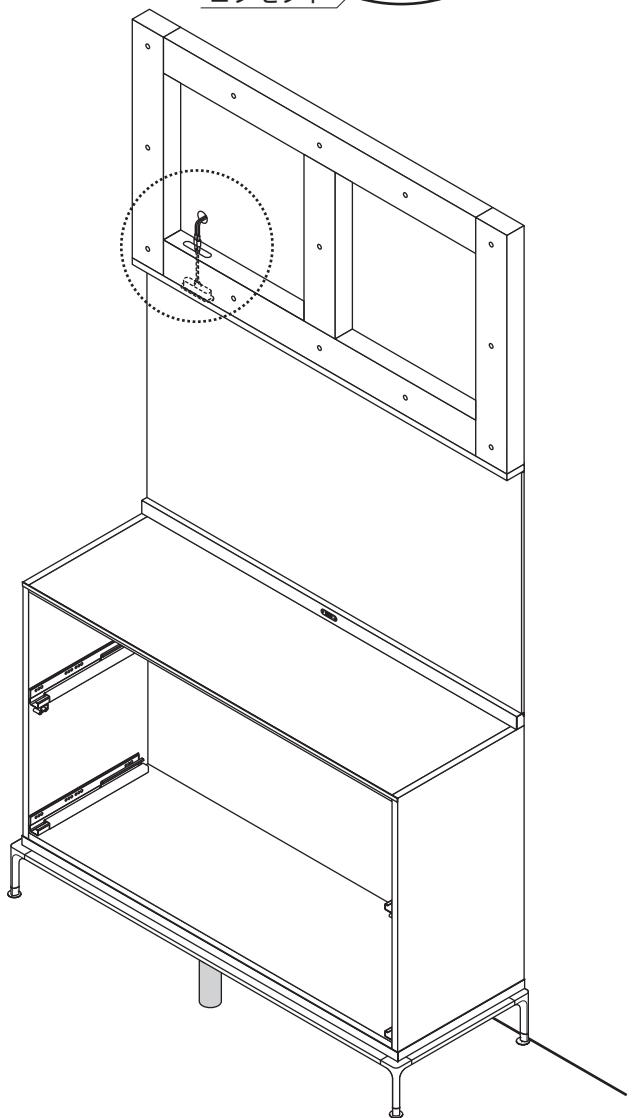
1. ウイングチップ取付用下地棟のスライドコンセント取付穴にスライドコンセントを差し込みます。
2. あらかじめ壁から出ている電源コードの先にPC接続端子を取り付け、スライドコンセントと結線します。



1



2



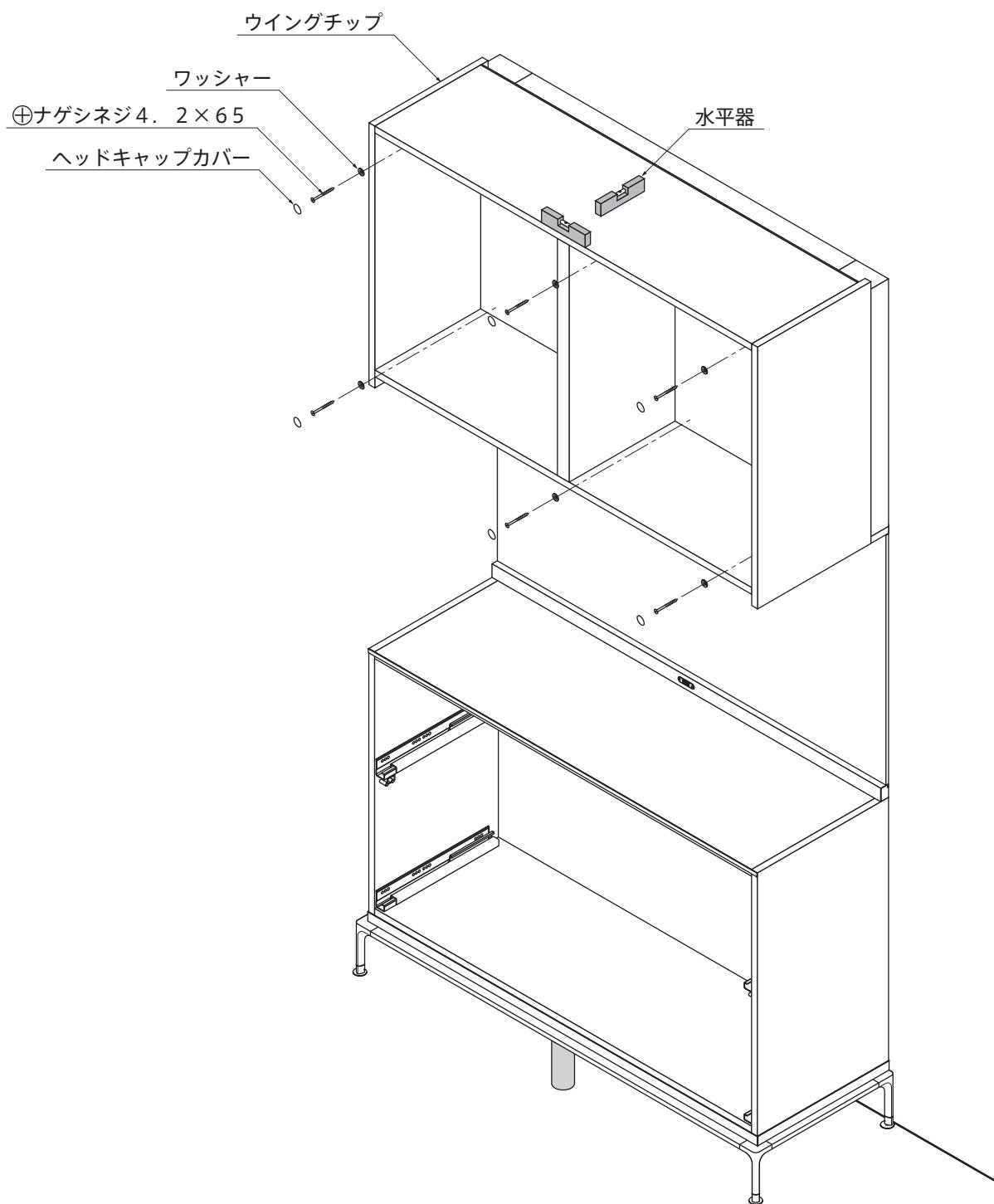
17 ウイングチップの取付け

・ウイングチップ取付用下地棧にウイングチップを取付けます。

ユニット背板に貼り付けてあるシールの中央にΦ4.5穴をあけます。

④ナゲシネジ4.2×65にワッシャーを通して、壁面に固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

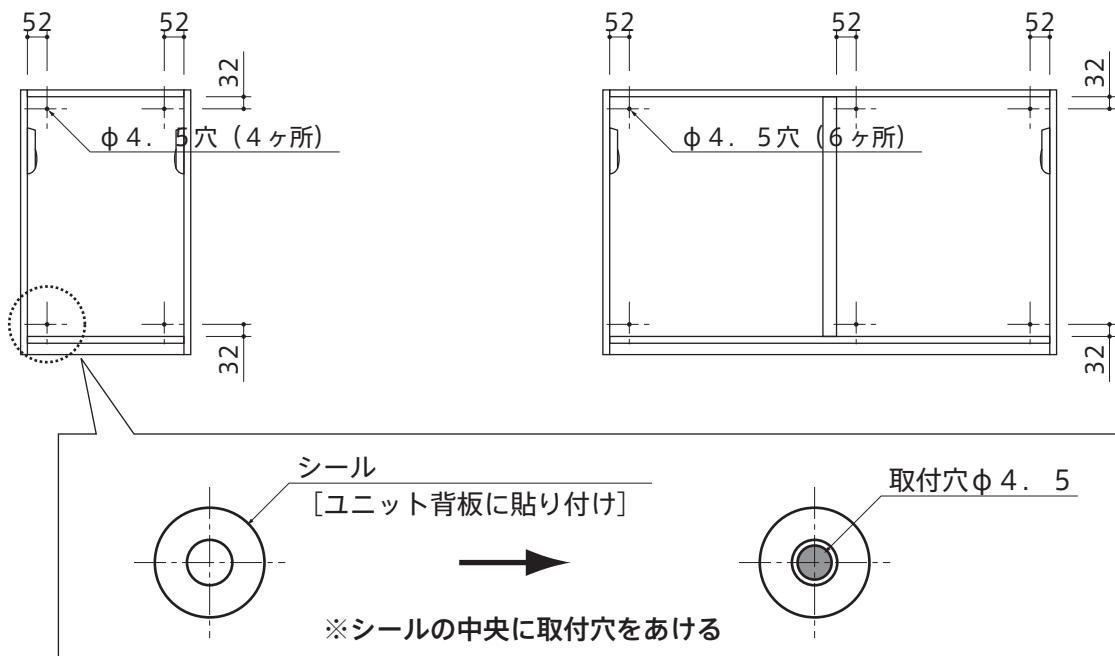
※ウイングチップの取付けについては、付属の「ウイングチップ 取扱説明書、取付・設置説明書」を参照のこと。



壁面固定位置【正面図】

■間口450mm・
間口600mm・
間口900mmの場合

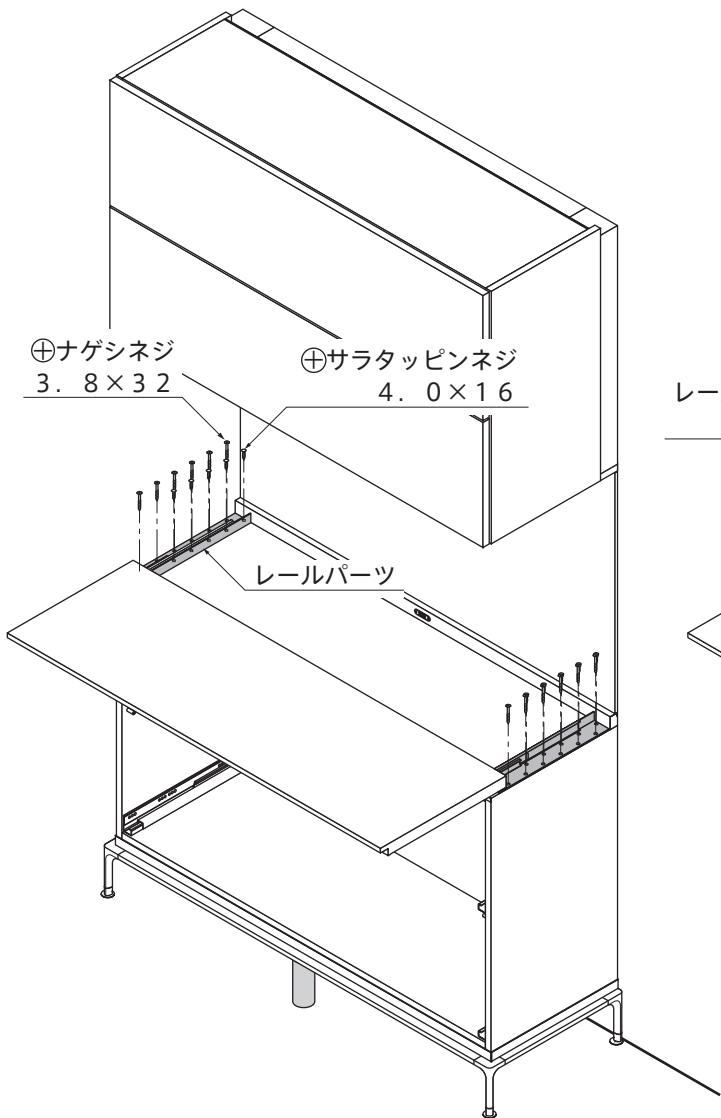
■間口1200mmの場合



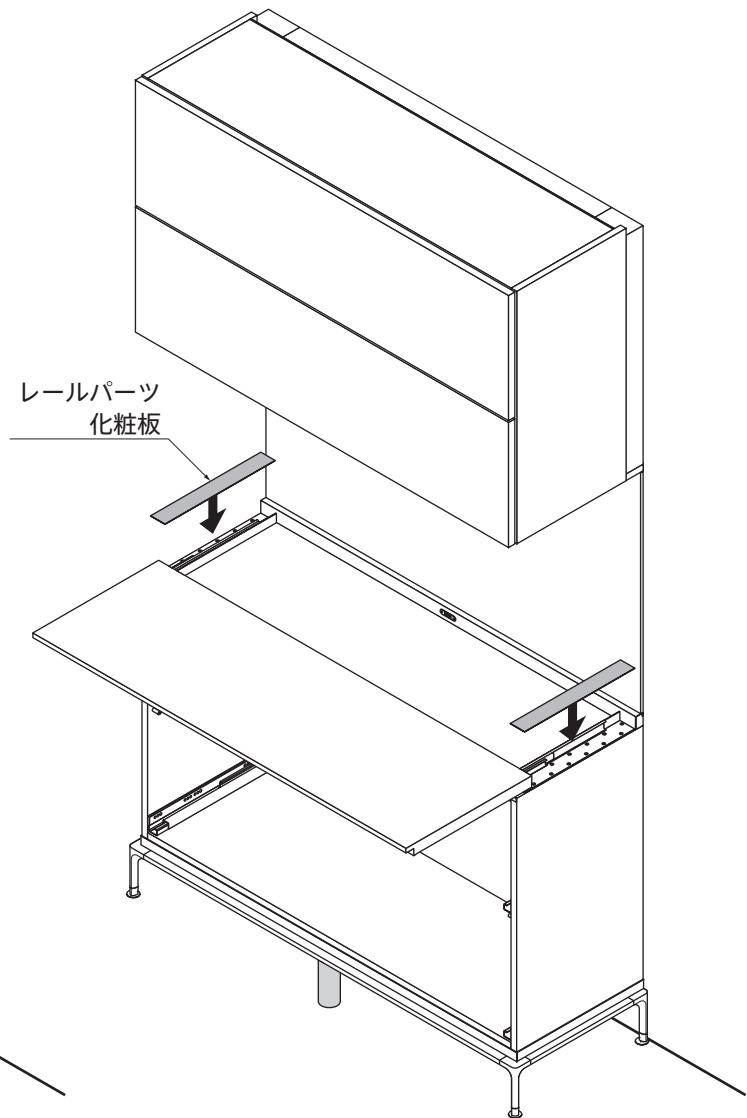
18 スライドトップの取付け

- ユニット天板の指定位置にレールパーツを取付けます。
外側（側板側）は \oplus ナゲシネジ3.8×32にて、内側（天板側）は \oplus サラタッピンネジ4.0×16にて固定します。
- 取付ネジが隠れるようにレールパーツ化粧板を貼り付けます。
- スライドトップを奥へ押し込みます。

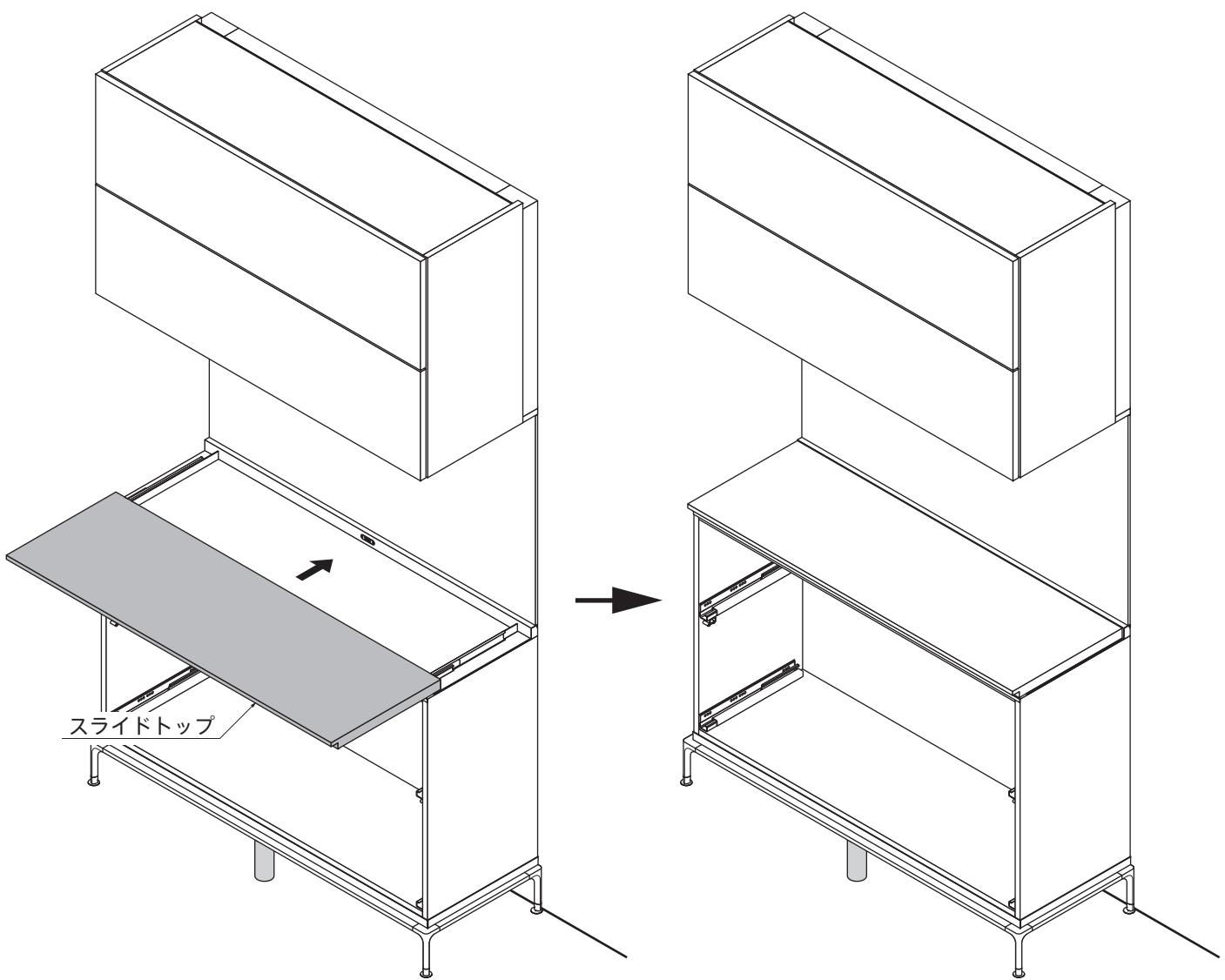
1



2

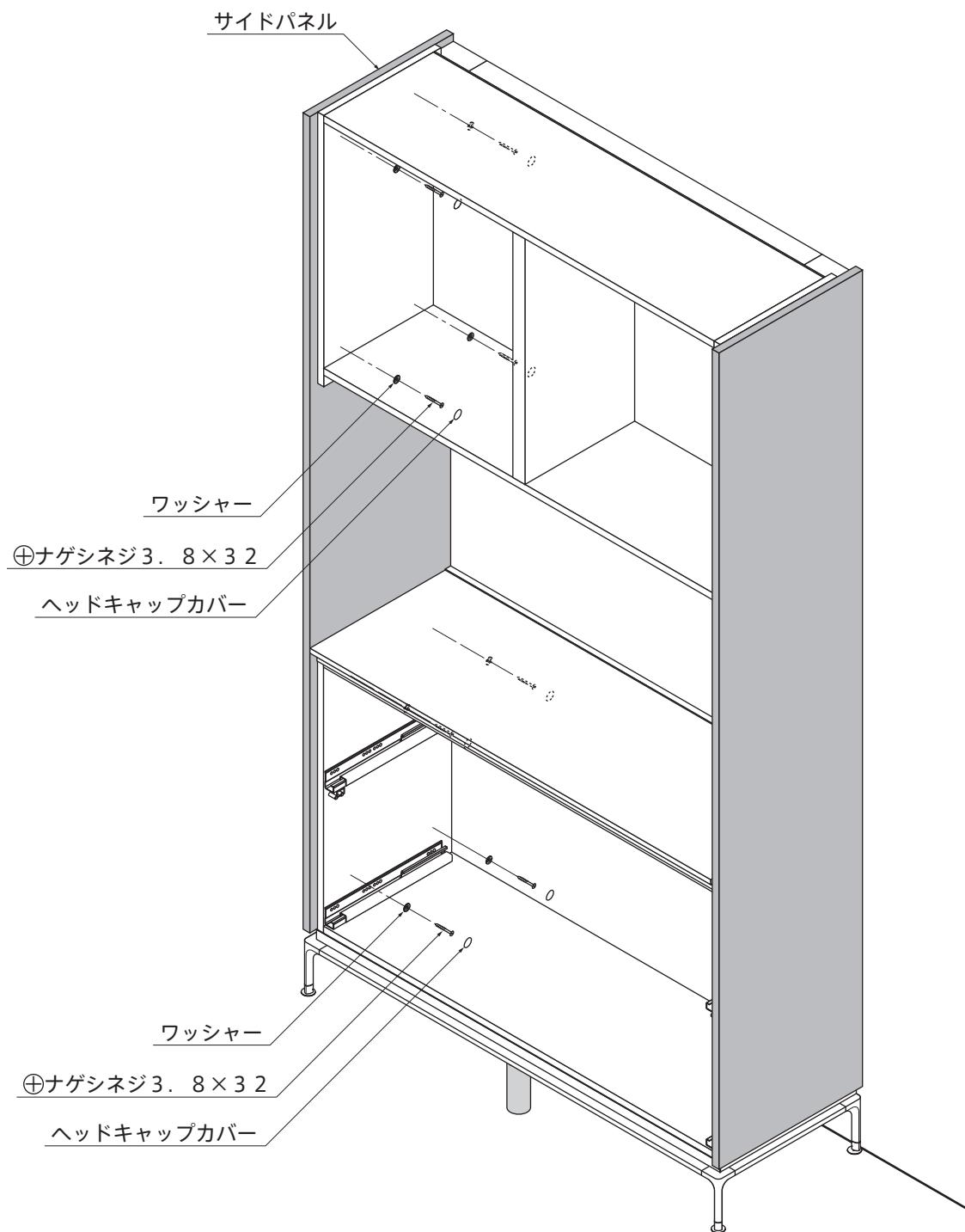


3



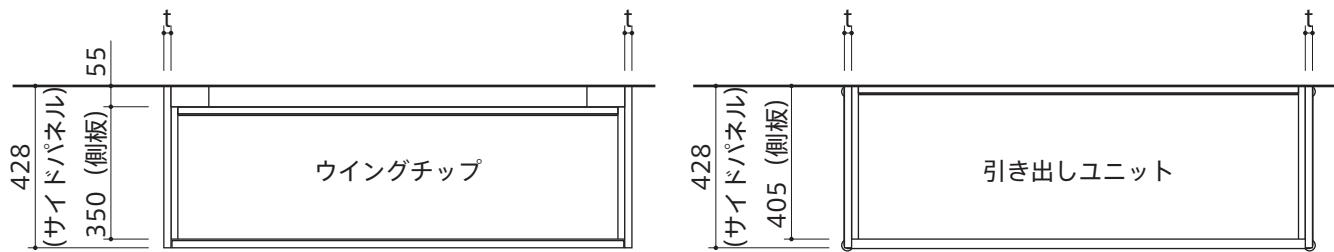
19 サイドパネルの取付け

- ユニット側板の指定位置にサイドパネルを取付けます。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（各4ヶ所）をあけます。
- ④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、サイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

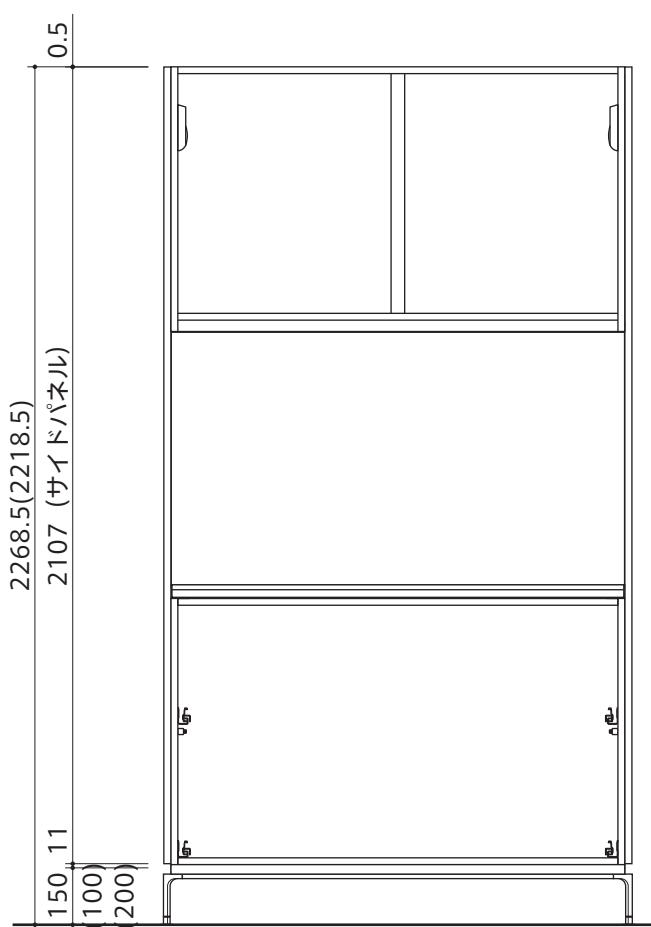


サイドパネル取付位置

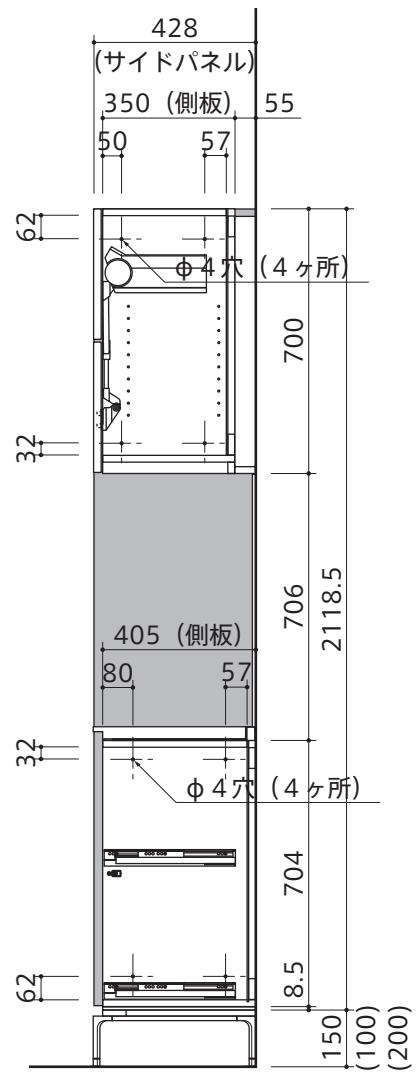
【平面図】



【正面図】

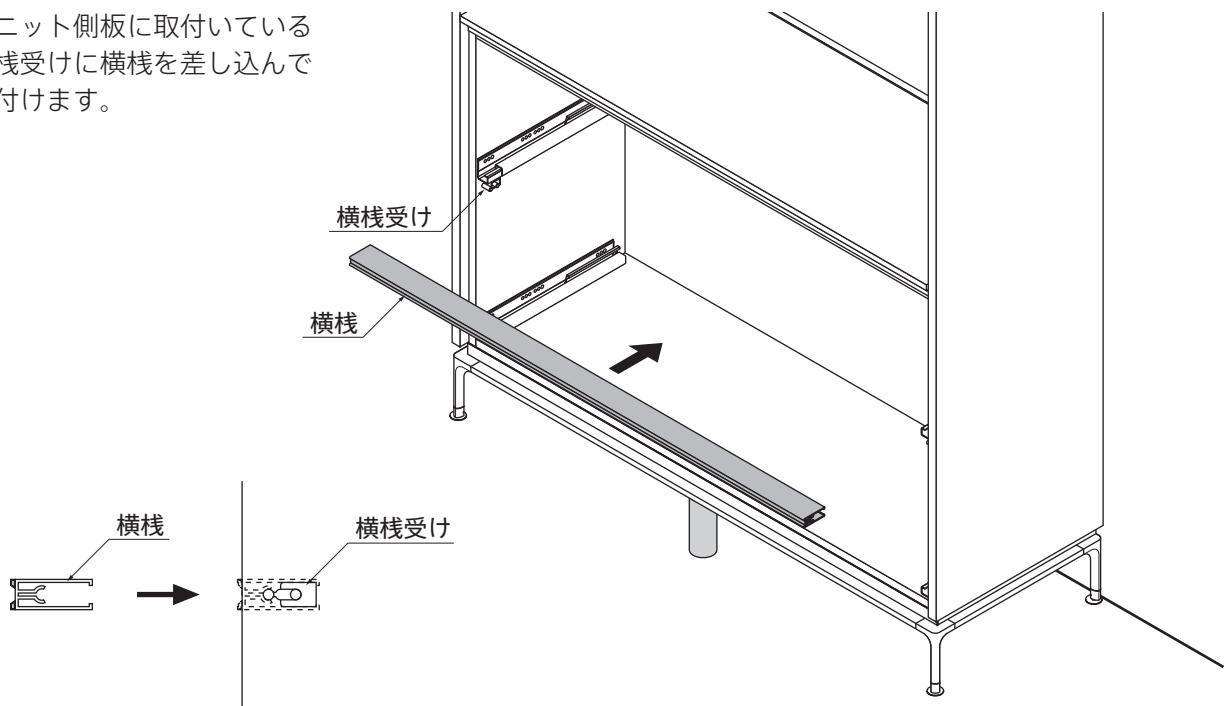


【側面図】



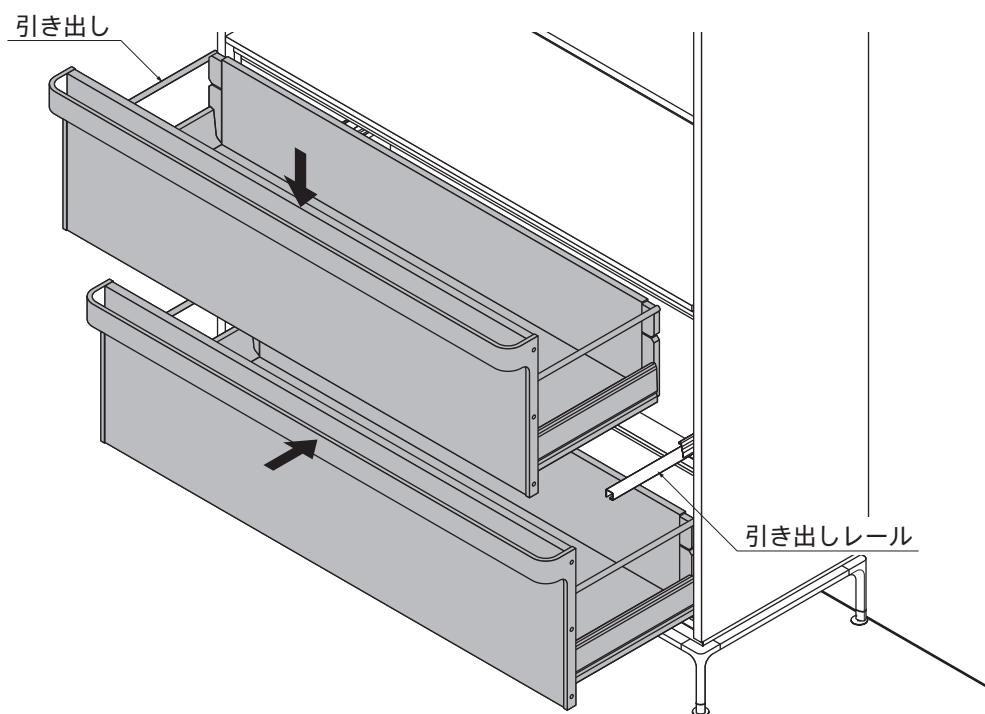
20 横桿の取付け（※引き出しユニットの場合）

- ユニット側板に取付いている横桿受けに横桿を差し込んで取付けます。



21 引き出しの取付け（※引き出しユニットの場合）

- 引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
- 引き出しレールの上に引き出しをのせます。
- 引き出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。



1段オープンタイプ

MNMN - 60BF2AOR1CTNL(R)

NMMN - 60BF2AOR1ATNL(R)

MNMN - 60BF2BOR1ATNL(R)

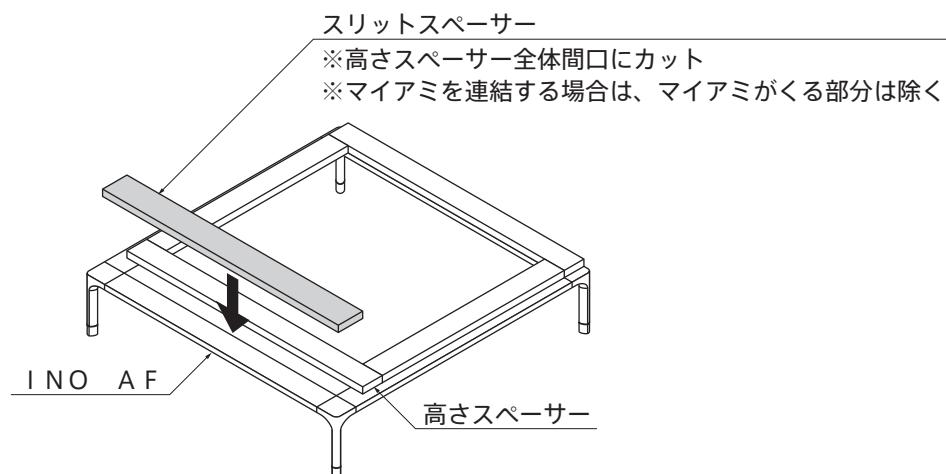
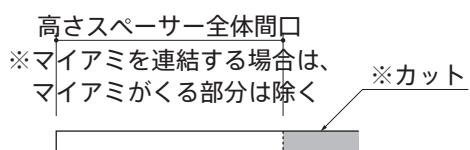
【INO AF Sタイプ
／Cタイプの場合】

取付・設置方法

① スリットスペーサーの加工、取付け

- ・スリットスペーサーを高さスペーサー全体間口に合わせてカットします。
※マイアミを連結する場合は、マイアミがくる部分は除く。
- ※カットした面にスリット化粧板を貼るため、きれいに仕上げてください。
- ・スリットスペーサーの両面テープのはく離紙を剥がし、INO AFの高さスペーサー前端に合わせて貼り付けます。

スリットスペーサー加工寸法

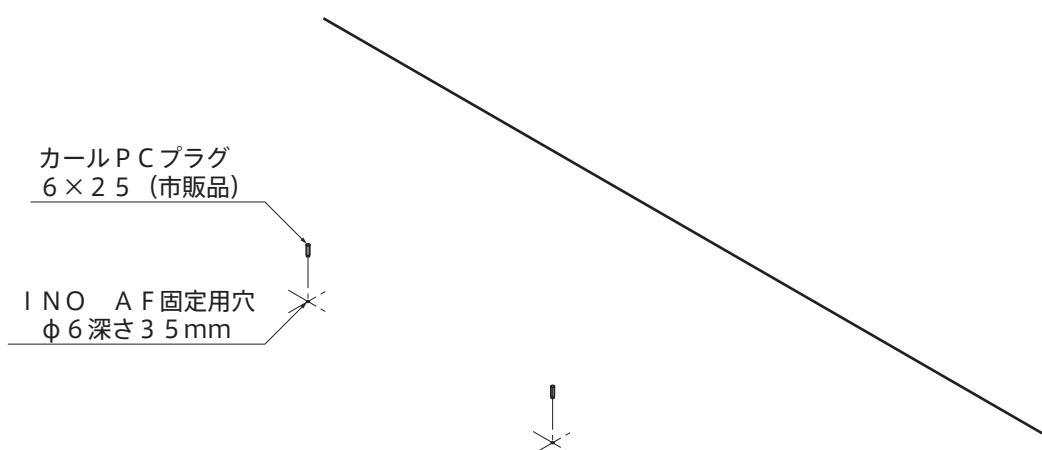


2 固定用穴あけ (※床固定にカールPCプラグを使用する場合)

※コンクリート床、石床の場合、INO AFを設置する前にカールPCプラグを取付けます。

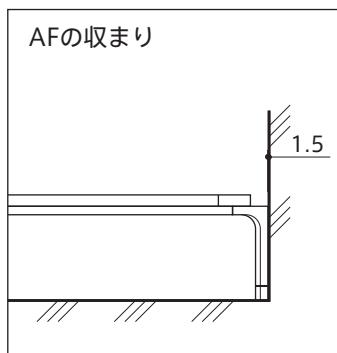
壁に接する側のINO AF取付位置にはカールPCプラグの取付けは不要です。

- ・INO AFの設置位置に固定用穴Φ6深さ35mmをあけます。
- ・固定用穴にカールPCプラグ6×25(市販品)を打ち込みます。

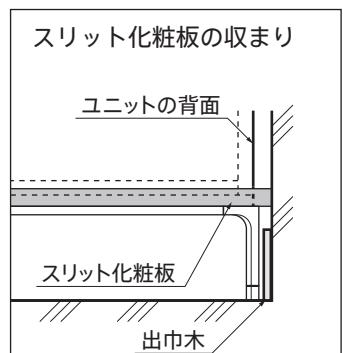
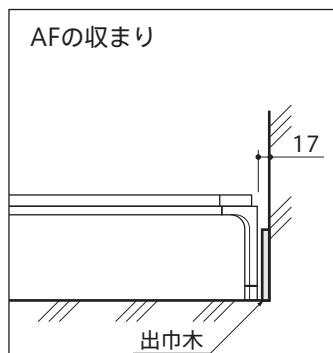
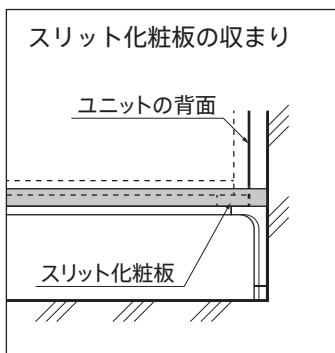


【側面図】 ※イラストはSタイプを示します。収まりはCタイプも同様です。

■背面の壁に出巾木がない場合

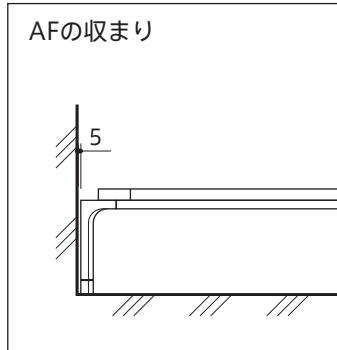


■背面の壁に出巾木がある場合

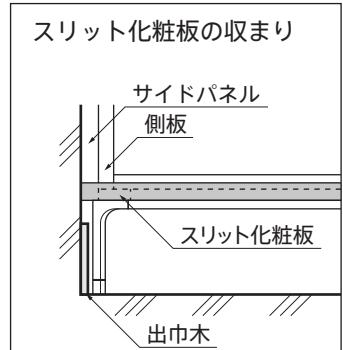
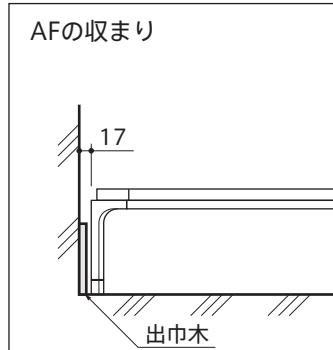
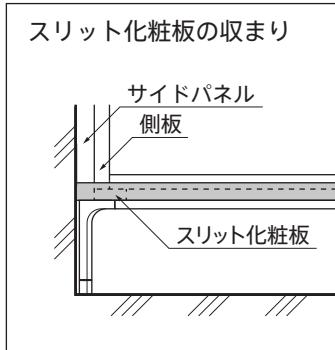


【正面図】 (※INO AF側面が壁に隣接する場合)

■側面の壁に出巾木がない場合



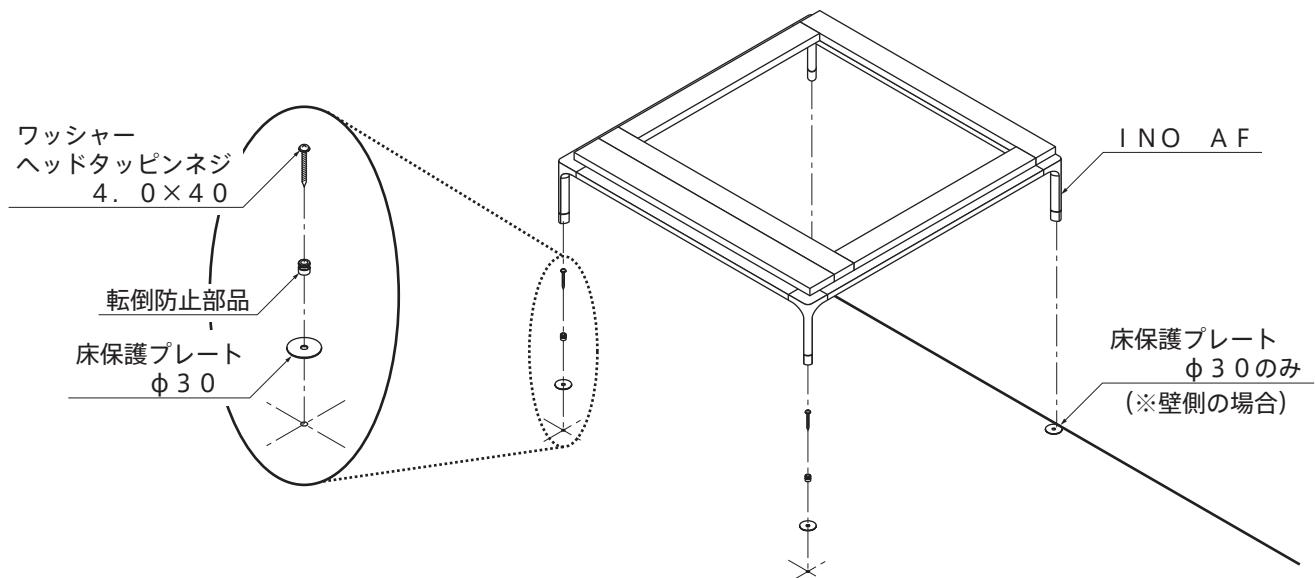
■側面の壁に出巾木がある場合



3 転倒防止部品の取付け、INO AFの設置

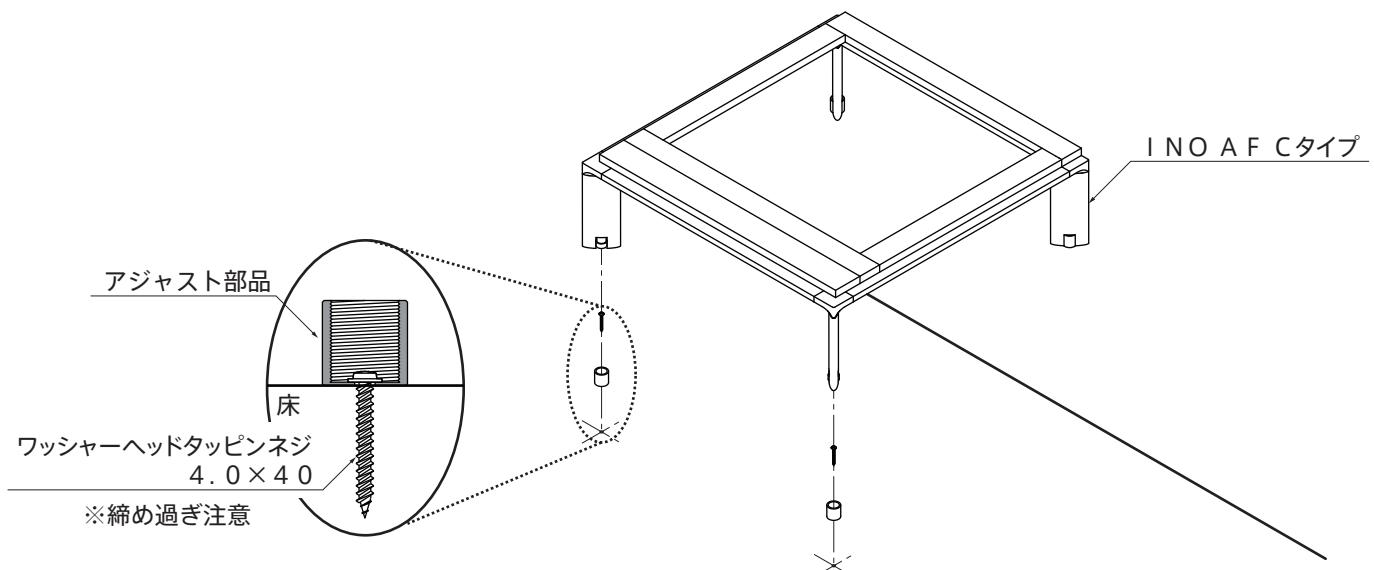
■ INO AF Sタイプの設置

- INO AFの設置位置に、床保護プレートΦ30を置き、その上から付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床面に固定します。
※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取付けます。
- 壁に接する側は転倒防止部品を取付けず、床保護プレートΦ30のみ置きます。
- INO AFを転倒防止部品に差し込みながら床面に設置します。



■ INO AF Cタイプの設置

- INO AF Cタイプの設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にてアジャスト部品を床面に固定します。
※ネジを完全に締めずに、アジャスト部品が回る程度に締めてください。
※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取付けます。
- INO AF Cタイプをアジャスト部品に差し込みながら床面に設置します。



4

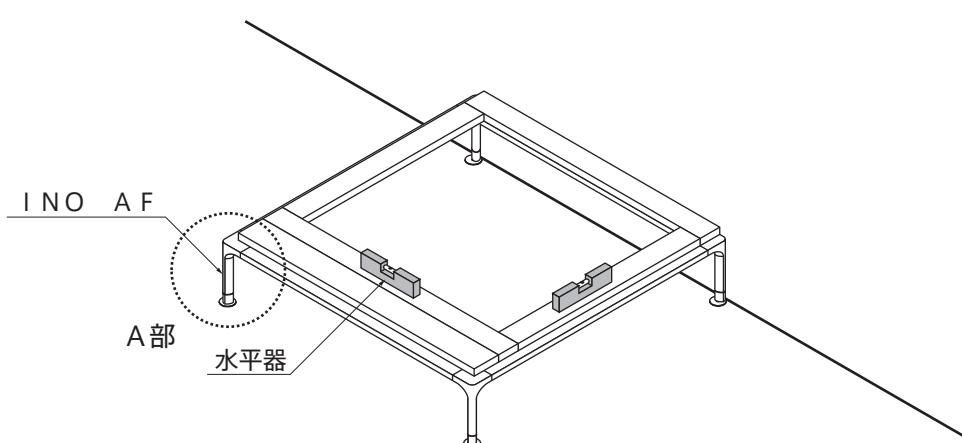
レベル調整、INO AFの固定

- INO AFのアジャスト部分を回して、レベルを調整します。

※調整範囲 -0~+10mm

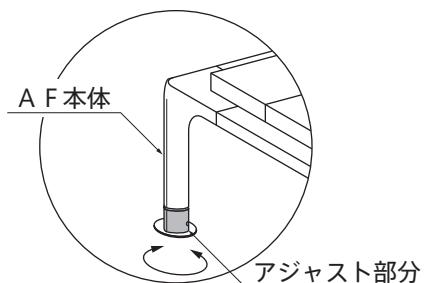
※AF本体とアジャスト部分の形状が揃うように調整します。

- 前側のINO AFのアジャスト部分の固定穴から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。

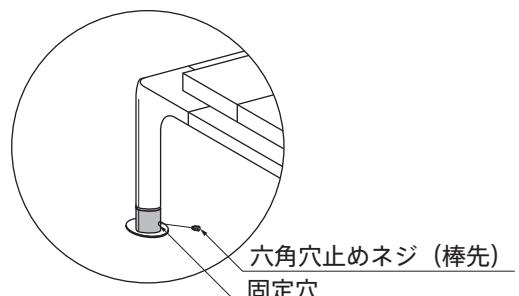


■ Sタイプの場合

A部 レベル調整



A部 固定



■ Cタイプの場合

- INO AF Cタイプをアジャスト部品の上に設置し、本体が大きく傾かない様に調整しながら一番下まで締めます。（図1）
- 一番下まで締めた状態を基準とし、低い場所のレベルを調整する。（図2）

図1

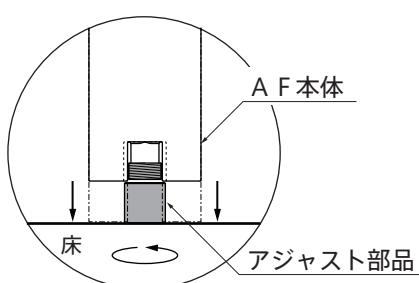
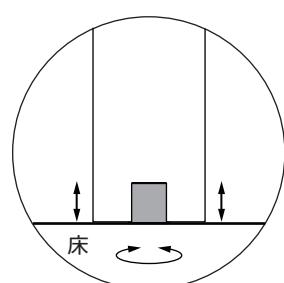
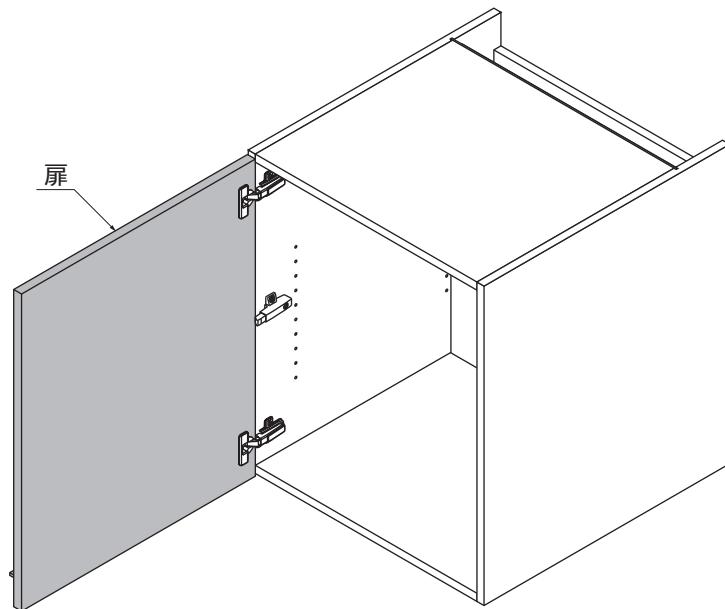


図2



5 閉扉の取り外し（※開き扉ユニットの場合）

- 扉を取り外します。（「共通」の「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）

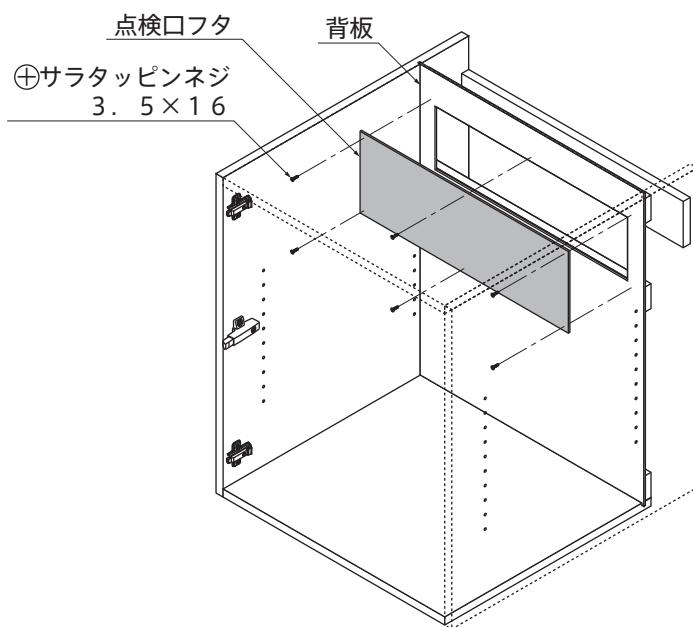


6 点検口フタの取り外し（※開き扉ユニットの場合）

- ユニット背板から点検口フタを取り外します。

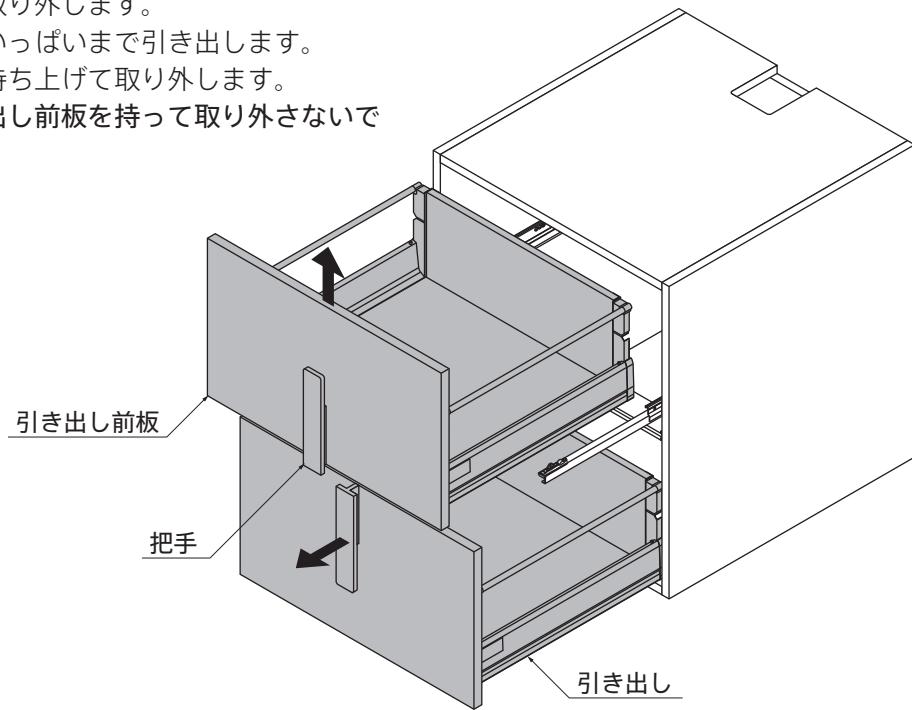
点検口フタを固定している \oplus サラタッピンネジ 3. 5×16（6本）を外します。

※取り外した点検口フタとネジはユニットを壁面に固定後、再び使用しますのでなくさないようにしてください。



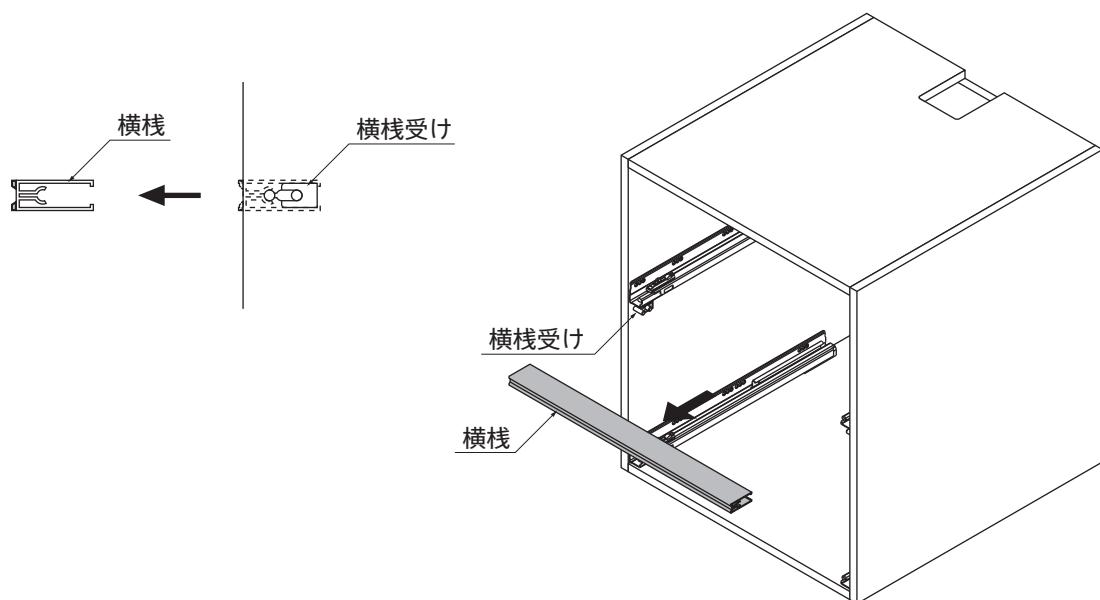
7 引き出しの取り外し (※引き出しユニット、引き出しスペーサユニットの場合)

- ・引き出しを取り外します。
 - 引き出しをいっぱいまで引き出します。
 - 引き出しを持ち上げて取り外します。
- ※把手や引き出し前板を持って取り外さないでください。



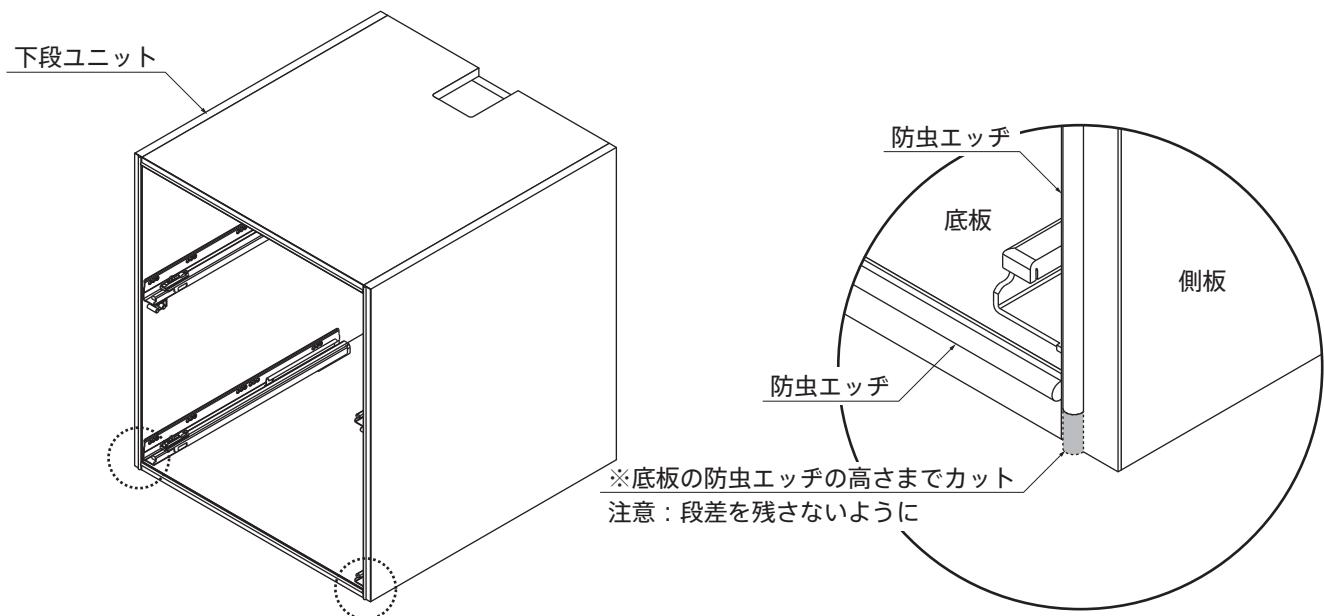
8 横桿の取り外し (※引き出しユニットの場合)

- ・横桿受けから横桿を引き抜いて取り外します。



9 防虫エッチの加工

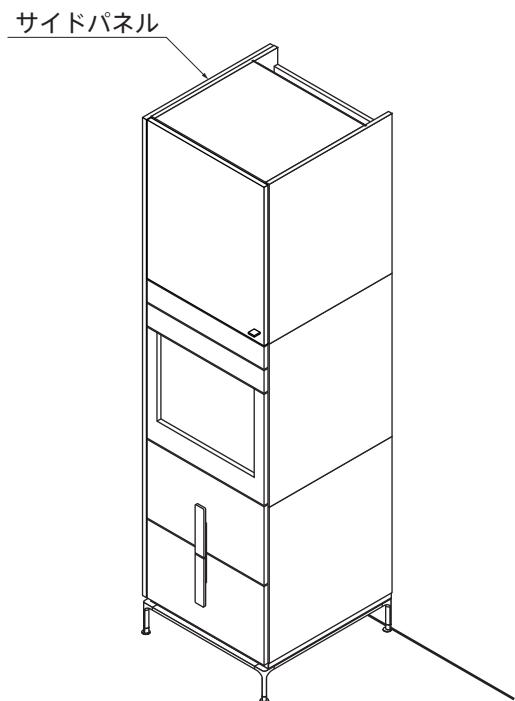
- 下段ユニット側板の防虫エッチをカットします。
 - 側板下部の防虫エッチを底板の防虫エッチの高さまでカットします。
- ※カットした部分にスリット化粧板を貼るため、段差を残さないようきれいに仕上げてください。



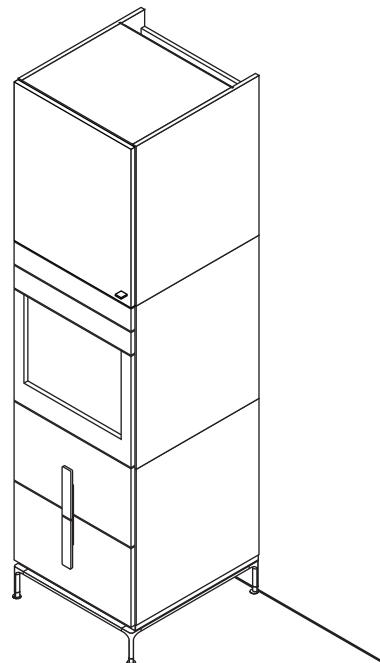
10 底板スペーサーの加工

- ・サイドパネルや化粧フィラーを取付けない場合、底板スペーサーを 5 mmカットします。
- ・ユニット単独置きで両側ともサイドパネルや化粧フィラーを取付けない場合は、10 mmカットします。
※カットした面にスリット化粧板を貼るため、きれいに仕上げてください。

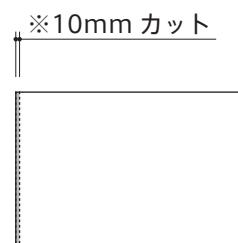
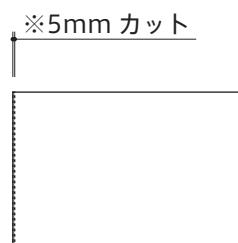
■片側のみサイドパネルや
化粧フィラーを取付けない場合



■両側ともサイドパネルや
化粧フィラーを取付けない場合



底板スペーサー加工寸法



11 底板スペーサーの取付け

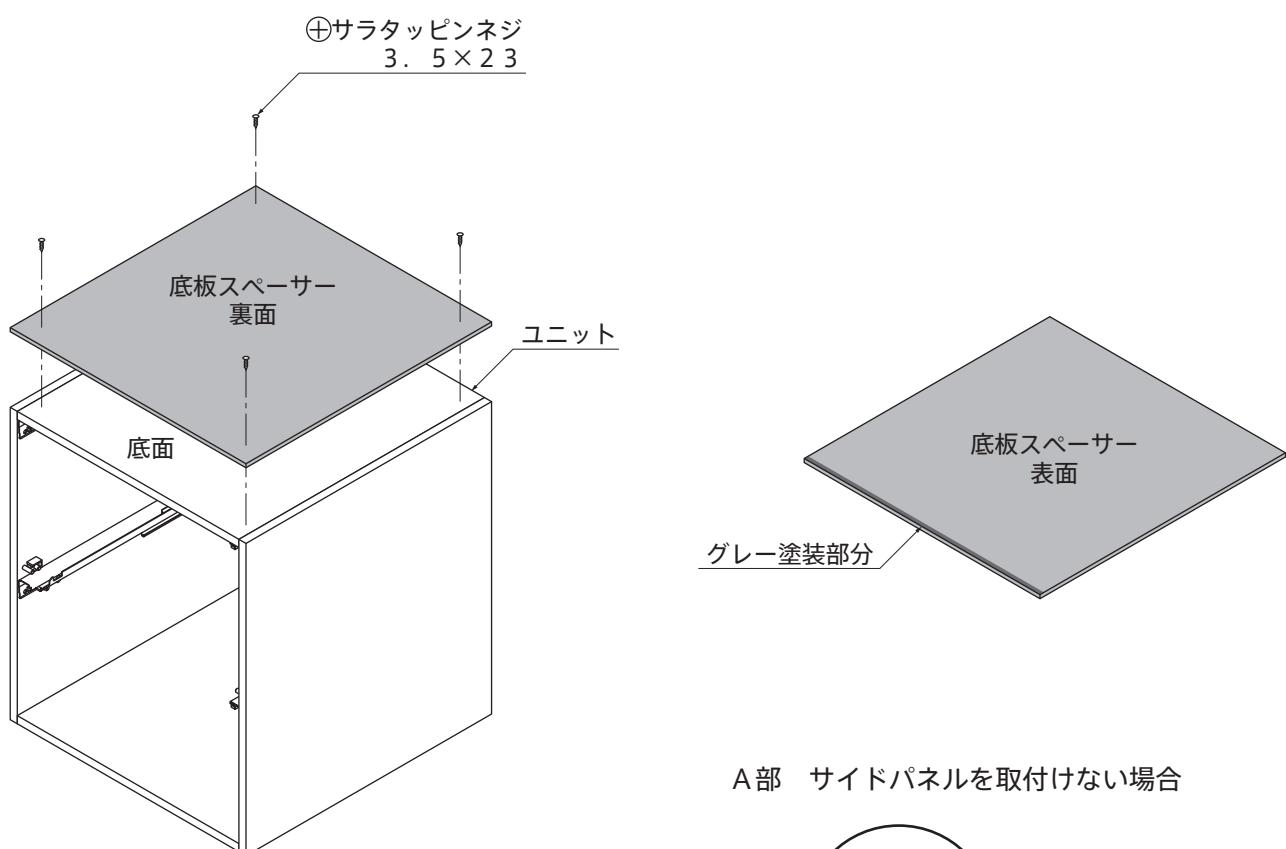
- ユニット底面に底板スペーサーを取付けます。

底板スペーサーの指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。

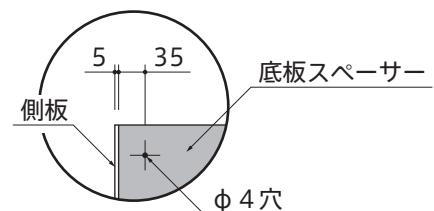
底板スペーサーのグレー塗装部分がユニット前面の底板面にくるようにして、ユニットに置きます。

底板スペーサーの背面はユニット後端に揃え、側面は側板側面に揃えて（サイドパネルを取付けない場合、側板側面から5mm内側にくるように）、 \oplus サラタッピンネジ3.5×23にて固定します。

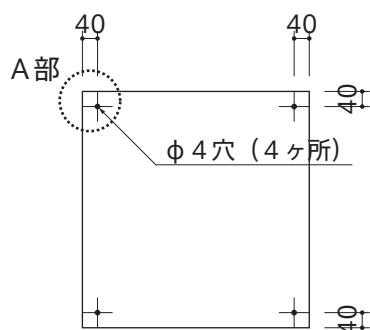
※「底板スペーサーの加工」にて底板スペーサーをカットし、ユニットを連結するレイアウトの場合は、カットした面が連結側にくるように置きます。



A部 サイドパネルを取付けない場合



底板スペーザー取付位置



12 補助脚の取付け（※ユニットを連結する場合）

■ Sタイプの場合

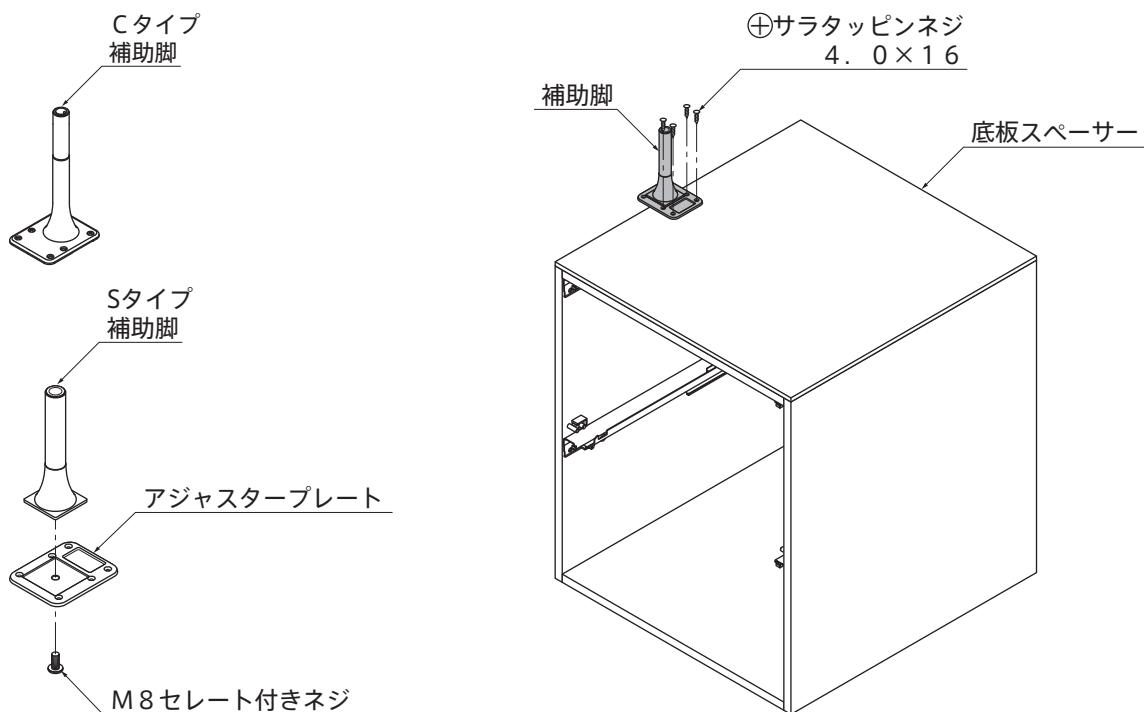
Sタイプの補助脚は、樹脂製クリアタイプになります。

- ・M8セレート付きネジを使用し、アジャスターべレートに補助脚を取付けます。
ユニットを裏に向けて、ユニット底板裏面の指定位置（「補助脚取付位置」を参照）に補助脚を取付けます。
アジャスターべレートの取付穴から、 \oplus サラタッピンネジ4. 0×16（4本）にて固定します。

■ Cタイプの場合

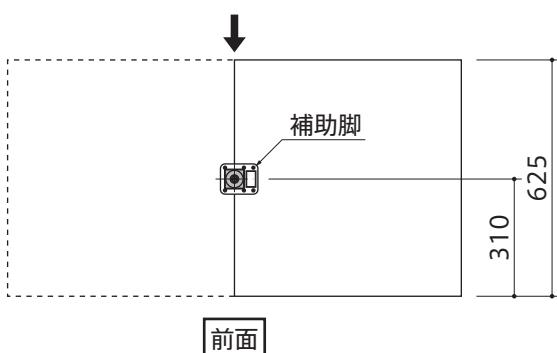
Cタイプの補助脚は、金属製クロームメッキタイプになります。

- ・ユニットを裏に向けて、ユニット底板裏面の指定位置（「補助脚取付位置」を参照）に補助脚を取付けます。
補助脚の取付穴から、 \oplus サラタッピンネジ4. 0×16（4本）にて固定します。



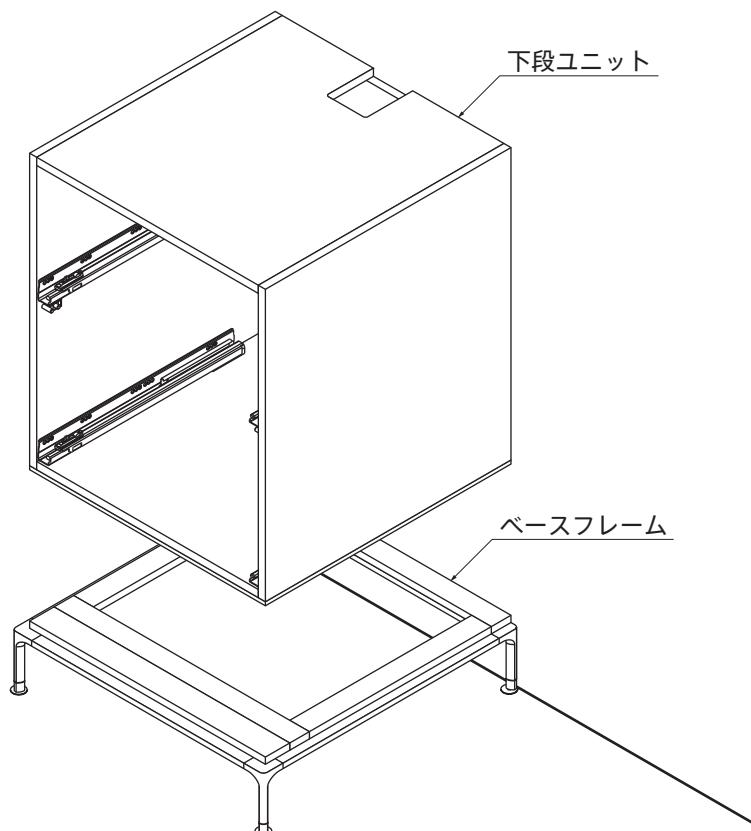
補助脚取付位置

ユニットの連結位置に取付けます



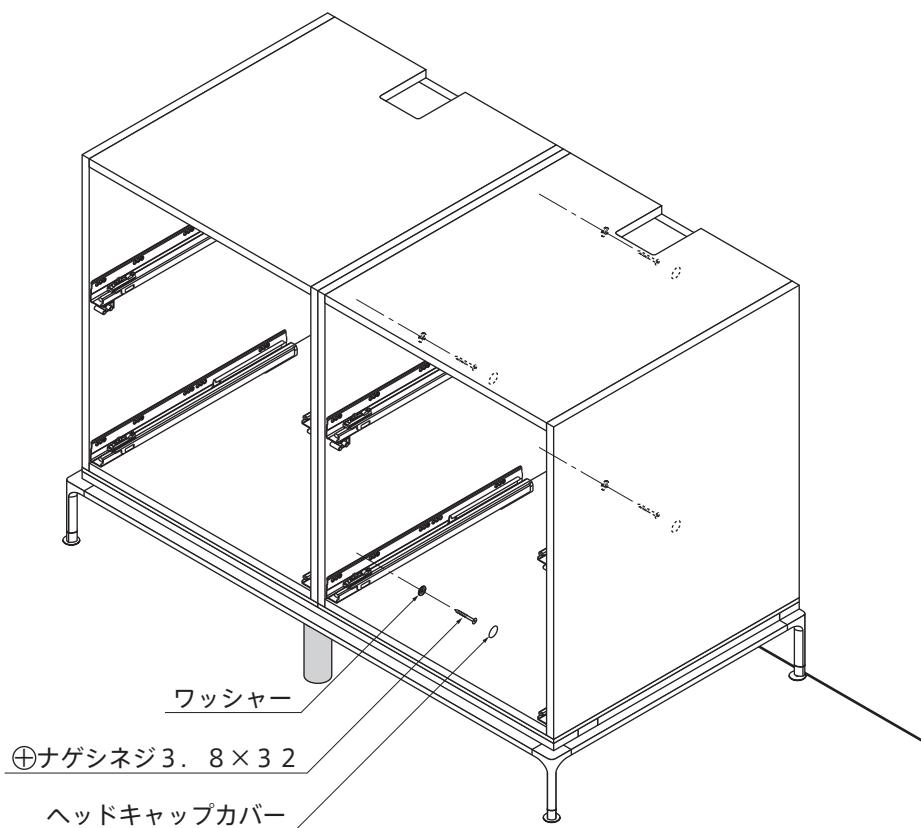
13 下段ユニットの設置

- ・ベースフレームの上に下段ユニットを設置します。

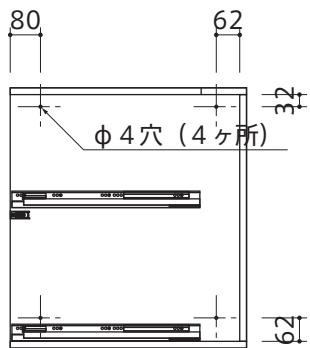


14 下段ユニットの連結（※ユニットを連結する場合）

- ユニットの側板外面を合わせて、ユニット同士を連結します。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。
- ④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



ユニット連結位置【側面図】



15 補助脚のレベル調整・固定

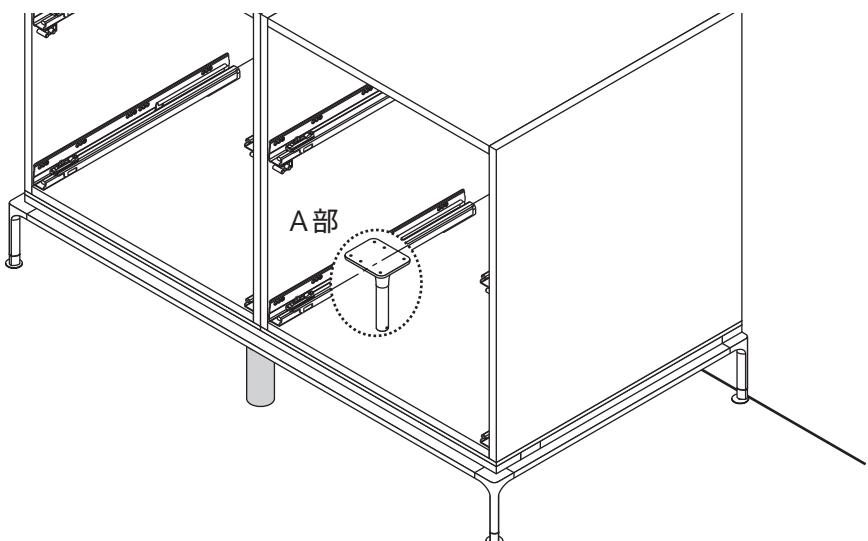
(※ユニットを連結する場合)

- ユニットを連結する場合、補助脚のアジャスター プレートの残りの穴から \oplus サラタッピンネジ 4.0 × 16 (2本) にて固定します。
- 補助脚のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。

■調整範囲 -0 ~ +10 mm

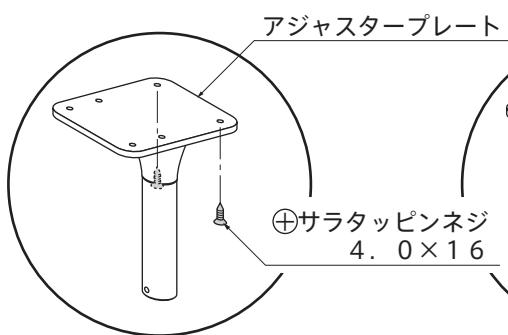
- 補助脚の固定穴 (2ヶ所) から六角穴止めネジ (棒先) にて固定します。
※Sタイプの場合は固定穴2ヶ所、Cタイプの場合は固定穴1ヶ所で固定します。

※イラストはSタイプを示す

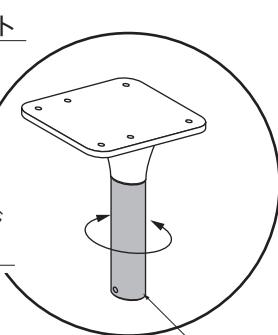


■ Sタイプの場合

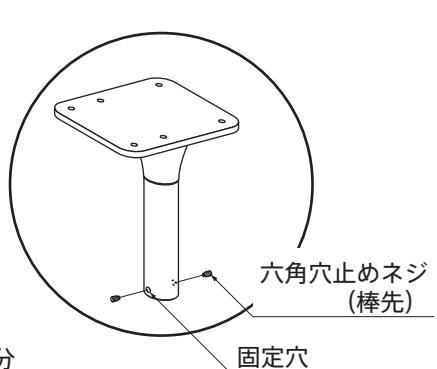
A部 ネジ固定
(※ユニットを連結する場合)



A部 レベル調整

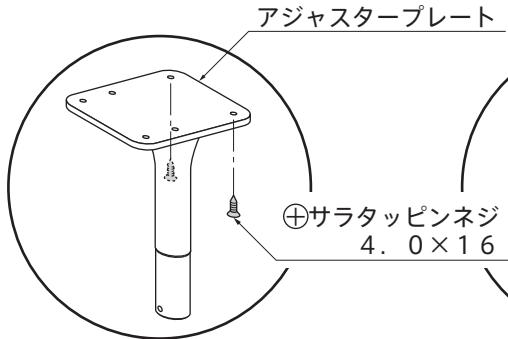


A部 固定

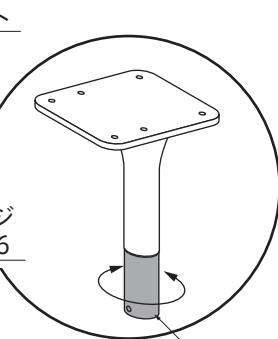


■ Cタイプの場合

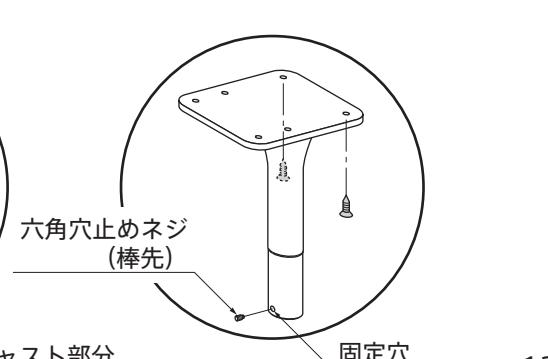
A部 ネジ固定
(※ユニットを連結する場合)



A部 レベル調整



A部 固定

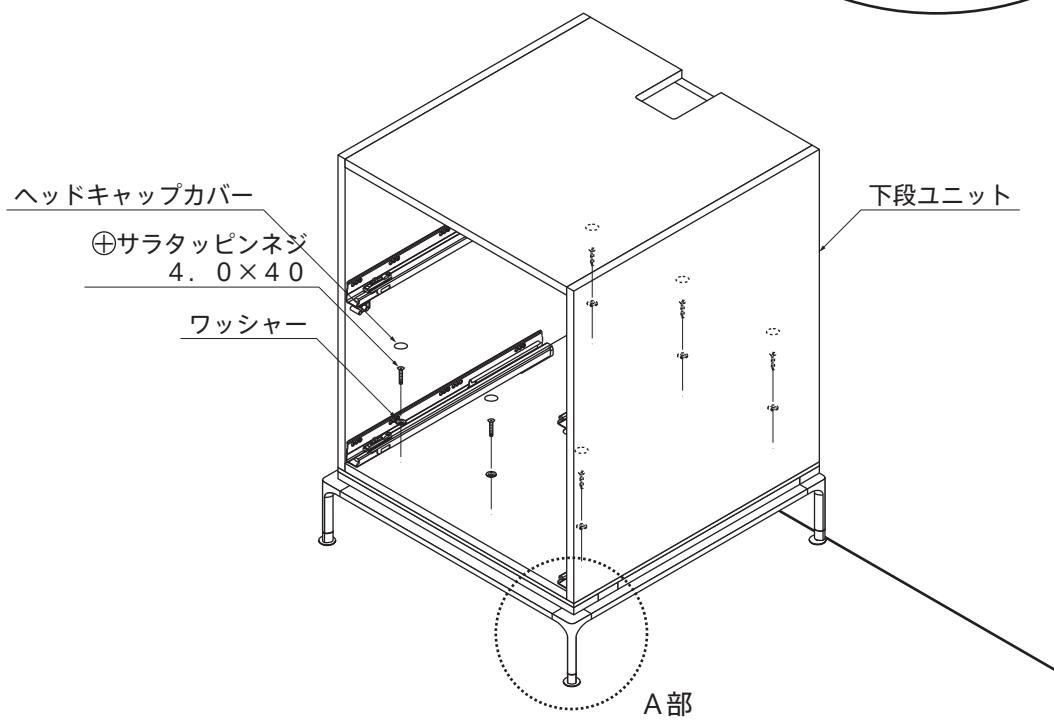
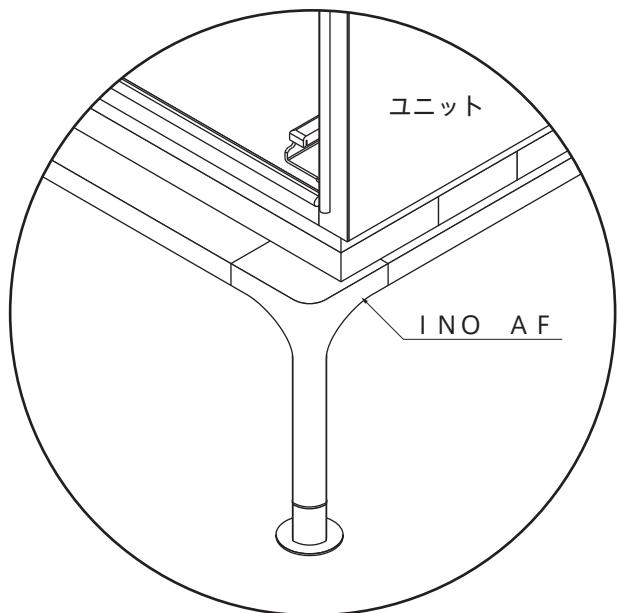
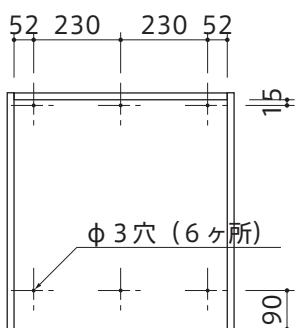


16 下段ユニットの固定

- ベースフレームの角パイプ前面コーナーと底板スペーサー前面コーナーを合わせて、ユニットを固定します。
ユニット底板の指定位置にΦ3穴（6ヶ所）をあけます。
- ④サラタッピンネジ4.0×40にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

A部詳細図
底板スペーサーをカットした場合

ユニット固定位置【平面図】



17 中段ユニット、上段ユニットの取付け

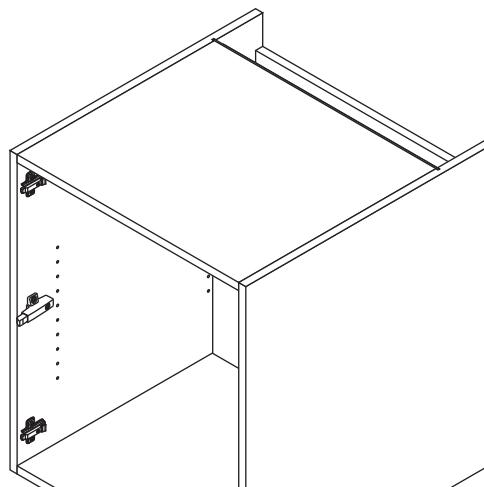
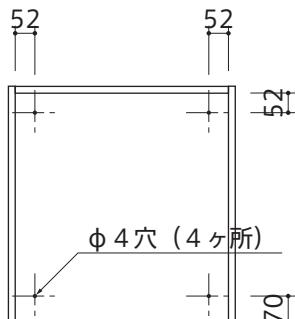
・上下のユニットの側板外面を合わせて、固定します。

下段ユニットと中段ユニット天板の指定位置にΦ4穴（各4ヶ所）をあけます。

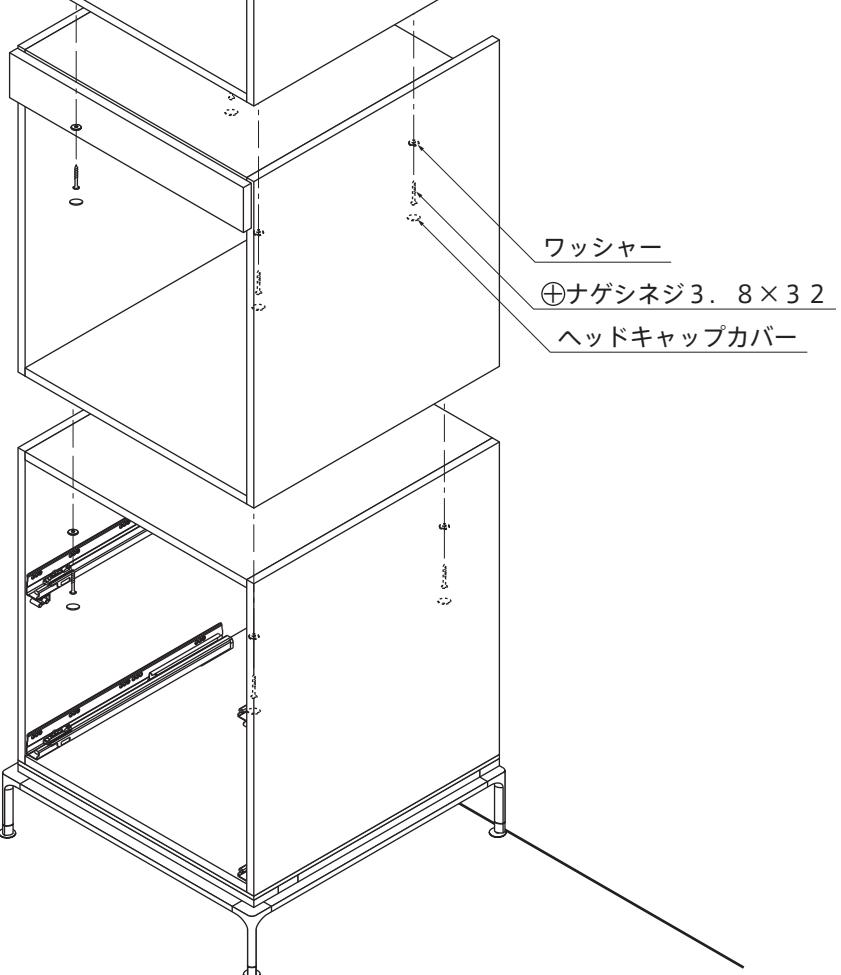
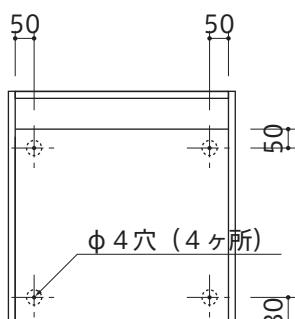
④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

ユニット固定位置【平面図】

■下段ユニット+中段ユニット



■中段ユニット+上段ユニット



18 スリット化粧板の取付け

■サイドパネルや化粧フィラーを取付ける場合

※スリット化粧板を取付ける前に、高さスペーサーの表面をきれいに拭き取ってください。

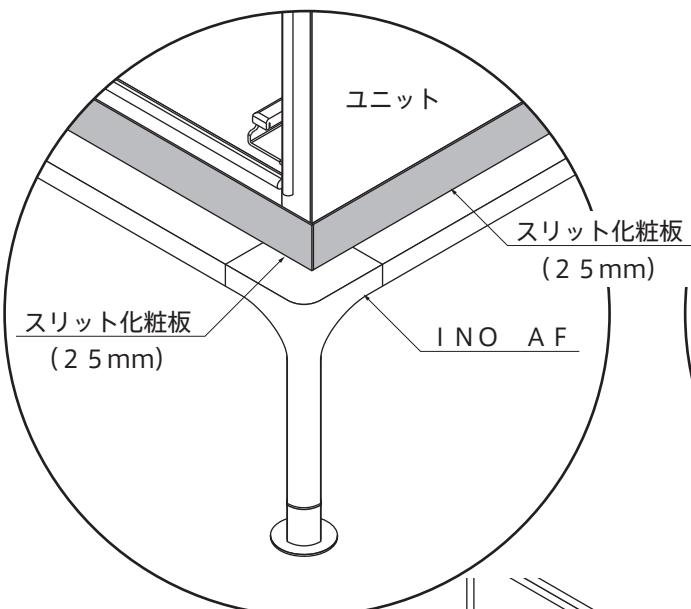
- ・スリット化粧板（25mm）をユニット奥行に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、高さスペーサーの側面下端に合わせて貼り付けます。
- ・スリット化粧板（25mm）をスリットスペーザー全体間口と両側のスリット化粧板の厚みを合わせたサイズにカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、スリットスペーザーの前面下端に合わせて貼り付けます。

※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

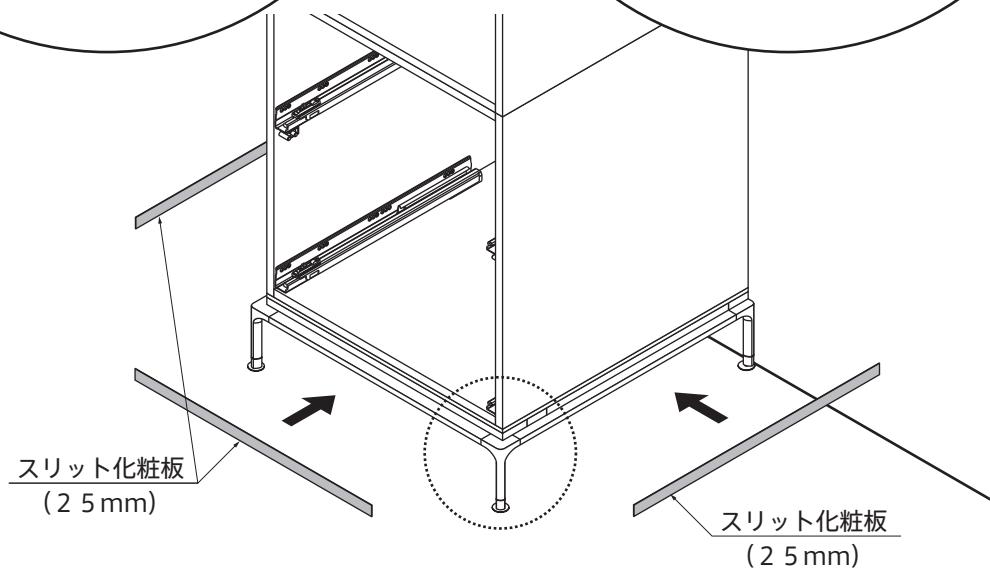
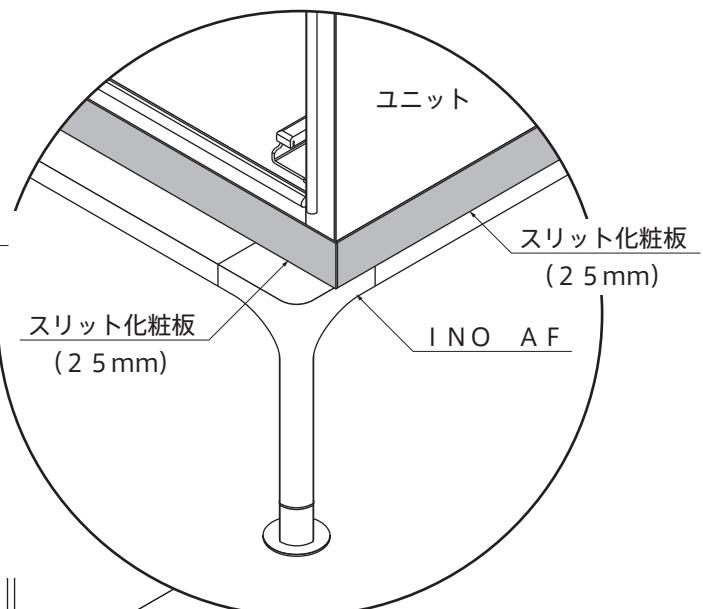
※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

貼り付け後は、両面テープがしっかりと貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

サイドパネルを取付ける場合



化粧フィラーを取付ける場合



■サイドパネルや化粧フィラーを取付けない場合

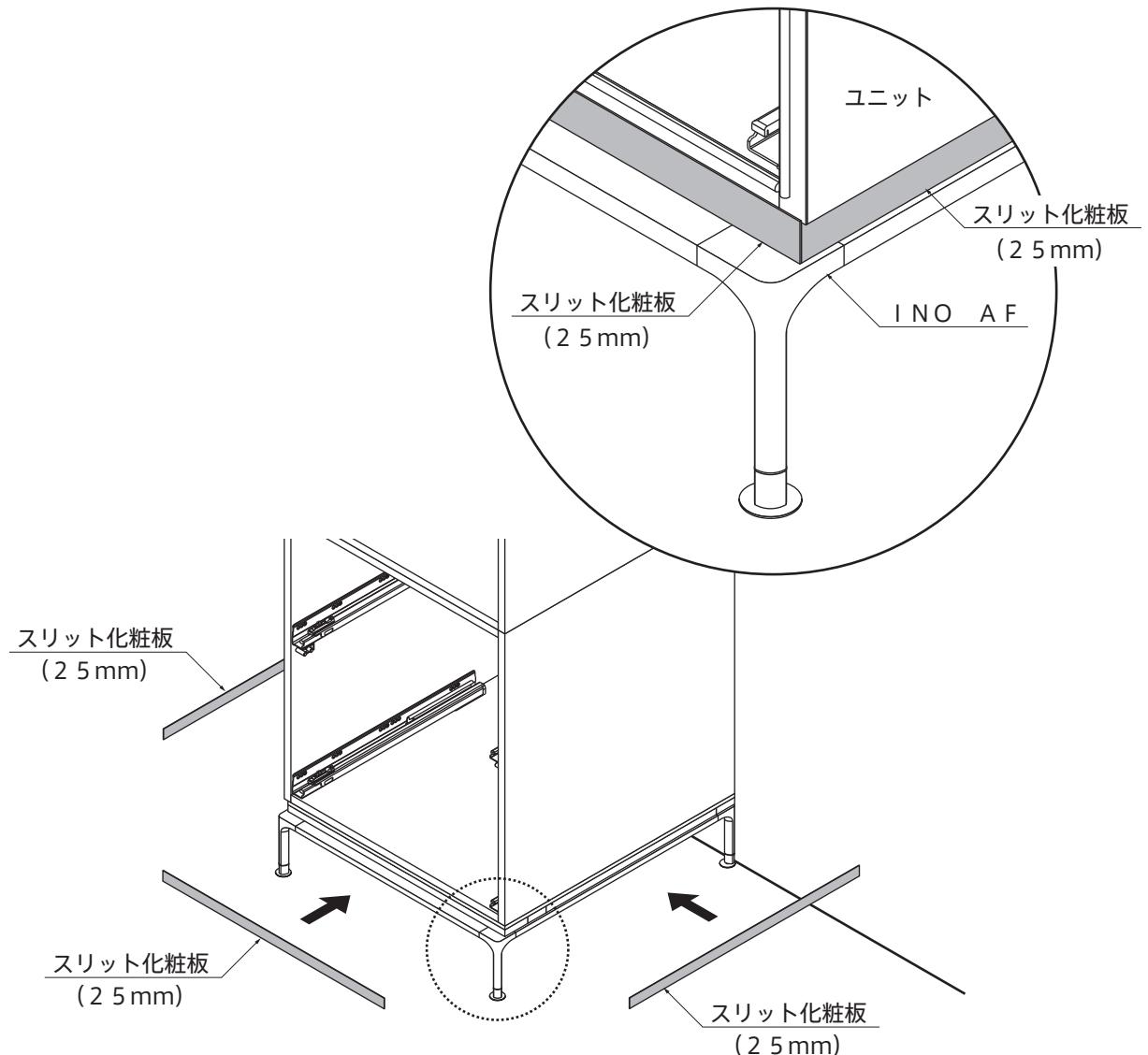
※スリット化粧板を取付ける前に、高さスペーサーの表面をきれいに拭き取ってください。

- ・スリット化粧板（25mm）をユニット奥行に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、高さスペーサーの側面下端に合わせて貼り付けます。
- ・スリット化粧板（25mm）をスリットスペーサー全体間口と両側のスリット化粧板の厚みを合わせたサイズにカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、スリットスペーサーの前面下端に合わせて貼り付けます。

※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

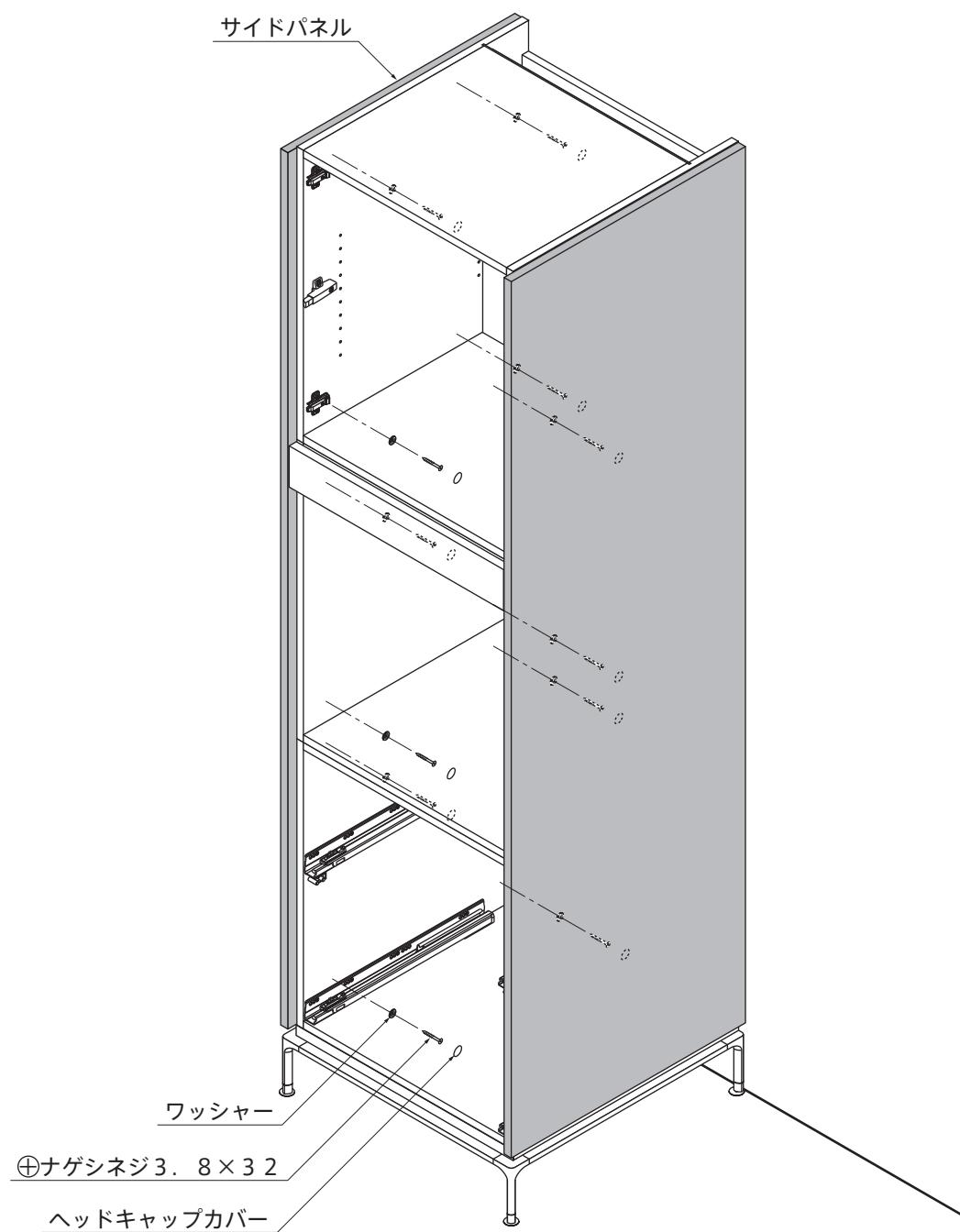
※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

貼り付け後は、両面テープがしっかりと貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。



19 サイドパネルの取付け

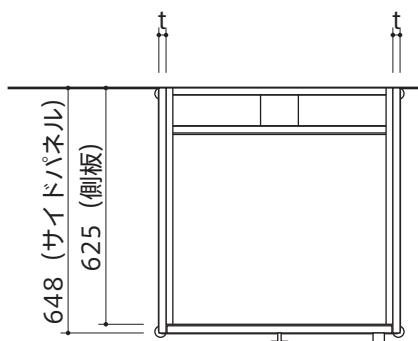
- ユニット側板の指定位置にサイドパネルを取付けます。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（12ヶ所）をあけます。
- ④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、サイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



サイドパネル取付位置

※()内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

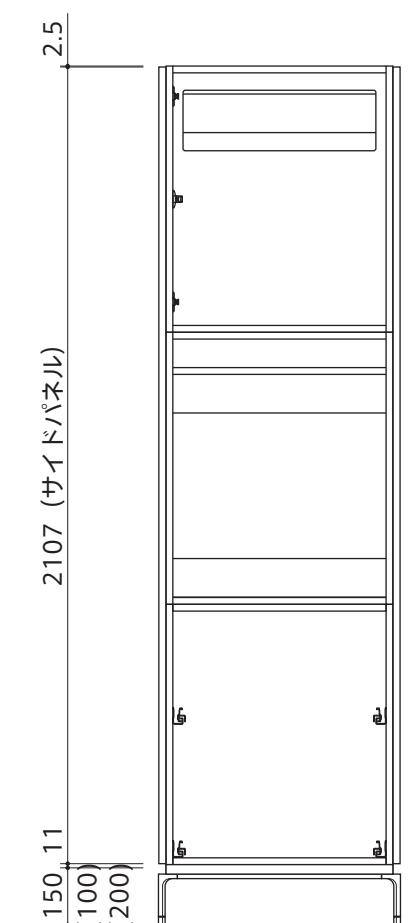
【平面図】



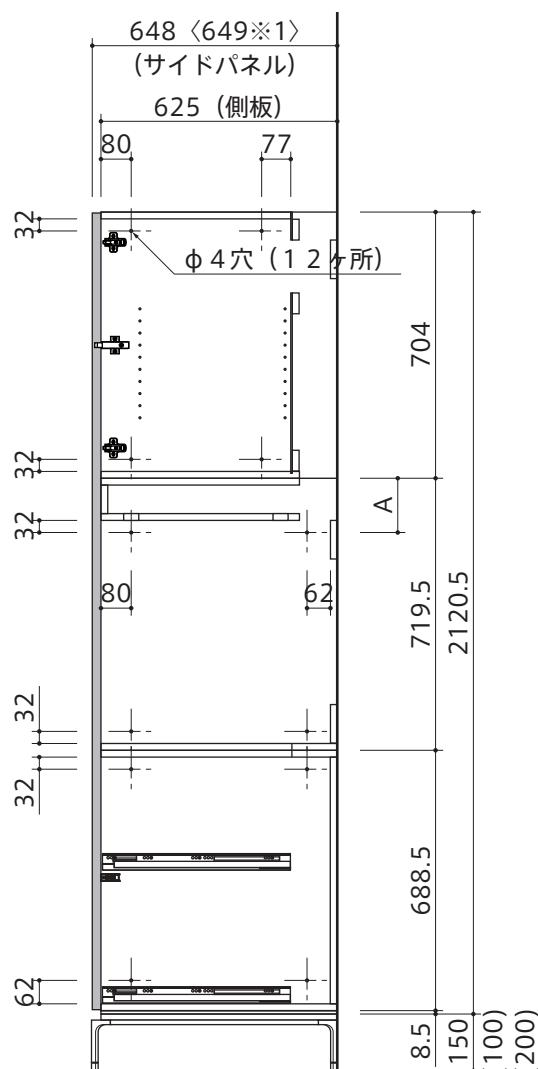
※1 リニアメタルの場合を示す。

品番	A
MNMM - 60BF2AOR1ATNL(R)	143.5
MNMM - 60BF2BOR1ATNL(R)	
MNMM - 60BF2AOR1CTNL(R)	283.5

【正面図】

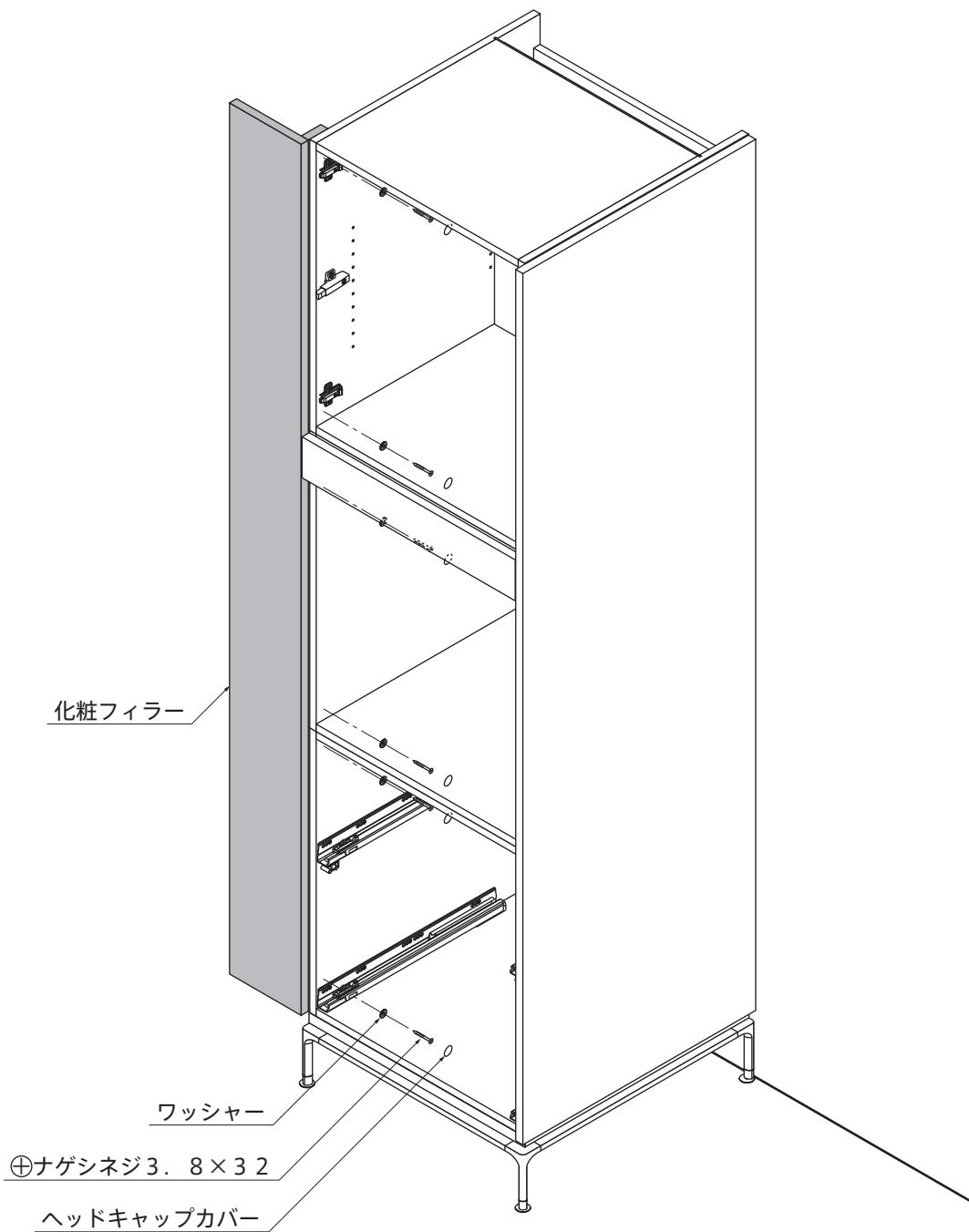


【側面図】



20 化粧フィラーの取付け

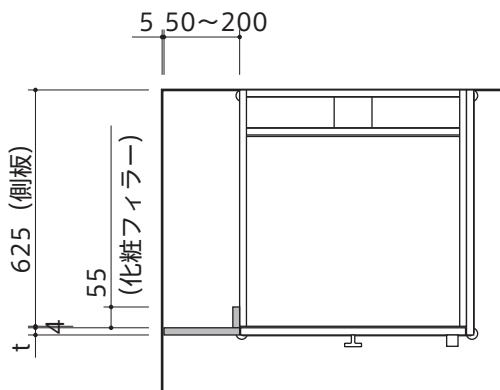
- ユニット側板の指定位置に化粧フィラーを取付けます。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（6ヶ所）をあけます。
④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、化粧フィラーを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



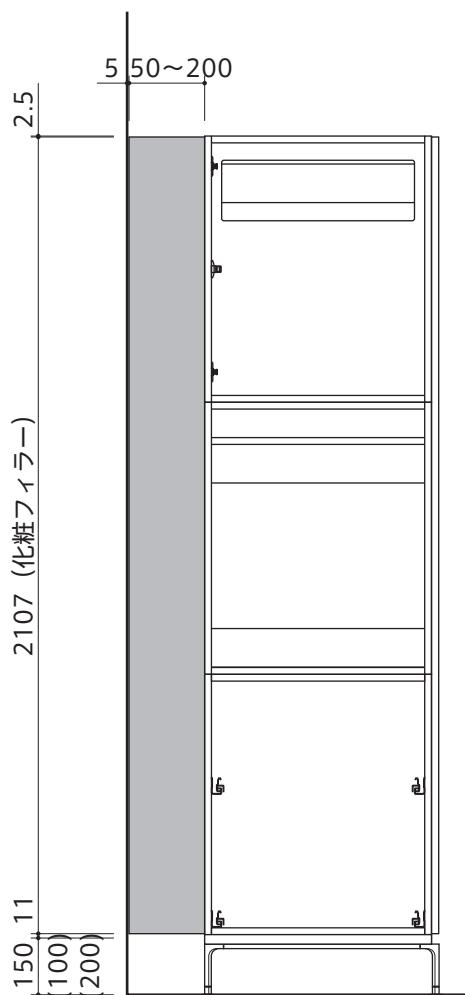
化粧フィラー取付位置

※ () 内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

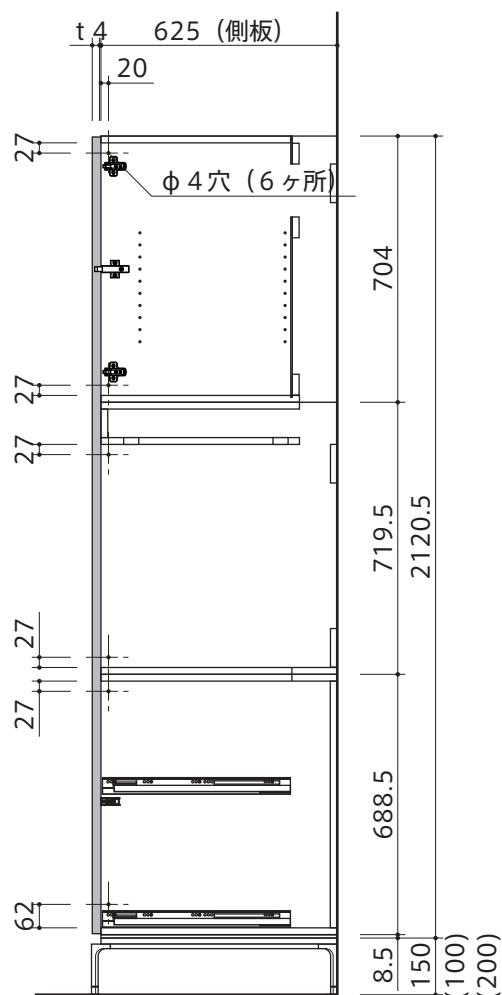
【平面図】



【正面図】



【側面図】



21 壁面への固定



トルル収納の取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。

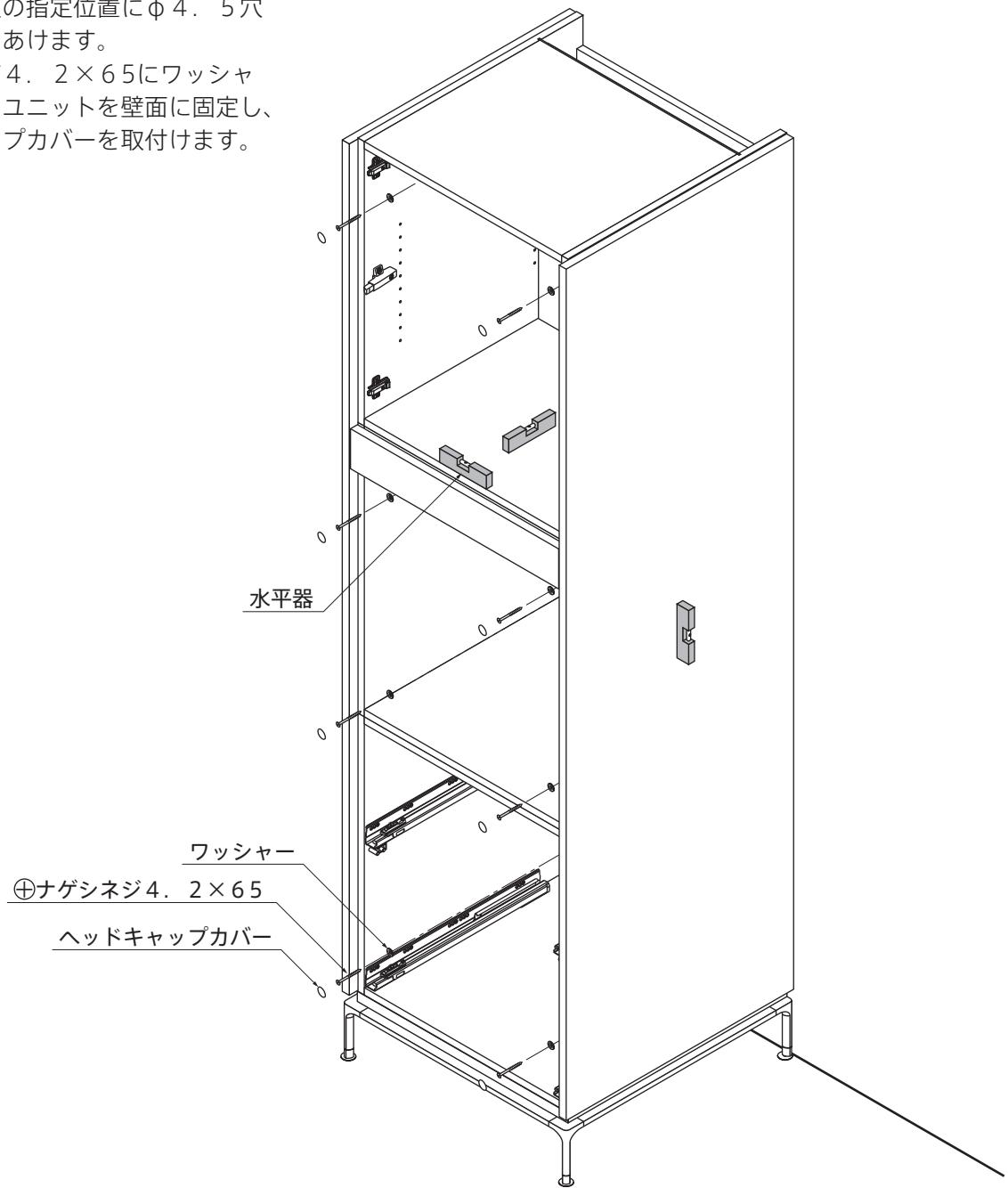


落下して、ケガをする恐れがあります。

- ユニットを壁面に固定します。

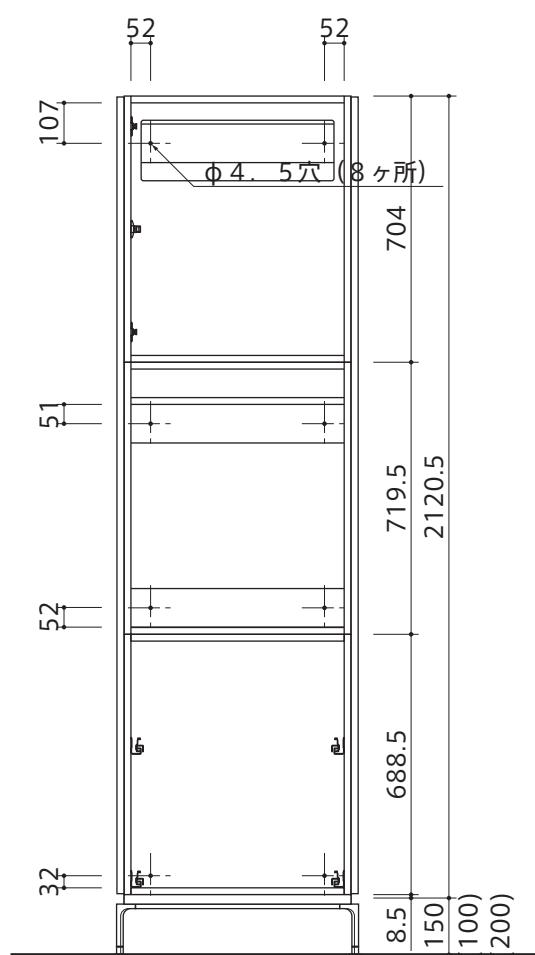
ユニット背板の指定位置にΦ4.5穴
(8ヶ所) をあけます。

⊕ナゲシネジ4.2×65にワッシャーを通して、ユニットを壁面に固定し、
ヘッドキャップカバーを取付けます。



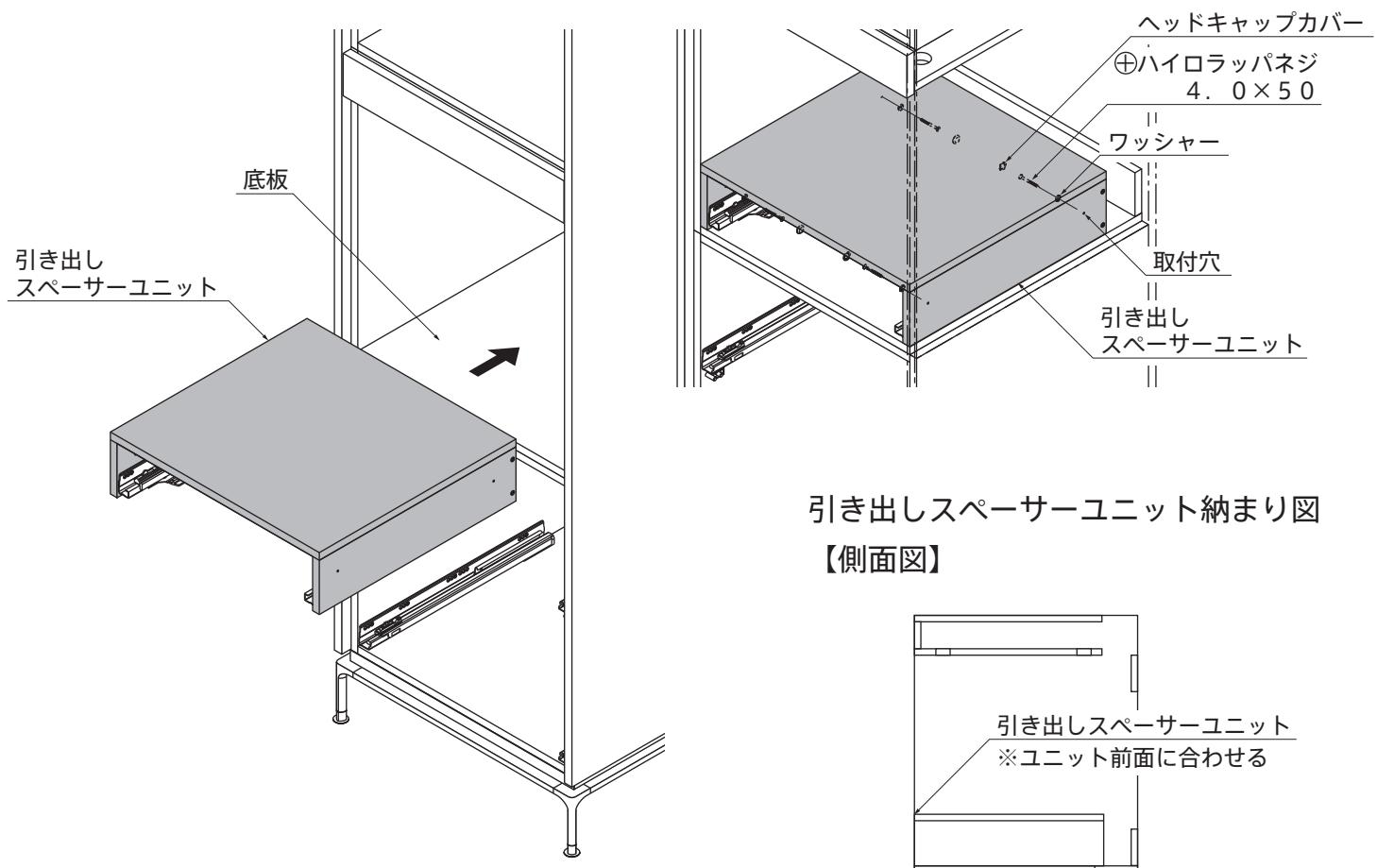
壁面固定位置【正面図】

※()内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。



22 引き出しスペーサユニット (※オープンの下に取付ける場合)

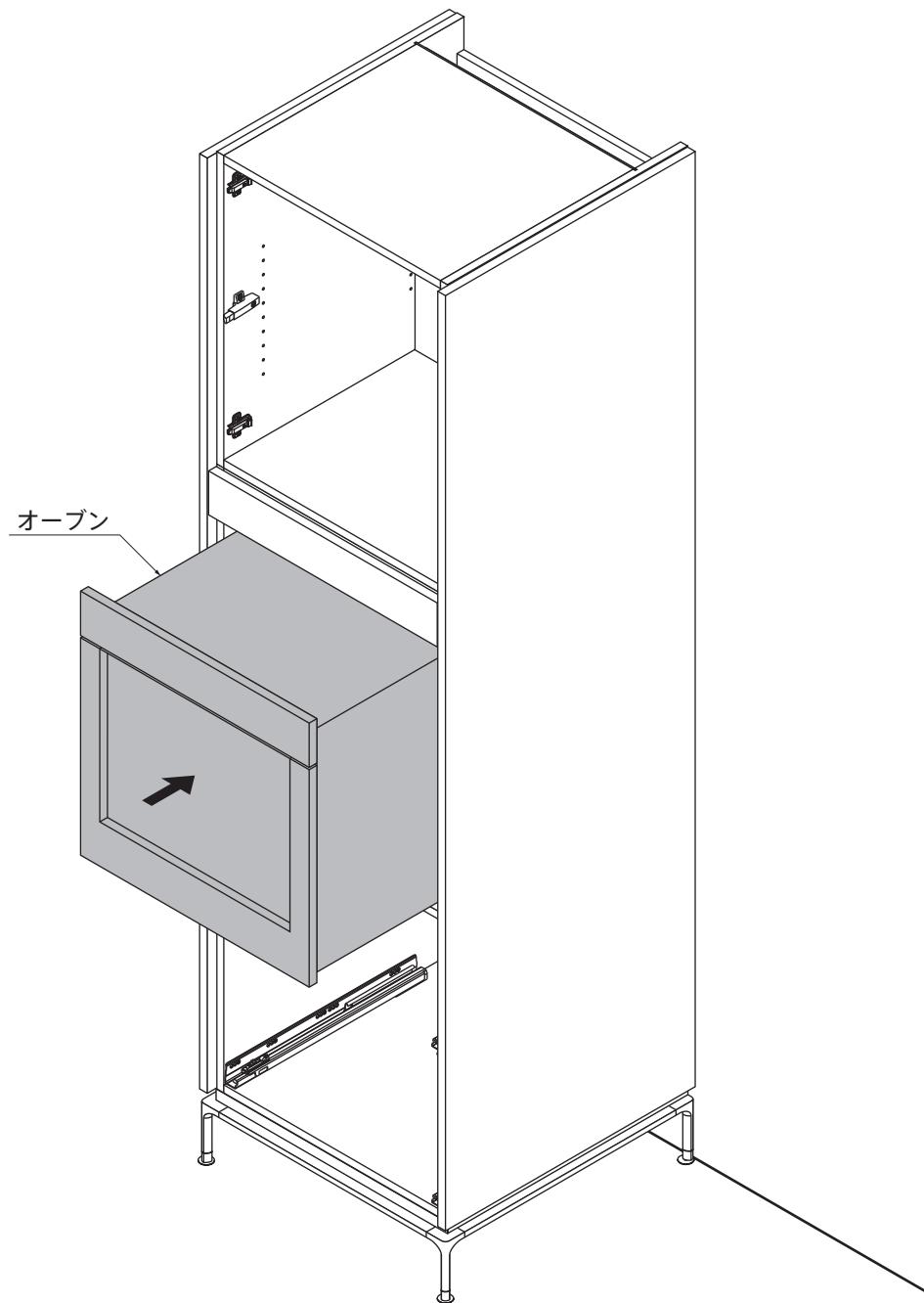
- ・中段ユニット下部に引き出しスペーサユニットを取付けます。
引き出しスペーサユニットを底板の上にのせます。
引き出しスペーサユニット側板の取付穴から \oplus ハイロラッパネジ 4.0×50 にワッシャーを通して、ユニット側板に固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



- ・付属の「取付・設置説明書」に従って、ウォーマーを取り付けます。

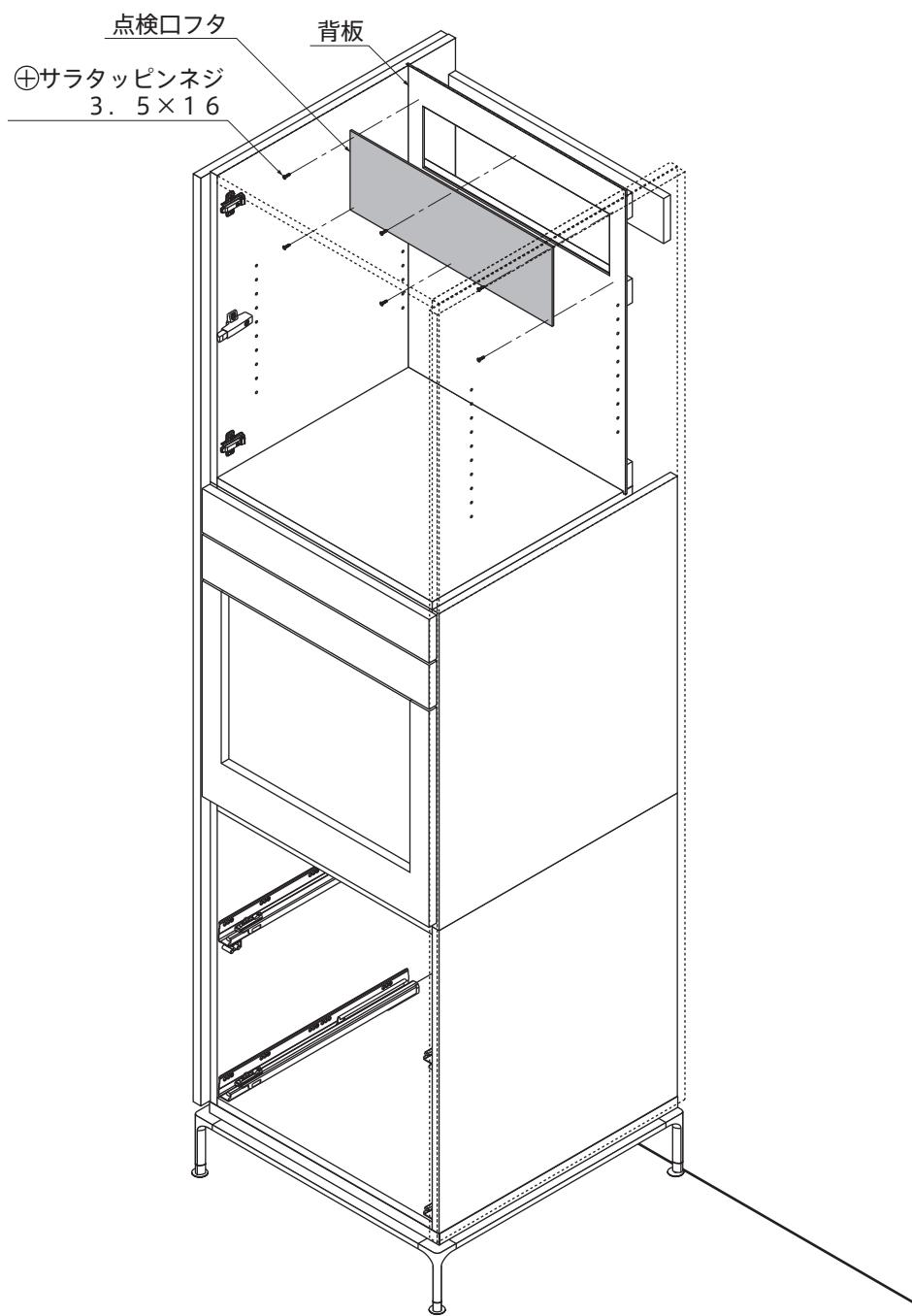
24 オーブンの取付け

- 付属の「取付・設置説明書」に従って、オーブンを取付けます。



25 点検口フタの取付け（※開き扉ユニットの場合）

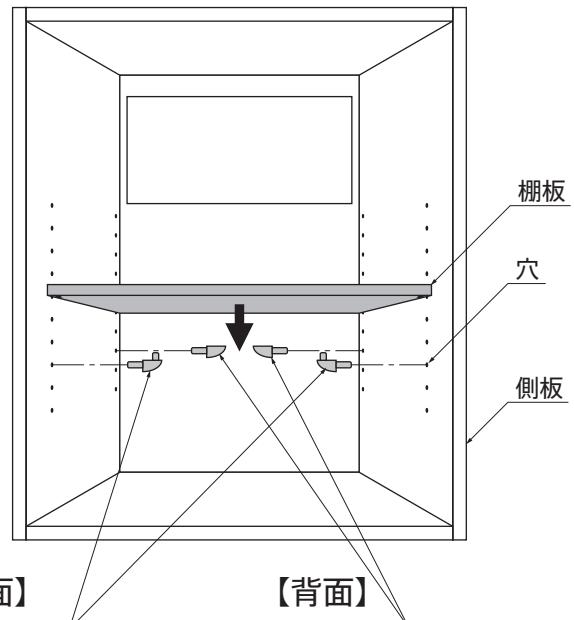
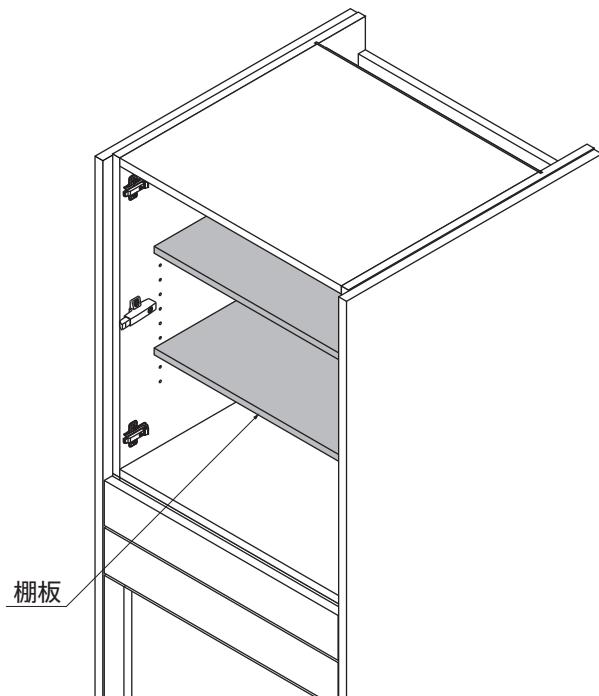
- ユニット背板に先ほど取り外した点検口フタを取付けます。
④サラタッピンネジ 3.5×16（6本）を使用し、背板に点検口フタを取付けます。



26

棚板の取付け（※開き扉ユニットの場合）

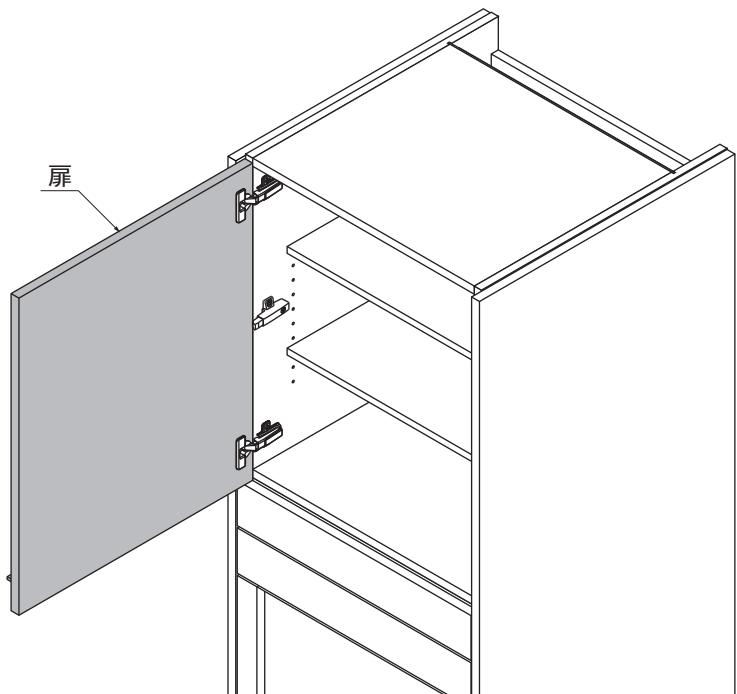
- 側板の任意の穴位置に棚受け（ダボ）を差し込みます。
前面にはツメ付き、背面にはツメ無しを差し込みます。
- 棚板を棚受け（ダボ）にのせます。



27

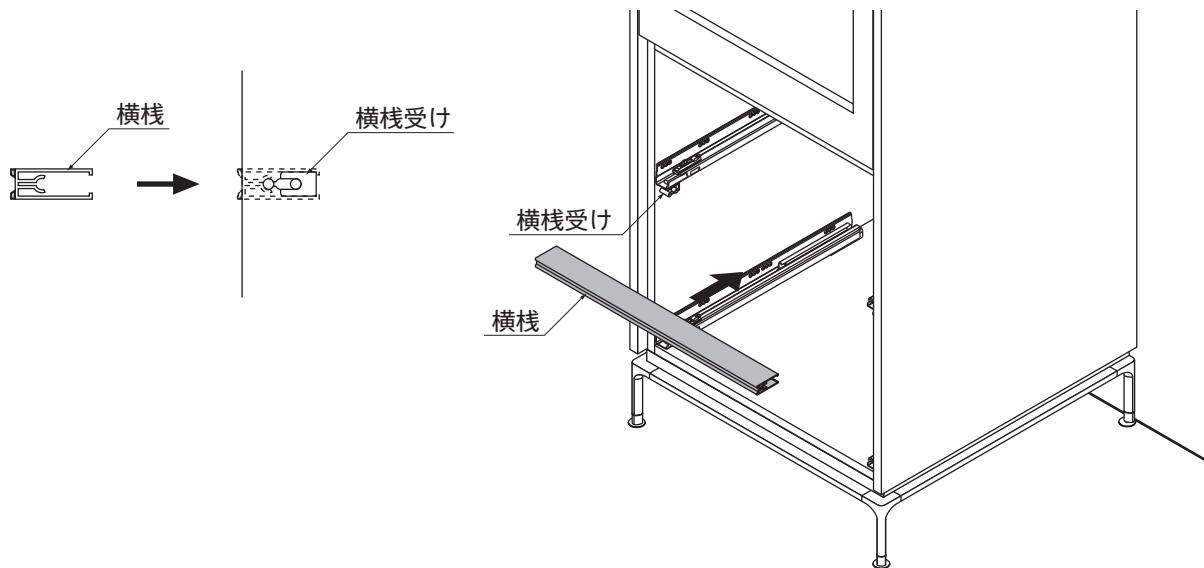
扉の取付け（※開き扉ユニットの場合）

- ユニットに扉を取り付けます。
(「共通」の「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照)



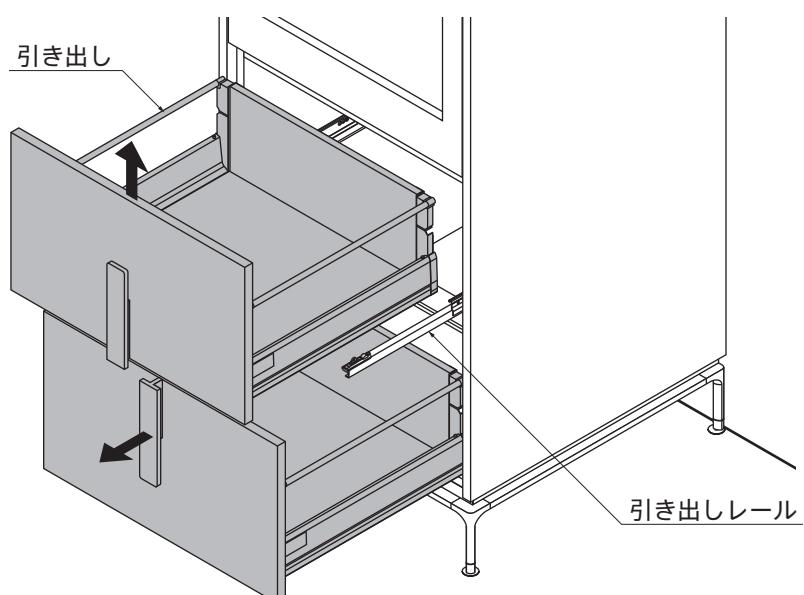
28 横桿の取付け（※引き出しユニットの場合）

- ユニット側板に取付いている横桿受けに横桿を差し込んで取付けます。



29 引き出しの取付け（※引き出しユニットの場合）

- 引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
- 引き出しレールの上に引き出しをのせます。
- 引き出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。



2段オープンタイプ

MNMN - 60BF1AOR2ATNL(R)

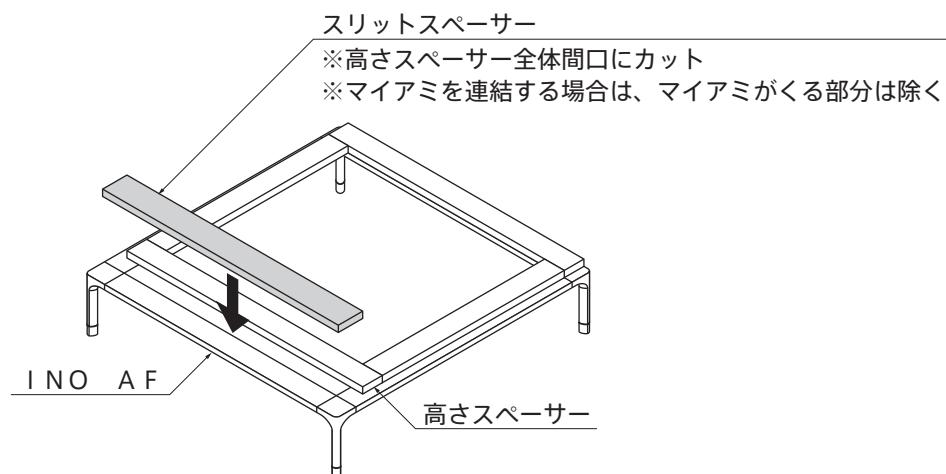
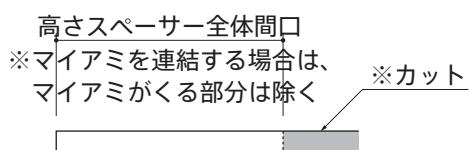
【INO AF Sタイプ
／Cタイプの場合】

取付・設置方法

① スリットスペーサーの加工、取付け

- ・スリットスペーサーを高さスペーサー全体間口に合わせてカットします。
※マイアミを連結する場合は、マイアミがくる部分は除く。
- ※カットした面にスリット化粧板を貼るため、きれいに仕上げてください。
- ・スリットスペーサーの両面テープのはく離紙を剥がし、INO AFの高さスペーサー前端に合わせて貼り付けます。

スリットスペーサー加工寸法

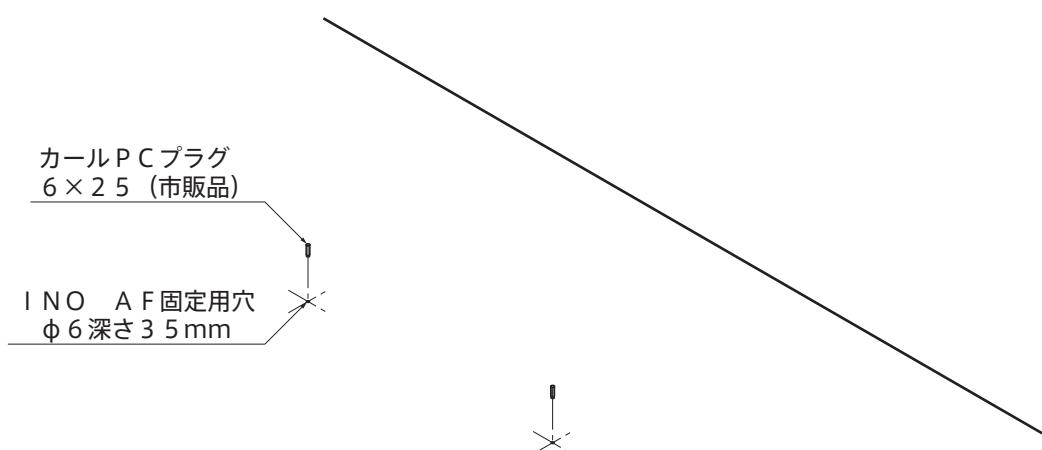


2 固定用穴あけ (※床固定にカールPCプラグを使用する場合)

※コンクリート床、石床の場合、INO AFを設置する前にカールPCプラグを取付けます。

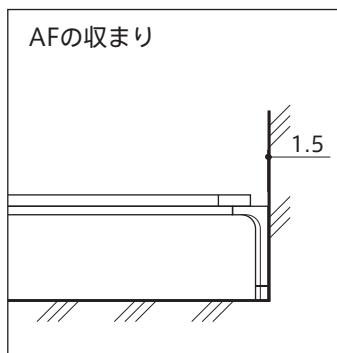
壁に接する側のINO AF取付位置にはカールPCプラグの取付けは不要です。

- ・INO AFの設置位置に固定用穴Φ6深さ35mmをあけます。
- ・固定用穴にカールPCプラグ6×25(市販品)を打ち込みます。

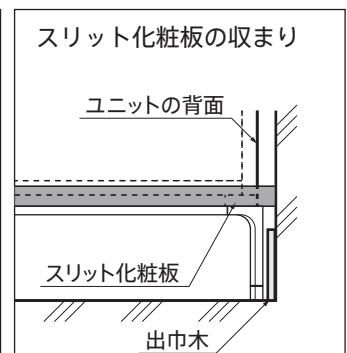
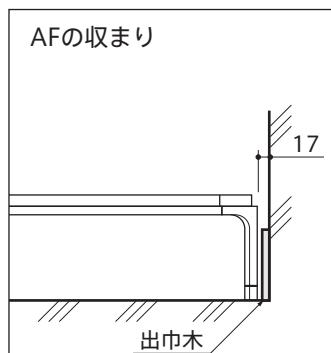
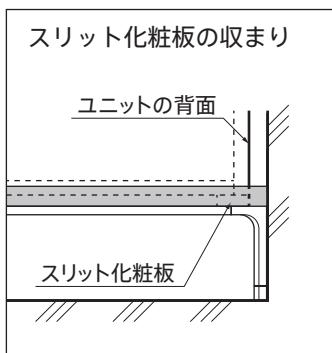


【側面図】 ※イラストはSタイプを示す。収まりはCタイプも同様です。

■背面の壁に出巾木がない場合

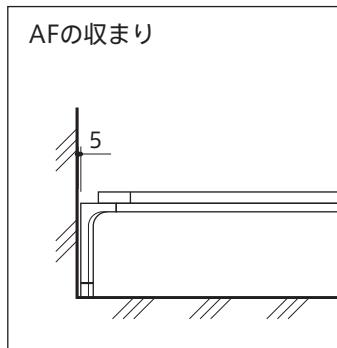


■背面の壁に出巾木がある場合

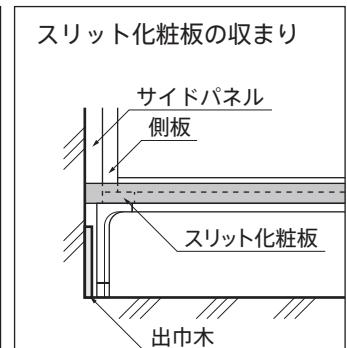
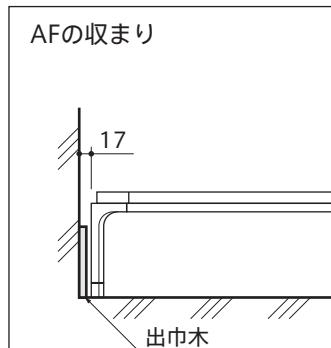
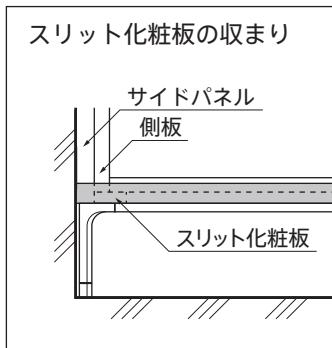


【正面図】 (※INO AF側面が壁に隣接する場合)

■側面の壁に出巾木がない場合



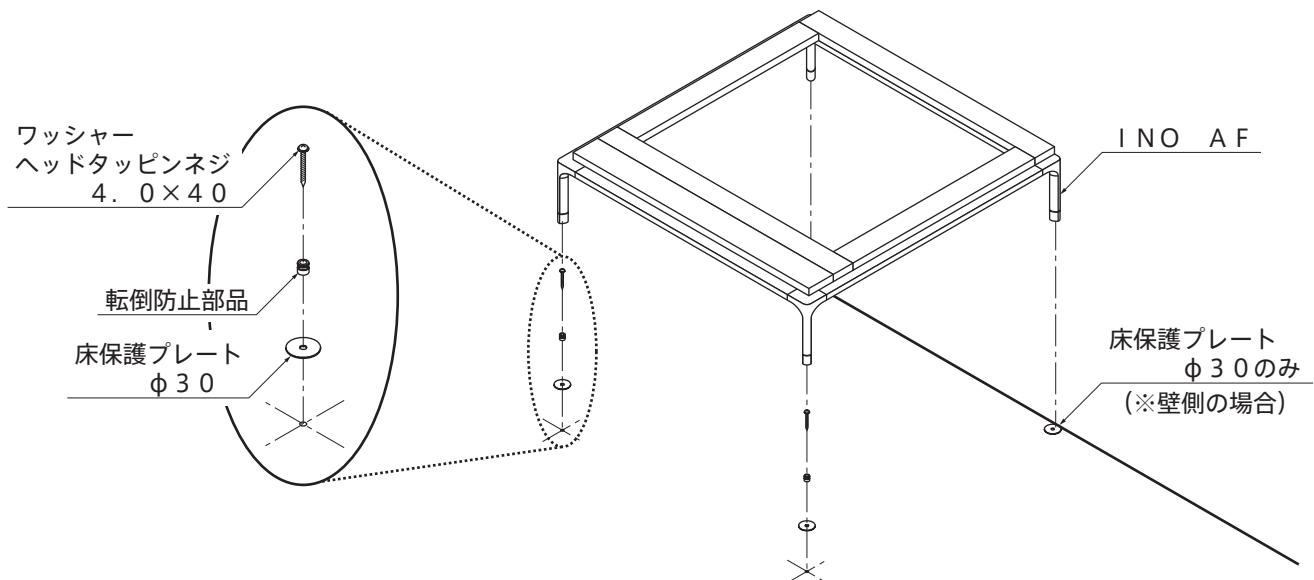
■側面の壁に出巾木がある場合



3 転倒防止部品の取付け、INO AFの設置

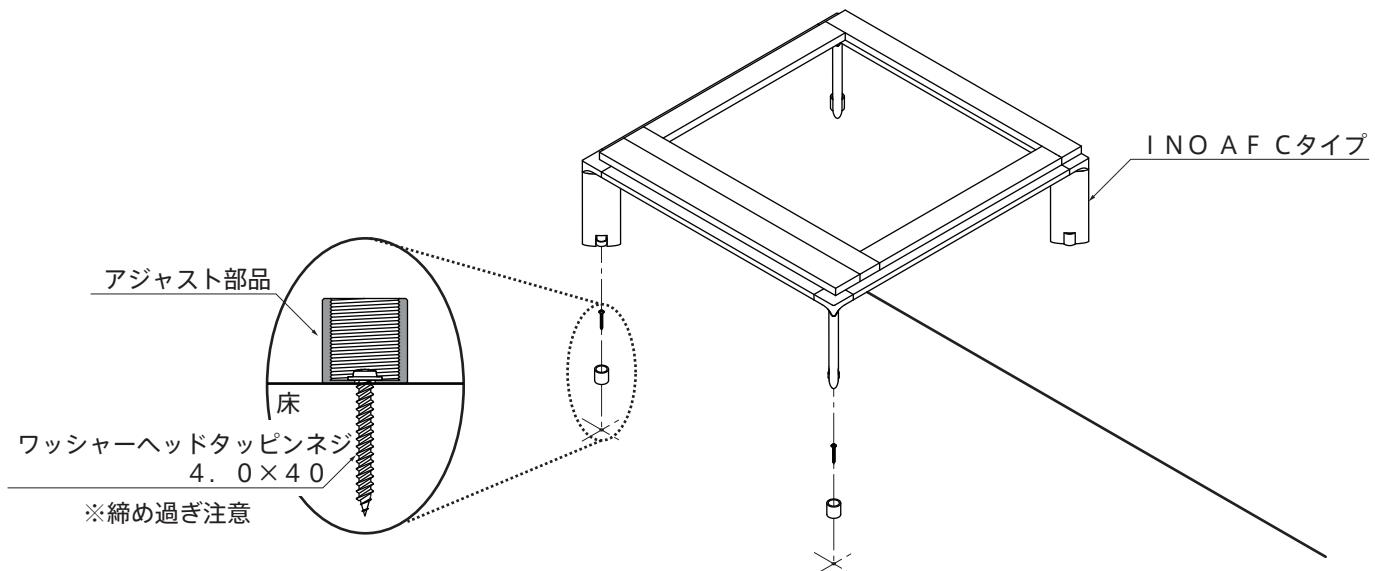
■ INO AF Sタイプの設置

- INO AFの設置位置に、床保護プレートΦ30を置き、その上から付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にて転倒防止部品を床面に固定します。
※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取付けます。
- 壁に接する側は転倒防止部品を取付けず、床保護プレートΦ30のみ置きます。
- INO AFを転倒防止部品に差し込みながら床面に設置します。



■ INO AF Cタイプの設置

- INO AF Cタイプの設置位置に、付属のワッシャーヘッドタッピンネジ4.0×40にてアジャスト部品を床面に固定します。
※ネジを完全に締めずに、アジャスト部品が回る程度に締めてください。
※コンクリート床、石床の場合、床面にあけた固定用穴の位置に合わせて取付けます。
- INO AF Cタイプをアジャスト部品に差し込みながら床面に設置します。



4

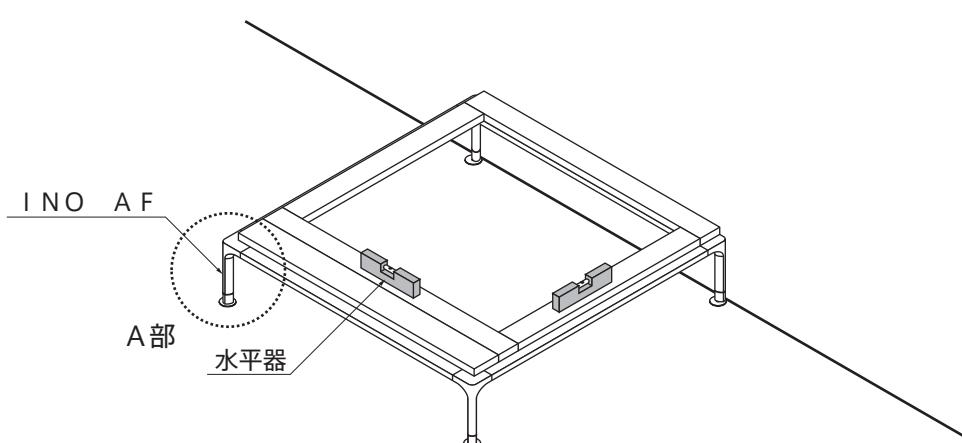
レベル調整、INO AFの固定

- INO AFのアジャスト部分を回して、レベルを調整します。

※調整範囲 -0~+10mm

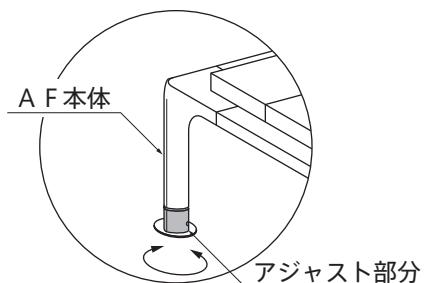
※AF本体とアジャスト部分の形状が揃うように調整します。

- 前側のINO AFのアジャスト部分の固定穴から六角穴止めネジ（棒先）にて固定します。

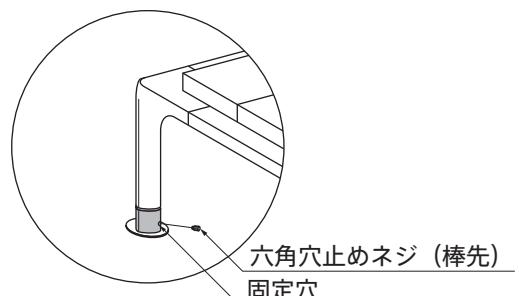


■ Sタイプの場合

A部 レベル調整



A部 固定



■ Cタイプの場合

- INO AF Cタイプをアジャスト部品の上に設置し、本体が大きく傾かない様に調整しながら一番下まで締めます。（図1）
- 一番下まで締めた状態を基準とし、低い場所のレベルを調整する。（図2）

図1

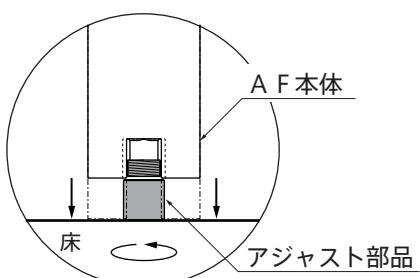
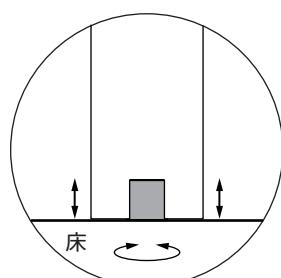
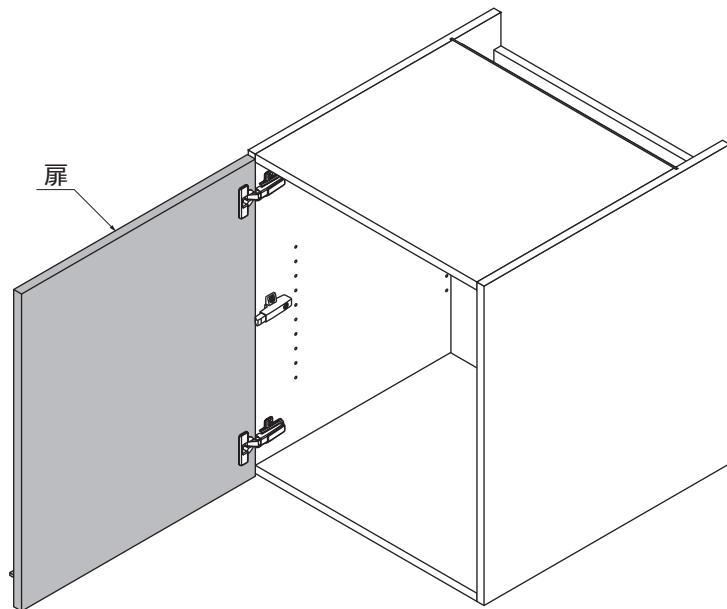


図2



5 閉扉の取り外し（※開き扉ユニットの場合）

- 扉を取り外します。（「共通」の「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）

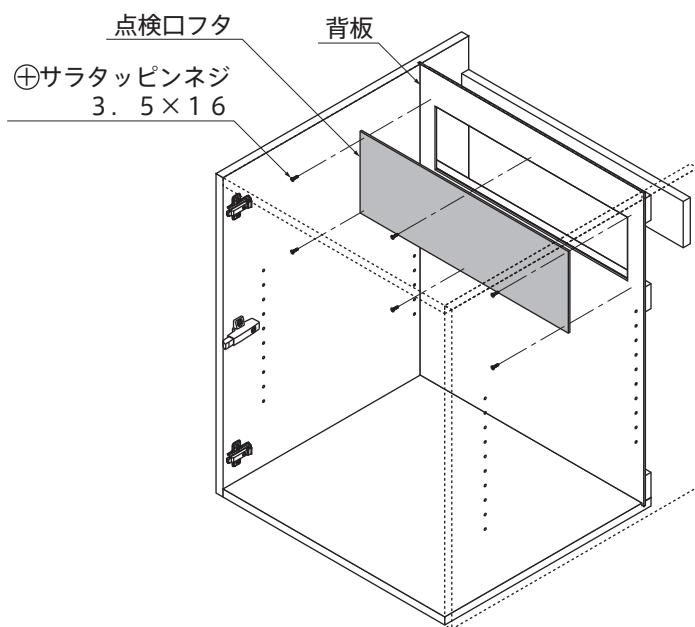


6 点検口フタの取り外し（※開き扉ユニットの場合）

- ユニット背面から点検口フタを取り外します。

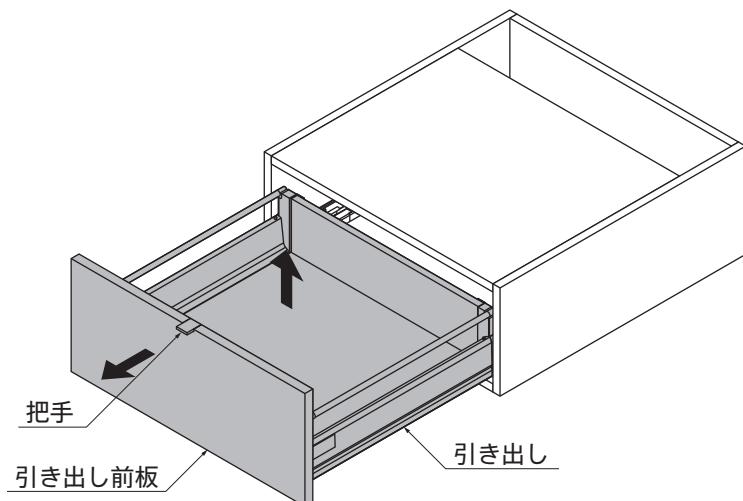
点検口フタを固定している \oplus サラタッピンネジ3.5×16（6本）を外します。

※取り外した点検口フタとネジはユニットを壁面に固定後、再び使用しますのでなくさないようにしてください。



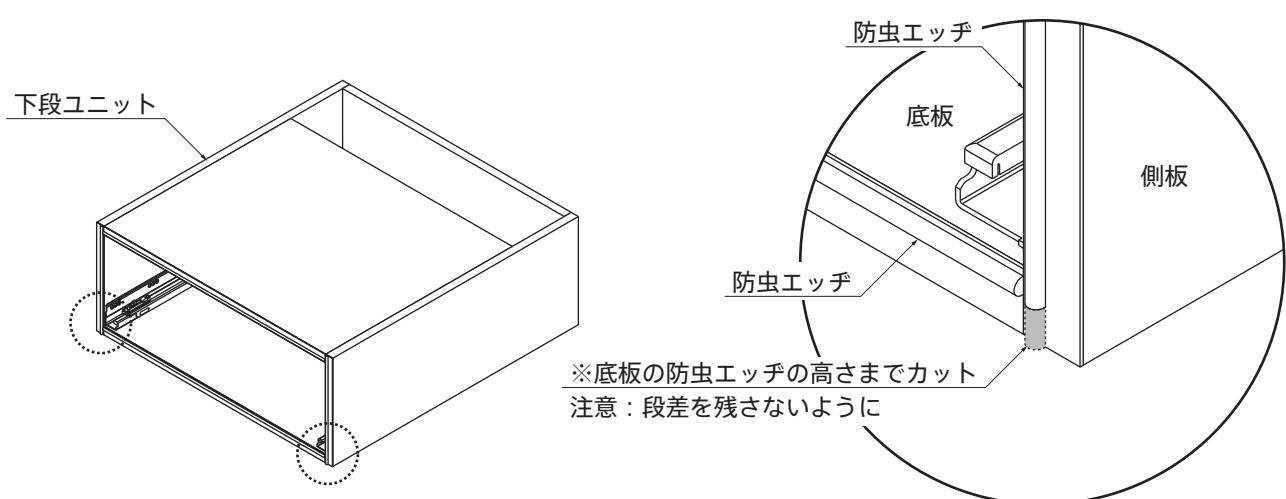
7 引き出しの取り外し（※引き出しユニットの場合）

- ・引き出しを取り外します。
 - 引き出しをいっぶいまで引き出します。
 - 引き出しを持ち上げて取り外します。
- ※把手や引き出し前板を持って取り外さないでください。



8 防虫エッチの加工

- ・下段ユニット側板の防虫エッチをカットします。
 - 側板下部の防虫エッチを底板の防虫エッチの高さまでカットします。
- ※カットした部分にスリット化粧板を貼るため、段差を残さないようきれいに仕上げてください。

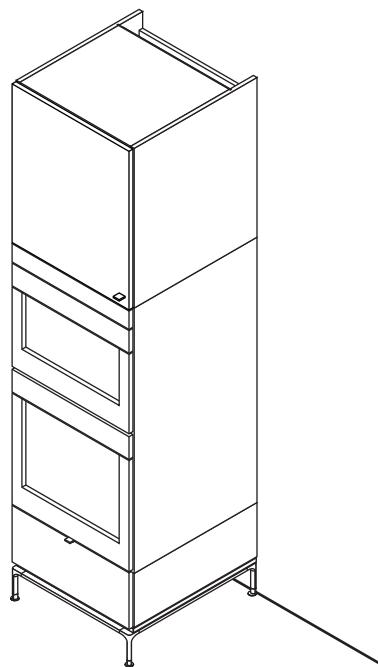
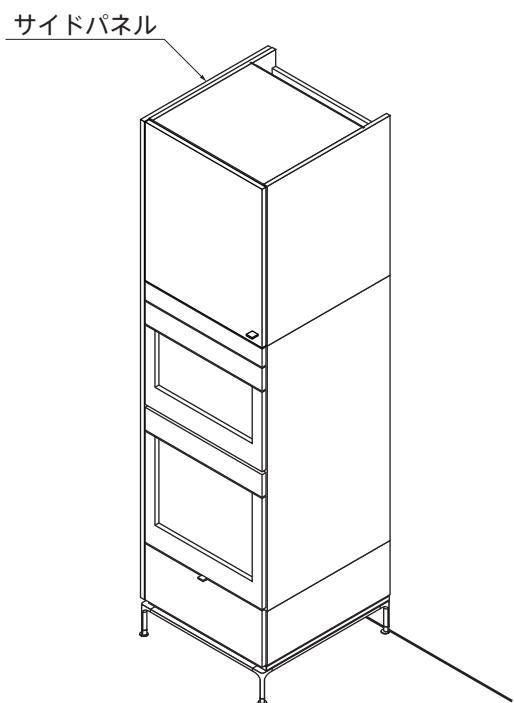


9 底板スペーサーの加工

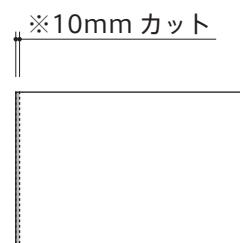
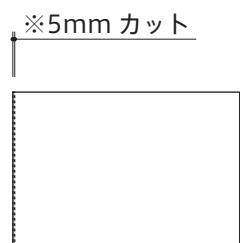
- ・サイドパネルや化粧フィラーを取付けない場合、底板スペーサーを 5 mm カットします。
- ・ユニット単独置きで両側ともサイドパネルや化粧フィラーを取付けない場合は、10 mm カットします。
※カットした面にスリット化粧板を貼るため、きれいに仕上げてください。

■片側のみサイドパネルや
化粧フィラーを取付けない場合

■両側ともサイドパネルや
化粧フィラーを取付けない場合



底板スペーサー加工寸法



10 底板スペーサーの取付け

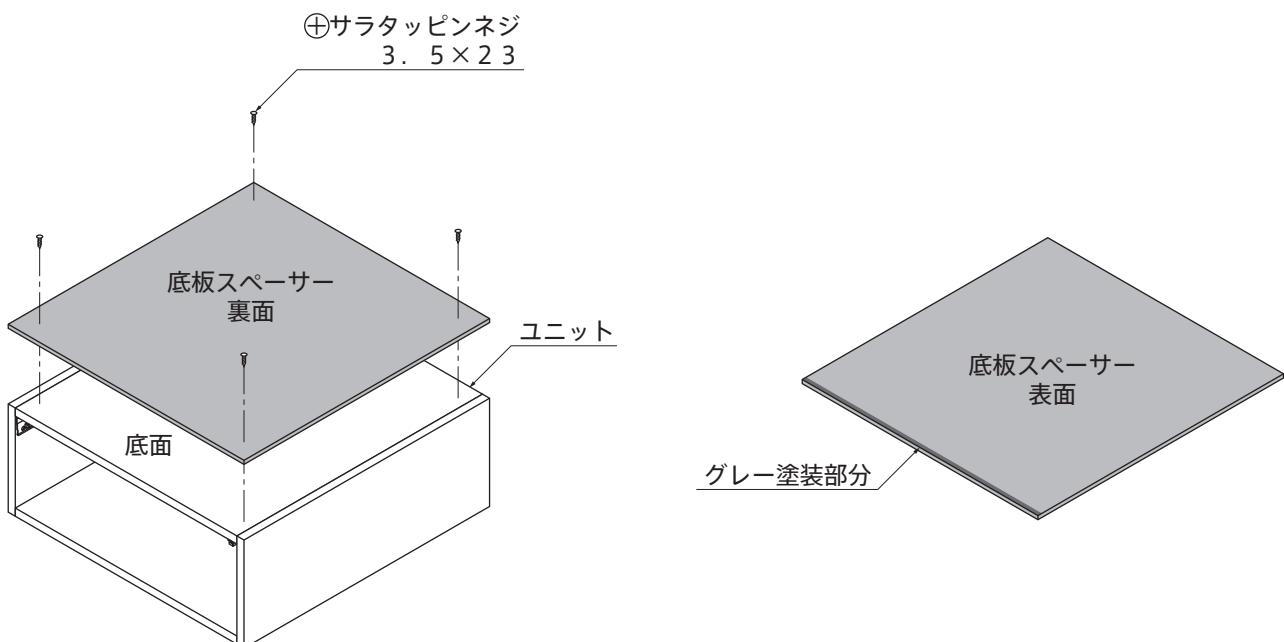
- ユニット底面に底板スペーサーを取付けます。

底板スペーサーの指定位置にΦ4穴（4ヶ所）をあけます。

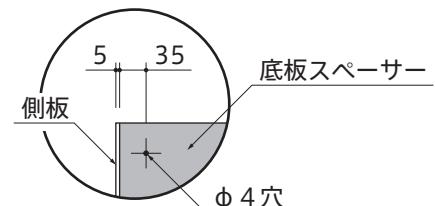
底板スペーサーのグレー塗装部分がユニット前面の底板面にくるようにして、ユニットに置きます。

底板スペーサーの背面はユニット後端に揃え、側面は側板側面に揃えて（サイドパネルを取付けない場合、側板側面から5mm内側にくるように）、④サラタッピンネジ3.5×23にて固定します。

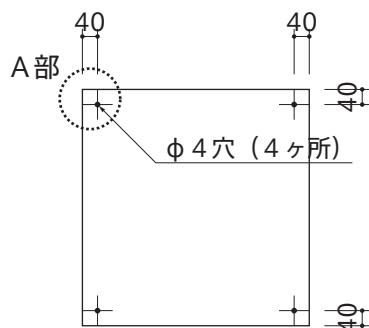
※「底板スペーサーの加工」にて底板スペーサーをカットし、ユニットを連結するレイアウトの場合は、カットした面が連結側にくるように置きます。



A部 サイドパネルを取付けない場合



底板スペーサー取付位置



11 補助脚の取付け（※ユニットを連結する場合）

■ Sタイプの場合

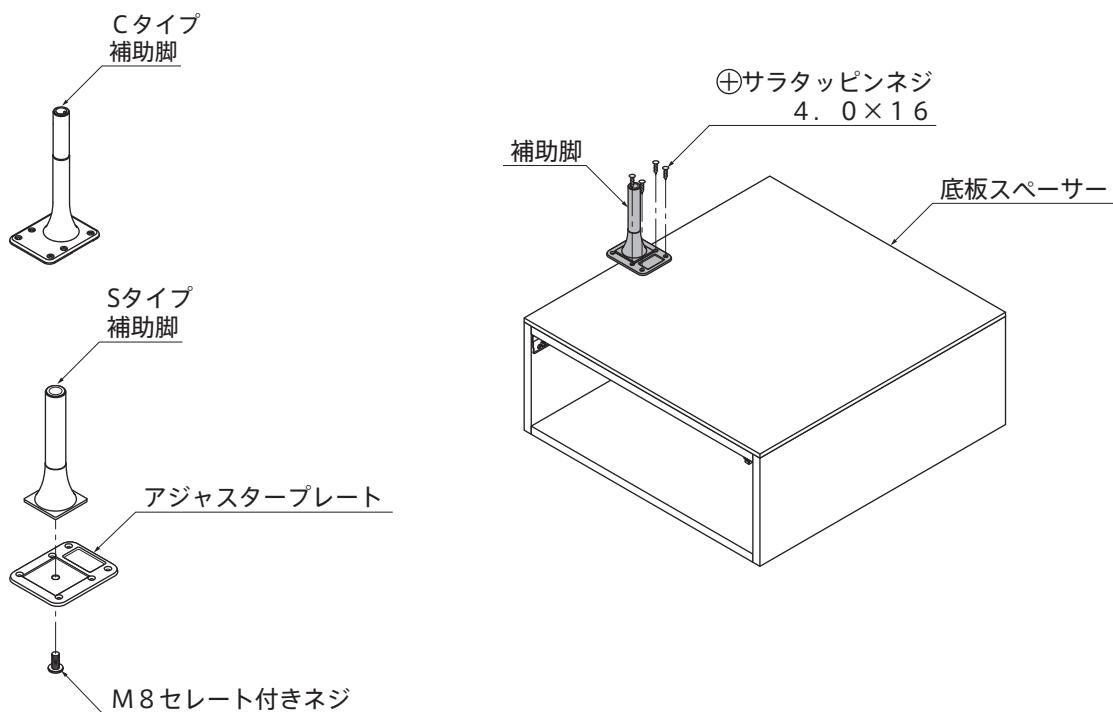
Sタイプの補助脚は、樹脂製クリアタイプになります。

- ・M8セレート付きネジを使用し、アジャスターべレートに補助脚を取付けます。
ユニットを裏に向けて、ユニット底板裏面の指定位置（「補助脚取付位置」を参照）に補助脚を取付けます。
アジャスターべレートの取付穴から、 \oplus サラタッピンネジ4. 0×16（4本）にて固定します。

■ Cタイプの場合

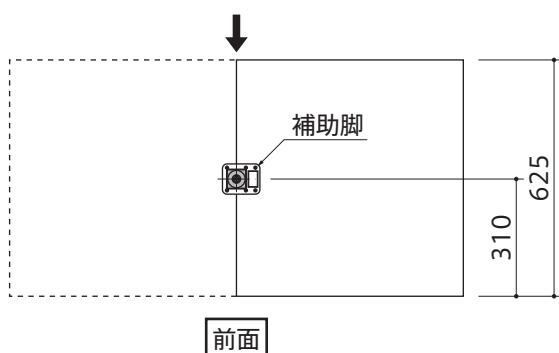
Cタイプの補助脚は、金属製クロームメッキタイプになります。

- ・ユニットを裏に向けて、ユニット底板裏面の指定位置（「補助脚取付位置」を参照）に補助脚を取付けます。
補助脚の取付穴から、 \oplus サラタッピンネジ4. 0×16（4本）にて固定します。



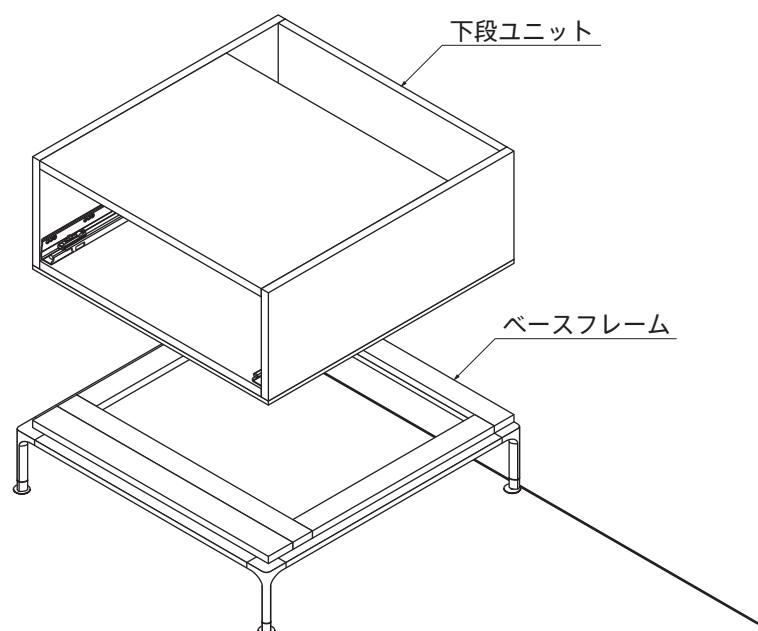
補助脚取付位置

ユニットの連結位置に取付けます



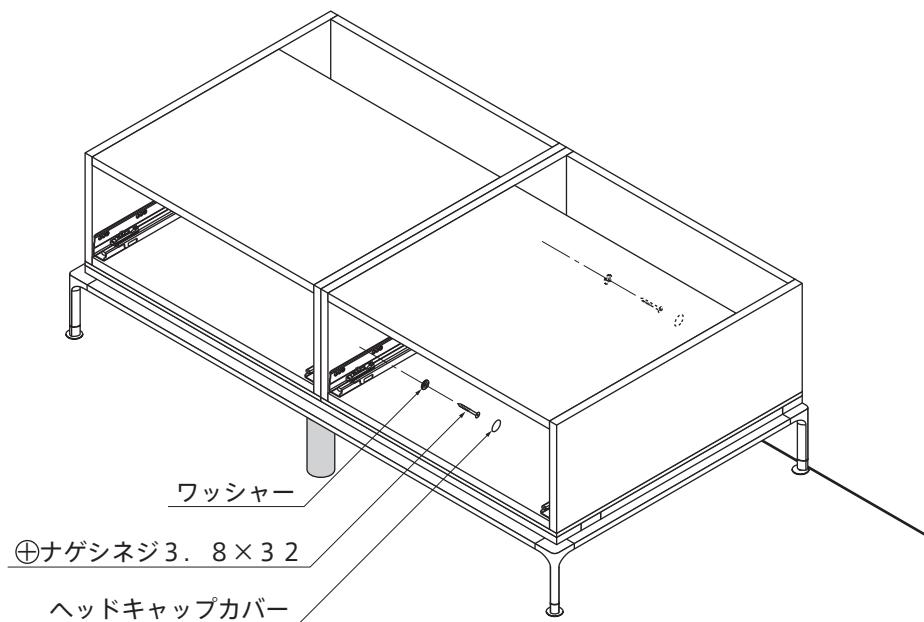
12 下段ユニットの設置

- ・ベースフレームの上に下段ユニットを設置します。

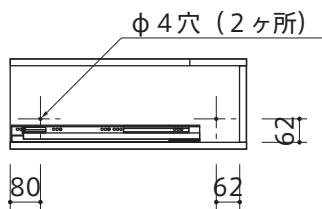


13 下段ユニットの連結（※ユニットを連結する場合）

- ユニットの側板外面を合わせて、ユニット同士を連結します。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（2ヶ所）をあけます。
- ④ナゲシネジ3. 8×32にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



ユニット連結位置【側面図】



14 補助脚のレベル調整・固定

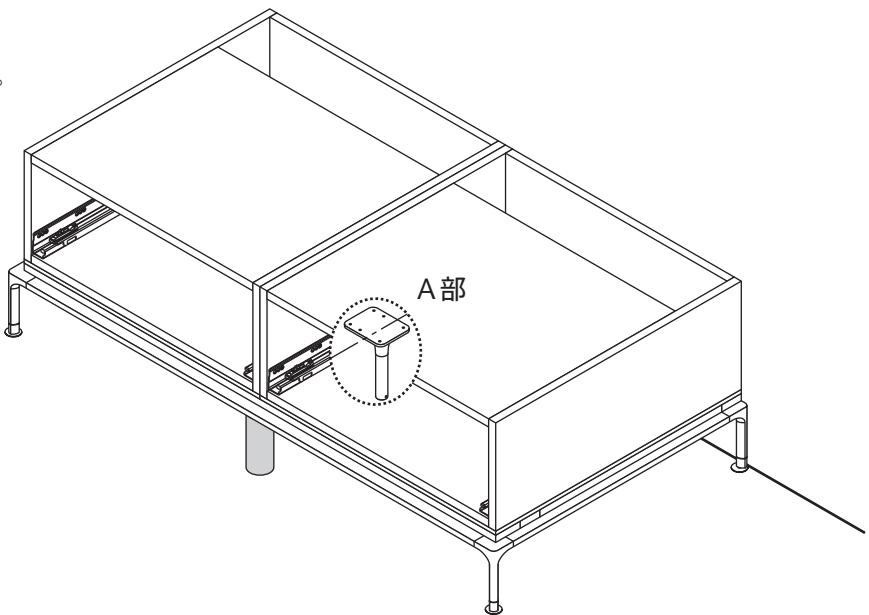
(※ユニットを連結する場合)

- ユニットを連結する場合、補助脚のアジャスター プレートの残りの穴から \oplus サラタッピンネジ 4.0 × 16 (2本)にて固定します。
- 補助脚のアジャスト部分を回して、レベルを調整します。

■調整範囲 -0 ~ +10 mm

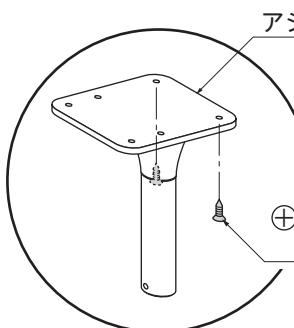
- 補助脚の固定穴(2ヶ所)から六角穴止めネジ(棒先)にて固定します。
※Sタイプの場合は固定穴2ヶ所、Cタイプの場合は固定穴1ヶ所で固定します。

※イラストはSタイプを示す

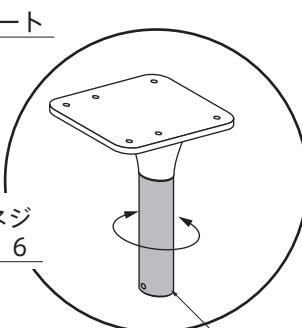


■ Sタイプの場合

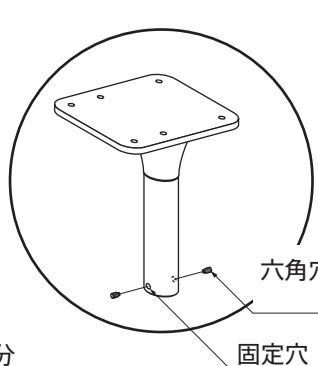
A部 ネジ固定
(※ユニットを連結する場合)



A部 レベル調整

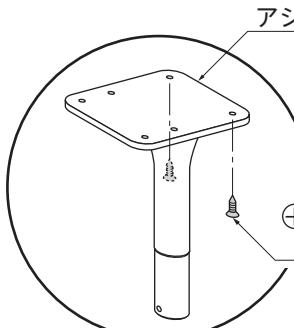


A部 固定

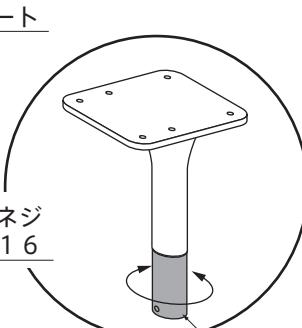


■ Cタイプの場合

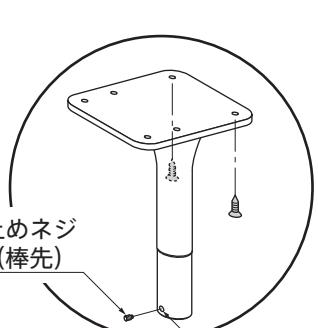
A部 ネジ固定
(※ユニットを連結する場合)



A部 レベル調整



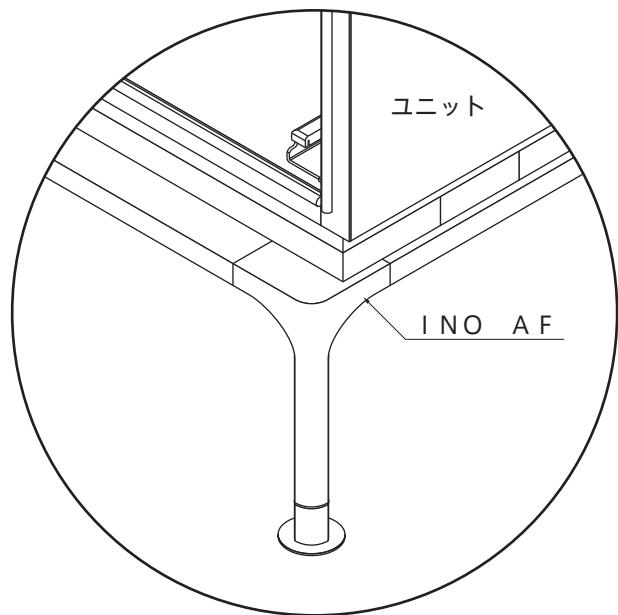
A部 固定



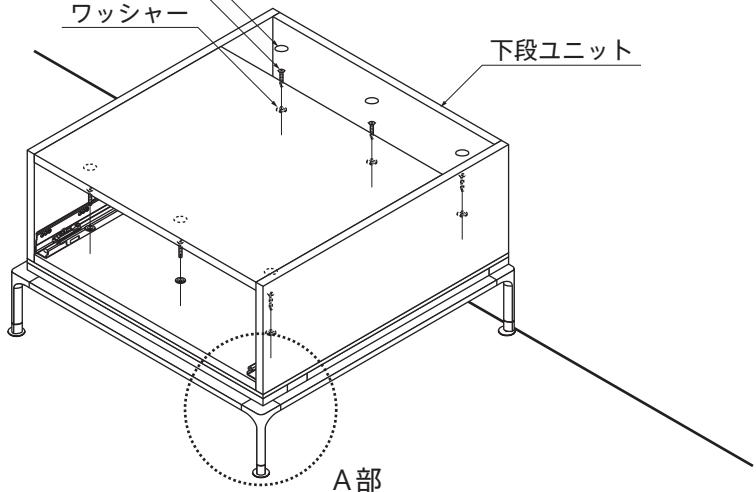
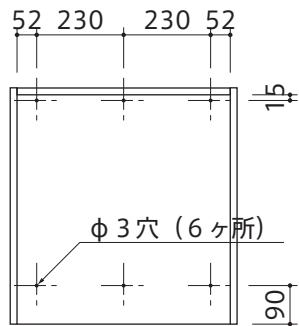
15 下段ユニットの固定

- ベースフレームの角パイプ前面コーナーと底板スペーサー前面コーナーを合わせて、ユニットを固定します。
ユニット底板の指定位置にΦ3穴（6ヶ所）をあけます。
- ⊕サラタッピンネジ4.0×40にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。

A部詳細図
底板スペーサーをカットした場合



ユニット固定位置【平面図】



16 中段ユニット、上段ユニットの取付け

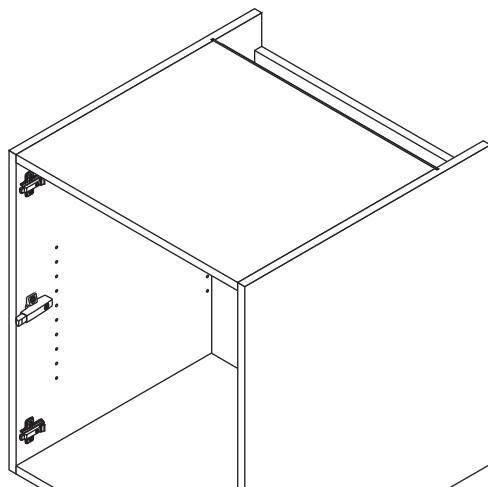
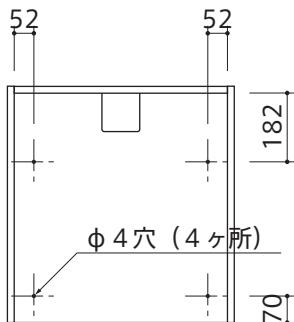
・上下のユニットの側板外面を合わせて、固定します。

下段ユニットと中段ユニット天板の指定位置にΦ4穴（各4ヶ所）をあけます。

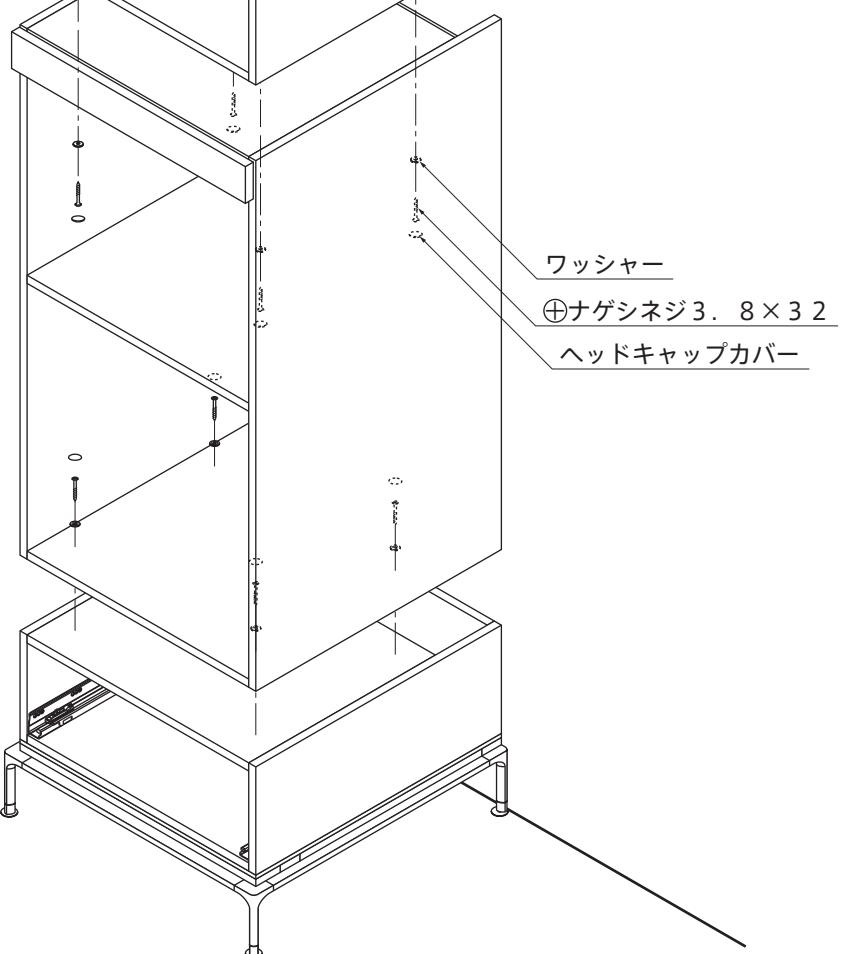
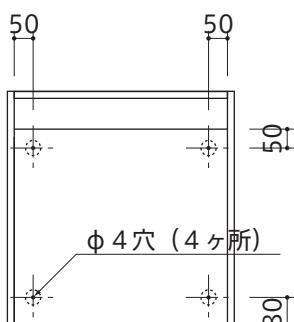
④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、ユニットを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。

ユニット固定位置【平面図】

■下段ユニット+中段ユニット



■中段ユニット+上段ユニット



17 スリット化粧板の取付け

■サイドパネルや化粧フィラーを取付ける場合

※スリット化粧板を取付ける前に、高さスペーサーの表面をきれいに拭き取ってください。

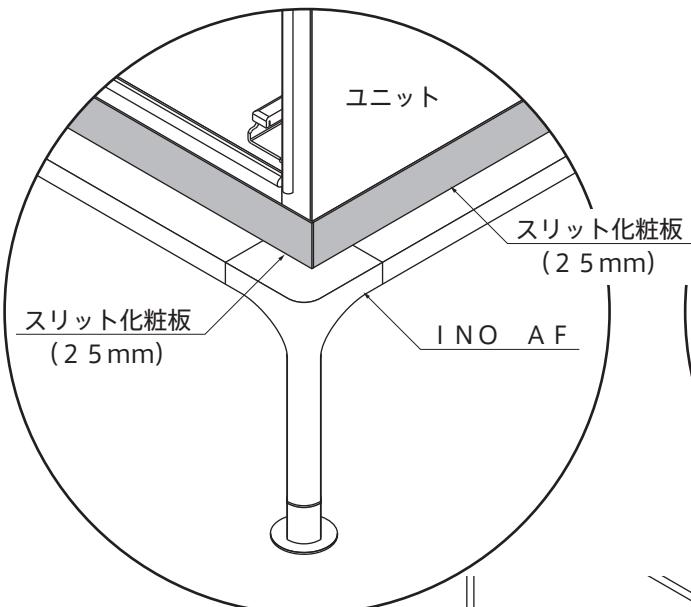
- ・スリット化粧板（25mm）をユニット奥行に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、高さスペーサーの側面下端に合わせて貼り付けます。
- ・スリット化粧板（25mm）をスリットスペーサー全体間口と両側のスリット化粧板の厚みを合わせたサイズにカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、スリットスペーサーの前面下端に合わせて貼り付けます。

※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

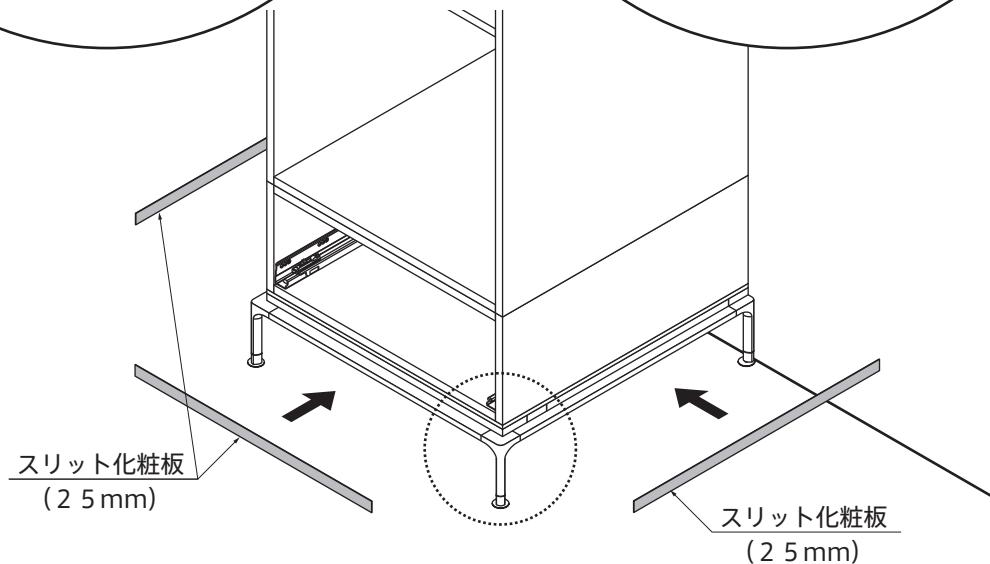
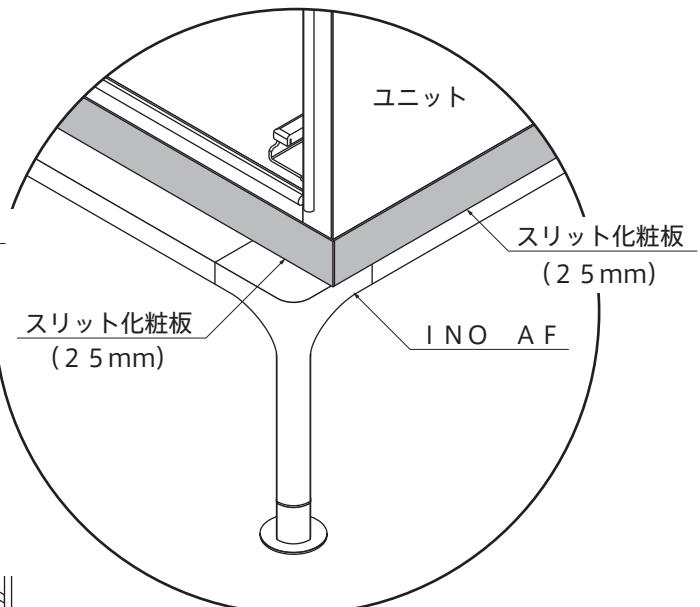
※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

貼り付け後は、両面テープがしっかりと貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。

サイドパネルを取付ける場合



化粧フィラーを取付ける場合



■サイドパネルや化粧フィラーを取付けない場合

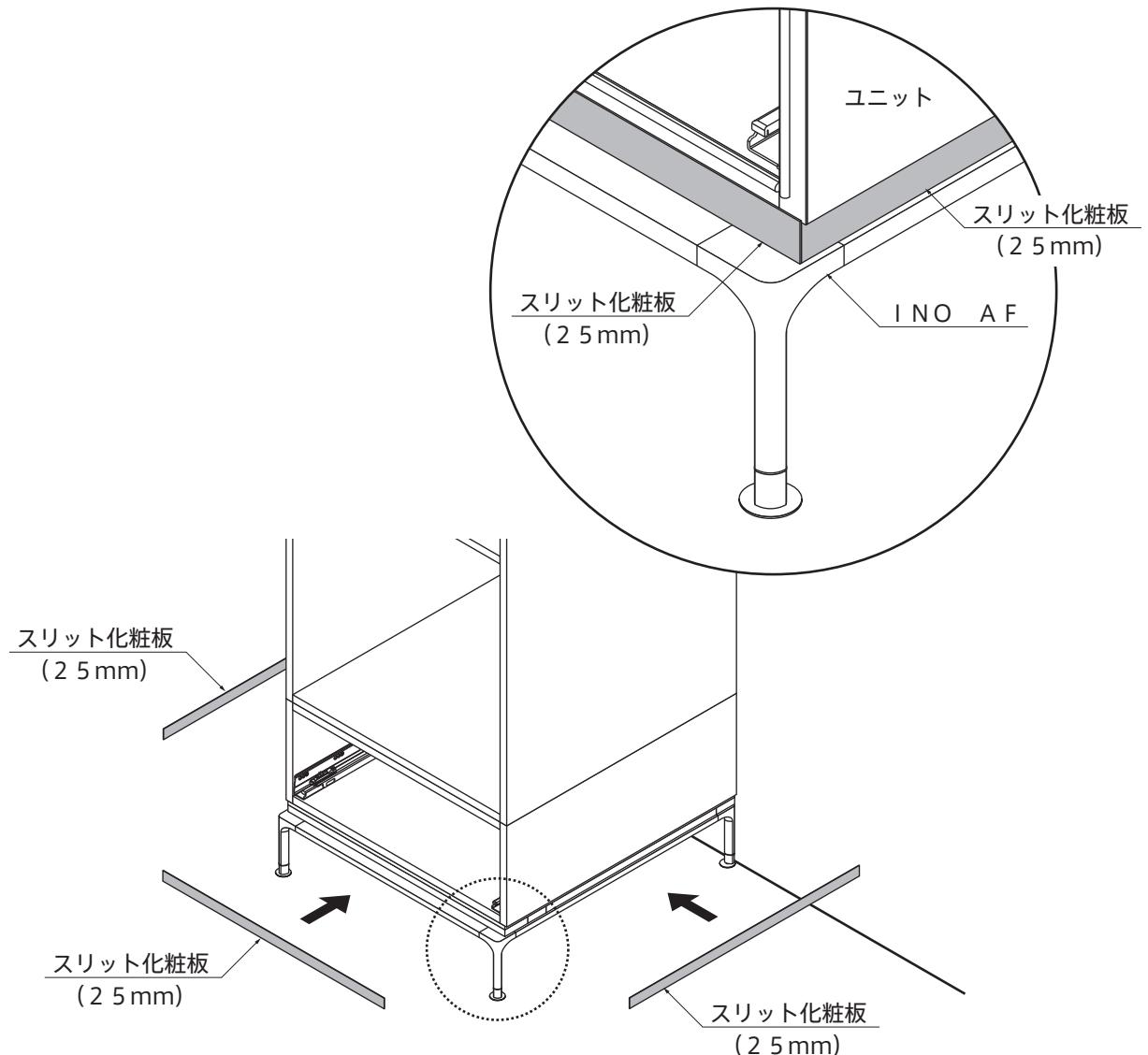
※スリット化粧板を取付ける前に、高さスペーサーの表面をきれいに拭き取ってください。

- ・スリット化粧板（25mm）をユニット奥行に合わせてカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、高さスペーサーの側面下端に合わせて貼り付けます。
- ・スリット化粧板（25mm）をスリットスペーサー全体間口と両側のスリット化粧板の厚みを合わせたサイズにカットします。
- ・スリット化粧板（25mm）の両面テープのはく離紙を剥がし、スリットスペーサーの前面下端に合わせて貼り付けます。

※コーナー部分は間口方向が前面にくるように合わせてください。

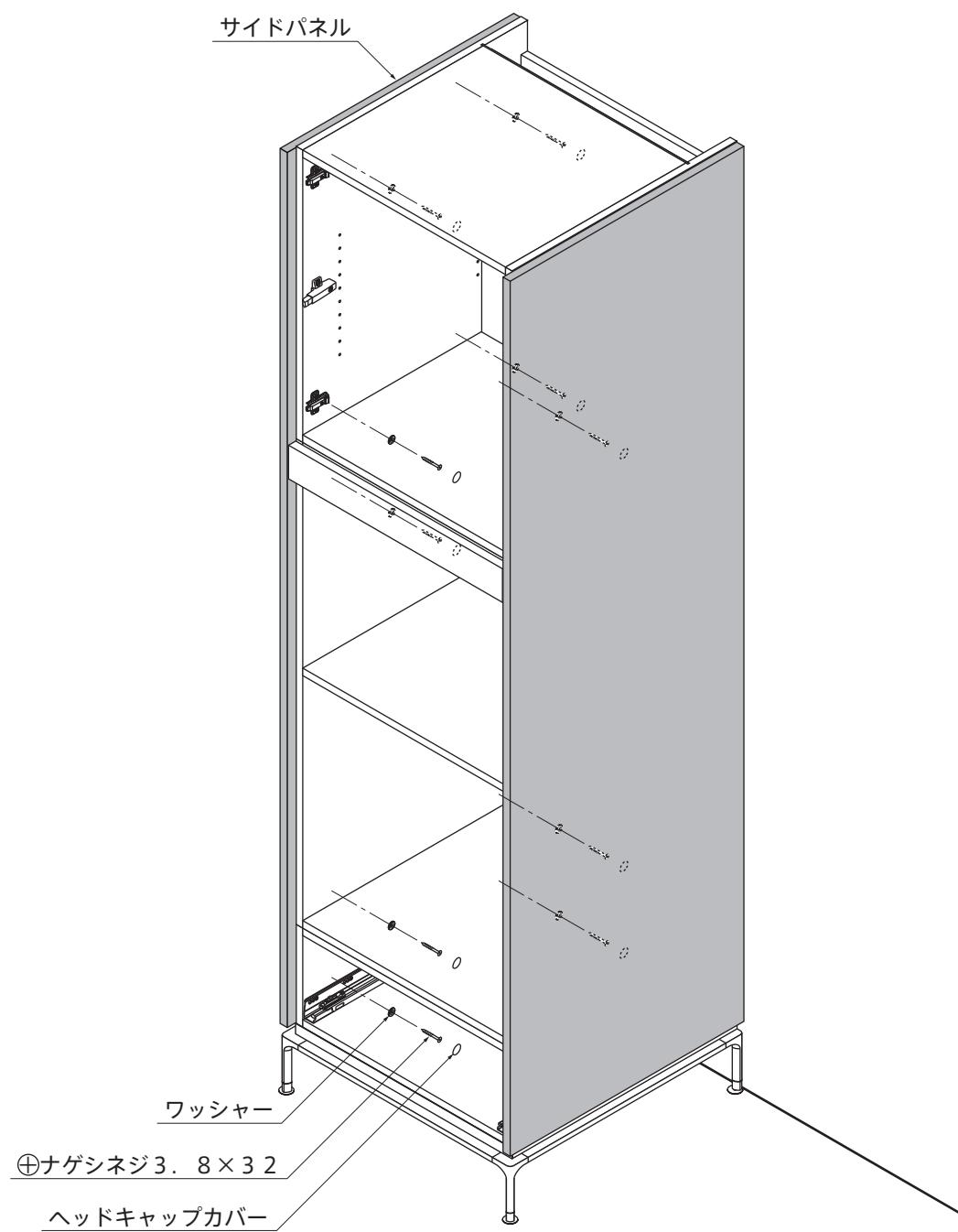
※一度貼ったら剥がしにくいため、しっかりと位置出しを行ってから貼り付けてください。

貼り付け後は、両面テープがしっかりと貼り付くようにスリット化粧板を押さえてください。



18 サイドパネルの取付け

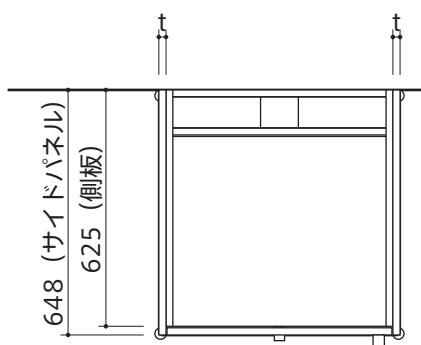
- ユニット側板の指定位置にサイドパネルを取付けます。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（10ヶ所）をあけます。
④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、サイドパネルを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



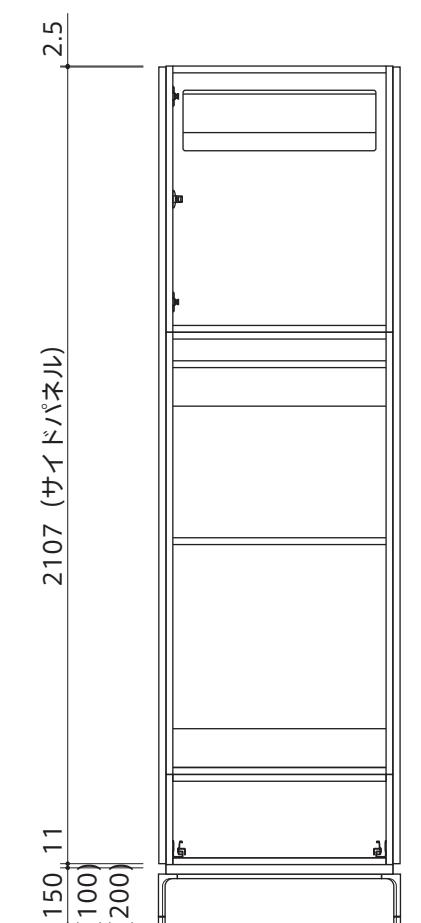
サイドパネル取付位置

※()内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

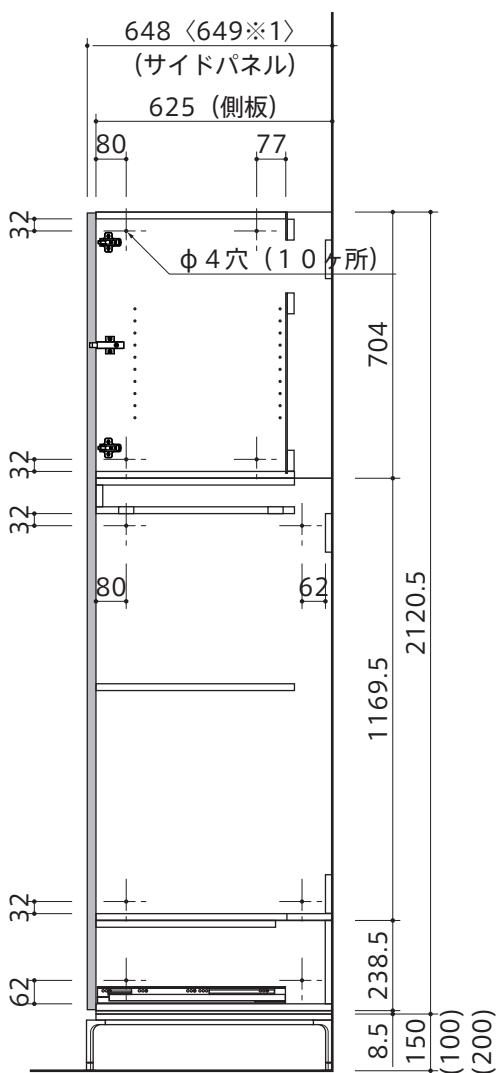
【平面図】



【正面図】

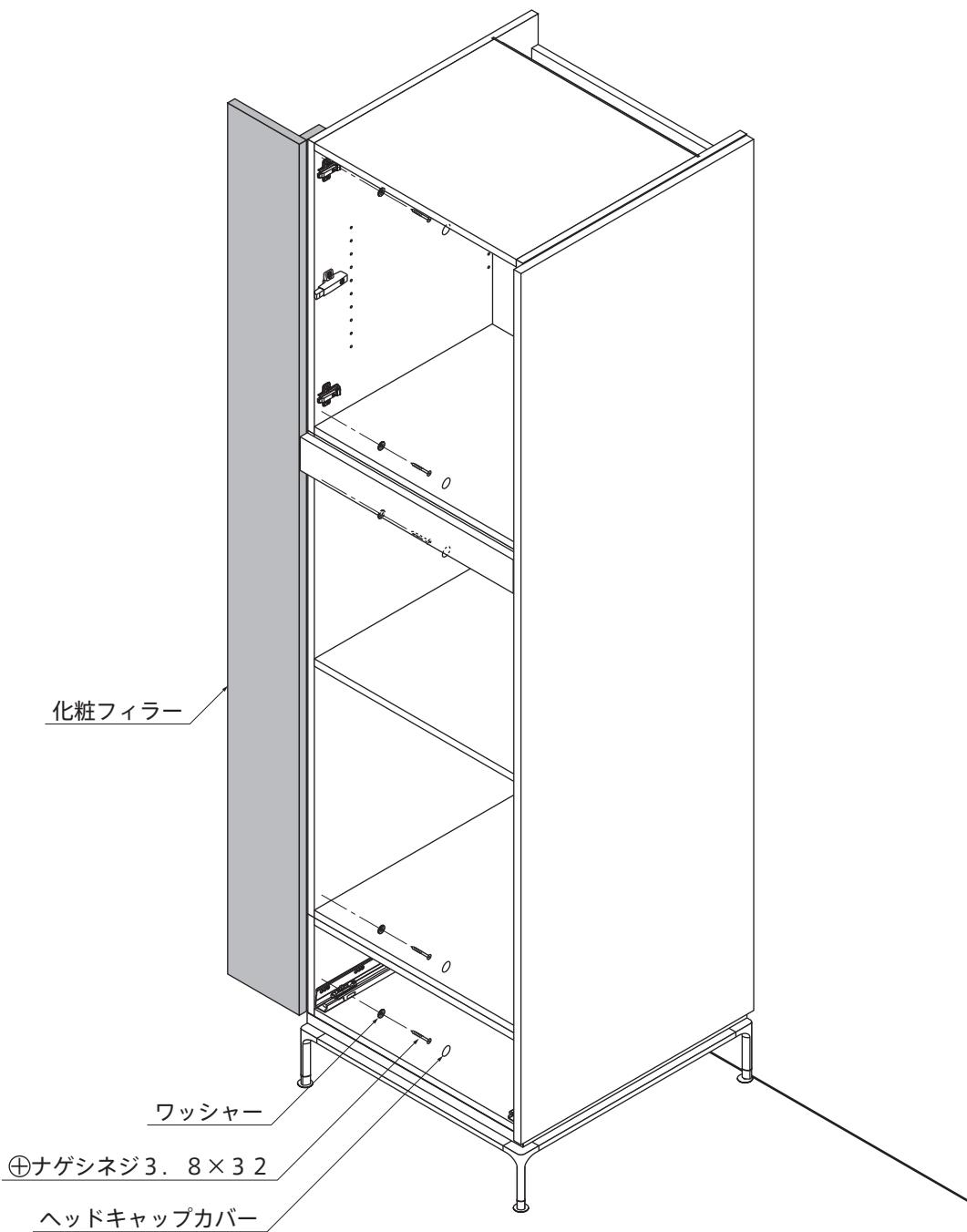


【側面図】



19 化粧フィラーの取付け

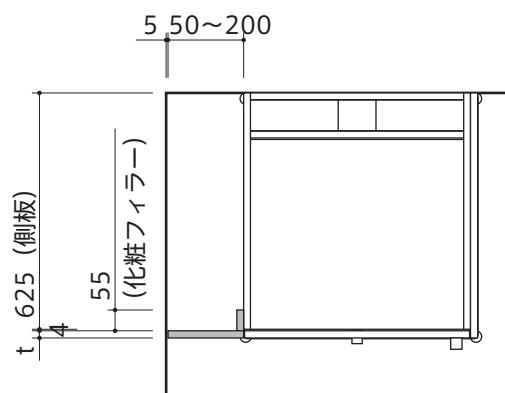
- ユニット側板の指定位置に化粧フィラーを取付けます。
ユニット側板の指定位置にΦ4穴（5ヶ所）をあけます。
④ナゲシネジ3.8×32にワッシャーを通して、化粧フィラーを固定し、ヘッドキャップカバーを取付けます。



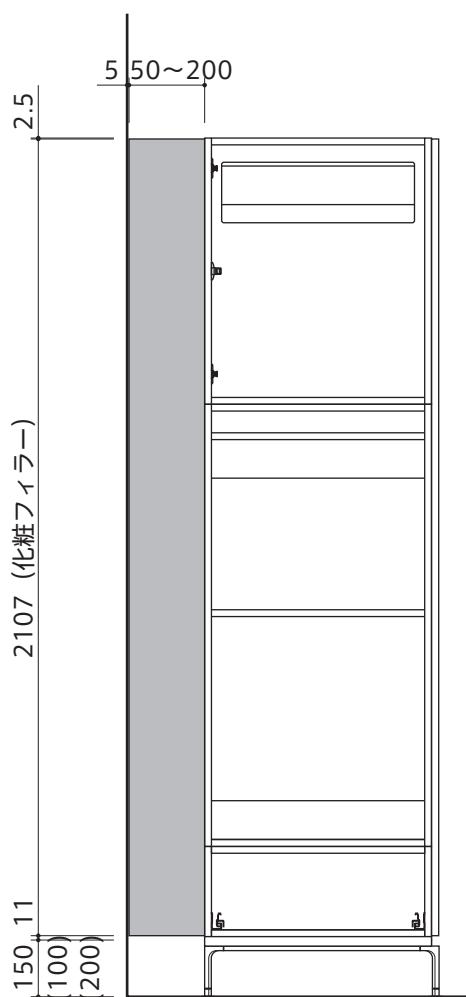
化粧フィラー取付位置

※()内寸法は、A F仕様【H=100】と【H=200】の場合を示す。

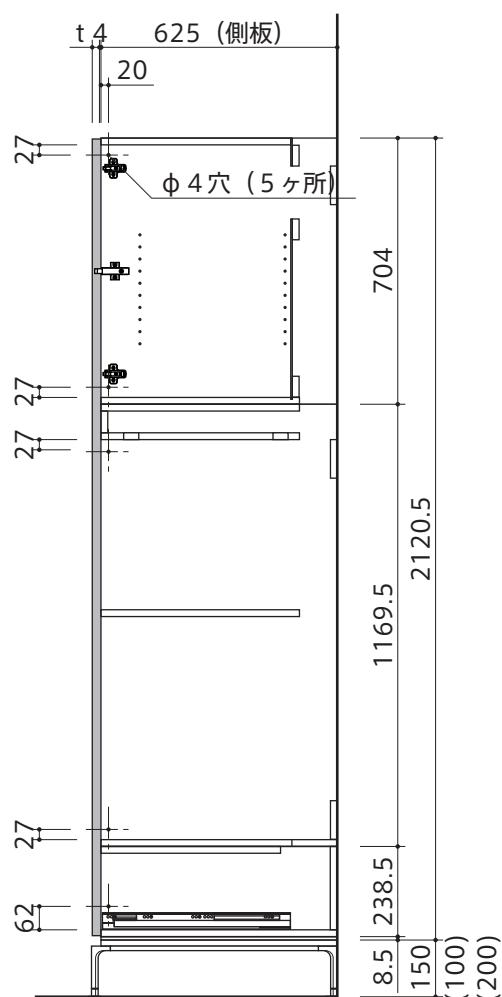
【平面図】



【正面図】



【側面図】



20 壁面への固定



トール収納の取付・設置は、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。

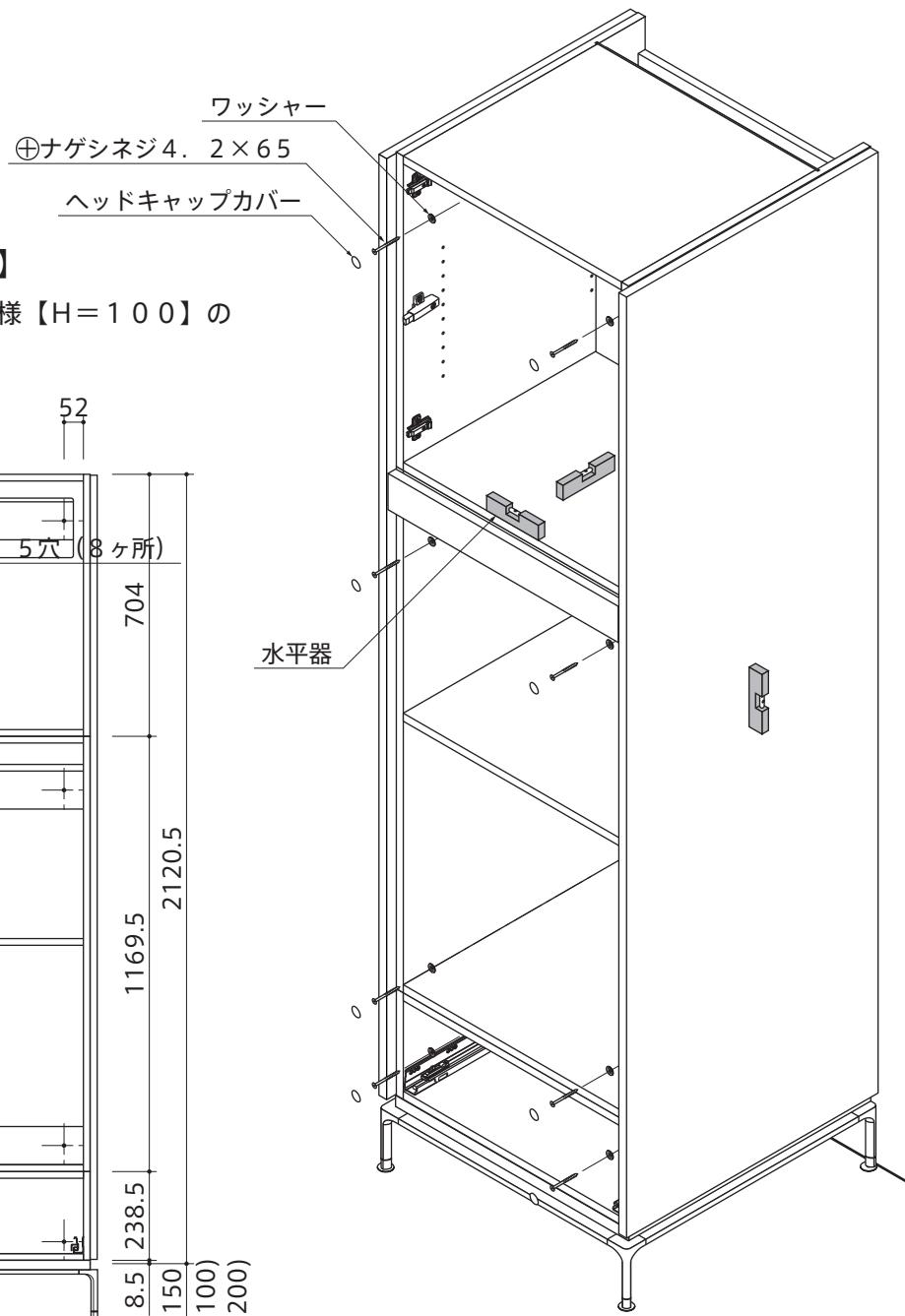


落下して、ケガをする恐れがあります。

- ユニットを壁面に固定します。

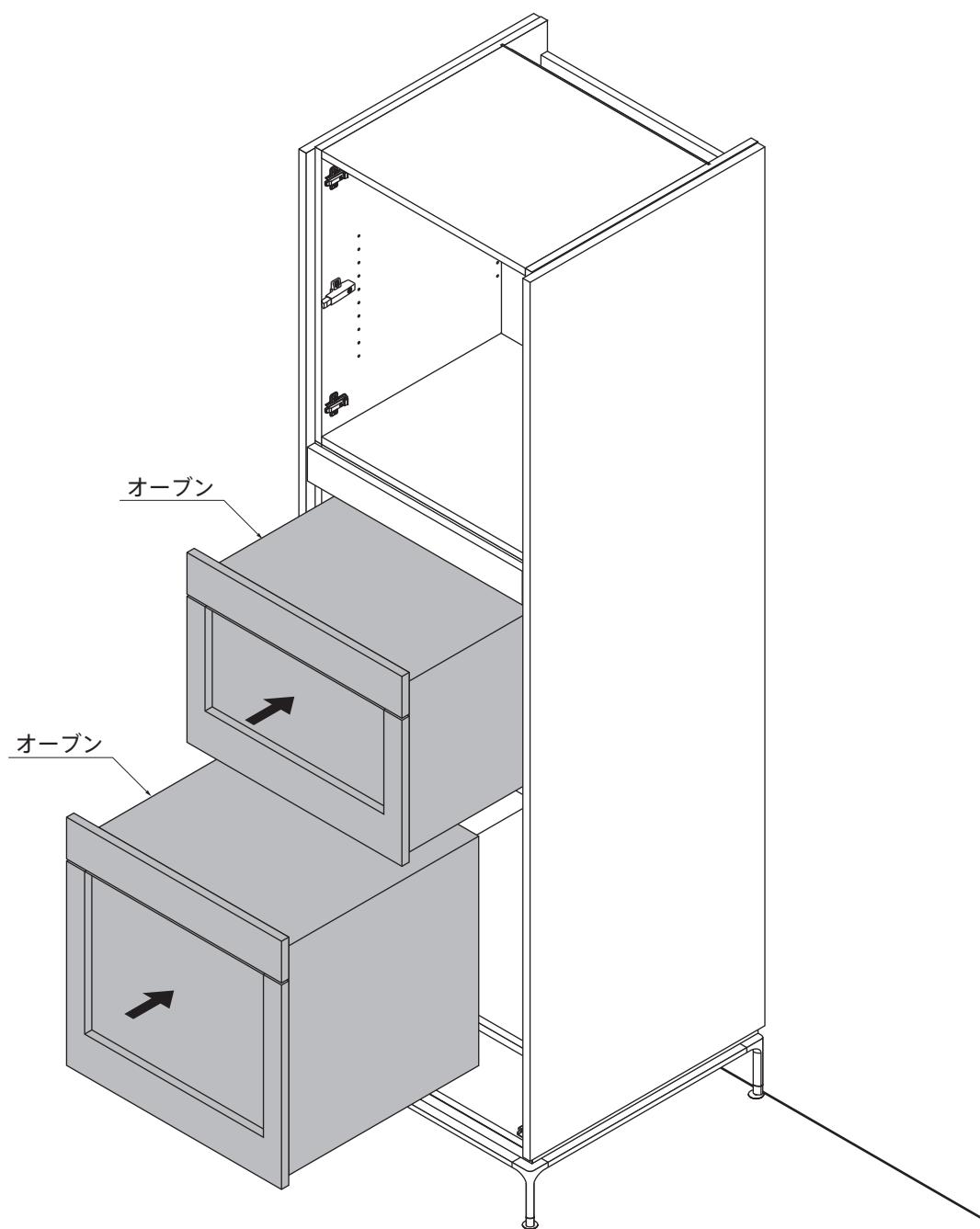
ユニット背板の指定位置にΦ4.5穴（8ヶ所）をあけます。

④ナゲシネジ4.2×6.5にワッシャーを通して、ユニットを壁面に固定し、ヘッドキャップカバーを取り付けます。



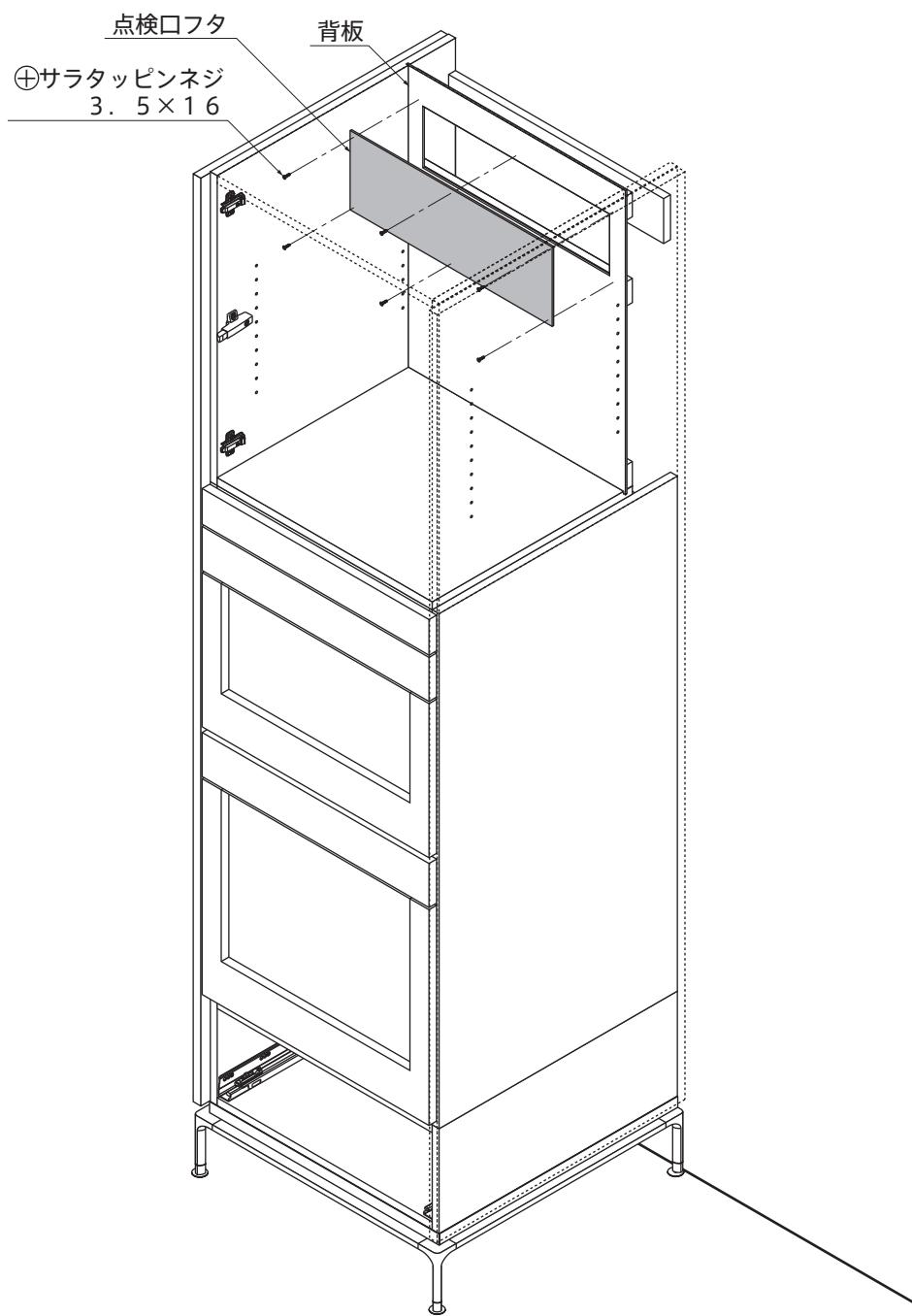
21 オーブンの取付け

- 付属の「取付・設置説明書」に従って、オーブンを取付けます。



22 点検口フタの取付け（※開き扉ユニットの場合）

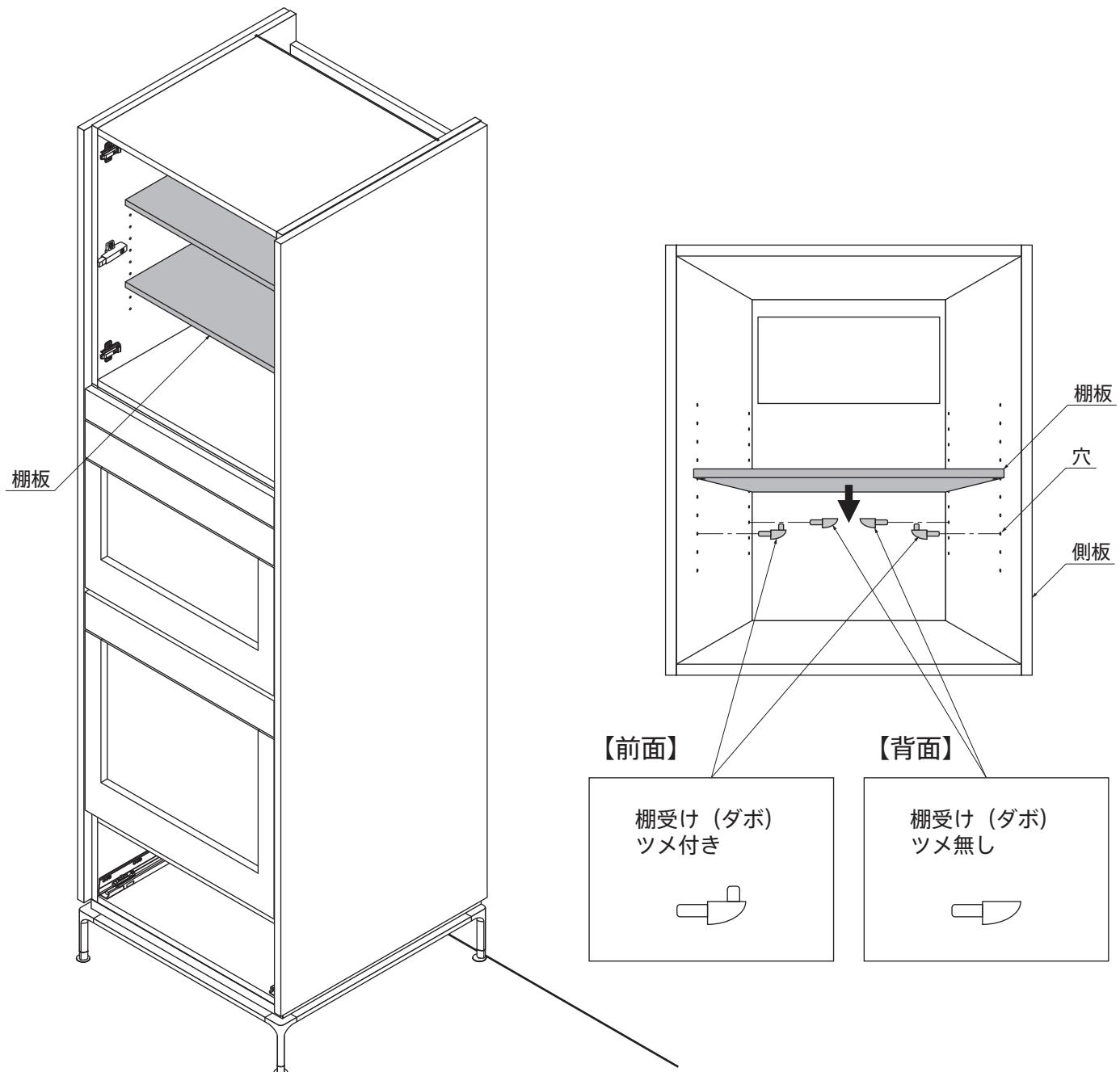
- ユニット背板に先ほど取り外した点検口フタを取付けます。
④サラタッピンネジ 3.5×16（6本）を使用し、背板に点検口フタを取付けます。



23

棚板の取付け（※開き扉ユニットの場合）

- 側板の任意の穴位置に棚受け（ダボ）を差し込みます。
前面にはツメ付き、背面にはツメ無しを差し込みます。
- 棚板を棚受け（ダボ）にのせます。

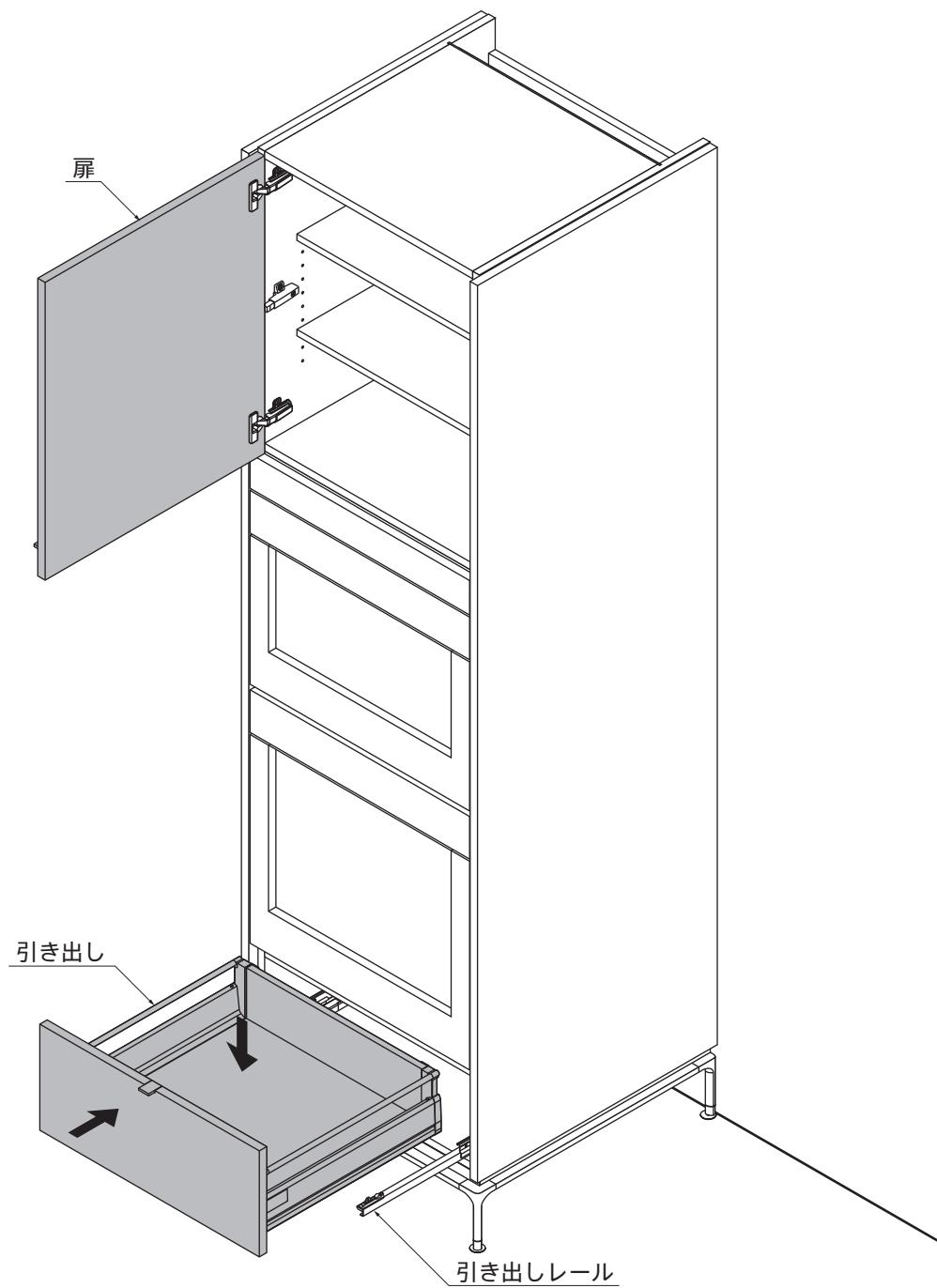


24 扉の取付け（※開き扉ユニットの場合）

- ユニットに扉を取付けます。（「共通」の「扉（丁番）の取り外し、取付け」参照）

25 引き出しの取付け（※引き出しユニットの場合）

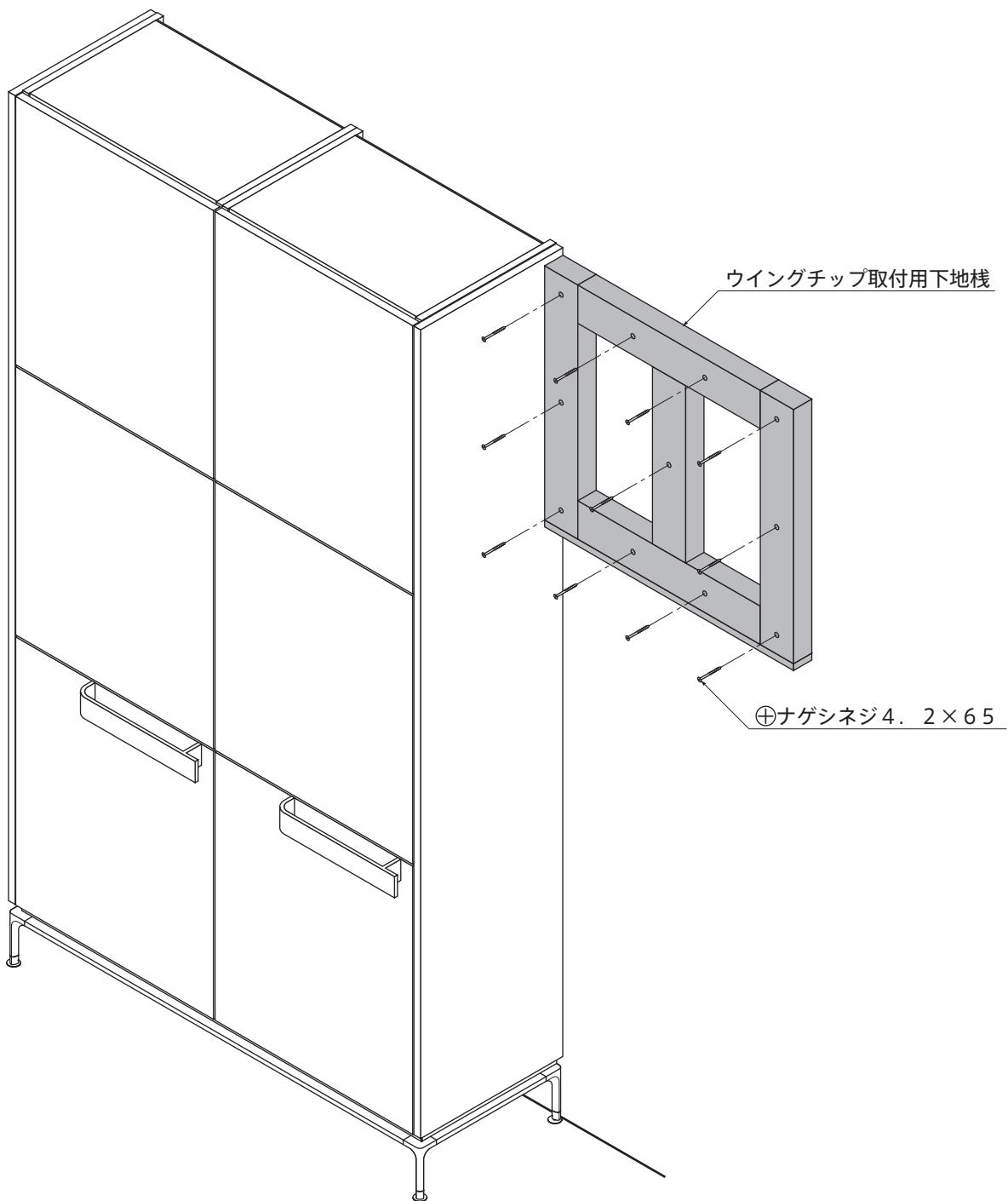
- 引き出しレールをいっぱいまで引き出します。
- 引き出しレールの上に引き出しをのせます。
- 引き出しを「パチン！」と音がするまで奥へ押し込んで、引き出しレールに固定します。



共通

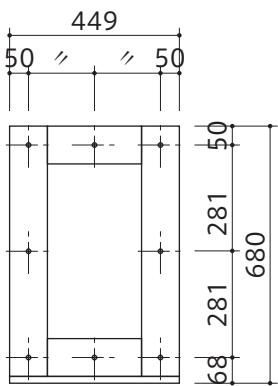
ウイングチップ取付用下地桿の取付け

※トール収納の隣にウイングチップを取付ける場合、ウイングチップ取付用下地桿を取付けてください。
・壁面の指定位置に \oplus ナゲシネジ4. 2×65にてウイングチップ取付用下地桿を取付けます。

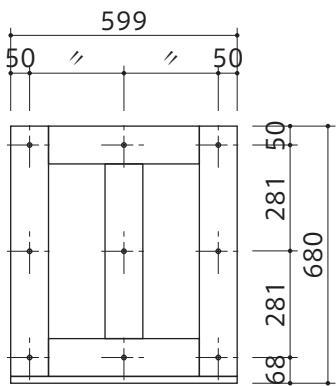


ウイングチップ取付用下地棧取付位置

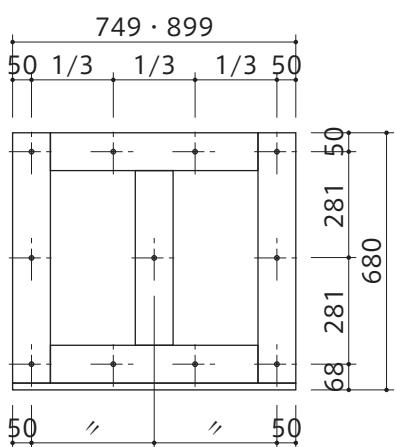
■間口450mmの場合



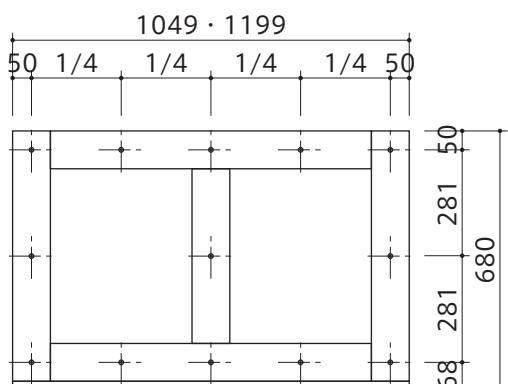
■間口600mmの場合



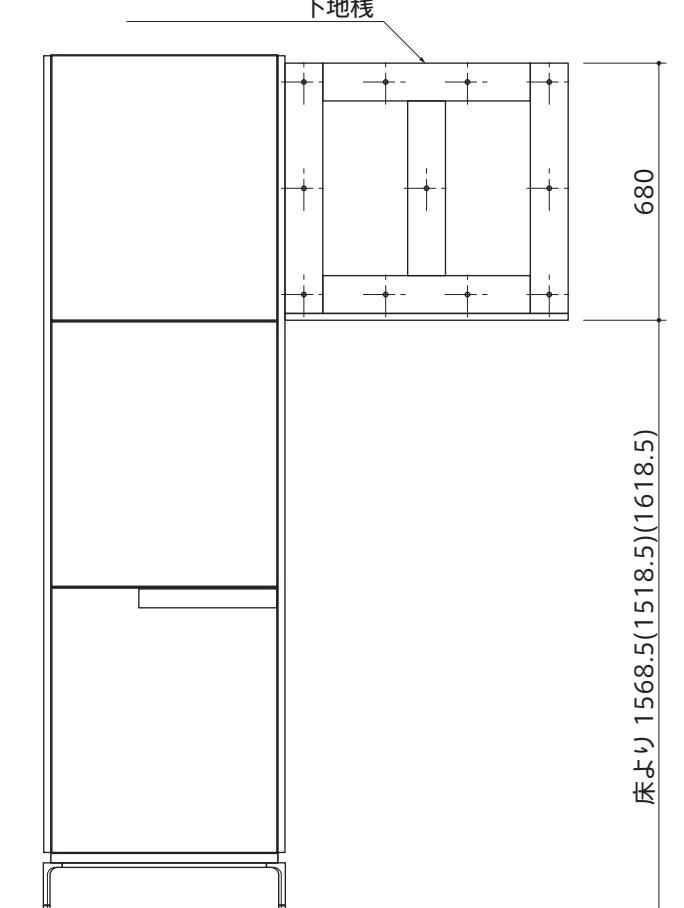
■間口750・900mmの場合



■間口1050・1200mmの場合



ウイングチップ取付用
下地棧

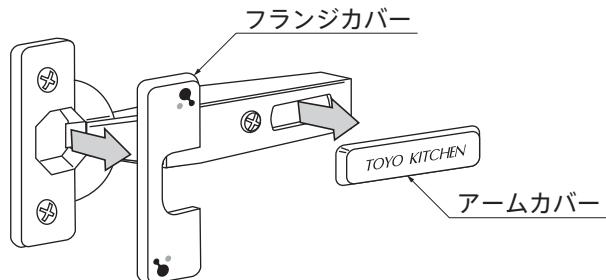


※()内寸法は、AF仕様【H=100】と
【H=200】の場合を示す。

※AF仕様【H=200】は、INO AF
Sタイプ/Cタイプの場合のみ。

扉（丁番）の調整

※調整を行う前に、アームカバーとフランジカバーを外してください。



●上下方向の調整

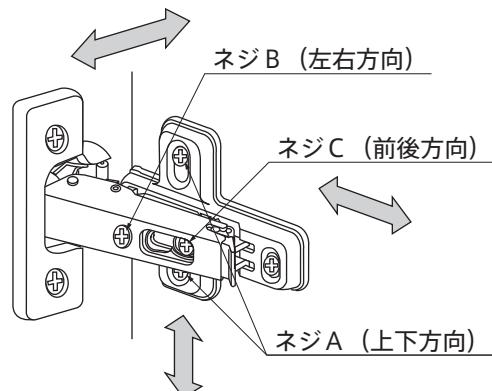
- ・座金のネジAをゆるめ、上下の位置を定めて固定します。

●左右方向の調整

- ・ネジBで調整します。

●前後方向の調整

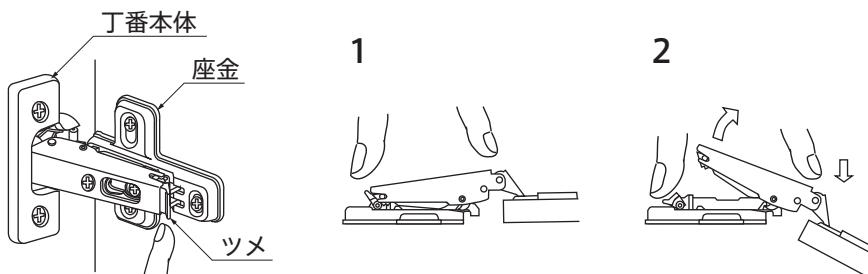
- ・ネジCで調整します。
※基本的には調整しません。



扉（丁番）の取り外し、取付け

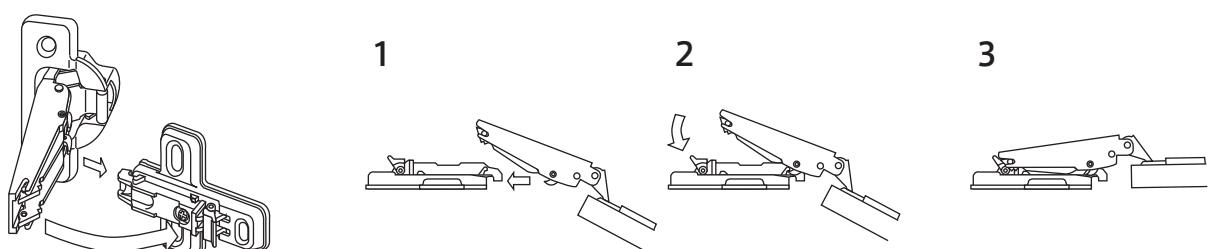
●取り外し

- ・ツメを押して座金から丁番本体を取り外します。



●取付け

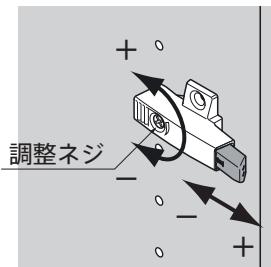
- ・丁番本体を座金に取付けます。



扉用ブルモーションの調整

扉が勢いよく閉まりすぎる場合 . . . +方向へまわす
扉がスムーズに閉まらない場合 . . . -方向へまわす

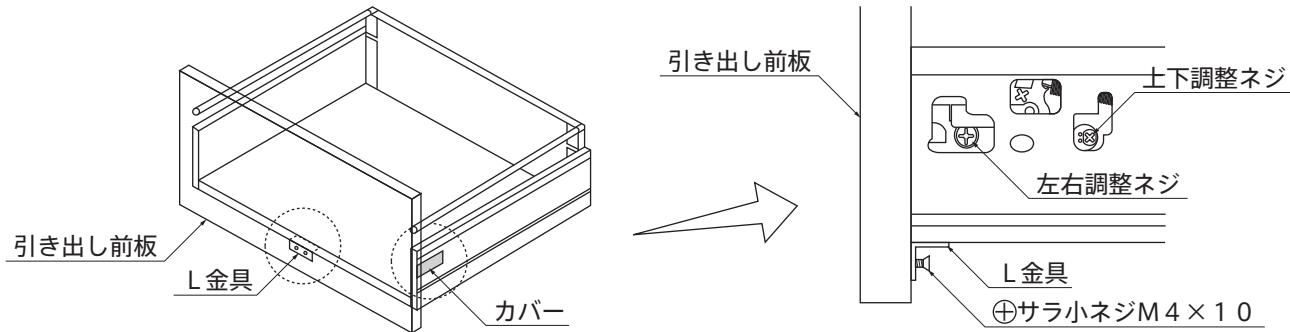
※調整範囲 -7 ~ +3 mm



※調整範囲以上に調整ねじを回すとシリンダーが詰まって動かなくなる場合があります。
その場合、逆方向へ調整ねじを回すと機能するようになります。

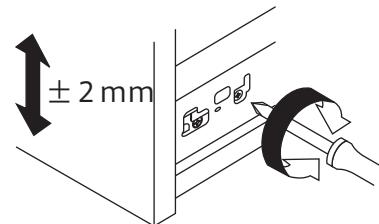
引き出し前板の調整

- ・引き出し前板の目地を確認し、調整を行います。
- ・引き出し側板左右外側についているカバーをマイナスドライバーなどで外してください。
- ・間口900・1200mmの場合、引き出し底板裏面についているL金具の引き出し前板側の取付ネジ（⊕サラ小ネジM4×10）をゆるめます。
- ・調整が終わりましたら、取付ネジを締めて、カバーを取付けてください。



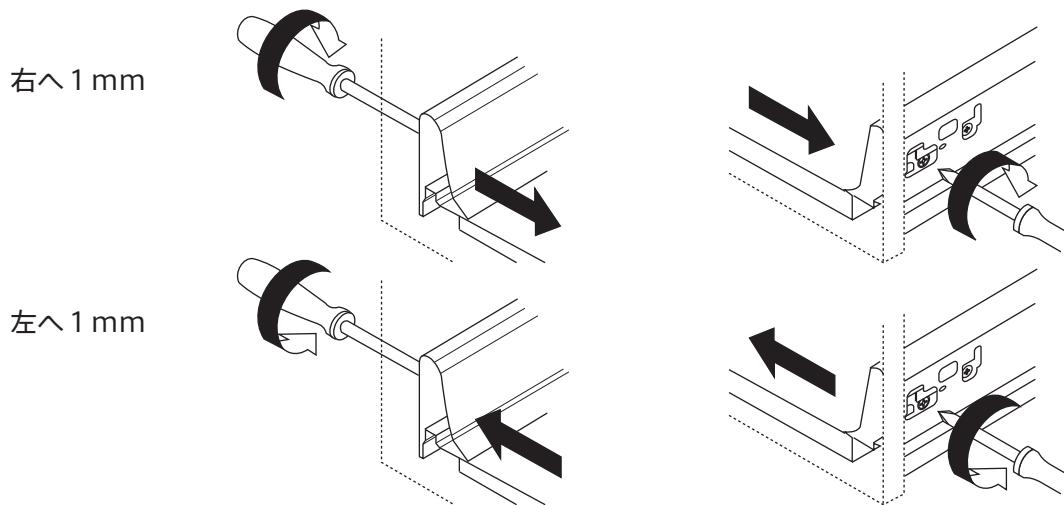
●上下方向の調整

- ・上下調整ネジを+ドライバーで回して、引き出し前板の上下方向を調整します。
±2 mm調整できます。



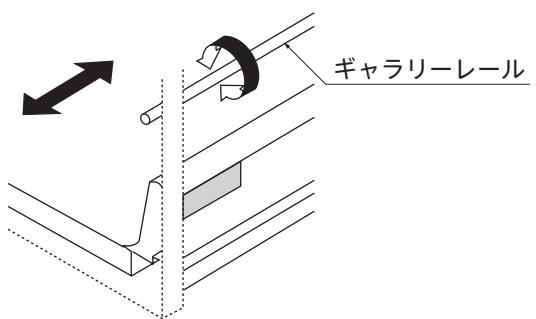
●左右方向の調整

- ・左右調整ネジを+ドライバーで回して、引き出し前板の左右方向を調整します。
±1 mm調整できます。



●傾き調整

- ・ギャラリーレールを回して、引き出し前板の傾きを調整します。



取付・設置後の点検・清掃

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り取付・設置されているかを点検し、異常の無いことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷などの損傷が無いかを調べてください。
- ・スライドトップや扉など、損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材などを利用して養生してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープなどを使用してください。

ホルムアルデヒド発散区分

ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分および下地部分とも	F ☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による	
製造番号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください	
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル（P B） MDF 合板 接着剤	F ☆☆☆☆ F ☆☆☆☆ F ☆☆☆☆ F ☆☆☆☆

VOC放散性能

VOC放散性能	4 VOC基準適合（木質建材）
表示ルール	「住宅部品VOC表示ガイドライン」による

※4 VOCとは、トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンを示します。

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入いただけます。
詳しくは、store.toyokitchen.co.jpをご覧ください。

トヨーキッチンスタイルカスタマーサービス <https://www.toyokitchen.co.jp/ja/maintenance/>
トヨーキッチンスタイルカスタマーサービスでは、保証期間内、経過後のメンテナンスやパーツの販売を承ります。

お問い合わせ先

T E L 050 - 3852 - 2392 <受付時間 平日9:00~18:00 (※土・日・祝日・夏期・年末年始は除く)>

メール tks@toyo1.toyokitchen.co.jp

F A X 0575 - 23 - 1262

スマートフォンからでも
修理／メンテナンスの
依頼ができます。

アクセスはこちらから →

